

中國第一歷史檔案館編

乾 隆 帝 起 居 注
(三七)

廣西師範大學出版社

中國第一歷史檔案館編

乾 隆 帝 起 居 注 (三七)

廣西師範大學出版社
桂林

第三七冊

目錄

乾隆五十三年（公元一七八八年）

二月

初一日	(四)
初二日	(五)
初三日	(一)
初四日	(二)
初五日	(三)
初六日	(四)
初七日	(五)
初八日	(六)
初九日	(七)
初十日	(八)
十一日	(九)
十二日	(一〇)
十三日	(一一)
十四日	(一二)
十五日	(一三)
十六日	(一四)
十七日	(一五)
十八日	(一六)
十九日	(一七)
二十日	(一八)
二十一日	(一九)
二十二日	(二〇)
二十三日	(二一)
二十四日	(二二)
二十五日	(二三)
二十六日	(二四)
二十七日	(二五)
二十八日	(二六)
二十九日	(二七)
三十日	(二八)
初一日	(二九)
初二日	(三〇)
初三日	(三一)
初四日	(三二)
初五日	(三三)
初六日	(三四)
初七日	(三五)
初八日	(三六)
初九日	(三七)

三月

十六日	(五八)
十七日	(五九)
十八日	(六〇)
十九日	(六一)
二十日	(六二)
二十一日	(六三)
二十二日	(六四)
二十三日	(六五)
二十四日	(六六)
二十五日	(六七)
二十六日	(六八)
二十七日	(六九)
二十八日	(七〇)
二十九日	(七一)
三十日	(七二)
初一日	(七三)

二十三日.....(七四)

二十四日.....(七七)

二十五日.....(七八)

二十六日.....(七九)

二十七日.....(八〇)

二十八日.....(八一)

二十九日.....(八二)

三十日.....(八四)

四月

二十九日.....(一〇一)

十六日.....(一〇四)

十七日.....(一〇七)

十八日.....(一一〇)

十九日.....(一一〇)

二十日.....(一一〇)

二十一日.....(一一一)

二十二日.....(一一一)

二十三日.....(一一一)

二十四日.....(一一一)

二十五日.....(一一一)

二十六日.....(一一一)

二十七日.....(一一一)

二十八日.....(一一三)

二十九日.....(一一五)

三十日.....(一六)

六月

初一日.....(一一七)
初二日.....(一一八)

二十三日.....(九九)

二十四日.....(九八)

二十五日.....(九八)

二十六日.....(九七)

二十七日.....(九七)

二十八日.....(九八)

二十九日.....(九七)

三十日.....(九六)

三十一日.....(九五)

三十二日.....(九三)

三十三日.....(九二)

三十四日.....(九一)

三十五日.....(九一)

三十六日.....(九一)

三十七日.....(九一)

三十八日.....(九一)

初三日	(一一二)
初四日	(一三三)
初五日	(一五二)
初六日	(一三三)
初七日	(一一六)
初八日	(一一八)
初九日	(一三一)
初十日	(一三三)
十一日	(一三二)
十二日	(一三四)
十三日	(一三六)
十四日	(一三八)
十五日	(一三九)
十六日	(一三〇)
十七日	(一三八)
十八日	(一三九)
十九日	(一四一)
二十日	(一四二)
二十一日	(一四三)
二十二日	(一四六)
二十三日	(一四八)
二十四日	(一五一)
二十五日	(一五二)
二十六日	(一五二)

二十七日	(一五二)
二十八日	(一五一)
二十九日	(一五四)
初一日	(一五八)
初二日	(一六〇)
初三日	(一六一)
初四日	(一六二)
初五日	(一六四)
初六日	(一六四)
初七日	(一六四)
初八日	(一六五)
初九日	(一六九)
初十日	(一七四)
十一日	(一七四)
十二日	(一七七)
十三日	(一七七)
十四日	(一七八)
十五日	(一八〇)
十六日	(一八〇)
十七日	(一八〇)
十八日	(一八〇)
十九日	(一八〇)
二十日	(一八〇)
二十一日	(一八〇)
二十二日	(一八〇)
二十三日	(一八〇)
二十四日	(一八〇)
二十五日	(一八〇)
二十六日	(一八〇)

十一日	(一) (一四五)
十二日	(一) (一四五)
十三日	(一) (一五六)
十四日	(一) (一六)
十五日	(一) (一七八)
十六日	(一) (一九〇)
十七日	(一) (一九二)
十八日	(一) (一九三)
十九日	(一) (一九四)
二十日	(一) (一九七)
二十一日	(一) (一九七)
二十二日	(一) (一九七)
二十三日	(一) (一九八)
二十四日	(一) (一九九)
二十五日	(一) (一四〇)
二十六日	(一) (一四〇)
二十七日	(一) (一四〇)
二十八日	(一) (一四一)
二十九日	(一) (一四四)
三十日	(一) (一四八)
初一日	(一) (一四八)
初二日	(一) (一四八)
初三日	(一) (一四八)
初四日	(一) (一四八)
初五日	(一) (一四八)
初六日	(一) (一四八)
初七日	(一) (一四八)
初八日	(一) (一四八)
初九日	(一) (一四八)
初十日	(一) (一四八)
初十一日	(一) (一四八)
初十二日	(一) (一四八)
初十三日	(一) (一四八)
初十四日	(一) (一四八)
初十五日	(一) (一四八)
初十六日	(一) (一四八)
初十七日	(一) (一四八)
初十八日	(一) (一四八)
初十九日	(一) (一四八)
初二十日	(一) (一四八)
初廿一日	(一) (一四八)
初廿二日	(一) (一四八)
初廿三日	(一) (一四八)
初廿四日	(一) (一四八)
初廿五日	(一) (一四八)
初廿六日	(一) (一四八)
初廿七日	(一) (一四八)
初廿八日	(一) (一四八)
初廿九日	(一) (一四八)
初三十日	(一) (一四八)

初三日(一四九)
初四日(一四九)
初五日(一五〇)
初六日(一五一)
初七日(一五二)
初八日(一五四)
初九日(一六四)
初十日(一六五)
十一日(一六七)
十二日(一七一)
十三日(一七二)
十四日(一七四)
十五日(一七六)
十六日(一八一)
十七日(一八一)
十八日(一八四)
十九日(一八七)
二十日(一八九)
二十一日(一九一)
二十二日(一九一)
二十三日(一九四)
二十四日(一九四)
二十五日(一九五)
二十六日(一九九)

十月

初一日(三〇五)
初二日(三〇五)
初三日(三〇八)
初四日(三〇八)
初五日(三一七)
初六日(三一三)
初七日(三一四)
初八日(三一五)
初九日(三一六)
初十日(三一七)
十一日(三一八)
十二日(三一九)
十三日(三一九)
十四日(三一九)
十五日(三一九)

十一月

初一日	(甲子)
初二日	(甲戌)
初三日	(甲午)
初四日	(甲申)
初五日	(甲辰)
初六日	(甲寅)
初七日	(甲戌)
初八日	(甲午)
初九日	(甲子)
初十日	(甲戌)
十一日	(甲午)
十二日	(甲辰)
十三日	(甲寅)
十四日	(甲戌)
十五日	(甲午)

卷之三

乾隆五十三年歲次戊申二月初一日甲午

內閣奉

諭旨臺灣逆匪林爽文等糾眾滋事一案當起事

之初止係一時烏合因黃仕簡任承恩二人先後帶兵渡洋不能迅速剿捕一則安坐郡城一則株守鹿仔港彼此因循觀望以致賊勢蔓延日聚日衆因降旨將黃仕簡任承恩革職拿問

令李侍堯調任閩浙總督駐劄廈門而命常青為將軍帶兵前渡臺灣接辦軍務常青初到郡城時調度一切尚屬妥協但在彼株守半年仍未能督兵前進朕察其情形常青於剿捕機宜竟不能得有把握特諭令福康安前至熱河陞見面授方略令其前往督辦並令海蘭察為叅贊帶同巴圖魯侍衛章京等前往領兵剿捕福

康安等一抵鹿仔港即親統大兵直前進剿嘉義縣數月圍城應手而解並即乘勝攻破斗六門直擣大里杙賊巢所向克捷逆首林爽文勢窮力蹙逃竄內山經福康安等帶兵深入分據要隘四路截拿茲據福康安等奏正月初一日至各仔社一帶內山將奔逃賊匪痛加剿殺遂至打鐵藔炭窑等處悉力搜拿並派各營官兵在後壠竹塹等處密行分佈揀派巴圖魯侍衛二十員貴州廣東屯練兵數百名改裝易服同淡水義民及社丁等分投搜緝於初四日在老衢崎地方將逆首林爽文賊目何有志一同擒獲即日統率大兵廓清南路賊目莊大田可期迅速歲事等語覽奏欣慰福康安等自鹿仔港進兵後督率將弁奮勇攻剿連次克捷前於嘉

義縣破賊解圍業經降旨將福康安海蘭察普封公爵賞給紅寶石頂四圍龍褂以示優獎今逆首林爽文經福康安等設法生擒辦理周妥實為可嘉特親解御用佩囊二個分賜福康安海蘭察用昭恩眷所有在事出力之將弁並著福康安查明咨部議叙其隨征兵丁並著福康安分別獎賞至辦理此事朕先事運籌決機發策自逆匪滋事以來大學士阿桂留京辦事續又差往河工及江南勘河本未承辦書諭大學士和珅始終承旨書諭一切清漢事件鉅細無遺懋著勤勞自應特加優賞和珅本係一等男爵著照從前大學士張廷玉之例晉封三等伯爵大學士阿桂王杰尚書福長安董誥夙夜興寐一體宣勤俱著文部議叙其滿漢軍機章京

並著軍機大臣查明實在出力者著交部分別議叙至此次辦理軍務孫士毅以隣省總督一聞逆匪滋事之信即親赴潮州駐劄節次派調兵丁撥運車餉火藥鉛丸等項源源接濟迅速周安甚為出力孫士毅業經賜以官銜並賞戴雙眼花翎仍著照從前大學士蔣廷錫之例賞給輕車都尉世職以示嘉獎李侍堯自調任閩浙總督後於照料過兵及運送糧餉等事亦尚妥速本欲俟歲功之日將伊原襲伯爵給還但李侍堯前抵閩省已及一年於柴大紀在總兵任內骯法營私廢弛營伍種種貪劣欵蹟自己早有見聞乃竟緘默不言並不及早據實參奏經朕節次降旨詢問李侍堯始行具摺陳奏明係有心徇隱豈可再膺懋賞追伊業經賞戴雙

眼花翎加官銜已屬俸獲毋庸復行給還伯爵仍著交部照例議叙至柴大紀前因其固守嘉義不肯出城一節念其勤苦出力是以特封為義勇伯令據福康安李侍堯等先後遵旨查奏柴大紀在總兵任內貪劣各款俱已確實及守城亦非其功其前奏忍飢固守之處竟係義民等不肯放出伊轉捏詞欺飾已明降諭旨革職拿問交福康安逐款審明治罪矣至兵部承辦軍報之員外郎盛保在良鄉駐守迎候馳遞尚為奮勉本日擒渠捷報即係該員親自賚通著加恩賞戴花翎並在京捷報處各員俱著交部議叙又此次軍報往來直隸山東江蘇浙江福建沿途各驛站馳遞並無貽悞所有沿途督撫辦理一切軍需均屬出力及驛站遞送文報

之文武員弁並著查明交部分別議叙其驛站兵丁亦著酌量給賞朕於軍旅大事有功即賞有罪即罰務在嚴明即兵弁微勞亦必權衡悉當從不稍存成見現在軍務已屆歲功所有先機籌畫及前後辦理緣由並著通諭知之又奉諭旨宗室等東用黃帶示尊重也覺羅人等當東紅帶前已節經降旨禁止借用令見覺羅人等

帶色又漸似黃竟無所分別此斷不可著交宗人府八旗通行嚴禁覺羅等嗣後務遵原定顏色不可僭越濫用如再查出務將其人從重治罪是日太常寺奏本月二十八日清明致祭

永陵

福陵

昭陵一疏奉

諭旨

永陵遣福寧額行禮

福陵遣祿興行禮

昭陵連續恒行禮又吏部議山東巡撫長麟奏新泰

縣知縣員缺准以候補知縣陸鳴梧補授一

疏奉

諭旨陸鳴梧依議用餘依議又兵部議兩江總督李世傑奏江南川沙營參將員缺准以預保福山營遊擊穆爾松阿補授所遺員缺准以預保狼山鎮標左營都司何安邦補授一疏

奉

諭旨穆爾松阿等依議用餘依議是日吏部帶領

直隸總督劉峩等奏請陞署順天府南路同知之現任大興縣知縣汪應紹引

見奉

諭旨汪應紹著照該督等所請准其陞署南路同

知又帶領陝甘總督福康安奏請陞署安西州

直隸州知州之現任甘肅山丹縣知縣劉孟

魁引

見奉

諭旨劉孟魁著照該督所請准其陞署安西州直

隸州知州又帶領拿獲隣省盜首周起萬夥盜

曹友等二名奉

旨送部之安徽試用府經歷署壽州正陽鎮巡檢

宋思楷引

見奉

諭旨宋思楷著仍發原省以知縣用又帶領河東

河道總督蘭第錫等題

之署東曹

州府曹考通判白樹藩引

見奉

諭旨白樹藩著照該督等所請准其實授曹州府

員引

曹考通判是日正黃旗護軍統領奏補委署護

見奉

軍參領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨常保住著補授委署護軍參領又正紅旗護

員引

軍統領奏補委署護軍參領員缺帶領正陪

見奉

諭旨成棟著補授委署護軍參領

是日

起居注官王保王懿修

初二日乙未卯刻

上御乾清門聽政部院各衙門官員面奏並帶領

見奉

諭旨何明著補授委署護軍參領又鑲白旗護軍
統領奏補委署護軍參領員缺帶領正陪人

員引

諭旨善平著補授委署護軍參領又正藍旗護軍
統領奏補委署護軍參領員缺帶領正陪人

見奉

諭旨南春著補授委署護軍參領又鑲藍旗護軍
統領奏補委署護軍參領員缺帶領正陪人

員引

諭旨成棟著補授委署護軍參領

見奉

諭旨成棟著補授委署護軍參領

是日

起居注官王保王懿修

初二日乙未卯刻

上御乾清門聽政部院各衙門官員面奏並帶領

見奉

見畢大學士公阿桂大學士嵇璜大學士伯和珅

大學士王杰協辦大學士吏部尚書劉墉學

士阿肅扎勒翰胡高望張若渟以折本請

旨覆請吏部奏補內閣學士員缺將應陞人員開

列請

簡一疏

上曰保成補授內閣學士兼禮部侍郎又覆請吏

部奏補右春坊右中允員缺將應陞人員開

列請

簡一疏

上曰韋謙恒補授右春坊右中允又覆請吏部奏

補鴻臚寺少卿員缺將應陞人員開列請

簡一疏

上曰劉紹錦補授鴻臚寺少卿又覆請吏部議湖

廣總督舒常奏襄陽縣知縣員缺請以大治

縣知縣常丹葵調補查該員歷俸未滿與例

不符既經專摺奏請可否准其調補一疏

上曰常丹葵准其調補餘依議又覆請吏部議調

任兩江總督李世傑於例應斥革不准納贖

之革生李盛廷並不查明原案輒發司議贖

以致原控詹國楚藉端翻控照例降調無級

可降應行革任一疏

上曰李世傑著從寬免其革任仍註冊又覆請吏

部議福建巡撫徐嗣曾不派委妥員管押盜

犯以致脫逃遵

旨議處照例降調無級可降應行革任一疏

上曰徐嗣曾著從寬免其革任仍註冊餘依議又

覆請吏部議山東巡撫

長麟到任未久拿獲

積匪二十六名應准其加一級前任巡撫明

興在任多年於巨窩積棍肆竊多案不能飭

屬稽查應行革任一疏

上曰明興著暫行免其革任仍註冊長麟著加一

級又覆請刑部等衙門議直隸總督劉峩奏蔚

州民劉幅銀扎傷郭玘身死依律擬斬監候

查劉幅銀之母劉郭氏被郭玘毆打情劫救

護可否援例減等發落一疏

上曰劉幅銀從寬免死照例減等發落餘依議又

覆請刑部等衙門議直隸總督劉峩奏大名

縣民苗寬毆傷劉克敬身死依律擬斬監候

查劉克敬係在保辜限外身死可否援例減

等發落一疏

上曰苗寬毆傷劉克敬至保辜限外身死著從寬

免死照例減等發落餘依議又覆請刑部等衙

門議調任四川總督保寧奏什邡縣民劉沫

孝毆傷朱芝貴身死依律擬斬監候查朱芝

貴係在保辜限外身死可否援例減等發落

一疏

上曰劉沫孝毆傷朱芝貴至保辜限外身死著從

寬免死照例減等發落餘依議是日內閣奉

諭旨前年臺灣逆匪滋事黃仕簡帶兵前往剿捕

其時逆首林爽文不過與一二奸民糾合滋擾

若黃仕簡能督率弁兵實力搜捕無難即時撲

滅乃到臺灣以後惟知坐守郡城零星派撥逡

巡恆怯一籌莫展以致逆首輾轉糾集日久稽

誅是黃仕簡因循延玩貽悞事機核其情罪本

應按律正法但念伊祖父世

向來辦事尚屬奮勉此次帶兵渡海^濟_濟賄^賄_賄候^候_候究因老病昏憤尚非出於^{有心}_{無心}是以上年朝審勾到時從寬免其勾決至任承恩年力強壯非黃仕簡可比且伊係自行陳請前往臺灣剿捕逆匪更當倍加奮勉力圖自効乃亦安坐鹿仔港與黃仕簡互相觀望並不親臨行陣奮勇殺賊律以逗遛之罪亦應按律正法但念任承恩之父任舉前在金川出兵陣亡伊兄任承緒又因在京營供職救火傷斃父子皆屬歿於王事任承恩又現無子嗣若即行正法使捐軀効命之臣竟至絕嗣朕心實有不忍設使任承恩尚有子孫承祀斷不寬貸上年朝審勾到並經格外加恩免其一死但若仍令永禁囹圄則伊父任舉終不能有後殊非朕軫念勞臣之意現在

臺灣已屆歲事所有黃仕簡任承恩二犯俱著加恩釋放但伊二人身獲重愆經朕曲加矜宥全其軀命若仍覲顏安居輦轂之地有何面目對人俱著勒回原籍閉戶靜居思過以示法外施仁至意又奉

諭旨前因各省地方官建立生祠係屬陋習曾經降旨飭禁至臺灣此次逆匪滋事刦縣戕官肆行不法至一年之久福康安等帶兵渡洋旬月之間即將賊匪痛加殲戮擒渠各村莊得以安堵如舊該處地隔重洋五方雜處風俗素稱刁悍經此一番懲創若不明示威嚴恐民人等事過即忘不足令其怵目儆心常思安分畏法將來事竣後如福康安海蘭察及鄂輝普爾普舒亮等之勇畧最著者應於臺灣郡城及嘉

義縣兩處共建立生祠塑立像貌俾該處民人

俱着穿用四開氣袍又奉

諭旨彭元瑞著在紫禁城內騎馬是日兵部議河

南巡撫畢沅奏五十二年考察軍政年老官

正紅旗滿洲佐領塔納鑲黃旗滿洲防禦普

薩保正紅旗滿洲防禦吉爾彰阿等三員均

照例休致一疏奉

諭旨這考選軍政年老之塔納等着休致餘依議

李侍堯徐嗣曾著從寬免其交部至學政陸錫

熊考核教職是其專職軍務又非其承辦乃甄
別不及百之二三咎實難辭陸錫熊著文部議

處又奉

諭旨這考選軍政官員年老者著休致才力不及

者著降二級調用餘依議是日吏部帶領乾隆

五十二年十二月分月選官試掣禮部祠祭

諭旨福康安海蘭察生擒逆首林爽文甚屬可嘉
前已加恩將福康安海蘭察晉封公爵賞戴寶
石頂四圍龍補褂仍著加恩賞福康安海蘭察

司郎中毛鳳儀戶部河南司員外郎施奕學

貴州銅仁府知府沈丙湖南寶慶府知府王

汝恂安徽廬州府知府張華甫安徽滁州直

隸州知州善慶浙江溫州府通判富順廣西

思恩府通判馬東敏四川夔州府通判張紹

緒直隸慶雲縣知縣董作棟直隸懷來縣知

縣劉伯謙福建古田縣知縣謝賚山東鄆城

縣知縣謝最淳河南淇縣知縣龔鶴鳴山西

祁縣知縣葉中鯉湖北嘉魚縣知縣范澑浙

江西安寧縣知縣曠大望直隸阜城縣知縣續

俱揚河南延津縣知縣倪本秀山東蒲臺縣

知縣潘在渭廣西富川縣知縣黃復泰引

見奉

諭旨毛鳳儀等依擬用掣得山東鄆城縣知縣之

謝最淳著調補浙江西安縣知縣所遺員缺着

曠大望補授得河南淇縣知縣之龔鶴鳴著

調補延津縣知縣所遺員缺著倪本秀補授掣

得湖北嘉魚縣知縣之范澑著調補廣西富川

縣知縣所遺員缺著黃復泰補授餘依議又帶

領本年正月分月選官福建長樂縣知縣彭

如槐引

見奉

諭旨彭如槐依據用又帶領籤陞順天府霸州知

州戴治山東寧海州知州原敬德補行引

見奉

諭旨戴治等依擬用餘依議是日鑲藍旗滿洲都

統奏補世管佐領一摺奉

見奉

諭旨阿克東阿之世管佐領

藍旗蒙古都統奏補寧夏駐防佐領員缺帶

領正陪人員引

見奉

諭旨四達色著補授佐領自是日始

上以躬祀

社稷致齋三日

是日

起居注官玉保德昌陳嗣龍方焯

初三日丙申內閣奉

諭旨刑部尚書喀寧阿胡季堂著在紫禁城內騎

馬是日吏部議廣西巡撫孫永清於年終彙奏

事件並不自行承奏輒委暫護撫篆之藩司

陳奏遵

旨議處照例降調一疏奉

諭旨孫永清著改為降三級從寬留任又議前在

塔爾巴哈臺辦事大臣兵部尚書慶桂並未

將奎林性躁嗜酒據實參奏遵

旨議處應行革任一疏奉

諭旨慶桂著從寬免其革任仍註冊又兵部議護

送年班回子伯克等進京繞道耽延應將並

不查明預行奏報之陝西巡撫巴延三等照

例降調留任一疏奉

諭旨巴延三著降一級留任勒保著銷去隨帶加

一級免其降級恒通祥保俱著改為革職留任

是日兵部帶領題補甘肅西寧鎮標中營遊

擊蘭發甲甘肅提標左營遊擊吳繼盛浙江

撫標左營守備李兆魁引

見奉

諭旨蘭發甲准其補授甘肅西寧鎮標中營遊擊

吳繼盛准其補授甘肅提標左營守備俱著赴新任又

准其補授浙江撫標左營守備俱著赴新任又

帶領揀補陝西漢中城守營副將槐塔布引

見奉

諭旨陝西漢中城守營副將員缺著槐塔布補授

又帶領軍政卓異之直隸督標後營遊擊傳

成明新雄營都司綽奇督標後營千總安承

業引

見奉

諭旨傅承明綽奇安承業俱准其卓異註冊又帶

領親老告請來京送部引

見之原任貴州上江協副將全福引

見奉

諭旨全福著在頭等侍衛上行走又帶領失察西

洋人潛匿傳教議以降一級調用遵

旨送部之原任江西九江營副將劉文敏引

見奉

諭旨劉文敏著照部議所降之級從寬留任

是日

起居注官陳崇本圖敏

初四日丁酉卯刻

上御中和殿視祭

社稷祝版是日內閣奉

諭旨臺灣逆匪林爽文等糾衆滋事一案現已生

擒逆首克期歲功此事自常青接辦後株守郡
城已及半載朕料必非常情所能辦理完結是
以預令福康安前赴熱河

速往臺灣

督辦並先機籌畫調撥四川屯練及湖南貴州

官兵六千陸續進發福康安於本到鹿仔港之

前各省官兵已先後雲集福康安統領渡洋奮

勇進剿用能破賊解圍所向克捷自月之間掃

穴擒渠辦理迅速福康安調度有方用心周密

真能不負任使全朕用人頗面朕心深為嘉許

已疊沛殊恩酬庸懋獎惟福康安以覆奏恒瑞

一事有心袒護親戚節經降旨嚴飭恒瑞前經
常青派令帶兵援應嘉義縣城並不能打通道
路攻透賊圍惟駐兵鹽水港遷延觀望轉藉口
賊多兵少張大其辭奏稱必須添兵六七萬方
可集事彼時朕洞燭機宜以其言必不可信若
明發旨必致搖惑軍心是以祇將恒瑞嚴行申
飭並諭令福康安不可為其所惑速渡鹿仔港

直前進剿現在福康安等攻破賊巢擒獲逆首

所用官兵止係屯練及黔楚官兵數千即已迅

速集事又何嘗需用多兵設如恒瑞所言必須

添調六七萬則隣近省分官兵俱經派調若再

於他省徵發不獨遠近騷擾且行走配渡需時

目下尚不能全數到彼伊等在彼守候日事因

循或致臺灣全郡竟為林爽文所陷尚復成何

事體且當賊匪肆擾之時恒瑞為此張皇失措
之語綠營弁兵素為恠怯倘為其言所惑必致
衆心搖動關係不小若律以搖惑軍心之罪即
當照律正法豈可復留軍營是以屢經降旨將
恒瑞革去將軍令其來京候旨乃福康安節次
奏報之摺尚曲為庇護將恒瑞聯罵銜名又屢
次聲叙恒瑞帶兵打仗以見其出力為卻過邀

功地步已明降諭旨將福康安嚴飭討彼時自當早已接奉乃福康安昨日奏到生擒逆首摺內尚將恒瑞露名非有心袒護親戚而何恒瑞妄言惑聽之罪若在他人必應按律即行正法特念伊係宗室又年少未嘗更事姑援議親之條稍為寬宥恒瑞到京訊明後即著發往伊犁効力贖罪至福康安袒護恒瑞一事其咎甚重

將數萬生靈付之賊手惟忍饑固守以待援應如此忠義激發之言不獨綠營鎮將中少有即求之古名將亦罕其匹朕覽其摺奏為之墮淚是以破格加恩封以伯爵並賞給銀一萬兩嗣經福康安等查明柴大紀在任貪縱營私廢弛貽悞以及畏懼不帶兵殺賊各款俱屬確實則前奏忍饑待援不忍出城之語竟係義民不肯將伊放出又復捏詞巧飾并城守亦非其功是柴大紀既貪縱釀變于前復狡詐欺罔于後其次接奉諭旨不肯出城一節自係因郝壯猷倍加儆省益矢公慎勿謂此等伎倆可屢於朕前嘗試也至柴大紀前在嘉義縣防守時賊匪屢次滋擾經朕諭令柴大紀如力不能支不妨保護義民全師而出而柴大紀覆奏摺稱不忍理則柴大紀身染綠營習氣怯懦未必不

為郝壯猷之續令既查明禁大絕種種劣蹟自應徹底嚴辦昨已明降諭旨將伊革職拿問交與福康安嚴審定擬具奏矣朕于臣下功罪惟視其人之自取卷秉大公至正而于用兵之際有功即賞有罪即罰尤務嚴明從不絲毫假借至朕辦理軍務宵旰焦勞從前平定準部回部大小金川無不炳燭樂先預操成筭此次林爽

有功即賞有罪即罰尤務嚴明從不絲毫假借

減半坐扣一摺奉

諭旨據鑲紅旗滿洲具奏修理各營軍器動用銀兩由部四次核減原任遊擊德明名下擬賠銀

四百二十餘兩請于德明馬甲錢糧減半坐扣歸欵但此項擬賠銀兩並非德明肥已之項既係由部核減分賠之銀施恩免賠不必扣德明馬甲錢糧又正黃旗滿洲都統奏補印務章京員缺帶領正陪人員引

天凝命之念孜孜弗懈是以仰邀
昊眷尅期奏績逆首生擒即如恒瑞妄請添兵數萬
一摺設不即斷以乾綱如宋明庸主遇事輒令
廷臣聚議衆論紛紜迄無定見徵調驛騷漫不

濟急寧不如金世宗所云南朝集議既成北兵

諭旨恒明著補授印務章京

奏補印務章京

見奉

已可渡河之語其何以握勝算而奏鴻捷耶著將前後辦理緣由再行通諭中外知之是日鑲

紅旗滿洲都統奏馬甲德明前在甘肅遊擊

任內應賠修理軍器核減銀兩請於餉銀內

缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨皂明保之勲舊佐領著西猛額又帶領

因病回旗之西安城守營參將西猛額引

見奉

諭旨西猛額以副護軍參領用又正黃旗漢軍都

統奏補副參領各缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨黃錕著補授副參領趙文興著補授公中佐

領又鑲藍旗漢軍都統奏補公中佐領員缺帶

領揀選人員引

見奉

諭旨額爾謹著補授公中佐領

是日

起居注官吳璥德冒塘五珠曹城

初五日戊戌寅刻

上詣

社稷壇行禮是日內閣奉

諭旨據福康安奏貴州古州鎮標都司朱化英千

總陳汝志等帶領兵丁配船渡洋於上年十一
月二十五日被風吹回金門鎮地方擊碎船隻

淹斃都司朱化英千總陳汝志并兵丁六十名

其餘弁兵扶板漂流登岸配船另渡現在已到
軍營等語向來官兵巡洋遇風淹斃俱照陣亡
例議卹今都司朱化英千總陳汝志及隨行兵
丁等調赴臺灣征剿逆匪渡洋遇風以致淹斃
多人尤堪憫惻著交部俱照陣亡例從優議卹
其扶板得生之外委顧太歲胡天祥以及兵丁

等並著福康安照落水得生之例從優給賞以示軫卹摺併發又奉

諭旨此次福康安等統率官兵前往臺灣剿捕逆匪未及兩月即將首逆林爽文生擒解京大功指日告竣固由福康安等調度有方所向克捷而將弁兵丁隨同剿捕亦俱爭先効命用能掃逆擒渠妥速集事殊屬可嘉前已有旨令福康

安查明咨部議叙本日據福康安奏請將出力之侍衛章京將弁等分別賞給巴圖魯名號及加陞職銜翎頂業降清字諭旨照所請行其餘將弁等仍著福康安查明咨部一併議叙兵丁等優加賞賚以示朕獎勸或行有加無已至意所有福康安等奏到軍務情形各摺俱著發批

又奉

諭旨據福康安奏常青雖年逾七旬不能剿滅賊匪但在郡城帶兵防守尚屬貽勉今蒙恩補授福州將軍尚可期駕輕就熟等語常青帶兵在郡城雖未能肅清南路但伊在閩年久於該處情形熟悉而鄂輝亦熟於川省情形是以仍將鄂輝調回成都常青補放福州將軍乃常青於柴大紀骯法營私各款並不據實參奏伊在閩浙總督任內已經年餘帶兵渡洋前抵臺灣郡城後又及半載柴大紀種種劣跡伊寧得諉為不知即云彼時柴大紀在嘉義縣帶兵防守軍務緊要未便遽行參辦另換生手亦應將柴大紀平日款蹟並此情節據實密陳並聲明此時不便易將俟軍務完竣再行查辦方為正理何以常青從無一字奏及是

置辨此不似福康安看顧恒瑞之事而已也是
以明降諭旨將常青革職交福康安審訊著福
康安遵照前旨並此節向常青嚴切訊問令其
明白登答據實覆奏又奉

諭旨據福康安等奏稱官兵追捕逆匪賊首林興
文於內山有奮勇出力人等請分別施恩等語
此次官兵追捕賊首林興文等深入內山即將
潛逸賊衆盡力殲殺又將首逆生擒實屬可嘉
所有奮勉出力人等即照福康安等所奏三等
侍衛阿哈保賞給施特紅阿巴圖魯副前鋒參
領德楞泰賞給西朗阿巴圖魯黑龍江驍騎校
博多果爾賞給特克申巴圖魯四川遊擊張威
賞給奮圖爾巴圖魯詹魁賞給固尼杭阿巴圖
魯廣東守備李字常賞給恩徹亨巴圖魯番子
番子委署守備扎爾圖魯番子千

委署守備扎克塔爾賞給永強阿巴圖魯番子
委署守備巴爾坦握傑賞給塔思哈達克丹巴
圖魯等名號仍照例每人各賞給銀一百兩前
鋒侍衛炎金保三等侍衛薩音庫敦保巴炎泰
護軍校穆爾泰等五人各陞一等騎都尉那丹
保雲騎尉諾托保貢楚克扎布藍翎侍衛察漢
等四人俱著授為三等侍衛親軍朝爾歡領催
靈善等二人著授為藍翎侍衛福州協領色布
星額廣州防禦王宗範貴州副將代德福建副
將格絅額遊擊魯安邦四川都司劉懷仁福建
都司馬元薰四川守備田詹魁廣西守備劉英
玉成都驍騎校蘇爾方阿土練委署都司庫色
爾傑龍贊阿甲策旺土練守備拉爾傑甲噶爾
番子委署守備綽窩思甲德爾金布木番子千

總僧格色爾傑綽窩思甲等三十二人俱著賞
戴孔雀翎黑龍江驍騎校達恩虎爾岱對窪耐
昂克善福成都護軍校青靈杭州前鋒珠嚕訥
福建守備常萬雄四川千總李卿魁豐吉王四
川把總普尚賢四川外委把總英元寬貴州千
總袁斌把總楊西品委署把總魯英朝兵丁炎
德豐劉貴林廣東千總李正光把總黃公烈蔡
裕峻廣西把總譚吉魁謝天瑞福建千總伍智
豐把總姜靈甘肅兵丁馬德健銳營番子馬甲
奔布阿什哈綽窩思解土練委署都司阿查守
備南布木番子守備永忠土練委署守備克什
甲尚扎朋薩木喀爾伯爾塔爾衣噶特布砂哈
額爾魁舒土練委署千總蒙塞外委把總穆爾
濟番子委署守備嘉洛千總色郎永忠阿庫阿

伸仁青布木那木解把總楊忠伸達爾解出窪
仁扎爾解責菜那郎仁青五貴爾僧格等五十
二人俱賞戴藍翎隨從官兵打仗奮勇之額魯
特跟役瑪木善圖爾滾跟役鄂爾哲巴桑達春
達海等五人著加恩照例分入蒙古旗內以護
軍前鋒補用再前因盜馬發往察哈爾之蒙古
坦巴喀爾沁蒙古班達爾什亦皆隨從官兵奮
勇打仗著施恩將坦巴班達爾什之罪寬免俟
凱旋時將伊等帶來送於各本遊牧以示鼓勵
是日

初六日巳亥卯刻

上御文華殿舉經筵禮講官惠齡謝墉進講大學
安而後能慮慮而後能禦二同賜勳

躍雲進講書經明作有功惇大成裕二句畢

上論大學曰朱子解此以為靜心說安就身說

夫靜就心說是矣安就身說予以為就意說非

就身說也夫不云欲正其心者先誠其意乎蓋

靜在心而動在意由靜而動則心正而意誠意

誠則安也由是而慮則知致而物格內外交養

本末兼施胥止至善之道也是故正心誠意為

聖經之關鍵心靜不可見意動有所施施出於誠則修身齊家治國皆由是而推而明明德於天下矣其所得不已多乎又

論書經曰周公訓成王此二語不惟為政之方抑

亦修身之要也蓋明作乃施為之末惇大則涵

養之本施為而不出於明作則涉暗而終怠矣

涵養而不出於惇大則近逸而寡為矣為學為

政內聖外王胥不外乎此而其有功成裕固其自致之效而非預期於其間也是則周公之意豈徒訓王以用其舊臣乎大學士公阿桂大學士嵇璜奏曰欽惟

皇上聰明時人容保无疆秉

生知之質而有感即通裕率作之原而省成彌慎

洵所謂從容中道廣大宜民者矣臣等幸侍

講筵親承

聖訓曷勝悅服之至禮卑

御文淵閣

賜講官及聽講諸臣茶復

賜宴於文華門之

本仁殿工歌

欽定新譜抑戒詩章

駕幸圓明園

是日

起居注官鐵保陳崇本圖敏陳嗣龍

初七日庚子內閣奉

諭旨調任貴州糧道王鳳儀在川年久熟習該省情形著調補四川永寧道孫曰秉即著調補貴

州糧道又奉

諭旨劉義奏請將鉅鹿縣令沈長春陞署大興縣令一摺已批交該部議奏矣大興係京畿首邑屬順天府所轄該督既揀員陞署自應會同該府尹聯銜具奏方為允協因飭查吏部舊例向來由直隸所屬各府人員陞調至順天府屬者本係督臣主稿會同順天府尹聯銜題奏經袁守侗條奏順天府屬人員陞調直隸各屬者會

奉

同府尹題奏而直隸各屬陞調至順天府屬者則由督臣單銜題奏劉義此次揀員陞署大興令雖係循照此例辦理但向來順天府屬各廳州縣大率趨承總督而於府尹雖名為上司未免心存歧視且府尹本非總督屬官其體統與巡撫相等並經朕特派尚書侍郎兼攝若遇該府尹所轄題陞調補之事該督竟不關會則府尹竟成虛設於事理究屬未協嗣後順天府所屬各廳州縣遇有陞調隔屬及由隔屬陞調順天府屬者俱著該督會商府尹聯銜具奏以符體制是日吏部議

欽差侍郎惠齡奏直隸總督劉義於承修永定河堤工不能妥為籌辦應照例降級留住一疏

諭旨劉義著降二級留任

是日

起居注官吳璇德昌

初八日辛丑內閣奉

諭旨前據福康安奏調赴臺灣協剿之貴州古州

鎮標都司朱化英等帶領兵丁配船渡洋被風

吹回擊碎船隻淹斃都司朱化英千總陳汝志

並兵丁六十餘名已降旨將該員弁兵丁俱照

陣亡例從優議卹第念黔首官兵向來打仗甚

為得力今調赴臺灣協剿遭風淹斃官兵共六

十餘名之多實堪憫惻除官兵交部議卹外此

內兵丁原賴名糧以養家口茲雖得邀優賞而

糧缺業經空出其家內養贍無資生計不免拮

据著再加恩交該督撫即查明被淹兵丁係馬

戰步守何項額缺即照其原缺將伊子孫挑補

如無子嗣者即於弟姪內揀選挑補若係餘丁

亦即挑補守兵俾資養贍以示朕軫卹戎行有

加無已至意又奉

諭旨河南布政使員缺著景安補授又奉

一諭旨舒瀛著補授伊犁參贊大臣馳驛前往協同

保寧辦事是日吏部奏刑部江蘓司主事員缺

將提牢期滿之額外主事胡鈞璜補授一疏

奉

諭旨胡鈞璜依議用又奏補內閣中書員缺帶領

候補中書吳鼎颺引

見奉

諭旨內閣中書員缺著吳鼎颺補授又帶領江西

巡撫何裕城等奏請陞署贛州府定南廳同

知之現任新建縣知縣雷汾清引

見奉

諭旨雷汾清著照該撫所請准其陞署贛州府定

南廳同知又帶領揀補兩淮餘西場大使之候

補鹽大使安維欽引

見奉

諭旨兩淮餘西場大使員缺著安維欽補授又帶

領揀補兩浙杜瀆場鹽大使之候補鹽大使

林維錦引

見奉

諭旨兩浙杜瀆場鹽大使員缺著林維錦補授

是日

起居注官茅元銘塘五珠

初九日壬寅

上詣靜明園龍王廟 仁育宮拈香是日內閣奉

諭旨前據海祿參奏奎林任性乖張毀棄神像辱

罵職官非刑致斃罪人及聽情得受造犯高姓

銀二千兩縱令回籍又於哈薩克市易羊隻採

買布疋濫受餘價銀三千兩各款朕以奎林受

恩深重身為將軍大員乃率意妄行甚至聽情

受賄侵蝕價銀殊堪駭異而海祿所參各款詢

之伊犁回京人員已有數款指實遂深惡奎林

曾面諭軍機大臣等若審明奎林贓款屬實必將

奎林即行正法斷不肯因其係孝賢皇后之內

姪稍為寬宥因降旨將奎林革職拿問並諭令

永鐸海祿等訪查奎林有無別項款蹟續行參

奏嗣據永鐸查奏奎林為人倨傲嗜酒性情躁

急實所不免其原參內誤譖神像及將罪犯斷

折手足拋入河內並用重枷斂斃等款奎林曾有是事俱尚為整飭地方懲治流弊起見於

得受遣犯賊銀侵用布疋餘餉銀兩及緘言署罵職官實無其事並據該處領隊大臣等僉稱奎林平日並無向各營索取銀物之事惟海祿曾向額魯特總管私行換馬一百餘匹而海祿續奏奎林之摺於原奏款蹟語涉含糊挽回已

屬自相矛盾現在奎林業經解到海祿率領干証各員業已來京特命諸皇子軍機大臣會同刑部將各款逐一研訊並令海祿與奎林當面質對據奎林供認毀棄神像致死有罪遣犯等款屬實其罰出高姓銀兩及將布疋買換羊隻餘價俱屬留充公用修補城署添買馬匹等項皆有經手官員冊案可憑質之干証各員確鑿

有據即詢之海祿亦不能指出奎林絲毫入己款蹟其為挾嫌誣捏情節顯然茲軍機大臣會同該部定擬具奏將奎林照擅殺罪人律問擬滿杖海祿照誣告人死罪未決律問擬杖流固屬按律辦理但海祿係原參之人今所擬罪名較奎林為重恐外間無識之徒以朕於奎林因係孝賢皇后之姪有所偏倚而承審之大臣等有與奎林熟視且不無心存迎合因將奎林曲為寬縱而於海祿有意從嚴或致妄生議論自應將奎林海祿二人一律定擬以示平允因念伊二人曾帶兵出力尚屬有用之才不忍令其終於廢棄但奎林乖張任性豈可復任將軍海祿如此居心亦不復膺參贊之任除奎林業經革職外海祿著革職免其杖流俱罰令在上虞

備用處拜唐阿上効力行走以贖前愆而觀後

效伊等當差如果勤勉出力將來尚可加恩酌

量棄瑕錄用或令隨園約束兵丁可資得力奎

林海祿二人當倍加感愧痛改前非無負朕格

外務全至意敦珠克著枷號三個月滿日發往

庫倫交與雲端多爾濟松筠差遣効力贖罪餘

著依議行據前此案原參及查奏各摺俱著譯

漢發抄並通諭知之是日太常寺奏本月二十

八日清明致祭

昭西陵一疏奉

諭旨遣弘鑑行禮又奏致祭

孝陵一疏奉

諭旨遣亮煥行禮又奏致祭

孝東陵一疏奉

諭旨遣弘謙行禮又奏致祭

景陵一疏奉

諭旨遣永璽行禮又奏致祭

泰陵一疏奉

諭旨遣永璽行禮又奏致祭

泰東陵一疏奉

諭旨遣永璘行禮又奏致祭

孝賢皇后陵寢一疏奉

諭旨遣永琰行禮又奏致祭

端慧太子園寢一疏奉

諭旨遣綿億行禮又兵部議兩廣總督孫士毅奏

廣東廣州協右營守備員缺准以廣東雷瓊

鎮標右營守備朱朝振調補一疏奉

諭旨朱朝振依議調補餘依議

是日

起居注官嵩貴陳嗣龍

初十日癸卯內閣奉

諭旨和碩莊親王永瑞為朕姪輩備位親藩並在

內廷行走多年小心謹慎夙夜在公派管宗人

府及都統事務辦理均屬妥協克勤厥職前以

患病請假即遣御醫診視並屢派御前侍衛豐

伸濟倫前往者視諭令安心靜養以冀速痊茲

聞亮逝深為軫惻著派皇十七子前往奠餽並

命皇孫綿志綿懃穿孝前已賞給陀羅被著再加

恩賞給內庫銀三千兩經理喪事所有一切喪

儀及飾終典禮各該衙門察例具奏又奉

諭旨河南按察使員缺著陳奉茲調補所有四川

按察使員缺著和寧補授是日兵部議閩浙總

督李侍堯奏浙江錢塘水師營都司員缺准
以溫州鎮標中營守備周一雷補授一疏奉
諭旨周一雷依議用餘依議又刑部等衙門議浙
江巡撫琅玕奏天台縣民樓紅遠毆傷樓叔
士身死依律擬絞監候查樓叔士係在保辜
限外身死可否援例減等發落一疏奉

諭旨樓紅遠毆傷樓叔士至保辜限外身死著從
寬免死照例減等發落餘依議是日正藍旗滿
洲都統奏補世管佐領員缺帶領正陪人員

見奉
引
管佐領著格絅額承襲

諭旨圖善之世管佐領著永祿承襲和順武之世

是日

起居注官玉保曹城

十一日甲辰內閣奉

諭旨李錫命著以遊擊用又帶領分別都司守備
用之漢藍翎侍衛岳廷極引

諭旨安徽廬鳳道員缺著述德調補所有甘肅安

肅道員缺著崇德補授又奉

諭旨正紅旗滿洲都統員缺著福長安調補所遺

鑲紅旗蒙古都統員缺著舒亮補授舒亮所遺

正黃旗護軍統領員缺著愛興阿補授仍著署

二十六日

孝昭仁皇后忌辰致祭

景陵一疏奉

諭旨遣弘謙行禮是日兵部帶領分別參將遊擊

用之漢二等侍衛李錫命引

見奉

見奉

諭旨岳廷極著以都司用又帶領推陞山西山陰

路都司甘維榮引

見奉

諭旨甘維榮准其陞用山西山陰路都司著赴新

任又帶領題補江西袁州衛守備竇永魁引

見奉

諭旨竇永魁准其補授江西袁州衛守備著赴新

任又帶領軍政卓異之山東撫標左營守備王

國斌引

見奉

諭旨王國斌准其卓異註冊又帶領揀補直隸滿

水崖都司之鑲紅旗滿洲委署烏館護軍參

領沃什渾捕盜步軍校按住引

見奉

諭旨直隸滴水崖都司員缺著沃什渾補授又帶

領保送邊俸俸滿之貴州長壩營遊擊升九

叙引

見奉

諭旨升九叙著回任候陞又帶領預行保舉之江

南鹽城營水師守備唐國泰引

見奉

諭旨唐國泰准其預保註冊是日正紅旗蒙古都

統奏補印務章京員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨皂君保著補授印務章京又正白旗護軍統

領奏補護軍參領員缺帶領揀選人員引

見奉

諭旨保興著補授護軍參領又鑲紅旗護軍統領

奏補副護軍參領員缺帶領揀選人員引

見奉

諭旨富斌著補授副護軍參領

是日

起居注官錢保方煒

十二日乙巳內閣奉

諭旨舒亮所遺鑲黃旗滿洲副都統員缺著吉慶

調補又奉

諭旨吉慶所遺鑲白旗蒙古副都統員缺著保成

補授是日吏部議失察書吏李炳監用印信之

禮部堂司各官照例降調革任一疏內閣奉

諭旨德保達椿德明俱著從寬免其革任仍註冊

藍應元著銷去隨帶加一級謝墉著銷去加一級俱免其降調餘依議又兵部奏貴州銅仁協

副將右營遊擊中軍守備員缺擬以直隸磁州汎千總王世英遞陞廣西左江鎮標右營

都司中軍守備員缺擬以直隸多倫諾爾千

總麻鐸遞陞山東登州鎮標中營遊擊中軍

守備員缺擬以山東東昌營千總孫天墀遞

陞貴州提標後營遊擊中軍守備員缺擬以四川成都城守左營千總彭忠林遞陞一疏

奉

諭旨王世英等依擬用餘依議又刑部等衙門議

福建巡撫徐嗣曾奏龍溪縣民劉灣等截傷

劉汎身死依律擬絞監候查劉汎係在保辜

限外身死可否援例減等發落一疏奉

諭旨劉灣截傷劉汎至保辜限外身死著從寬免

死照例減等發落餘依議是日吏部帶領江南

河道總督李奉翰等奏請實授之現署江蘇

揚州府江防河務同知張耿光引

見奉

諭旨張耿光著照該督等所請准其實授又帶領

失察西洋人潛住傳教照例降調遵

旨送部之原任甘肅吐魯番同知富昇引

見奉

諭旨富昇著發往甘肅以通判用又帶領承審陸

光榮身死一案遲逾二年分限照例革職遵

旨送部之原任浙江會稽縣知縣鍾德溥引

見奉

諭旨鍾德溥著發往浙江以

知縣用其草職之榮

帶於新任

是日

起居注官葉觀國圖敏

十三日丙午內閣奉

諭旨據明興參奏徐溝縣知縣林琅奉因縣民程

瑣等開設斗行聽信牛建奎王敦教唆希圖蠱

斷私將在城集場於四閭輪流移設經該縣查

禁程瑣等抗不遵依又赴院司呈控當經批飭

該府查明將程瑣等問擬杖責枷示該縣奉文

差傳程瑣等當堂發落乃牛建奎王敦挺身抗

拒頂撞咆哮該縣將牛建奎等均重責四十板

牛建奎王敦先後身故請將林琅奉革職審訊

等語此案牛建奎王敦如果教唆程瑣移設集

場壘斷牟利經該縣查禁既抗不遵依轉赴院

司呈控及經該撫查明按律科罪該縣林琅奉

奉文發落牛建奎等又復頂撞抗官林琅奉板

責懲治係屬以法決罰尚非任性酷刑者可比

不過予以降調亦足蔽辜若將該縣革職治罪

轉足以長刁風倘林琅奉因勒索不遂扶嫗重

責以致連斃二命則其罪竟應問擬抵償不止

於革審而已且咆哮挺撞之態亦不可不審究

得實以成信讞明興人本平庸而所奏又未明

晰此事料非該撫所能辦理著派侍郎海寧帶

同刑部員外郎王士棻馳驛前往提集案內有

名人犯及林琅奉秉公嚴審定擬具奏是日吏

部議失察盜船出入口岸之奸南海門廳告

病同知楊燦等照例降調一疏奉

諭旨依議其因失察盜船議以降級用之楊燦俟

病痊之日著本籍督撫查照原咨考語送部引

見又兵部奏廣西慶遠協副將員缺准以候補

副將劉景昌擬補一疏奉

諭旨劉景昌補授廣西慶遠協副將員缺准以候補

御史永清等奏現奉

特旨派赴通州抽查漕糧請

賞給關防並於順天府屬添撥幹役一摺奉

諭旨所奏是順天府尹吳省欽現在並無應辦緊

要事件著即帶領員役不時前往會同該御史

抽查

是日

起居注官平恕德昌

十四日未

上詣安佑宮行禮是日內閣奉

諭旨浙江提督員缺著許世亨補授是日吏部議

三通館承辦書籍錯誤之纂修吳璥等照例

罰俸一疏奉

諭旨吳璥王錫奎俱著銷去紀錄一次仍罰俸六

個月王坦修著銷去紀錄二次免其罰俸餘依

議又議遞送閩省緊急軍報誤用紅旗應將不

能查出之浙江按察使歸景熙等照例降調

一疏奉

諭旨歸景熙著銷去加一級免其降調琅玕著銷

去加一級免其降級餘依議又兵部議署陝甘

總督勒保奏甘肅瑪納斯協右營守備員缺

准以預保千總善豐阿補授一疏奉

諭旨善豐阿依議用餘依議

都察院奏請

欽點巡視北城事務帶領科道各員引

見奉

諭旨巡視北城事務著丁雲錦去是日鑲黃旗滿洲都統奏補勲舊佐領員缺帶領正陪人員

引

見奉

諭旨博爾宏渥勲舊佐領著德存補授

是日

起居注官陸伯焜德昌

十五日戊申吏部議直隸總督劉峩奏鹽山

縣知縣員缺請以本鄉縣知縣孫麗京調補

查該員歷俸未滿與例不符既經專摺奏請

可否准其調補一疏內閣奉

諭旨孫麗京准其調補餘依議又兵部議閩浙總

督李侍堯奏福建陸路提標中營守備員缺准以詔安營千總方崑陞補一疏奉

諭旨方崑依議用餘依議又議江南河道總督李奉翰奏高堰河營守備郭燦准與山清裡河營守備周永對調一疏奉

諭旨郭燦等依議調補餘依議是日兵部帶領歷

俸未滿奏署漕標中軍副將五十三引

見奉

諭旨五十三准其陞署漕標中軍副將著赴新任

俟扣滿年限題請實授是日正白旗滿洲都統

奏補勲舊佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨富桑阿勲舊佐領著勝德家慶又奏補公中

佐領員缺帶領揀選人員引

見奉

諭旨富昌著補授公中佐領

是日

起居注官嵩貴王懿修

乾隆五十三年歲次戊申

四月廿二日己酉

內閣奉

諭旨據舒亮奏押解賊匪內有賊黨林大因病已

經正法由六百里馳奏等語昨據伊奏到將夥賊林饒已經正法之處即將伊飭行矣此林大亦屬無關緊要之賊黨乃又由六百里馳奏殊

屬不曉事體近因念其奮勉始補授都統伊竟

如此糊塗都統之事若皆如此辦理必致不妥

舒亮著再行申飭外其鑲紅旗蒙古都統員缺

著明亮補授舒亮仍著留正黃旗護軍統領愛興阿著坐補正紅旗護軍統領是日太常寺奏

本月二十四日祭

歷代帝王廟一疏內閣奉

諭旨遣雅朗阿行禮兩廡遣扎朗阿諾穆親達撫

巴彥學各分獻又吏部議湖南巡撫浦霖奏署
郴州直隸州知州李之栻試俸期滿准實授
一疏奉

諭旨李之栻依議用餘依議又議貴州巡撫李慶
棻等奏以直隸州知州借署安順府歸化通

判福彰阿試俸期滿准實授一疏奉

諭旨福彰阿依議用餘依議又兵部奏湖南沅州

協中軍都司員缺擬以湖廣提標右營守備
李朝瑞掣補一疏奉

諭旨李朝瑞依擬用餘依議又議雲貴總督富綱
奏雲南鎮雄營右軍守備員缺准以臨元鎮
標中營守備范從志調補一疏奉

諭旨范從志依議調補餘依議又議江南河道總
督李奉翰奏桃源安清中河營守備員缺准

以宿遷北岸河營千總李庭隆陞補一疏奉

諭旨李庭隆依議用餘依議是日正紅旗滿洲都

統奏補印務章京員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨塔克興阿著補授印務章京又正紅旗漢軍

都統奏補參領各缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨白國祿著補授參領張文翰著補授副參領

楊澍增著補授印務章京劉文鑄羅繼謹俱著

補授公中佐領

是日

起居注官王保陳崇本

十七日庚戌內閣奉

諭旨貴州威寧鎮總兵員缺著七格補授又奉

諭旨那延泰前在鑲藍旗蒙古都統任內辦理不

妥病故後追治其罪將官銜俱已革去但那延

泰効力多年且今伊子惠齡尚知奮勉著加恩

將那延泰原有官銜俱著賞復是日太常寺奏

三月初一日致祭

先農壇一疏奉

諭旨遣永琅行禮又吏部議失察所屬重犯越獄

脫逃之福建巡撫徐嗣曾等遵

旨議處照例降革一疏奉

諭旨徐嗣曾著降一級留任餘依議又議直隸承

緝盜案四叅不獲之灤州知州劉樹坊照例

降調一疏奉

諭旨依議其因承緝盜案四叅不力議以降調之

劉樹坊著該督出具考語送部引見再降諭旨

又戶部奏請

讀員缺帶領中書張姚成等引

欽點左翼監督一疏奉

諭旨著鄂爾哲特穆爾額爾克巴拜去餘依議又

禮部議福建巡撫徐嗣曾奏莆田縣捐職州

同游東昇之妻朱氏現年一百二歲准照例

給銀建坊一疏奉

諭旨依議朱氏著加恩賞給上用緞一疋銀十兩

又兵部議調任兩江總督李世傑奏江南吳

淞營守備員缺准以本營千總鞠應蛟陞補

一疏奉

諭旨鞠應蛟依議用餘依議又議前任四川總督

保寧奏會營遊擊員缺准以陞銜留任阜

和協右營都司張維陞補一疏奉

諭旨張維依議用餘依議是日吏部奏補內閣侍

見奉

諭旨內閣漢侍讀員缺著擬正之張姚成補授又

奏補湖廣道監察御史員缺帶領原任掌江

南道監察御史喻升階引

見奉

諭旨湖廣道監察御史員缺著喻升階補授又帶

領山東巡撫長麟奏請陞補齊河縣知縣之

現任膠州州同李士勲引

見奉

諭旨李士勲著照該撫所請准其陞補齊河縣知

縣又帶領失察僧人抄傳護身榜文及未完鹽

引五分以上照例降調之原任廣西臨桂縣

知縣黃大鵬引

見奉

諭旨黃大鵬著仍發往廣西知縣用其鹽課未完降級之案帶於新任失察邪教降級之案改為革職留任八年無過開復

是日

起居注官鐵保吳璥

十八日辛亥

上幸天津自西南門啟鑾

駕至泉宗廟拈香是日內閣奉

諭旨朕此次巡幸天津閱視河工所有經過地方及天津閩府所屬本年應徵錢糧着蠲免十分

之三又奉

諭旨此次巡幸天津閱視河工曾經諭令該督祇須于舊有行館畧事掃除毋得踵事增華致滋

繁費但念前次癸巳歲巡蹕經臨迄今十有餘

載淀河行宮瀕水易于滲圮修葺粘補不無需費前次巡幸五臺曾經賞給直隸省銀九萬三千兩留為地方公用今著即于此項銀內撥銀八萬兩加恩賞給以示體卹是日宗人府奏盛京將軍內大臣奉恩輔國公永璋病故照例給與祭葬銀兩應否與諡一疏奉

諭旨著與諡

欽定諡曰恪勤又吏部議閩浙總督李侍堯奏閩縣知縣員缺請以建安縣知縣李堂調補查該員歷俸未滿與例不符既經專摺奏請可否准其調補一疏奉

諭旨李堂准其調補餘依議又議湖南巡撫浦霖等奏沅陵縣知縣員缺請以桂陽縣知縣黃

芳懿調署查該員歷俸未滿與例不符既經

專摺奏請可否准其調署一疏奉

諭旨黃芳懿准其調署餘依議又議辦理河南睢

州十三堡漫工冠期合龍之原任河南布政

使江蘭等遵

旨議叙照例紀錄一疏奉

諭旨江蘭康基田俱着紀錄三次餘依議又議承

審正黃旗包衣葦戶吳思寬等呈控民人劉

士祿冒入旂檔謀買旂地一案並不據寔究

辦草率定案之內務府戶部堂司各官照例

分別降調罰俸一疏奉

諭旨皇六子永瑢著銷去尚書紀錄二次其從前

罰俸三個月之處仍註于紀錄抵銷德保金簡

俱着降一級留任福長安舒文諾穆親蔣賜棨

俱着罰俸六個月和珅着銷去紀錄一次伊齡阿着銷去紀錄二次俱免其罰俸餘依議又議

翰林院侍讀學士全魁于繼子兩次丁憂並

未呈報照例降調一疏奉

諭旨全魁着降三級調用又議乾隆五十二年各

省大計直隸省不謹官任邱縣主簿徐士模

豐潤縣典史任保淳躁官曲周縣典史張裕

福罷軟官清河縣知縣蕭永庚行唐縣典史

裴文集才力不及官南樂縣知縣顧應生年

老官饒陽縣知縣張斗寅內邱縣知縣馬世

莊霸州州判鄭重元城縣縣丞郭士廉河間

縣教諭田雲青威縣教諭趙綸蠡縣訓導李

甡靜海縣訓導張文煥永年縣訓導金恢祖

廣宗縣訓導王祚寧晉縣訓導趙俊卿有疾

官通州學正王沛邢臺縣典史沈國鈞奉天
省年老官遼陽州學正趙相有疾官廣寧縣
訓導劉嵩年江蘇省才力不及官金山縣知
縣杜文輝沐陽縣知縣劉若雨丹徒縣巡檢
李學明盐城縣巡檢曹準先銅山縣訓導汪
玉鐘江寧縣典史陳鳴璽年老官華亭縣教
諭何爾昌溧陽縣教諭楊驥揚州府訓導臧
錫彤東臺縣訓導翟薰丹徒縣典史周國樑
有疾官上元縣教諭陶國果震澤縣巡檢高
玉珮不謹官靖江縣典史周維清安徽省罷
軟官阜陽縣巡檢魏浩才力不及官泗州州
判張玉成祁門縣巡檢鄭家忠旌德縣典史
徐繩振年老官廬州府同知何塾寧國縣知
縣梁奇蜀祁門縣知縣吳開元望江縣訓導

牛成瑚歙縣訓導包攀婺源縣訓導孔繼榆
祁門縣訓導葛宗舊銅陵縣訓導孫其武定
遠縣訓導唐夢協盱眙縣教諭鄭振芳有疾
官舍山縣知縣周拱涇縣教諭龔進蕃江西
省不謹官武寧縣教諭羅啟華龍泉縣教諭
何聖傳安義縣教諭唐光史罷軟官雩都縣
知縣邢纘祖年老官臨江縣教諭劉孔煌湖
口縣教諭翟一煥臨川縣教諭劉繼坦南豐
縣訓導曾光龍樂平縣訓導彭永桂都昌縣
訓導汪鑑碧雲都縣訓導劉楫有疾官寧州
學正章大佳廣信府訓導傅大川萬安縣訓
導金學光才力不及官靖江縣知縣何啟昌
浮躁官玉山縣巡檢侯天秩上猶縣典史吳
景照浙江省不謹官陳

武康縣知縣楊澧培樂清縣典史王新德浮

躁官下河場大使彭高_{奉化縣典史顧鑒才}

力不及官於潛縣知縣李宗建西安縣典史

李鶴齡淳安縣典史楊正年老官鳴鶴場大

使戴純諸暨縣縣丞彭豐年嘉善縣訓導周

鼎平湖縣訓導陳孔揮武康縣訓導周朝禮

仙居縣訓導高世卿鎮海縣巡檢溫觀聘有

疾官分水縣教諭徐本禮新城縣訓導王淇

鎮海縣訓導沈大寬山東省才力不及官泗

水縣知縣滕元震榮城縣知縣趙擴不謹官

霑化縣知縣馬衍宗鄒縣知縣張彬莒州巡

檢董朝榮諸城縣典史王有昌寧海州同

袁汝寧罷軟官蓬萊縣典史馮聰偉樂安縣

教諭黃渤淳躁官禹城縣典史周德沛武定

府司獄王臣有疾官惠民縣典史馬慰祖年

老官新泰縣訓導劉濱諸城縣訓導宋鶴程

菜陽縣訓導魏同節文登縣訓導張廷棟河

南省罷軟官固始縣巡檢吳灝洛陽縣教諭

王雲漢年老官桐柏縣知縣張文晉登封縣

典史孫佩聲嵩縣典史朱震確山縣典史王

煥汲縣訓導王子師永寧縣訓導陳昌言遂

平縣訓導郭軫鄆城縣訓導陳濬汝州學正

陳允文有疾官彰德府經歷聶因培遂平縣

教諭閻四箴泌陽縣教諭張休采才力不及

官沈邱縣知縣李湜陝西省老官西安縣

教諭辛融興平縣訓導任作相宜川縣訓導

趙知遇雒南縣訓導張大受米脂縣訓導劉

昌宗有疾官延長縣訓導秦建中乾州訓導

陳鑑才力不及官葭州知州王石潤漢中府
照磨祖士儀甘肅省不謹官中衛縣巡檢葛
崇仁罷軟官甘州府撫僉通判葛應淳寧遠
縣典史屠孔才力不及官清水縣知縣姜思
熹文縣知縣劉鵬張掖縣典史李友桓年老
官寧夏府通判謝寶樹蘭州府訓導周光祖
狄道州學正張睿朝清水縣訓導宋隆靈臺
縣教諭路由古浪縣訓導余士奎西寧縣訓
導邵應元有疾官安化縣訓導劉政湖北省
荊州府訓導蕭永蕃宜都縣訓導張淳恒竹
谿縣訓導萬尚禮有疾官保康縣知縣錢吉
士監利縣縣丞趙宗禮隨州學正紀士奎興
國州訓導馬曰遴孝感縣典史吳炳湖南省
才力不及官祁陽縣知縣鄧端環溆浦縣知
縣許鎮浮躁官平江縣教諭張焯溆浦縣典
史張鼎不謹官益山縣巡檢竇興清鄴縣教
諭周嗣文罷軟官醴陵縣知縣李潮三年老
官保靖縣典史王世英湘潭縣訓導譚秀薦
東安縣訓導瞿大經有疾官新化縣教諭羅
仕進四川省才力不及官巴州知州陳毓鸞
奉節縣知縣張啟正不謹官清溪縣典史程
兆勝有疾官劍州巡檢湯承平廣元縣訓導
余懷義罷軟官綦江縣知縣馮汝弼新寧縣
典史高觀光年老官東鄉縣知縣陳美瑞雲
陽縣典史裘兆瑞松潘廳訓導李同柱江津
縣教諭馬士偉營山縣教諭張士表夔州府
教授戴維植富順縣訓導任碩彥開縣訓導
吳文臺閬中縣訓導劉維熙蒼溪縣教諭余

萬峻廣東省不謹官東莞場大使趙廓海陽

縣教諭沈灝罷軟官南海縣典史李華國年

老官新會縣訓導顏希鄒曲江縣訓導葉振

生博羅縣教諭陳瀚六肇慶府教授陳若渭

高要縣訓導麥士棻開建縣訓導杜巖英電

白縣訓導白增琳花縣巡檢謝魯有疾官龍

川縣知縣周克遵陽春縣教諭黃金堂新安

縣巡檢邱琰才力不及官新寧縣知縣夏永

淳茂名縣巡檢牛昌基浮躁官番禺縣巡檢

黃慶堯雲南省老官昆陽州學正金詔富民縣訓導曹文元開化府訓導李光緝有疾

官韶義縣知縣王琇宣威州吏目施世恩不

謹官昭通府經歷徐玉埜賓川州巡檢金學

詩寶寧縣典史伍鼎罷軟官河陽縣典史張

惠貴州省有疾官開泰縣知縣李蓮舫年老

官荔波縣知縣李懷宗黃平州訓導廖開榜

浮躁官施秉縣縣丞陳瀚才力不及官平越

縣典史蕭化鵬江南河員年老官揚州府通

判趙南觀罷軟官邳州州同黃燦才力不及

官邳州巡檢王赤南興化縣巡檢朱惇德河

東河員年老官武涉縣縣丞沈洲有疾官聊

城縣主簿陳業莊等照例分別革職休致降

調一疏奉

諭旨這考察各官不謹罷軟者著革職年老有疾

者勒令休致才力不及浮躁者分別降調餘依

議又兵部奏廣西鬱林營參將員缺擬以湖南

綏寧營遊擊楊興龍籤陞山東曹州營參將

員缺擬以貴州荔波營

選舉圖書司武科廣

東潮州鎮標左營遊擊員缺擬以兩江督標
中軍都司汪生吉籤陞江南昌鎮標前營

遊擊員缺擬以甘肅西大通協中軍都司富
明籤陞湖北襄陽鎮標中軍遊擊員缺擬以

陝西西固營都司梁國貞籤陞直隸龍固營
都司員缺擬以貴州長寨營守備楊可福籤

陞湖南永定營都司員缺擬以貴州古州鎮

標中軍守備陸祖德籤陞貴州黃平營都司
員缺擬以雲南順雲營右軍守備陳守相籤
陞四川巫山營都司員缺擬以廣西右江鎮
標中營守備徐朝綱籤陞四川建武營都司
員缺擬以四川提標左營守備張玉公籤陞
湖廣督標副將中軍都司員缺擬以成都將
軍標右營守備曹福公籤陞江南廣德營都

司員缺擬以江西建昌營守備田世桂籤陞

貴州安籠鎮標左營遊擊中軍守備員缺擬
以浙江紹興衛後幫領運千總蔡鸞籤陞一

疏奉

諭旨揚興龍等依擬用餘依議又奏江南泰
州營遊擊員缺擬以預保註冊之江南河標左營
都司段大雄掣補一疏奉

諭旨段大雄依擬用餘依議又奏貴州歸化營遊
擊員缺擬以預保註冊之貴州遵義協左營
都司楊定邦掣補一疏奉

諭旨楊定邦依擬用餘依議又奏廣東三江協中
軍都司員缺擬以預保註冊之廣東惠州協
右營守備胡瑛掣補一疏奉

諭旨胡瑛依擬用餘依議又奏兩廣總督孫士毅

奏廣西道縣營都司員缺准以左江鎮標左

營都司七十一調補一疏奉

諭旨七十一依議調補餘依議是日

察使員缺著穆克登署理是日

駐蹕黃新莊行宮

十九日壬子

上詣東嶽廟廣翊宮藥王廟拈香是日內閣

奉

諭旨長蘆鹽務商本素非饒裕節經加恩調劑以
舒商力今翠華臨蒞各商等情殷瞻就踴躍歡
抃具見悃忱宜特沛恩膏以普春澤所有乾隆
四十八九年未滿五限四限緩徵正餘課銀

六十七萬八千五百餘兩著再加恩於前限滿

後再展限三年帶徵俾商力益徵充裕以示朕

行慶施惠有加無已至意該部即遵諭行又奉

諭旨江寧布政使員缺著康基田補授其江蘇按

察使員缺著穆克登署理是日

駐蹕涿州行宮

二十日癸丑

上駐蹕紫泉行宮

二十一日甲寅內閣奉

諭旨朕此次巡幸天津經由水程所有隨從官員

等需用船隻節經大加核減且為期亦不過數
日但水手等不無稍須守候著加恩於水手日
給常價銀五分外每名酌增給銀三分以示體

恤是日

駐蹕趙北口行宮

二十二日乙卯

上詣淀神祠拈香是日吏部議貴州巡撫李慶棻

奏永從縣知縣員缺准以青谿縣知縣陳作
芹調補所遺員缺准以試用知縣劉允正署

理一疏內閣奉

諭旨陳作芹依議調補餘依議是日

駐蹕泰堡莊行宮

二十三日丙辰

賜隨

駕王公大臣及直隸大小官員長蘆鹽政等飯是

日內閣奉

諭旨朕此次巡幸天津所有淀河一帶行宮十餘

年來未經臨蒞各該處瀕臨水次易於涉圮業

經加恩賞給銀八萬兩以為修葺之費今蹕路
經臨見各處行宮點綴修飾未免踵事增華過

於繁費前次賞給銀兩恐尚不敷著再加恩賞

銀四萬兩交長蘆鹽政於應解內務府項下即
行撥給以示格外體恤又奉

諭旨朕此次巡幸天津行慶施惠普錫春祺因念
上年宣化府屬雨澤愆期偶被偏災其民欠未

完及緩徵帶徵銀糧若令新舊同徵民力未免
拮据所有該府屬五十年五十一年分民欠未
完及緩徵銀二千二百二十八兩零糧八千二

百五十二石零並着加恩一體蠲免以廣朕勤
恤民隱有加無已至意該部即遵諭行是日

駐蹕左各莊行宮

二十四日丁巳內閣奉

諭旨據尚安奏商民負永春被土爾扈特搶刦馬

匹銀物一案請將疎防文武各員補行參奏等

語所有此案管理清河糧務之典史職銜馬殿

翼專汎把總耿宗漢及兼管之鎮迪道翰圖都司納爾松阿均着交部分別議處其未獲賊犯並着尚安飭屬嚴拏務獲以靖地方又據奏查明烏嚕木齊所屬修建倉廩原估銀數浮多經尚安於該州縣自行刪減銀捌百三十餘兩外復核減銀二萬二千四百四十餘兩請將拘泥例價並不詳查之原估官鎮迪道翰圖及查驗工程草率之知府永盛交部議處等語翰圖永盛俱著交部分別議處所有尚安核減及該州縣自行刪減銀兩並著勒限三個月全行繳回該部知道摺併發又奉

諭旨琅玕奏據臬司歸景照稟稱聞溫州一帶洋面上年十二月內有解閩官錢被劫地方官諱匿不報之事隨詢之在黃巖一帶洋面查拏匪

犯之都司劉大勲其事俱屬確實請將署玉環同知張心鏡參將張全德革職該管之護鎮道府現在嚴查另行參奏琅玕歸景照並請交部嚴加議處等語該地方官接護糧餉遇有被盜劫掠之事諱匿不報在平日無事之時已屬有干功令況現在剿捕臺灣逆匪解運糧餉等項尤關緊要乃該廳營通同諱匿督護之參將張全德復先後捏報錢米全行出境無虞並將被劫官錢私行賠補不即詳報追捕希圖將就了事以致刮盜遠颺實屬玩縱已極張心鏡張全德俱著革職拏問其該管之護鎮道府並著解任交琅玕嚴行審訊如何知情徇隱及別項情弊據寔嚴行參奏至琅玕身為巡撫于屬員有此等諱盜重案未能覺察

加議處臬司歸景照固有失察之咎但此案究
係由該臬司訪聞稟辦歸景照著從寬交部察
議摺併發是日太常寺奏三月十一日
孝賢皇后忌辰致祭

陵寢一疏奉

諭旨遣綿循行禮又吏部議江西巡撫何裕城奏

九江府通判鄒貽謀試俸期滿准實授一疏

奉

諭旨鄒貽謀依議用餘依議又議雲貴總督富納
等奏雲南景東廳直隸同知員缺准以臨安

府同知吳蘭孫調補一疏奉

諭旨吳蘭孫依議調補餘依議又議失察邪教之

山東省歷任各員照例降調一疏奉

諭旨馮晉祚著於補官日降一級留任明興著於

現任內罰俸九個月繆其吉著銷去加一級孫
士毅著銷去軍功紀錄二次俱免其降級其因
失察邪教議以降級用之趙王槐俟病痊之日
著本籍督撫查照原咨考語送部引見議以降

級用之傅蕙仍照前旨著該撫出具考語送部
引見餘依議又議因盜犯混供率行定案之前
署浙江象山縣知縣金仁等照例降調一疏

奉

諭旨依議其因盜犯混供並不查明率行定案議
以降調註冊之金仁仍照前旨著該督撫出具

考語送部引見又議失察西洋人過境之江西

省文職各員照例降調罰俸一疏奉

諭旨依議其因失察西洋人過境議以降級用之

汪丙謙俟赴部引見之日起此降級之

處一併奏聞請旨議以降級用之鍾光豫俟赴
補之日著本籍該督查照原咨考語送部引見

又禮部議安徽巡撫書麟奏鳳陽縣壽婦年

王氏現年一百一歲准照例給銀建坊一疏

奉

諭旨依議王氏著加恩賞給上用綬一足銀十兩

又兵部奏陝西靜寧協右軍守備員缺擬以

預保註冊之甘肅安西協千總袁文彰掣補
一疏奉

諭旨袁文彰依據用餘依議是日

駐蹕臺頭行宮

二十五日戊午內閣奉

諭旨御史龔駿文奏此次天津恭獻詩賦士子有
由三分四庫書總校賞給舉人者又有兩侍郎

一巡撫兩藩司親子及京堂翰詹科道子弟遇
鄉試之年列入官卷者應逐一查明嚴加防範
以祛替倩等語朕向來省方觀民清蹕所臨士
子迎鑾獻賦舉行名試量才錄取分別賞給中
書舉人原以振拔單寒為苦志力學者勸若此
等士子內其父兄已登仕籍均得邀恩以官卷
入場應試則自有出身之途又何必於巡幸時
進獻詩賦冀圖錄取侵佔寒畯之路至由三分
四庫書總校議叙賞給舉人者伊等以學校微
勞得廁舉科已為僥倖若又應名試復思倖獲
尤屬不知止足豈朕嘉惠寒素勸勵績學之意
所有此次進獻詩賦士子內而京堂外而督撫
藩臬及翰詹科道子弟並校書議叙賞給舉人
及由俊秀報捐貢監生者竟著無庸考試嗣後

巡幸各省設有召試之典即以此為例摺併發

二十六日己未內閣奉

又奉

諭旨福建福州府知府員缺緊要著該督撫於通省知府內揀選一員調補所遺員缺著張家琰補授又奉

諭旨福建督糧道員缺著特克慎補授福建鹽法道員缺著孫思庭補授是日湖廣總督舒常等奏黃陂縣知縣陳士鳳於縣民潘宗文被賊拒傷身死一案既經驗明匿不詳報請革職嚴審一摺奉

諭旨這所奏黃陂縣知縣陳士鳳著革職交該督撫提同案內犯証人等一併嚴審定擬具奏該部知道摺併發是日駐蹕揚芬港行宮

諭旨伍拉納奏接准孫永清咨開據貴縣知縣張毓德稟報該縣遍到福建同安縣流犯呂辰查驗疤痕箕斗與解文不符訊係同安人郭大在閩省龍溪縣地方受賄頂替請將僉差接解踈玩不職之署龍溪縣知縣甯淑昌革職等語此等流犯接遞過境理宜細加查驗派撥幹役小心護送乃該署縣甯淑昌於流犯呂辰過境時並不驗明疤痕箕斗率行僉差接遞以致該犯中途賄囑頂替到配非尋常疎縱可比僅予革職未足蔽辜甯淑昌著革職交刑部治罪至貴縣知縣張毓德於流犯到配時即能詳加查驗究出頂替情弊尚屬細心張毓德著該撫出具考語給咨送部引見以示鼓勵其正犯呂辰著

該撫飭屬嚴拏務獲並著審明原解之兵役等

如何受賄故縱情由一併嚴審定擬具奏摺併

發又奉

諭旨前因京察記名應用道府人員將次用完曾

經降旨令各省督撫預行保舉以備簡用內直

隸山東河南三省因有大名府糾衆滋事及伊

陽縣拒捕戕官兩案首犯查拏未獲浙江一省

各府州縣倉庫虧空俱有應得處分且於黃梅

欵跡扶同朦混以上四省俱不准其保舉今念

從前各案閱時已久其現在府廳各官俱已更

換者多且上次京察記名及各省保舉人員均

已陸續簡用所有直隸山東河南浙江四省著

准其各保舉堪勝道員者二員堪勝知府者三

員俱著各省督撫秉公揀選據實具奏勿得濫

竽並出具切實考語即送部引見候朕酌量簡

用又奉

諭旨雲南昭通府知府員缺著敦柱補授所遺員

缺著林模補授是日

駐蹕王家場水營

二十七日庚申

上御舟至崇喜觀拈香

詣望海寺拈香是日內閣奉

諭旨福康安等奏大兵直抵鄉橋生擒賊目莊大

田全郡平定一摺內稱探知莊大田在極南之

鄉橋潛匿遂傳該處各社生番面加曉諭令在

沿山隘口嚴密堵截又有山猪毛義民首曾中

立招集傀儡山生番一千

置已定派令烏什哈達帶

福康安等奏准各處佈

廣東

兵丁由海道前往海蘭察鄂輝等由小路進發

福康安督催各兵前進初五日由威港三

兵越

箐穿林道路極為逼仄賊匪多人從樹林內突出前隊之侍衛博斌副將岱德參將張朝龍都司張占魁等帶兵迎擊海蘭察鄂輝率領巴圖魯侍衛等奮勇齊攻殺賊三百餘名生擒一百四十三名惟恐攻撲過急莊大田或臨陣被殺

派令穆克登阿許世亨梁朝桂及義民副理事
劉繩祖都司莊錫舍北路義民首黃莫邦等各
為一隊自山梁直抵海岸烏什哈達所帶水師
兵丁適值順風連檣而至四面合圍水陸並進
海蘭察鄂輝等帶兵往來剿殺福康安照料督
催疊疊圍逼自辰至午刻殺賊二千餘名賊目
等抵死冲突不能逃出重圍隨督令官兵義民

等分投搜捕將莊大田及有名頭目莊大華許光來簡天德許尚等四十餘名全數擒獲並搜獲莊大田之母莊黃氏又生擒賊匪八百二十餘名全郡俱已平定首逆巨魁悉行俘獲即日解京盡法懲治等語覽奏深為嘉悅賊目莊大田等於逆首林爽文就擒之後尚敢竄匿山林抵死抗拒經官兵四路攻圍勢窮力蹙或竟情急自戕及投海斃命俱屬事之所有今乃負嵎死守被官兵義民層層圍逼將賊目莊大田及有名頭目悉數俘擒此皆由上蒼眷佑將士用命福康安調度有方佈置周密是以南北兩路賊目賊首悉就俘擒臺灣全郡平定實堪嘉獎特親解本日手帶漢玉搬指一個小荷包一個賜福康安又親佩小荷包一個賜

海蘭察以示優眷福康安海蘭察鄂輝等俱著交部從優議叙所有許世亨梁朝桂穆克登阿袁國潢以及在事出力大小將弁等俱著福康

賞給守備職銜著交部加一等照都司職銜議卹該義民家屬並著福康安從優賞給養贍該部知道摺併發又奉

安查明咨部從優議叙其隨征兵丁並著福康安查明一併分別獎賞至此次剿捕賊匪該處義民等隨同官兵打仗出力現在擒獲賊目莊大田義民首等帶領各庄民人分隊堵截尤厲

善縣知縣恒明調補一疏奉

諭旨恒明依議調補餘依議又議河南巡撫

奏洛陽縣知縣員缺准以商城縣知縣單可堪調補所遺員缺准以試用知縣王宸仔署

理一疏奉

可嘉此內義民首曾中立前因屢次奮勇出力已賞給同知職銜今又招集生番聽候調遣著福康安即將曾中立酌量補以寔缺其餘義民劉繩祖鄭天球張元慤藍應舉等並著福康安查明應如何酌量加恩或補以實缺加賞職銜之處分別具奏以示獎勵至前在下埠頭一帶剿賊之義民首鄭其仁遇賊陣亡鄭其仁前已

諭旨單可堪依議調補餘依議又議署山西巡撫

奏明興秦絳州直隸州知州員缺請以鶴臺縣

知縣劉徵泰陞署查該

符既經專摺奏請可否准此陞署二疏奉

諭旨劉徵泰准其陞署餘依議又兵部奏補甘肅

白塔川營都司員缺擬以預保註冊之寧遠

堡守備買偉掣補一疏奉

諭旨買偉依擬用餘依議又刑部等衙門議直隸

總督劉峩奏平泉州民郭瞎子扎傷曹三身

死依律擬絞監候查該犯雙瞽篤疾可否援例收贖一疏奉

諭旨郭瞎子從寬免死著照例收贖餘依議又議

廣東巡撫圖薩布奏英德縣民范時勝毆傷

周徐氏身死依律擬絞監候查周徐氏係在保辜限外身死可否援例減等發落一疏奉

諭旨范時勝毆傷徐氏至保辜限外身死著從寬

免死照例減等發落餘依議是日

駐蹕柳墅行宮

二十八日辛酉

賜隨

駕王公大臣及直隸大小官員等飯是日內閣奉

諭旨朕此次巡幸天津閱視河工業于啟鑾日降旨將經過地方及天津閩府屬本年徵收錢糧

蠲免十分之三茲翠華臨蒞小民扶老携幼夾道歡迎愛戴之忱倍切朕心深為喜悅著再加恩將天津府屬節年尾欠未完之緩徵帶徵銀五萬七百三十兩零屯穀六千一百七十餘石豆四百三十石零普行蠲免俾海濱蔀屋益慶盈寧共安樂利以示省方施惠之意該部即遵諭行又奉

諭旨臺灣逆匪滋事一案前因柴大紀在總兵任內骯法營私廢弛激變福康安抵臺灣後僅據奏稱柴大紀為人狡詐不可深信並未將其種種劣款指出參奏李侍堯調任總督已及一載且近駐廈門見聞自確亦並無一字奏及而常青自到臺灣後並未將柴大紀廢弛玩悞之處據實直陳是以節次降旨將福康安嚴飭李侍堯交部嚴加議處常青即予罷斥並將前任督臣富勒渾雅德革職拏問俟解到時並按律治罪至徐嗣曾身任巡撫臺灣營伍雖非所轄但伊在閏年久於柴大紀縱令兵丁私回內地貿易牟利及廢弛營伍不加訓練種種釀變貽悞之處平日豈無見聞乃竟視同膜外緘默不言將來自有應得之咎並著徐嗣曾明白回奏矣

又臺灣道永福在府城率領兵民協同防守雖有微勞但該處地方官平日貪蹟歛怨釀成事端皆係永福所屬已不得為無罪且伊與柴大紀近在同城柴大紀種種貪劣不職何以並不隨時揭報督撫如永福曾經揭報督撫而督撫置之不辦福康安亦應令永福據實指出當專治督撫以徇隱之罪若永福並未揭報則不得因其守城微勞稍為寬貸置之不問若彼向日亦有營私處則更不必言矣著福康安即向永福切實訊問令其明白登答據實覆奏務使功罪兩不相掩以昭平允是日吏部議閩浙總督李侍堯於柴大紀在任款蹟不早為參奏浙江巡撫琅玕已有見聞並不自行陳奏照例降調革任一疏奉

諭旨琅玕著從寬免其革任仍註冊李侍堯著降

三級留任又議甄別教職較少之福建學政陸

錫熊照例革任一疏奉

諭旨陸錫熊著從寬免其革任仍註冊又兵部奏

西安將軍標左營守備員缺擬以預保千總

楊之震掣補一疏奉

諭旨楊之震依擬用餘依議又刑部等衙門議陝

甘總督勒保奏平涼縣民婦閻氏與張滿庫

通姦致張滿庫將該氏後夫王舉毒死張滿
庫依律擬斬監候閻氏擬絞監候查該氏於
伊夫被毒時即將張滿庫拉住詰出謀害實

情指拏到官尚有不忍致死其夫之心閻氏可否
援例減等發落一疏奉

諭旨張滿庫依據應斬著監候秋後處決閻氏先

與張滿庫通姦後因改嫁不理張滿庫乘間毒

死伊夫王舉該氏即拉住盤出謀害實情指拏
到官尚有不忍致死其夫之心閻氏著從寬免
死照例減等發落餘依議是日

駐蹕柳墅行宮

二十九日壬戌

上御閱武臺

閱操是日內閣奉

諭旨此次辦差文武官員任內所有降級罰俸住
俸之案俱著開復其無此等案件者各加一級
又奉

諭旨據琅玕奏查抄柴大紀原籍家產一摺內稱

訊據伊子柴際盛供稱柴大紀自調任臺灣鎮

後帶回銀二千兩又陸續寄回銀一萬六千七

百餘兩五十一年伊弟柴際甲回家又帶回金條金錠金葉共三百兩又銀六千兩十一月內柴大紀又帶回銀五百兩柴際盛會向詢問臺灣出息據稱在臺灣將及兩年所得約銀五萬餘兩上年接到柴大紀家信以臺灣屢次滋事柴大紀係該處總兵恐有牽涉囑令防備並在地平之下起出金葉金錠二百四兩二錢銀七百九十餘兩等語柴大紀止係總兵調任臺灣以來不及兩年乃陸續帶回銀二萬餘兩並有金條金葉金錠三百餘兩又據柴際盛供出柴大紀在臺灣添置衣飾各項用去尚有銀一二萬兩存貯是柴大紀在任兩年之內已婪索金銀五六萬兩之多且因臺灣逆匪滋事預行寄信家中囑伊子先為防備現據琅玕在其屋後

地平之下起出金錠銀兩可見柴大紀居心狡詐任意貪贊若非私令兵丁渡回內地貿易牟利並勒索所屬剝削兵民焉能擁有鉅萬家貲是柴大紀骯法營私貪婪激變種種欵蹟已確鑿可據柴大紀業經革職拏問應俟解到後交部按律定擬明正其罪外向來朕辦理庶務一秉大公至正賞功罰罪尤務嚴明從無成見如柴大紀在嘉義縣時被圍緊急曾諭令不妨保護義民全師而出柴大紀覆奏不忍將數萬生靈委之賊手仍督率兵民忍飢固守朕以其甚有良心覽其奏摺為之墮淚是以即加封伯爵賞給銀兩而其種種貪劣捏飾之處彼時尚未有人摘發所謂君子可欺以方者此也迨柴大紀在任各劣蹟節次敗露附奏其為

人狡詐不可深信是福

知實在劣蹟必因人言藉鑄改為此奏尚無非
是後因德成復命詢出前情即經諭飭查訊始
據李侍堯等遵旨逐款查明屬實陸續參奏因
即降旨將柴大紀革職拏問可見朕於臣下功
罪惟視其人之自取有功即賞有罪即罰從不
稍存適莫之見此天下後世所可共喻者是以

得邀

上天眷佑五十三年以來屢集大勲開疆拓土未必
不由此敬

天勤民之念有以啟之也將此再行通諭知之琅玕

摺併發又奉

諭旨長麟等奏山東鹽運使何澤傳人地不甚相

宜請旨另行簡員補授等語山東鹽運使員缺

著阿林保補授其直隸河間府知府員缺即著

何澤傳補授是日禮部等衙門議安徽布政使

陳步瀛奏請將籍隸江蘇人員現任安徽司
道以上等官者子弟親族概不准應江南鄉
試其任知府直隸州者如所屬州縣遇有開
送廉官其子弟姻親一概令其迴避應如所
奏辦理並請將籍隸安徽之現任江蘇府州

者亦一體迴避至陝甘兩省微有不同請將

籍隸兩省人員所屬州縣毋庸調取入簾再
陳步瀛違例於鄉試年陳奏科場事宜請交

部察議一摺奉

諭旨依議陳步瀛著免其察議是日

駐蹕柳墅行宮

乾隆五十三年歲次戊申三月十六日戊寅

縣知縣員缺准以候補知縣丁映奎補授一

內閣奉

疏奉

諭旨本年舉行正科鄉試所有應行開列試差之進士出身人員著於三月二十五日在正大光明殿考試仍著吏部照例按各衙門次序於二十七二十八日帶領引見是日太常寺奏四月初六日致祭

常雩壇一疏奉

諭旨朕親詣行禮四從壇遣弘豐善保德陞嵩齡

各分獻又奏四月初一日孟夏時享

太廟一疏奉

諭旨遣綿循恭代

後殿遣永璽行禮東廡遣積拉堪西廡遣鄂爾弼圖

各分獻又吏部議前任四川總督保寧奏洪雅

諭旨丁映奎依議用餘依議又兵部奏甘肅肅州鎮標左營遊擊員缺擬以陝甘督標中營都司楊宗澤掣補一疏奉

諭旨楊宗澤依擬用餘依議又吏部帶領三月分滿月選官戶部郎中得存兵部員外郎存格

刑部主事吉成額引

見奉

諭旨得存等依擬用又帶領陝西巡撫巴延三奏

請陞署商州直隸州知州之現任寶雞縣知

縣鄧夢琴引

見奉

諭旨鄧夢琴著照該撫所請准其_{接署商州直隸}

州知州又正黃旗滿洲都統奏補印務章京

都統奏補印務章京

員缺准以同知借補通判徐嘉祿補授一疏

員缺帶領正陪人員引

奉

見奉

諭旨睦隆安著補授印務章京又正黃旗漢軍都

諭旨徐嘉祿依議用餘依議又兵部奏甘肅巴里
坤城守營都司員缺擬以陝西隆德營守備

統奏補印務章京員缺帶領正陪人員引

張績補授一疏奉

見奉

諭旨金廣潤著補授印務章京

諭旨張績依擬用餘依議又正白旗漢軍都統奏
補參領等帶領正陪人員引

是日

起居注官陳萬青瑭五珠

見奉

十七日己卯內閣奉

諭旨徐純德著補授參領蔡鼎著補授副參領金

大德著補授印務章京族襲互管佐領著佛雲

管理

諭旨八旗正參領乃係一甲喇董率任事之員於

引見時當出具考語嗣後所有八旗補放正參

領帶領引見時各出具考語繕入綠頭牌內是

起居注官嵩貴曹城

十八日庚辰

日吏部議安徽巡撫陳用敷奏廬州府同知

上詣

安佑宮行禮是日刑部等衙門

議上蘇巡撫閻鶚元

上御勤政殿聽政部院各衙門官員面奏并帶領侍班司員引

奏寶山縣民徐桂珍之女徐二姐與陳七通姦恐彼婢女素娟說破起意勒死滅口徐二姐依律擬絞監候一疏內閣奉

諭旨徐二姐因與陳七通姦恐婢女素娟說破起

意致死滅口主婢之分已絕且素娟年止十二

徐二姐乘伊睡熟用繩收勒斃命實為淫兇可惡

徐二姐著改為絞決嗣後遇有姦淫起釁任餘依議

是日

起居注官玉保方煥

十九日辛巳卯刻

見畢大學士公阿桂大學士嵇璜大學士伯和珅

大學士王杰協辦大學士吏部尚書劉墉內閣學士扎勒翰阿肅胡高望張若渟以折本

請

旨覆請吏部奏補通政使司通政使員缺將應陞

人員開列請

簡一疏

上曰吉夢熊補授通政使司通政使又覆請吏部

奏補太僕寺少卿員缺將應陞人員開列請

簡一疏

上曰戈源補授太僕寺少卿又覆請吏部奏補光

祿寺少卿員缺將應陞人員開列請

簡一疏

上曰劉紹錦補授光祿寺少卿又覆請吏部奏翰林院侍讀員缺將侍講李演轉補所遺員缺將應陞人員開列請

簡一疏

上曰李演轉補翰林院侍讀其侍講員缺著王坦

修補授又覆請吏部議安徽巡撫陳用敷奏懷

寧縣知縣員缺請以潛山縣知縣李廷儀調

補查該員歷俸未滿與例不符既經該撫專

摺奏請可否准其調補一疏

上曰李廷儀准其調補餘依議又覆請吏部議于

所屬玉環廳營護解閩省官錢在洋被割通

同諱匿私行賠補毫無覺察之浙江巡撫琅

玕等照例分別降革一疏

上曰琅玕著從寬免其革任仍註冊歸景照著降

一級留任又覆請吏部議于所屬署龍南縣知

縣孟大年接收交代造冊遲延督催不力之

前任江西布政使李承鄴等照例分別降革

一疏

上曰李承鄴著從寬免其革任仍註冊何裕城著

銷去加一級免其降級又覆請吏部議失察屬

員拏獲邪教人犯遽行保釋未能覺察查參

之前任山東按察使玉德等照例分別降革

一疏

上曰玉德著從寬免其革任仍註冊繆其吉著降

一級從寬留任餘依議是日內閣奉

諭旨昨因各省士子在天津進獻詩冊經軍機大

臣挑選詞義穩妥者呈覽朕偶加展閱內有安

徽附監生葉棟所進詩冊係集御製詩文體格

頗新本欲加以獎賞因祇係詞章末技若遽加恩優獎恐外間士子因此或競浮華不務實學是以遲而未發隨命將葉棟應試原卷查取進呈則該生所作之賦已有失押韻脚膚泛之句而詩內砌湊春夏秋冬二聯全與題無涉至用霜葉紅火雲烘等語更不值一噱可見其所進獻詩冊必係他人代倩斷非出于葉棟之手殊屬可鄙士子讀書講學原應湛深經術坐言起行方為敦本崇實之道至文詞本屬游藝末節亦須根柢經訓有裨身心方為載道之文若徒以藻綴為工即素號專家已非真儒所尚至並此不能甚或臨時剽竊假手捉刀更為士林所深恥近日士風浮靡即呈進詩文僅屬末藝尚

不免丐求贋筆未能出自心裁而遇有考試輒百計鑽營甘心亂法總由不務實學惟事弋獲虛名遂至作姦犯科罔顧廉恥思之實增愧恨夫國家養士百餘年教澤涵濡不為不久士子等習尚不端何竟卑鄙至此推求其故或因朕幾餘游藝不廢詩文臨御以來初二三四集風行海宇裒集日多承學之士妄意朕雅尚詞華遂不思務本力學為立身行己根基此則甚非朕崇實黜華之意也且朕所作詩文皆闢政教大而考鏡得失小而厘念民依無不歸于紀實御製集具在試隨手披閱有一連十數首內專屬尋常流覽吟風弄月浮泛之詞而于政治民生毫無關涉者乎是朕所好者載道之文非世俗徒尚虛車之文若朕所製各集俱不過詞章

能事則朕早將御製四集詩文概行廢而不存

矣且士先器識而後文藝國家設擇政士上以

寔求下宜以實應况制舉為士子進身之階其

得邀科目者或偹職郎曹或出司民社其大者

則簡任大員論思獻納皆由是起若始進先已

不端則後此見之措施必無足取乃士子等身

列衣冠而一切干營舞弊之事愈出愈巧無所

不至上年經大學士九卿等議定科舉防弊各

條已屬纖悉具備當經訓諭士子等當各知羞

愧近日馮應榴龔駿文先後請嚴召試之例又

降旨先行昨錢澧條奏科場事宜臚列闕節各

字樣本日吳省欽復奏請申嚴殿試朝考及散

館大考各相俱係確有所見士子皆讀書明理

之人乃習于下流無恥僥倖考官等俱通籍清

華仰邀簡用非惟不能掄拔真才乃曖昧營私

罔知儆畏即倅逃憲典亦必為天理所不容今

伊等平日舞弊伎倆俱已紛紛破露自不得不

大為之防但杜弊之法繁設科條幾至士子等

于穿窬而考官行同窩故每閱諸臣條奏之摺

不獨為伊等愧而朕之不能感化亦且引以為

愧試思國家旁求俊乂之典致下儕于防閑宵

小之條伊等清夜捫心即不自愧寧不為國家

取士大典稍存顏面耶嗣後各士子及試官等

務宜激發愧恥各知勉勵砥行立名一洗純盜

虛聲通同舞弊陋習庶不負朕振飭士風諄諄

訓誨至意將此通諭知之又奉

諭旨據尚安奏烏嚕木齊滿營出有佐領二缺擬

定正陪奏請補放等語著照尚安所請托隣保

所遺佐領員缺著擬正之防禦西明補授謨爾

根所遺佐領員缺著擬正之防禦常青補授遇

便來京補行帶領引見又奉

諭旨據永安奏請陞見摺內呈報都統尚安商議

等語已于摺內批示不必矣永安乃副都統領隊大臣此等事件當自行陳奏各省藩臬尚可奏事況永安係領隊大臣副都統而於奏請陞

見之事何必謀之於都統况新疆將軍議政大臣都統等若辦事乖謬舞弊則領隊大臣均可參奏即如奎林因在伊犁辦事不妥海祿即行參奏豈可皆如此呈商耶前朕節經降旨訓示永安仍如此具奏深不曉事除將永安申飭外仍通行曉諭嗣後各處若尋常事件仍照例呈報各該將軍議政大臣都統等如奏請陞見請

孝端文皇后忌辰致祭

七日

昭陵一疏奉

諭旨遣和齊匡郭行禮又吏部議于搭運閩省官錢並不遴委委員以致在洋被割通同匪報私賠之前任兩江總督李世傑等照例分別

降草一疏奉

諭旨李世傑著從寬免其革任仍註冊閔鴻元奇

豐額俱著降一級從寬留任餘依議又議失察所屬藤縣監禁盜犯並不加意防範以致越獄脫逃之廣西巡撫孫永清等照例分別降

革一疏奉

諭旨孫永清著降一級留任其因不行稽察議以

安等事均著自行具奏是日太常寺奏四月十

草任之郭世玉議以降調之黃符綵俱著該督撫出具考語送部引見再降諭旨餘依議又議承緝盜案四叅未獲之直隸懷柔縣知縣蔡若采照例降調一疏奉

諭旨依議其因盜案四叅承緝不力議以降調之

蔡若采著該督出具考語送部引見再降諭旨

又兵部奏廣東東莞內河水師營都司員缺

擬以湖南岳州水師營守備鄧尚賢籤陞江南河標都司員缺擬以山東撫標守備王國斌籤陞一疏奉

諭旨鄧尚賢等依議用餘依議又議失察段文經等私行邪教釀成不法之山東省歷任武職各員照例降調一疏奉

諭旨依議其因失察邪教釀成不法議以降調之

索柱姜廷元武克勤德楞泰畢文元劉鈺俱著該督撫出具考語送部引見金坦俟引見之日將此案降調之處一併聲明請旨李鳳翥仍照前旨俟病痊之日著本籍該撫查照原咨考語送部引見又議乾隆五十二年山西省漕運衛所軍政罷軟官山西殺虎協千總劉智斌江

南泗州衛千總楊兆龍年老官山西平刑營

都司傅慶揚山西太原鎮標守備趙廷錦山西平陽營千總常佩綸江南太倉衛守備貝開基浙江處州衛守備馬麟浙江嘉湖衛守備彭元勇山東東昌衛帮千總李中和有疾官山西靈石冷泉關營千總趙綿山東東昌衛平山後帮千總劉允棟才力不及官山西撫標守備林宗陞山西得

山西殺虎協守備九格

江南興武衛

總栗果江南興武衛七

總管應龍江南

徐州衛河南後帮千總張所謫江南安慶衛
千總王國泰江西吉安所帮千總臧振勲等

照例分別休致降調革職一疏奉

諭旨這考選軍政官員罷軟者著革職年老有疾
者著休致才力不及者著降二級調用餘依議

是日

起居注官圖敏茅元銘曹城塘五珠

二十日壬午

上詣萬壽山廣潤祠拈香是日內閣奉

諭旨據全德奏淮南綱鹽積年迤壓一時未能運
竣請將丁未綱未行綱引內提出六十萬道分
作五年帶運淮北商鹽亦應調劑現確核情形

再行具奏等語已批該部議奏矣各商辦運引
鹽例應年清年款何至未銷綱引至一百餘萬
之多此皆由楚省地方官巡緝不力私販充斥
而口岸費用又復繁重商人未能源源轉運所
致現已傳諭該督撫等實力整頓至楚省官吏
雖非鹽政所轄但此項鹽引係積年迤壓地方
官于緝私等事不能實力奉行已非一日即使
鹽務衙門呼應不靈亦應及早奏聞設法調劑
或即據實叅辦乃竟任其積壓因循觀望殊屬
延玩所有歷任鹽政著軍機大臣查明按其在
任年月分別議罪以示懲儆是日吏部議于軍
流子孫在配應試未經查明混行收考之前
任四川學政錢樾等照例銷去加級一疏奉
諭旨錢樾著銷去加一級免其

哈爾都統咨該處駢騎校圖巴扎布年老患病應准休致查該員曾經出兵打仗殺賊得

功牌可否給俸一疏奉

諭旨圖巴扎布曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原品休致給與全俸以養餘年

是日

起居注官葉觀國錢保

二十一日癸未

上詣覺生寺拈香是日內閣奉

諭旨此次押解逆首林爽文及賊眷目之各員弁

沿途俱能小心管押行走迅速且在台灣打仗

殺賊均屬奮勉所有解負馬龍李芳園張爾魁

除已加恩以應陞之缺陞用外仍俱著各賞綬

二匹參領札拉芬亦著賞綬二匹護軍校神奇

保守備丁士偉鄧應相德恩及千總領催俱著賞綬一匹其護解兵丁並著各該省督撫查明各賞給一月錢糧以示獎勵又奉

諭旨此次臺灣剿捕逆匪派調各省兵丁前往協勦均屬奮勉出力現在逆首就擒台灣全郡平定因念該兵丁等遠渡重洋究為涉險除福建本省及廣東浙江二省兵丁鄰近海疆渡洋素

所經習母庸另行加恩外其湖南廣西貴州及四川屯練兵丁俱應酌加恩賞如該四省兵丁現在已經撤回著李侍堯於該兵丁內渡時每名各賞給銀二兩如此直到時回兵已離閩境各歸本省即著李侍堯咨各該省督撫按名賞給又本日福康安奏現在台灣征兵俱已全數撤回惟酌留廣東兵一千名辦理善後事宜俟

事竣再行撤回等語此項兵丁既暫行留駐臺灣且前此隨征勦捕均極奮勉出力並著福康安徐嗣曾一併按名各賞給銀三兩以示朕格外體恤之意又奉

諭旨上年逆匪林爽文等糾衆滋事先經黃仕簡任承恩因循貽悞以致賊勢鴻張自常青前往接辦後亦惟知株守郡城將及半載並無寸進賊匪攻圍嘉義縣城時經常青奏令恒瑞帶兵往援恒瑞並不能打通道路攻透賊圍惟駐兵鹽水港遷延觀望轉以藉口賊多兵少張大其詞奏稱必須添兵六七萬方可集事當經降旨將恒瑞嚴行申飭而未發者恐搖動軍心也今日據福康安覆奏查明恒瑞往援嘉義縣時尚無忌功掣肘攔阻梁桂情事等語恒瑞之于

梁朝桂有無掣肘尚無關緊要惟伊張大其詞奏請多兵一節其搖惑軍心之罪斷不可逭現在福康安前抵鹿港率兵纔近萬未及三月即已屢破賊巢擒獲逆首南北兩路全境蕩平所用官兵止係屯練黔楚官兵數千何嘗需用多兵設如恒瑞所言必須添兵六七萬合之臺灣原有之兵則至十餘萬矣不獨各省徵發遠兵馳站騷擾且行走起渡需時目下尚不能全數到彼幸而朕洞燭幾先即令福康安海蘭察帶同巴圖魯侍衛等前往於恒瑞奏到時又以其言不可信諭令福康安堅持定見速由鹿仔港前進今得尅期歲功設非朕諭令福康安海蘭察前往即准其添調此十餘萬大兵交常青恒瑞二人統率則伊等在彼守候日事因循仍前

零星調撥不特嘉義縣城早為賊所陷即郡城亦必不可守尚復成何事體昨詢據委解逆犯來京之都司張爾魁稱賊匪攻圍嘉義縣城勢已危急若福康安遲到三日縣城必不能守是該處城池得以無恙者皆賴朕燭炳幾先命福康安等速往之效前因柴大紀駐守嘉義將及半載並據奏忍飢待援不忍出城朕嘉其忠義逾格加恩封為伯爵並賞銀萬兩倘非福康安早到則嘉義縣城已失柴大紀為賊所害伊既可藉口歿于王事罪狀或不致于敗露豈不使貪縱營私激成事端之人非惟倅逃重戾轉得叨冒厚恩茲幸福康安星往救應嘉義縣城得以無虞而柴大紀惶詞守城並貪贓各劣跡不旋踵而敗露前據琅玕奏訊據柴際盛供稱柴

大紀在任二年出息約有五萬餘兩本日又據福康安查明柴大紀曾得受兵丁林長春劉欽等番銀各一百數十圓將林長春等拔補外委等語柴大紀坐擁多貨于拔補微弁時尚敢婪得銀兩則其平日在任時冠扣侵漁賣官鬻爵自必更有大於此者除俟福康安徐嗣曾徹底查審明確定擬具奏外可見朕恩不能濫受昧良執法之人亦不為天理所容終致敗露而恒瑞從前之妄請多兵幾至惑衆誤事不可不治其罪矣彼時之不即明降諭旨者因正當軍務緊要之際慮致搖惑衆心并恐無識之徒妄議既令恒瑞前往勦賊又不予以兵力是以僅降旨申飭今大功告成恒瑞前奏之謬妄更屬顯然使此奏出自他人必當

身係宗室又未經歷戎行是_以從_之例從
寬革職俟其到京即發往伊犁_力贖罪即福
康安攻破大里杙後不速帶兵追剿_於屢經降
旨嚴飭原以兵貴神速刻不容緩倘福康安見
賊巢已破稍存大意不即追勦而朕復不加之
策勸俾賊得乘暇他逸甚或別滋事端則藏事
擒渠宣不多耽時日今既將二酋生擒全郡底

心深為嘉許海蘭察屢次督兵追剿甚為奮勇
可嘉又將莊大田家屬及逆犯莊大九林勇全
數擒獲而籌辦一切事宜均能井井有條福康
安海蘭察前已晉封公爵賞給寶石帽頂四團
龍褂四開氣袍著再各賞用紫鞚但福康安係
將軍發縱指使皆其調度福康安著加賞金黃
腰帶並賞給福康安海蘭察金黃瓣珊瑚朝珠
各一盤用示優異和珅承旨書諭一切清漢事
件始終巨細無遺勤勞懋著前已晉封伯爵著
一體賞用紫鞚以昭嘉勵朕於臣下功罪惟視
其人之自取一秉大公至正行軍用兵之際有
功即賞有罪必罰尤務嚴明從不絲毫假借而
當倍加儆省益矢公慎勉副朕教誨成全至意
大過小是以錄其功而宥其過福康安嗣後惟
當倍加儆省益矢公慎勉副朕教誨成全至意
前後遲速之間無不慎于先幾幸蒙
天佑所向克捷屢奏膚功所有隨時_隨着畫並_並給_給效辦

理賞功罰罪各諭著軍機大臣擇其要者補錄
發抄福康安本日奏到各摺一併發抄又奉
諭旨據福康安等奏稱鳳山縣屬之山豬毛一帶

各莊義民自前年逆匪林爽文莊大田滋事之

初經永福等派俸滿教授羅前蔭前往曉諭該

處義民隨即公捐糧餉挑選兵壯八千餘名設

立總副理事分管同心禦賊實為出力請將管

理義民之教授羅前蔭賞給同知職銜其前經
賞給同知職銜之義民總理事曾中立仍請賞
戴花翎一併送部引見義民副理事劉繩祖黃
袞涂超秀周敦紀請賞戴藍翎以示鼓勵等語
該處義民急公慕義一載以來隨同官兵剿殺
賊匪始終不懈實屬義勇可嘉業經頒給御書

匾額特加旌異並諭令將各義民等分別獎賞

矣所有管理義民之教授羅前蔭著加恩賞給
同知職銜曾中立業已賞給同知職銜仍著賞
戴花翎並加恩給予義勇巴圖魯名號俱著送
部引見劉繩祖黃袞涂超秀周敦紀俱著賞戴
藍翎用示優獎又另片奏嘉義縣義民首守備
黃奠邦倡率義民固守嘉義縣城屢次隨同打
仗頗屬勇壯義民首張元憲王得祿訪拏賊匪
不辭勞瘁請將黃奠邦賞給巴圖魯名號張元
憲王得祿賞戴花翎等語黃奠邦著賞給順勇
巴圖魯名號仍著一併送部引見張元憲王得
祿並著加恩賞戴花翎其曾中立黃奠邦仍照
加賞巴圖魯名號之例各賞銀一百兩以示獎
勸該部知道摺併發又奉
諭旨大紀在臺灣任內前後所得出息共有一

六萬金若僅止如鄭名邦所供得受兩外委駐
賄不過番銀二百圓為數無幾焉能如此之多
此外賣官鬻爵婪得多販必更有大於此者不
可不徹底跟究除現在應行提訊人証內微未
備弁即行照例咨革外如此外續有查出骯法
營私之文武各員即一面解任嚴訊一面具摺
參奏母任稍有隱飾此案並著徐嗣曾會同審

辦又奉

諭旨據福康安等奏自往南路以來官兵皆奮勉
奏功其中勞績超羣者奏請加恩等語此次官
兵衝險山密林將賊衆全行殲滅莊大田等乃
緊要賊首均已生擒其生擒賊衆不下千餘深
屬可嘉此內烏什哈達自去年先到臺灣一切
打仗陣前皆屬奮勉而于擎獲林爽文莊大田

時又能盡力沿海防守堵禦頭等侍衛博斌始
終奮勇莊大田即係伊隊所獲烏什哈達博斌
俱著賞給副都統職銜春寧亦實心奮勉于領
兵打仗亦為妥協春寧著授為頭等侍衛其餘
出衆奮勉人等即照福康安所奏健銳營前鋒參
六十七著賞給密楊阿巴圖魯健銳營前鋒參
領德成額著賞給飛里巴圖魯貴州副將岱德
著賞給法宏阿巴圖魯廣西遊擊王宣著賞給
額特赫巴圖魯廣東守備王德俊著賞給額圖
琿巴圖魯名號仍照例每人各賞給銀一百兩
健銳營副前鋒參領德楞泰著補授前鋒參領
三等侍衛翁果爾海著授為二等侍衛粘竿處
拜唐阿文春親軍永明著授為藍翎侍衛前鋒
校察靈阿著補授委署前鋒

尉富藍黑龍江驍騎校袁德永著授領外佐

領黑龍江領催森博爵著授領外佐驍騎校福

建遊擊李龍四川都司孟宏益土練委署守備

奔布太千總阿甲文喜保番子委署千總策江

俱著賞戴花翎成都前鋒委署官國爾明阿前

銳富蓮常靈四川千總馬登雲把總楊遇春白

連昇王士魁委署把總趙國泰唐玉龍趙開泰

貴州委署把總周廷亮兵丁穆田祿唐文高廣

東干總陳廷高廣西把總馬國良福建水師營

千總李光賢連高昇健銳營番子領催哈爾甲

雅什木德爾濟土練委署守備本泰土練委署

把總穆爾甲番子把總特琅沙拉番子委署把

總祿布俱著賞戴藍翎以示鼓勵是日吏部議

廣東巡撫圖薩布奏署永安縣知縣許敦元

試俸期滿准實授一疏奉

諭旨許敦元依議用餘依議又兵部奏江南狼山

鎮標左營都司員缺擬以太湖營守備李大

龍掣補一疏奉

諭旨李大龍依擬用餘依議

是日

起居注官平恕圖敏

二十二日甲申內閣奉

諭旨穆精阿現在出差明興現署山西巡撫刑部

滿侍郎乏員著度禮寶暫行署理又奉

諭旨據烏爾圖納遜等奏察哈爾麻紅旗舊額魯

特騎都尉羅卜桑喇卜坦于三月初一日逃走

請將該總管參佐領等官交部議處並請將伊

等一併議處等語羅卜桑喇卜坦于三月初一日逃走

官又係舊額魯特無故脫逃_逃_{想因避}續逃走除交直隸總督山西巡撫嚴行_查_{另降漢字諭}

旨外仍交該部咨行內外各_北_{薩克等處嚴行}

查拏總管係統辦一旗事務之人至該旗脫逃四品職官皆由伊平日管轄不嚴怠惰所致既逃後又未查出掩飾詳報情節更屬非是諾音托著暫行解任來京聽候議處所遺員缺著烏

爾圖納遜等由該處應陞人員內揀選送京帶

領引見補授餘俱著照原奏交部

是日

起居注官陸伯焜德昌

二十三日乙酉內閣奉

諭旨河南南陽府知府員缺著完顏岱補授所遺

員缺著舒明補授又奉

又奉

諭旨本日據劉表奏保定會城及安肅涿州等處各得雨一二寸不等俱未能沾透等語現在京城雖得澍雨而近畿一帶雨澤較稀今保定所屬及涿州等處得雨亦不過一二寸未為深透因念京城米麥全藉各處商販源源運赴接濟糶售今京城雖獲甘膏而畿南各屬雨澤稍缺恐商販米石運京較少市價不免日漸昂貴自仍應平糶俾小民口食益資充裕所有上年平糶餘存米三萬四千石即著原派監糶大臣照舊章程平糶並著戶部查明各倉現在麥石除著留敷用外其餘儘數發出交監糶大臣一併出糶仍隨時實力稽查不使姦商囤集壟斷務期市價平減民食有資以副朕惠鮮為懷至意

諭旨鄉會試為掄才大典士子讀書明理惟應奮

志積學各安義命以端始進考官等仰邀簡用

尤應公慎自矢杜絕干營為國家選拔真才方

為不負任使近日士子趨向不端每遇考試輒

百計鑽營夤緣關節其舞弊伎倆愈出愈巧而

考官等聽授請託曖昧營私甘心骯法無所不

至節經降旨訓飭不啻至再至三前據錢灋條

奏科場事宜一摺請將順天鄉試毋庸分別南

北中凹會試亦毋庸分別省分概凭文藝取中

以防查認關節之弊昨又據吳省欽條奏殿試

朝考散館大考俱請給發內府圖章交監試王

大臣將試卷逐加鈐記以防抽換試卷之弊已

批交原議大臣一併議奏因思科場條例於一

切防弊之法本為詳備上年復經大學士九卿

等申嚴例禁設法防閑纖悉具備其杜弊之方
幾至等于穿窬窩制稍有心者亦應激發愧
心爭相砥礪一洗從前卑鄙錮習今錢灋奏請
鄉會試不必分別南北中凹及省分中式一節
固為別除關節積弊起見但國家取士博採旁
求于甄錄文藝之中原屬廣收人才之意且各
省文風高下互有不齊若如錢灋所奏勢必至
江浙大省取中人數居其大半而邊遠小省或
竟至一名不中殊非就地取才之意錢灋係雲
南人所奏尚無別故若伊籍隸江浙等省則跡
涉阿私必至有干吏議矣又如吳省欽奏請頒
發內府圖章鈐記試卷一節意在防範抽換但
內府所貯寶章乃御用之件即係尋常閑散圖篆
亦不值于試卷紛紛鈐用已有旨令監試大臣

逐卷畫押以作標記矣夫繁設科條以杜獎賞不如嚴飭法紀以絕獎源士子及試官等俱身列衣冠乃通同舞弊罔顧廉恥今防弊諸法亦已無微不至在知愧知奮者自必痛改前非若不肖之徒冥頑無恥即多其條目日事防閑而防弊之法有盡舞弊之術無窮或仍思行險徼倖希冀苟免此不在增設條例而在嚴示創懲也士子與試官勾通闊節國初年間有問擬腰斬者立法至為嚴峻其後賄賣生童如俞鴻圖喀爾欽及科場交通關節之蔡時田曹詠祖等俱節次破案無不立時伏法覆轍具在可為炯戒朕意節經整頓之後場屋諸弊自必漸次廓清乃近日鄉會試種種獎端復又漸作諸臣所奏防弊之條層見疊出閱之實深愧歎士子等

涵濡教澤百有餘年不為不久今作奸犯科之徒蕩檢踰閑罔知儆畏朕既道之以德尤不得不齊之以刑嗣後鄉會試榜發後朕當特派親信大臣于城內乾清宮圓明園正大光明殿覆試如有文理不通筆跡不對較取中原卷大相懸絕者即立行斥革嚴究倘有賄賣闊節等弊即將該生及主考房官按律立正典刑如究出係鉅債傳遞者亦分別從重治罪決不稍貸至各省學政俱有衡文取士之責近日風氣波靡亦皆因生童應試時即不能端本所致著通行嚴飭各學政俾各加猛省如有行私舞弊賄賣生童者一經敗露朕惟執法從事刑茲無赦並交各該督撫嚴行查訪如有前項情弊立即據實嚴參究辦倘有心徇隱或別經鑒寘以將該

督撫一併問擬重辟決不姑寬勿謂朕言之不早也所有錢灋吳省欽條奏_錄對讀入場

不准先給筆硯等物及試卷添用稿紙停止恩

賞飯桌仍照所請行外餘俱著毋庸重議徒滋

繁瑣將此通諭知之又奉

諭旨朕於五月十九日起鑾幸避暑山莊立秋

後巡幸木蘭所有應行出派預備之處著交各

該處照例辦理是日閩浙總督李侍堯奏江南

試用通判李龍湛江南奇營遊擊童陞於解

閏餉錢在浙江玉環洋面地方被刻通同地
方官賠補匿詳請將該二員革職解交浙江

巡撫琅玕歸案嚴審一摺奉

諭旨這所參通判李龍湛遊擊童陞著革職拏問

交琅玕歸案嚴審定擬具奏該部知道摺并發

是日鑲紅旗護軍統領奏補續辦事副護軍
參領員缺帶領副護軍參領瑪凌阿引

見奉

諭旨瑪凌阿著補授續辦事副護軍參領

是日

起居注官王懿修塘五珠

二十四日丙戌吏部議江西巡撫何裕城奏

署豐城縣知縣李培試俸期滿准實授一疏

內閣奉

諭旨李培依議用餘依議又兵部奏甘肅提標中

軍參將員缺擬以廣武營遊擊明廣掣補一

疏奉

諭旨明廣依擬用餘依議是日巡視南城給事中

成德等奏據吏目符國琛盤獲婁四在天津

夥同劉二販賣萬老么偷竊官銅請交部嚴

審符國琛可否量加鼓勵之處一摺奉

諭旨此案交刑部嚴行審究定擬具奏其拏獲偷

買銅斤之吏目符國琛著送部引見又吏部帶

領呈請終養以京員改補之原任四川夔州

府通判福昌阿引

見奉

諭旨福昌阿著以主事用

是日

起居注官嵩貴陳崇本

二十五日丁亥吏部議浙江巡撫琅玕奏署

東陽縣知縣謝昕試俸期滿准實授一疏內

閣奉

諭旨謝昕依議用餘依議又議委查迪化州等處

修建倉廩所需人工物料價值並不詳核時

價草率驗報之甘肅候補知府永盛照例革

任一疏奉

諭旨依議其因不詳核時價草率驗報議以革任之

永盛著該督出具考語送部引見又刑部等衙

門議安徽巡撫書麟奏宿州民田洪茂之妻

楊氏與楊雪通姦致楊雪將田洪茂殺死依

律楊雪擬斬監候楊氏擬絞監候查楊氏並

不知情因楊雪殺死伊夫邀令同逃該氏聞

言哭喊央求隣右投保得以伸雪夫寃尚有

不忍致死其夫之心可否援例減等發落一

疏奉

諭旨楊雪依擬應斬著監候秋後處決楊氏與楊

雪通姦當楊雪殺死伊夫邀令同逃楊氏聞言

哭喊央求隣右投保伸雪夫冤尚有不忍致死
其夫之心著從寬免死照例減等發落餘依議

又鑲黃旗漢軍都統奏補叅領等缺帶領正

陪人員引

見奉

諭旨王瑞著補授叅領王贊著補授副叅領何銘

著補授印務章京

是日

起居注官王保吳璥

二十六日戊子

上詣靜明園妙高寺拈香是日內閣奉

諭旨據勑保奉叅草四川金堂縣知縣楊掄名下

有應追金川軍需米石部駁刪減銀二千三百

七十三兩零該員自叅草回籍旋經病故節據原

籍中衛縣嚴行追比其子楊熙載並無官職家

產實已罄盡前項銀兩委係無力完繳等語此

項部駁刪減銀兩本應著落承辦之員措繳賠

補今既查明楊掄原籍家產罄盡其子嗣並無

官職無力完繳所有該革員名下應追軍需米

石部駁刪減銀二千三百七十三兩零著加恩

豁免該部知道摺并發又吏部議湖廣總督舒

濟亨調補一疏奉

諭旨鍾濟亨依議調補餘依議是日禮部侍郎藍

應元奏久病未痊懇

恩俯准休致俾得回籍調理一摺奉

諭旨藍應元著准其原品休致回籍調理

是日

起居注官鐵保茅元銘

二十七日己丑內閣奉

諭旨昨據劉裁奏豫省漕船因衛河水淺阻滯現

派往大名元城等處設法籌辦等語本日又據

畢沅奏直隸山東一帶天氣乾燥河流淺澁德

左等八幫現尚在直東交界內已派員馳往會

同該二省各地方官上緊催趨等語此項漕船

係裝載豫省糧石其行走遲滯係因衛河水淺

所致原與山東無涉即經由直隸地方亦不遇

兩縣劉裁不及早籌辦直至接准蘭第錫知會

始派員前往已屬遲緩畢沅係本省巡撫不能

預為設法辦理而轉以直東二省河流淺澁畢

沅著吏部議處劉裁之過較輕著吏部察議其

押運遲慢暨不能實力催趨之地方官並著該

督撫查明輕重分別叅處仍督飭所屬迅速趨
運以期挨帮前進勿再延誤干咎至畢沅摺內
稱衛河來源不旺應將上流多為啟導并將旁
流堵閉以濟運行等語衛河之水不但通濟漕
運兼資灌溉民田現在京通各倉存貯豆麥尚
有盈餘平糶非必專待本年運到豆麥以為接
濟即使該省漕船抵通稍遲亦無妨礙况昨據
長麟奏先令東省漕船越次先行俟豫省漕船
到境即補帮行走本日毓奇亦奏稱計算時日
南船隻不致有擁擠阻壓之虞何必專以濟
運為急若如畢沅所奏將旁流一并堵閉該省
目下尚未據得有透雨河北民田將何以灌溉
是漕運稍遲尚非刻不容緩之事若民田失水
必至有妨種植關繫尤重畢沅所辦殊屬錯悞

著傳諭該撫止須于衛河上流多方疏浚其旁

流處所向資溉田之用者斷不可堵閉以副朕

念農田至意又奉

諭旨據永鐸奏伊犁滿營出有佐領二缺擬定正

陪奏請補放等語著照永鐸所奏移彰阿所遺

佐領員缺著擬正之防禦富德補放永德所遺

佐領員缺著擬正之防禦窩星額補授遇便來

京補行引見是日太常寺奏四月初六日祭

常雩壇前期視牲看牲一疏奉

諭旨遣裕豐視牲德明看牲又吏部議署山西巡

撫明興奏和林格爾理事通判員缺准以委

用通判阿永補授一疏奉

諭旨阿永依議用餘依議又戶部議山東省經徵

五十二年分額征地丁銀兩未完一分以上

應將督催不力之布政使繆其吉等照例分

別罰俸革職一疏奉

諭旨繆其吉著罰俸六個月明興著於現任內罰

俸三個月其因經徵地丁錢糧未完五分以上

議以革職之楊英會俟服闋之日著本籍該督

查照原咨考語送部引見餘依議

是日

起居注官陸伯焜圖敏

二十八日庚寅內閣奉

諭旨據集善奏伊現在患病奏請解任調理等語

著照集善所奏准其離任回旗調理所遺員缺著富昌調補富昌所遺廂黃旗蒙古副都統員

缺著海寧調補是日兵部奏江南吳淞營叅將員缺擬以浙江溫州鎮標遊擊馮颺掣補一疏

奉

諭旨馮颶依擬用餘依議

是日

起居注官德昌陳萬青

二十九日辛卯內閣奉

諭旨浦霖奏查抄原任臺防同知劉亨基家產一

摺內稱訊據劉亨基之子劉利鉞供出伊父在

閩省陸續寄回銀陸千餘兩五十一年伊弟從任所回家在泉州府海面遭風壞船同親族家人共十三名一齊淹斃行李資財盡數漂沒等語前因臺灣被賊戕害各員有平日居官尚屬廉謹者亦有在任時貪饕素著者節經諭令李侍堯查訪明確奏明分別辦理嗣據李侍堯查明孫景燧劉亨基程峻董啟挺唐鑑數員在任

久暫不同聲名俱屬狼籍是臺灣逆匪滋事不但由於營伍廢弛而地方官侵貪歛怨以致釀成巨案若貪劣各員雖已被賊戕害而其家屬仍得坐擁豐饒不足以示懲儆是以降旨將各該員家產查抄入官以備抵補軍需之用此等被賊戕害各員如果抗節捐軀死于王事本應一律給予卹典設其家屬因公猝遭他變亦可酌量加恩以示軫恤今劉亨基以同知俸廉論之不能自臺灣陸續寄回銀陸千餘兩置買田地又於五十一年令伊子同親屬攜帶貲財內渡該員僅係同知微員廉俸無幾此正劉亨基在任時肆意貪黷積有餘貨之証自知為衆怨所歸因見該處情形必滋事端恐致受累即預令家屬攜帶多資內渡回籍著為營窟之計而

中途洋面遭風壞船親族人等俱被累淹斃資

財漂沒無存可見昧良贖貨執法釅變之人即

其身倅逃憲典必為天理所不容報應照然可

為烟戒嗣後有守土之責者惟當各矢清慎砥

礪廉隅時時循思天理凜遵國法若不知儆畏

惟事貪婪則劉亨基等即其前車之鑒所有節

次奏到查抄臺灣貪縱譏變各員原摺俱著發

抄又奉

諭旨據和珅等奏此次巡幸天津沿途各省督撫

鹽政織造等呈進緞紬皮張荷包帽緯等項除

沿途頒賞隨圍王大臣並直隸辦差大臣官員

人等外其賞用餘剩物件請留備賞需之用等

語向來巡幸各省督撫等俱各呈進土物以備

賞需今閱和珅所開清單此次賞用餘剩物件

留存甚多儘足備一二次巡幸頒賞之用五十

五年朕瞻禮

岱宗展謁

關里沿途應頒賞賜即以此次餘剩物件帶往頒

給尚屬寬餘該督撫等若再備路貢呈進不但

徒滋糜費且久經存貯亦屬無用所有五十五

年東巡各督撫等著遵旨無庸呈進路貢並交

奏事處不准接收又奉

諭旨海寧所遺廂藍旗蒙古副都統員缺著臺費

績補授是日吏部議山東巡撫長麟奏冠縣知

縣員缺准以寧陽縣知縣湯桂調補一疏奉

諭旨湯桂依議調補餘依議

是日

起居注官塘五珠曹城

三十日壬辰內閣奉

諭旨李南馨依擬用餘依議又正黃旗滿洲都統

奏補吉林協領帶領保送人員引

見奉

諭旨明保著補授協領又奏補世管佐領帶領正

陪人員引

見奉

諭旨五格之世管佐領著五福承襲

是日

起居注官嵩貴方焯

提出六十萬道分作五年帶運所有正雜錢糧
亦准其分作五年帶徵以疏積壓而紓商力是
日吏部議署山西巡撫明興奏署和順縣知
縣汪太鑄試俸期滿准實授一疏奉

諭旨汪大鑄依議用餘依議又兵部奏福建銅山
營參將員缺擬以廣東碣石鎮標左營遊擊

李南馨掣補一疏奉

乾隆五十三年歲次戊申四月十六日戌申

上詣仁育宮龍王廟拈香
駕還圓明園是日內閣奉

諭旨京城自三月二十日得有透雨後迄今將及

一月近日雖經陸續得雨前後計算不過三四寸未得優霑深透現届大田播種之時民間情

殷望澤朕心甚切焦勞著該部查明向例敬謹

設壇祈禱以期普被甘膏又奉

諭旨此次臺灣剿捕逆匪同知徐夢麟協同辦理軍需及防守事務尚為出力所有泉州府知府

員缺即著徐夢麟補授又奉

諭旨據福康安等奏凱旋官兵分起渡洋內福州

駐防一起官兵在鹿仔港更換大船候風放洋有領催蘇楞額等乘坐哨船已至港口未上大

船陡起風暴飄至大洋正在危險忽有異鳥飛集船頭船戶等謂得神祐必可無虞飄流兩日

夜幸不覆溺適於黑水洋遇見他船兵丁等獲

救過船軍裝械運甫竟見原坐哨船下有數丈大魚浮出水面原船登時沈沒等語此次派往臺灣剿捕官兵及運送錢糧鉛藥等項渡洋多獲平穩前此福康安自崇武澳放洋前抵鹿仔

天后廟宇并親書聯額二分於廈門興化兩處懸

堯等修葺

天后助順靈應垂庥實深欽慮節經降旨交李侍掛以昭

靈貺茲福康安等奏福州駐防官兵內渡船隻在港口被風遇危獲安釐徵

奏為之額等

現在兵船陸續內渡者尚多據福康安等奏海
洋三四月間風力平和四月前後可全數撤竣

仰荷

靈祇默佑官兵安穩遄歸允宜增益鴻稱褒崇封

號著於

天后舊有封號上加增顯神贊順四字用答

神庥而隆妥備並再書匾額一面交福康安等於

諭旨章珮瑜依議用餘依議又兵部奏貴州古州
鎮標中軍遊擊員缺擬以預保都司褚繼良

掣補一疏奉

是日

諭旨褚繼良依擬用餘依議

起居注官陸伯焜固敏

十七日己酉內閣奉

諭旨福建汀漳龍道員缺緊要著該督撫於通省
飄船隻雖遇救援無虞但因公冒險殊堪憐念
著照前次凱旋兵丁漂泊粵境之例每名賞給
銀貳兩以示格外體恤再救渡兵丁之許長發

究為何人并著福康安等查明酌加獎賞摺並
中揀選一員調補所遺員缺著甘立德補授又

授又奉

發是日吏部議直隸總督劉岱奏署良鄉縣知
縣章珮瑜試俸期滿准實授一疏奉

諭旨孫士毅等奏查抄原任諸羅縣知縣唐鑑家

產一摺內稱唐鑑本屬貪苦嗣分發閩省試用
四十九年九月署諸羅縣事曾先後四次寄回
花銀一千七百七十圓紋銀一千一百三十八
兩等語前因臺灣被賊戕害各員內有平日居
官尚稱廉謹亦有在任貪聲素著節經諭令福
康安李侍堯查明確奏明分別辦理嗣據李
侍堯查明孫景燧劉亨基程峻董啓璽唐鑑數
員雖在任久暫不同聲名俱屬狼籍是以降旨
將各該員家產查抄入官以備抵補軍需之用
茲據孫士毅等查奏唐鑑家本貧苦委署諸羅
縣事爲時未久即寄回二千數百兩之多若非
在任時肆意貪婪何從得此多贊况昨據福康
安奏到亦稱董啓璽劉亨基唐鑑聲名平常與
李侍堯所奏均屬符合可見此次臺灣逆匪滋

事不但由於營伍廢弛竟係該府廳知縣等侵
貪斂怨以致釀成巨案地方官吏如果素無劣
蹟猝被賊害尚當予之卹典是以長庚俞峻各
員據福康安等奏其居官尚好皆即文部優卹
若唐鑑等贓私累累骯法釀變此而因其被賊
戕害遂爾不憲其貪則伊等家屬仍得坐擁豐
饒無以示儆將來接任各員必各相率效尤復
萌貪縱故智不久而又別滋事端非所以做官
邪而靖海疆也今當此徹底查辦之後該地方
官務當各矢清慎砥礪廉隅時時循思天理凜
遵國法倘不知懼畏惟事貪蹟則唐鑑等即其
前車之鑒也所有孫士毅等摺著一併發抄是
日吏部議湖北巡撫姜景泰漢川縣知縣員
缺准以候補知縣玉瑞補授一疏奉

諭旨王瑞依議用餘依議又議失察軍犯在配行
兇約束不嚴之陞任山西壽陽縣知縣瞿應

見奉 標左營遊擊徐超引

咸照例降調一疏奉

諭旨依議其因約束不嚴議以降調之瞿應咸著
該督撫出具考語送部引見再降諭旨又兵部
議兩廣總督孫士毅奏廣西新太協副將員
缺准以撫標中軍叅將德克精額陞補一疏奉

都司曹福公引

見奉

諭旨德克精額補授廣西新太協副將餘依議又
帶領題補湖南撫標中軍叅將尚維侗引

文通引

見奉

諭旨尚維侗准其補授湖南撫標中軍叅將著赴

新任又帶領保列一等之陝西固原提標中軍
叅將李良輔引

見奉

諭旨曹文通准其卓異註冊又帶領預行保舉之

湖南長沙協中營都司

見奉

諭旨陳宗武准其預保註冊

文帶領支差西洋人

潛匿傳教議以降調之

江西水新營都司

逢時江西萬安營都司劉興隆引

見奉

諭旨王逢時劉興隆俱著照部議所降之級從寬

留任又正紅旗滿洲都統奏補吉林協領帶領

正陪人員引

見奉

諭旨德山著補授協領

是日

起居注官鐵保王懿修

十八日庚戌內閣奉

諭旨向來山東河營汛弁有俸滿保送分別營衛

陞用之例而河北額設千總向無此例未免偏

枯嗣後北河額設千總已届俸滿如果有防汛
實心奮勉出力者著照山東河營汛弁之例照
例分別等第送部帶領引見又奉

諭旨烏爾圖那遜奏察哈爾正黃旗總管扎勒桑

患病解任所遺員缺另請補放等語扎勒桑著
原品休致所遺員缺著領侍衛內大臣等揀選
帶領引見發往餘著照所請行是日吏部議直

隸總督劉岱奏理事通判管潔平縣知縣事

員缺准以候補理事通判德象補授一疏奉

諭旨德象依議用又議漕運總督毓奇咨承緝盜

案四參未獲之安東縣知縣鄭廷棟照例降

調一疏奉

諭旨依議其因盜案四參承緝不力議以降調之

鄭廷棟著該督撫出具考語送部引見再降諭

旨又兵部奏山西靖安營都司員缺擬以四川

建昌鎮標左營守備李正華籤陞山西北樓

陞一疏奉

州衛守備員缺擬以杭嚴衛千總支秀發籤

營屬平刑關都司員缺擬以陝西西鳳營守

備馬天奇籤陞陝西邠州營都司員缺擬以

四川達州營守備王琯籤陞四川黑彭營都

司員缺擬以江南淮安城守營守備王鎮籤

陞陝西鄜州營都司員缺擬以四川提標中

諭旨范濬依擬用餘依議
一疏奉

是日

起居注官陳崇本德昌

十九日辛亥內閣奉

守備員缺擬以四川綏寧營千總張光普籤
陞湖廣提標右營遊擊中軍守備員缺擬以
直隸靜海營千總張得勝籤陞貴州提標後
營遊擊中軍守備員缺擬以浙江海防營千
總萬錦籤陞山西撫標左營中軍守備員缺
擬以直隸馬蘭營千總張兆元籤陞浙江處

論旨阿桂等議覆尚安奏烏魯木齊所屬酌減新
增地糧一摺請將從前清丈餘地增額徵糧如
何定擬緣由令永鐸會同尚安詳議覆奏到日
再行核議固屬核實辦理第令烏魯木齊所屬
地方遠在邊陲惟在廣為招墾耕種地畝日闊

日廣則交納糧石自可日漸加增若新增餘地不准量爲酌減一律按則徵糧小民不能得有

羸餘或至裏足不前憚於承種則新疆地畝轉致閒曠亦非所以軫恤邊黎之意且永鐸係原辦之人今若令其再行會議恐不免心存迴護所有尚安奏烏嚕木齊前次查辦多墾餘地應徵新糧著照所請准減一半毋庸再行會議俾

民戶易於交納以示朕加惠邊黎至意

是日

起居注官陸伯焜塘五珠

二十日壬子內閣奉

諭旨此次巡幸天津沿途接駕之廢員據該部查

開履歷案情朕詳加檢閱其緣事情節稍輕之

杜琮張裕穀費嘉紹裴灼文陳煜李元位程嘉

璣等七員俱著該部帶領引見其休致檢討王允中張位二員著考試後再降諭旨又奉

諭旨據李世傑等奏四川屯守備阿忠布木曾在

年二月十三日因病身故等語阿忠布木曾在

軍營帶兵打仗出力此次剿捕臺灣逆匪調派

屯練兵丁時該屯弁因年老未能親往派令伊

子思丹巴拉爾結帶兵前往打仗殺賊甚為奮

勉出力特諭令李世傑等賞給阿忠布木綬足

荷包以昭優獎今該屯弁因病身故殊堪憫惻

伊次子思丹巴三子拉爾結自臺灣凱旋撤回

將次回川所有伊長子阿結現在京藍翎侍衛

上行走即著賞給驛馬回塞治喪并著李世傑

於川省藩庫內賞給銀一兩

阿忠布木別恩滿屯守備

所請令伊第三子拉爾結承襲該部知道又奉

諭旨據尚安奏烏嚕木齊滿營所遣揚補員缺擬

定正陪請旨補放等語著照尚安所請福星保
所道協領員缺將擬正之佐領西靈阿補授遇

便送京帶領引見

是日

起居注官嵩貴茅元銘

二十一日癸丑

上詣黑龍潭拈香是日內閣奉

諭旨據劉岱奏順天等府屬四十九州縣本年春

小民生計不無竭蹶等語本年順天等府屬春
膏稍缺入夏後雨澤又未能一律普沾二麥難

望有收大田亦多未種若將新舊錢糧同時並

征民力未免竭蹙所有順天府屬之大城文安

保定武清寶坻薊州保定府屬之清苑唐縣博

野望都完縣祁州東鹿河間府屬之河間任邱

獻縣文河阜城景州東光吳橋寧津肅寧故城

天津府屬之靜海青縣南皮滄州鹽山慶雲正

定府屬之正定井陘新樂行唐晉州無極藁城

冀州併所屬之南宮新河棗強趙州併所屬之

隆平寧晉深州併所屬之武強饒陽定州併所

屬之曲陽等四十九州縣併宣化府屬之延慶

赤城龍門三州縣應征即年新舊錢糧倉穀旗

租及萬全等州縣上年因災賞借之口糧俱著

加恩一體緩至秋成後再行徵收如並無節欠

糧租者准其將本年新糧一體緩征俾民間生

計益資寬裕以副朕軫念民瘼有加無已至意

該部即遵諭行摺併發

是日

起居注官王保陳嗣龍

二十二日甲寅卯刻

上御勤政殿聽政部院各衙門官員面奏並帶領
上御勤政殿聽政部院各衙門官員面奏並帶領

侍班司員引

見畢大學士公阿桂大學士嵇璜大學士伯和珅

疏

大學士王杰協辦大學士吏部尚書劉墉學
士孔勒翰僧保住胡高望張若渟以折本請
旨覆請吏部奏補通政司參議將應陞人員開列

恭候

欽定一疏

上曰劉紹錦補授通政司參議又覆請吏部奏補
鴻臚寺少卿將應陞人員開列請

簡一疏

上曰王爾烈補授鴻臚寺少卿又覆請吏部議直
隸總督劉峩奏天津府河捕同知員缺准以
天津縣知縣金之忠調補查金之忠歷俸未滿
城縣知縣金之忠調補查金之忠歷俸未滿
與例不符既經專摺奏請可否准其調補一

上曰依議都世嘉准其回旗調理又覆請戶部奏
九江關監督海紹一年期滿照例更換或仍

令海紹管理之處恭候

欽定一疏

上曰九江開稅務著海紹再管一年又覆請刑部

等衙門議江蘇巡撫閔鵠元奏海州民李琴

歐傷李萬身死依律擬斬監候查李琴係雙

目全贖可否援例減等收贖一疏

上曰李琴從寬免死照例收贖餘依議又覆請刑

部等衙門議江蘇巡撫閔鵠元蕭縣縣民郭

四踢傷潘良身死依律擬斬監候查郭四父
郭大年踰七十家無次丁可否援例留養一

疏

上曰郭四從寬免死照例廢落准留養親餘依議

又覆請刑部等衙門議山西巡撫明興奏襄

陵縣民柴奴娃踢傷褚元子身死依律擬斬

監候查柴奴娃年僅十四可否照例減等收
贖一疏

上曰柴奴娃從寬免死照例減等收贖餘依議又

都察院奏補刑科掌印給事中開列正陪請

簡一疏

上曰蘇楞額補授刑科掌印給事中是日內閣奉
諭旨惠齡現在出差所有平糴事務著保成代辦

又奉

諭旨鄂爾多斯游牧通年以來饑旱相仍傷損畜
產屬下人等生計拮据尚屬確實著加恩即照
西當巴拜塞旺喇什所請均准借給王貝子俸
銀十年以資畜牧各將屬下人等善為約束撫
養勿得致令妄費餘著照此請行是日吏部奏
山西省大計才力不及

山西按司同知章宗

輅忻州學正密時泰

講學

吳暉烈浮

躁官太谷縣訓導郝鑑

老官

河東鹽運司

楊令琢寧鄉縣知縣彭澤王寒縣知縣張蘭

芮城縣知縣謝鍾鼎鳳臺縣教諭韓仙檜嵐
縣訓導李濟衆廣靈縣訓導馮德岱朔州訓
導劉以清潞城縣平順訓導張鵬舉有疾官
黎城縣知縣全吾懿右玉縣教諭任錫紱屯

留縣訓導白登瀛等照例分別降調休致一
疏奉

諭旨這考察各官才力不及浮躁者分別降調年
老有疾者勒令休致餘依議又議失察土司龍
世俊家屬潛逃回籍之前任安徵按察使馮
光熊等遵

旨議處照例降調一疏奉

諭旨馮光熊著從寬免其革任仍註冊陳淮奇豐

額福寧郭世勲俱著降一級留任伍拉納王懿

德俱著銷去加一級免其降級餘依議又議於

所屬境內解閩餉錢被劫不能先事防範之
浙江溫州府知府張慎和照例降調一疏奉

諭旨張慎和著改為降三級從寬留任餘依議又

帶領揀發直隸河工候補府經歷曾本等四

十二員引

見奉

諭旨曾本陳樹義陳炎李康張進忠俞鳳莊高駟

黃釗高孝基汪如潮李培林歐陽立魁袁汝淳

吳居菴潘琳韓毅仁聶菴李紹鼎劉觀成楊映

昶吳懷沈國堂許宸朱楷金國珍張拱辰等二

十六員俱著發往直隸支興課督差遣委用又

帶領揀發長蘆候補鹽大使周瑞熊等六員
引

見奉

諭旨周瑞熊沈琳楊恪何道榜著發往長蘆文與
該鹽政差遣委用

是日

起居注官嵩貴錢保平恕璫五珠

二十三日乙卯內閣奉

諭旨此次天津接駕之原任檢討王允中張位二

員前因大考休致文理自屬平常不必再行考
試著吏部於廢員引見時一同帶領引見候朕

酌量降旨又奉

諭旨綽克托現已年老精神漸覺衰頹戶部事務
繁劇恐照應未能周到吏部司分較少且綽克

托在吏部年久尚爲熟諳福康安到京後仍回
陝甘總督之任吏部尚書乏員著綽克托署理
不必辦理戶部事務至戶部現有和珅管理其
尚書侍郎內有董誥諾穆親將賜榮汪承霈不
爲乏人嗣後每遇朕啟鑾巡幸時和珅董誥皆
當扈蹕前往戶部尚書乏人即著金簡兼署是
日太常寺奏五月初三日

孝誠仁皇后忌辰致祭

景陵一疏奉

諭旨遣永錫行禮又吏部議直隸總督劉岱奏古
北口理事同知員缺准以候補理事同知庫
蒙額補授一疏奉

諭旨庫蒙額依議用餘依議又議署陝甘總督勒
保奏甘肅循化同知員缺准以莊浪茶馬同

知台斐英阿調補所遺員缺准以候補同知

託金補授一疏奉

諭旨台斐英阿等依議調補餘依議又兵部等衙

門議平定臺灣全郡之將軍協辦大學士公

福康安等遵

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨福康安海蘭察鄂輝俱著加三級

是日

起居注官鐵保陳萬青

二十四日丙辰吏部議署山西巡撫明興奏

署文水縣知縣胡龍光試俸期滿准實授一

疏內閣奉

諭旨胡龍光依議用餘依議又兵部奏湖北衛昌

營守備員缺擬以預保千總王吉鼎掣補一

疏奉

諭旨王吉鼎依議用餘依議

是日

起居注官圖敏曹城

二十五日丁巳內閣奉

諭旨據博清額奏由臺灣撤回兵丁行至澎湖陡遇暴風正紅旗漢軍官兵所坐船隻損壞遺失

軍器數件請將驍騎校黃鐸陳奇翰交部嚴加

議處並自請察議等語是何言也廣州駐防兵

丁於臺灣成功回至大海陡遇暴風損壞船隻

前後未能相顧但失軍器官兵不致傷損仰賴

上蒼恩佑官兵不但無罪尚堪憐憫從前據孫士毅

奏到朕俱加恩賞給銀兩

殊屬非是博清額若故為此奏

奏

心存取巧如以遺失軍器拘泥成例奏請亦甚

不曉事體著履加申飭外

博清額及韓騎校黃

鐸陳奇翰俱著毋庸議處所失軍器免其追賠

是日

起居注官德昌方煒

二十六日戊午太常寺奏五月十八日夏至

致祭

方澤壇一疏內閣奉

諭旨朕親詣行禮四從壇遣善保德陞嵩齡鄂爾

弼圖各分獻又吏部議江蘓巡撫閔鶚元奏沫

陽縣知縣員缺准以候補知縣宋宜誠補授

一疏奉

諭旨宋宜誠依議用餘依議又議陝西巡撫巴延

三秦白水縣知縣員缺准以候補知縣胡國

棠補授一疏奉

諭旨胡國棠依議用餘依議又戶部議經徵五十

一年分旗地租銀照數全完之原任

盛京金州城守尉奇臣等照例紀錄一疏奉

諭旨奇臣著紀錄一次餘依議又兵部奏山東撫

標中軍叅將中軍守備員缺擬以江蘓撫標

千總劉炳勲掣補一疏奉

諭旨劉炳勲依擬用餘依議

是日

起居注官葉觀國玉保

二十七日己未吏部議承審龍泉縣僧人性

梅歐傷伊徒身死一案故出罪名之前任江

西吉安府知府張明謙照劄降調註冊一疏

內閣奉

諭旨依議其因承問失出議以降調註冊之張明謙俟赴補之日仍照前旨著本籍督撫查照原

咨考語送部引見又刑部等衙門議

盛京刑部侍郎榮柱奏七十五與圖仰阿族妹

王趙氏通姦致毆圖仰阿身死七十五依律

擬斂監候王趙氏擬以杖責等因查七十五

因圖仰阿窺破姦情禁絕往來含怨在心寅

夜糾人偕往尋鬧乘圖仰阿已卧石毆三傷致死其時業已二更斷無不關閉門戶之理非挾嫌預謀即臨時故故料以毆殺人之條殊未允協應令該侍郎再行詳細研鞠按律妥擬一疏奉

諭旨部駁是依議此案著交署將軍慶桂會同該

侍郎覆審定擬具奏盛京刑部侍郎僅止一員

若部駁事件仍交原審之人辦理必有迴護此後盛京審辦事件有經部議駁者該部即奏請

交盛京將軍或別部侍郎內特派一員會同覆

審

是日

起居注官嵩貴平恕

二十八日庚申內閣奉

諭旨刑部議覆臺灣逆匪家屬罪名一摺請將賴箋莊樹二犯照大逆緣坐即行正法固屬照例辦理但此案林爽文糾衆不法實為罪魁惡首首次林爽文之父林勑一犯拏獲奏到朕以罪人不孥本不欲因其子之惡而殘及其父嗣

該犯解到後經大學士九卿等審覈以林勑曾與林爽文商畫計策並派

為助逆不法且係先逆首犯之父奏請按律緣

坐即行正法是以照例辦理今賴篆

名鑑應

父伊子賴應祇受林爽文偽封不過從犯莊樹

係莊大田大功堂兄亦非例應緣坐嫡屬若俱

照緣坐之律問擬立斬究覺有所不忍賴篆莊

樹俱著改為應斬監候文刑部牢固監禁以示

法外施仁之意餘依議是日吏部議失察書吏

李炳溢用印信之禮部堂司各員照例分別

革任降調一疏奉

諭旨德保達椿德明俱著從寬免其革任仍註冊

彭元瑞著降一級從寬留任藍應元著從寬免

其降去頂帶一級餘依議又兵部議湖廣總督

舒常奏湖南長安營遊擊員缺准以湖北襄

陽鎮標前營都司綽爾渾補一疏奉

諭旨綽爾渾依議用餘依議又議舒常奏湖南辰

州協中軍都司員缺准以保靖營守備尹尚

榮陞補一疏奉

諭旨尹尚榮依議用餘依議又吏部奏補內閣漢

侍讀員缺帶領中書程炎等二員引

見奉

諭旨內閣侍讀員缺著擬正之程炎補授又帶領

貴州巡撫李慶棻奏請陞署永豐州知州之

現任貴筑縣知縣嚴宜引

見奉

諭旨嚴宜著照該撫等所請准其陞署永豐州知

州又帶領病痊赴補之原任甘肅洮州撫番同

知福善引

見奉

諭旨福善著仍發往甘肅以同知用又帶領經徵
西稅未完革職續經全完例應開復又另案
錯擬罪名照例降調之廣西博白縣知縣黃

圖引

見奉

諭旨黃圖著准其開復仍發往廣西以知縣用其
降級之案帶於新任又正藍旂滿洲都統奏補

吉林佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨劉德著補授佐領

是日

起居注官陸伯焜塘五珠

二十九日辛酉內閣奉

諭旨昨據永鐸奏照料哈薩克來使之委署護軍

參領經文協領德明等在直隸山西陝西寧夏等處共買子女十人請將經文等交部議處等語已降清字諭旨將經文等革職並將失察之沿途督撫嚴行申飭矣地方遇有災祲無業貧民賣鬻子女原屬間有之事從前田文鏡在河南巡撫任時曾禁止民人不准出境其意不過為諱災起見此等貧民既因災歉口食無資不得已將其子女出賣地方官果撫恤得宜無此等事則善矣若概行禁止則災黎貪乏不能自存又無以養贍其子女必致歸於餓斃豈軫恤災黎之道自不若聽其賣鬻則貧民既可得有身價借以存活而其子女有人養育亦不至於凍餒之患豈非一舉兩得又何必強為禁止耶但民人子女或就近賣與地方民戶及過往客

商固所不禁即各省赴京引見官員沿途價買
攜帶亦尚屬可行至如由新疆押解人犯及照
料回子護送哈薩克使人並押送官物之官員
人等俱係由驛站行走理宜簡便若沿途買帶

子女則揀擇看視說合講價既不免等候需時
而買定後沿途攜帶又須多用車輛夫馬必致
擾累驛站貽誤差使且此等買帶子女之人未
必盡係自行買用或為人代買或復行販賣更
易滋別項情弊而帶領來使之人尤為外藩所
笑不可不嚴行查禁嗣後著各該督撫等遇有
災祲地方貧民賣鬻子女者除本地方民戶過
往客商及並非馳驛官員各聽其便毋庸禁止
外具有派委差使由驛行走之人俱應禁止民
人不得私行售賣並隨時查察此等官員如有

違禁私買攜帶者即行嚴參治罪將此通諭各
督撫等並諭伊犁將軍及新疆辦事大臣一體
嚴察勿得仍前因循致干咎戾又奉

諭旨戶部奏楊焰應完伊父楊景素應賠銀兩原
限二年因限內未據完繳復奏准展限五年今
已逾初限不能依限完繳請將楊焰革職交刑
部監禁追比一摺固屬照例辦理但念此項銀

兩究係伊父楊景素任內應賠之項楊焰著加
恩免其革職治罪所有應完銀兩再賞限十年
令其按限陸續完繳若復任意懸宕逾限不完
即當照擬治罪不能再邀寬貸也又奉

諭旨戶工二部議奏龍江西新二闕征收盈餘比

較上三屆短少銀四萬六千一百餘兩著該
監督照數賠補並請交部

議處等語固屬照例

辦理第念上年淮揚等處因歲歉之後民力未紓木植雜貨銷售維艱以致船隻躉把到開稀

少盈餘短絀尚屬有因所有此次西新開短少戶稅盈餘銀一萬八百餘兩龍江開短少工稅

盈餘銀三萬五十三百餘兩令該監督成善共賠補銀一萬兩其餘三萬六千一百餘兩俱著加恩寬免並從寬免其議處是日吏部議雲南

巡撫譚尚忠奏署峩縣知縣員缺准以候補

知縣李榮陞補授一疏奉

諭旨李榮陞依議用餘依議又刑部等衙門議陝

西巡撫巴延三奏洋縣民周文涼咬傷何秉

德身死依律擬斬監候查何秉德係在保辜限外身死可否援例減等發落一疏奉

諭旨周文涼咬傷何秉德至保辜限外身死著從

寬免死照例減等發落餘依議又議福建巡撫

徐嗣曾奏候官縣民陳亭亭截傷楊道開身

死依律擬斬監候查楊道開係在保辜限外身死可否援例減等發落一疏奉

諭旨陳亭亭截傷楊道開至保辜限外身死著從寬免死照例減等發落餘依議又議單職閩浙

總督富勒渾雅德於總兵柴大紀亂法管私

有心徇隱知府孫景燧等侵貪激變毫無見聞且於地方立會盜劫重案不能及早查拏

因循貽誤以致釀成逆案應照律擬斬監候一摺奉

諭旨富勒渾雅德依擬應斬俱著監候秋後處決

是日

起居注官鐵保王懿修

乾隆五十三年歲次戊申五月十六日丁丑

內閣奉

諭旨據福康安奏隨赴臺灣辦事之機
泰現在患病請令回旗調理等語蘇楞泰准其
回旗調理所有甘肅蘭州道員缺著鄭製錦補
授又奉

諭旨據福康安等奏臺灣地方賭博成風屢經示

禁查拿近訪民人許班家內約同許高等夜間
私賭經派委巡查之都司額爾亨額等改裝往
拿許班喊同孫嚴拒捕先毆並用菜刀劃傷額
爾亨額手指當將許班一犯綁赴市曹即行正
法孫嚴枷號示衆期滿發新疆給種地兵丁為
奴其餘在場人犯枷號示衆等語臺灣地方民
俗刁悍奸徒聚賭成風一切作奸犯科即從此

起自不可不嚴行查辦現在甫經蕩平逆匪之後將軍等帶領官兵尚在該處駐劄乃無藉棍徒公然聚賭經委員前往查拿胆敢拒捕傷官實屬藐法已極若非立置重典何以儆克頑而整惡習今福康安於審明後即將許班一犯绑赴市曹即行正法所辦甚為得當至孫嚴係帮同拒捕非止在場賭博者可比僅擬發遣新疆不足示儆著福康安於接奉此旨後將孫嚴一犯即於該處絞決示衆其餘在場人犯審明後即著發往新疆給種地兵丁為奴俾積玩奸徒咸知儆畏賭風歛戢以期綏靖地方該處鎮道向有奏事之例將來福康安起身後務須諱囑該鎮道等時刻留心查拿如有似此等案件俱著照此一面辦理一面具奏毋得仍事因循敷

滋玩縱又奉

諭旨據福康安等奏查明無著潰兵嚴行究辦一摺已批該部知道矣至其摺內稱潰兵陳選得等三十三名俱係冲散後在義民村莊藏匿尚無從賊情事請貸其一死仍發往伊犁充當苦差等語此等潰兵雖據訊明因道路梗塞不能投出尚無從賊情節但該兵等派出隨征於遇賊打仗時即紛紛潰散不顧主將冲散後又不即時投出轉在村莊藏匿雖於曾經從賊者情罪有間但僅發往伊犁充當苦差不足示懲著改發伊犁給兵丁為奴以昭炯戒摺并发又奉諭旨福建臺灣道王右弼已經降調該處地隔重洋現在軍務告竣地方正資整頓所有員缺未便久懸即著興永道萬鍾傑調補並賞給按察

使銜臺灣道向來本係調缺該省督撫及各官因該處出息肥饒視為利藪往往夤緣徇情不以渡洋為苦轉以得調美缺為喜以致吏治廢弛釀成巨案今經大加懲創之後一切弊端悉行釐剔而調往之員仍須遠涉重洋不得不加之體恤是以格外賞給該道按察使銜俾有奏事之責遇有地方應辦事件即可與該鎮具摺陳奏以資彈壓該道務須倍加奮勉實心整頓以期綏靖海疆將來任滿如果稱職自當加恩擢用若該道不知感激仍以臺灣為美缺復蹈故轍則前車之鑒不遠恐不能當其咎也萬鍾傑前因閩省臬司渡臺即以該道署理藩司今臬司已放伊轍布所有藩司事務著李侍堯即委伊轍布署理萬鍾傑於接奉諭旨之後即迅

速渡臺前往任事所遺興泉永道員缺著胡世銓補授又奉

諭旨前因四川屯練降番派往臺灣剿捕賊匪甚為出力已將額設土外委加給銀兩而儻拉促漫兩處土弁未經賞給此次該土弁等帶領降番隨同官兵征剿均屬奮勇所有儻拉促漫額設土守備六員土千總九員土把總十六員土外委四十六員俱著照屯練土弁之例分別賞給錢糧以示獎勵該部知道又奉

見奉

同知之現任長武縣知縣樊士鋒引

次派往臺灣巴圖魯等剿殺賊衆擒拿莊大田等甚屬奮勉自宜加恩以示鼓勵三等侍衛都尉納丹保著賞給德濟巴圖魯號三等侍衛德色著賞給華廷巴圖魯號仍照賞給巴圖魯號例每人賞銀一百兩二等侍衛奇成額巴圖魯哲克著補授頭等侍衛獎賞藍翎司轡福克精額扎保著補授藍翎侍衛護軍校吉勒章阿雅林保著授委署護軍參領黑龍江額外驍騎校品泰模諾木保著賞給獎賞藍翎福康安正值事務紛繁之際此等案件忽畧遺漏尚可寬宥福康安鄂輝不必交部察議是日吏部帶領前任陝西巡撫永保奏請陞署同州府潼關予換頂帶應行賞給巴圖魯號及陞等之處當時遺漏福康安鄂輝自請交部察議並請將納丹保等補賞巴圖魯號哲克等陞擢等第等語此

諭旨樊士鋒著准其陞署同州府潼關同知又帶

領直隸總督劉峩奏請實授之現署牙同

口防禦員缺帶領正陪人員引

通判劉斌引

實授之現署牙同

見奉

諭旨劉斌著准其實授又帶領前任四川總督保

寧題請陞補太平縣知縣之現任寧遠府趙

雋廳經歷徐麟趾引

見奉

諭旨徐麟趾著准其陞補太平縣知縣又帶領陞

任河南巡撫畢沅等奏准陞署蘭陽縣知縣

之現任永城縣縣丞單可垚引

見奉

諭旨單可垚著照該撫等所請准其陞署蘭陽縣

知縣是日鑲黃旗滿洲都統奏補察哈爾獨石

見奉

通判劉斌引

實授之現署牙同

見奉

諭旨佛業保著補授獨石口防禦又正白旗蒙古都統奏補吉林伯都訥公中佐領員缺帶領

揀選人員引

見奉

諭旨明安圖著補授伯都訥公中佐領又正藍旗

漢軍都統奏補黑龍江佐領員缺帶領正陪

人員引

見奉

諭旨亮德著補授佐領

是日

起居注官陳嗣龍塘五珠

十七日戌寅刻

上御中和殿視祭

地於

方澤祝版是日內閣奉

諭旨江蘇蘇州府知府員缺緊要著該撫於通省
知府內揀選一員調補所遺員缺著馬慧裕補
授又奉

諭旨本日召見新放福建興泉永道胡世銓據奏

伊親母現年七十九歲是該員按例應予終養
但胡世銓於初次召見時經朕詢其出身家世
及地方吏治伊奏對之語厯歷在前該員如果
因親老恐邊簡用即應據實陳明乃並未一語
奏及昨臺灣道缺出朕以該員係久任繁缺是
以將伊補放並令軍機大臣將近日臺灣地方
情形亟須實力整頓之處傳旨訓諭臺灣遠隔

重洋胡世銓既有老親即不敢面奏亦當將不
便迎養之情懇請軍機大臣代奏方合正理試
思胡世銓如果以實情陳請代奏軍機大臣豈
敢不據情入告乃彼時亦並無一字提及可見
該員本意以為若能陞用江南道員即可遂其
親老就養之私即臺灣遠隔重洋而該處素稱
美缺得邊陞擢又不免意存貪戀二者必居一
於此是以並不將親老之處據實聲明及朕再
思臺灣甫經初定恐不悉風土人情改命興泉
永道萬鍾傑而以彼補放興泉永道乃胡世銓
之意見閩省甫經辦理軍務之後缺分平常而
且僻處海疆始於召見時將親老奏明冀圖留
於本省以道員補用未免顯有規避之況矣若
果如此現在臺灣正當大

時而胡世銓猶視為美缺其居必竟屬狡詐本應即將該員撤回勒令終養但胡世銓親老之處並未預行陳明若於補放有缺後因其面奏

之語即准終養轉遂其規避之術胡世銓著即

赴興泉永道新任俟滿三年後著該督撫奏明即令其回籍終養將此通諭知之是日兵部帶

領推陞廣西提標後營遊擊莫淇陝西邠州

即令其回籍終養將此通諭知之是日兵部帶

諭旨莫淇准其陞用廣西提標後營遊擊王琯准其陞用陝西邠州營都司俱著赴新任又帶領

揀補閩浙督標左營參將之蒙古二等侍衛

索諾木策楞保裕滿洲二等侍衛青海引

見奉

營都司王琯引

見奉

諭旨閩浙督標左營參將員缺著青海補授又帶領俸滿之湖南洞庭水師副將陳大龍引

見奉

遊擊王楷引

見奉

察邪教議以降調道

旨送部之原任山東壽張營遊擊索柱兗州鎮標

右營都司姜廷元直隸樂廷營都司武克勤

山東范縣營守備劉鈺引

見奉

諭旨索柱姜廷元武克勤劉鈺俱著改為兼職留任四年無過准其開復

是日

起居注官吳璥德昌陳嗣龍碧五珠

十八日己卯寅刻

上祭

地於

方澤禮成

詣清淨化城拈香

駕幸圓明園

是日

起居注官鐵保陸伯焜陳崇本德昌

十九日庚辰

上辛熱河自大東門

啟鑾是日內閣奉

諭旨據舒常等奏湖北省案牘壅積不下六百餘

案皆四十四至五十一年未經辦結之案經該督等勒限嚴催今前後綜計辦過題咨內結者一百四十一案所有應得遲延處分俱已隨案聲明辦理其擬議外結者四百六案尚有五十餘案未經完結雖已不及十分之一但究由趕辦不力致逾期限除此內有應行開除扣限者俟隨案核辦外其餘遲延之各府州縣另繕清单請勅部議處等語著照所請即交該部按依單開職名分別議處舒常等摺并發又奉諭旨朕此次巡幸木蘭駐蹕熱河所有沿途經過地方本年應征地丁錢糧著加恩蠲免十分之三

駐蹕南石槽行宮

二十日辛巳

駕至懷柔縣祇園寺白河神祠拈香是日內閣奉

諭旨據永鐸等奏察哈爾兵丁察漢口於買牲處

所將哈薩克巴斯伯克推跌致死當即將察漢

口立絞處死外請將該管官員分別革職交部

議處等語永鐸等所辦甚是哈薩克巴斯伯克

係外藩之人非內地人民可比如此辦理不但

令伊等心服於此亦知恐懼著交保寧等嗣後

若有此等事件仍如此妥協辦理外哈薩克等
倘有將內地民人戕傷致命者亦照此例治罪
以示懲儆餘俱照永鐸等所奏辦理是日

駐蹕密雲縣行宮

二十一日壬午內閣奉

諭旨本日由密雲至要亭途次天雨泥濘所有墊
道兵夫未免沾濕著加恩每名各賞銀一兩以

示體卽是日

駐蹕要亭行宮

二十二日癸未

駕至南天門拈香是日

駐蹕兩間房行宮

二十三日甲申內閣奉

諭旨常青於柴大紀貪贖不法一案徇情不奏前

曾降旨將伊革職交福康安審訊經福康安奏
明審訊錄供令伊來京交部治罪固屬咎由自
取但念常青由將軍簡用總督在任未久即值
臺灣逆匪滋事非富勒渾雅德歷任年久因循
貽悞諱飾袒庇者可比其到臺灣後於柴大紀
種種劣蹟固易查訪但彼時正值辦理軍務忽
迫其不即查叅亦屬可原

駐守郡城保護無虞其功過高可相抵常著
加恩免其交刑部治罪俟到京後候朕酌量加

恩另降諭旨朕辦理庶務

東寧府之轉運司

固視其人之自取而於功過相抵之處亦必斟
酌其平不肯稍有畸輕畸重即編戶小民尚不
使一夫寃抑何況封疆大吏轉不為之經意乎
富勒渾雅德亦當慚服并自知悔懼也將此通

諭知之是日

駐蹕常山峪行宮

二十四日乙酉

上駐蹕喀喇河屯行宮

二十五日丙戌

駕至城隍廟拈香

文廟瞻拜是日吏部議於所屬縣杖斃人命匿

不詳報未能查察之直隸總督劉峩等照例
分別降調革任一疏內閣奉

諭旨劉峩訖倫著從寬改為革職留任龍舜琴亦
著從寬留任俱仍註冊貢楚克扎布係知府近
在同城非尋常失察可比著改為革職從寬留
任餘依議又欽天監奏本月十八日已卯寅正
初刻夏至候得其時風從西南坤方來為六月雨水多之徵一疏奉

諭旨知道了是日

駐蹕承德府行宮

二十六日丁亥

上詣溥仁寺 普樂寺 安遠廟拈香是日吏部

議湖南巡撫浦霖奏華容縣李樹叢試

俸期滿准實授一疏內閣奉

諭旨李樹穀依議用餘依議又議安徽巡撫陳用

敷等奏宿州知州員缺請以貴池縣知縣姚

繼祖陞署查該員歷俸

本職雖例不循既無

專摺奏請可否准其陞署一疏奉

諭旨姚繼祖准其陞署餘依議又議江西巡撫何

裕城等奏臨川縣知縣員缺請以新淦縣知

縣顧鑒調署所遺員缺請以試用知縣陳伯

年署理查顧鑒歷俸未滿與例不符既經專
摺奏請可否准其調署一疏奉

諭旨顧鑒准其調署餘依議又兵部議兩廣總督

孫士毅奏廣西龍平營都司員缺准以廣西

桂林營中軍守備趙光烈陞補一疏奉

諭旨趙光烈依議用餘依議是日

駐蹕承德府行宮

二十七日戊子吏部議直隸總督劉秉奏署

蔚州知州汪大鏞試俸期滿准實授一疏內

閣奉

諭旨汪大鏞依議用餘依議又議漕運總督毓奇

奏淮安城守營參將員缺准以江南河標右

營遊擊鄭敏陞補一疏奉

諭旨鄭敏依議用餘依議是日

駐蹕承德府行宮

二十八日己丑

上詣須彌福壽之廟 普陀宗乘之廟拈香是日

內閣奉

諭旨前吏部帶領廣西保舉堪勝道員之恩思府

知府田鳳儀引見聲明伊人并述前因文軍

機處記名遇有近省道員并述前因文軍

籍隸河南湖北亦係隣省田鳳儀著發往湖北
以五百里以外道員用俾得就近迎養是日吏

部議於查辦鹽務僅止

開明例禁濫費繁重

之處並不據實查明嚴辦之湖廣總督舒常

等照例分別降調革任一疏奉

諭旨姜晟著從寬改為降二級留任舒常著免其

革任仍註冊又禮部議江蘇巡撫閔鶚元奏通

建坊一疏奉

諭旨依議施氏著加恩賞給上用緞一疋銀十兩

州壽婦陳施氏現年一百一歲准照例給銀

又兵部議兩江總督書麟等奏江南河標中

軍副將員缺請以河營參將鄭永泰陞補所

遺員缺請以淮徐河營遊擊韓勝陸補所遺

員缺請以河工出力之睢南營守備莊剛陞

補查鄭永泰籍隸江南奏補本省副將與例

不符既經該督等聲明河工係伊素所熟諳

營伍亦能整理可否准其陞補再查韓勝分

賠河工銀兩尚未完繳報部摺內亦未聲明

未便議准應令該督查明聲覆到日再行核

議一疏奉

諭旨鄭永泰准其陞補江南河標中軍副將餘依

議又議山東巡撫長麟奏文登營都司員缺准以

兗州鎮標中營守備羅文鑑陞補一疏奉

諭旨羅文鑑依議用餘依議又議黑龍江將軍宗

室恒秀奏該處呼蘭河右翼副總管內勤保

正藍旗公中佐領圖們圖俱年老患病應准

休致查內勤保曾經出兵打仗殺賊得功牌

可否給俸一疏奉

諭旨內勤保等著以原品休致勸保曾經出兵打仗殺賊得功牌給與全俸之養餘年是日

駐蹕承德府行宮

二十九日庚寅內閣奉

諭旨廣西恩思府知府員缺著汪為霖補授又奉
諭旨巴延三奏據署興安府知府之同知歲光拿
獲包捐監生偽造印信之王念修定擬斬候一

等因道遠盤費不敷不能親身到部即可毋庸
報捐國家帑藏充盈又豈藉伊等些微捐項為
耶嗣後如有在部具呈請捐貢監者該部應驗
明年貌實係親身赴部身家清白之人始准報
捐若本人並未赴部倩人代捐者概行飭禁以
杜匪徒誑騙包攬情弊其有在部具呈捐職銜
者亦著照此辦理著為令又奉

摺已批交該部議奏並令將署知府歲光送部
引見矣從前各省報捐監生因王亶望通同屬
員舞弊營私致多事棍徒乘機代攬遂有包捐
情弊今皆係在部報捐貢監豈得復有代為包
辦名目貢監為士子進身之階必得身家清白
方准廁立衣冠該生等如有志向上自應親身
赴部呈明履歷候批准報捐方為正理若該生

諭旨據福康安等奏審訊亂法營私之革職提督
柴大紀及有心徇隱之道員永福分別定擬並
請將得受陋規及逢迎饋送之文武員弁分別
革職治罪各摺已交軍機大臣會同大學士九
卿法司核議具奏矣臺灣地隔重洋文武各員
自應各矢潔清力圖整頓乃不肖員弁竟敢需
索陋規廢弛營伍甚至縱令兵丁等色賄鬻娼

從中染指以致釀成巨案此而不嚴加懲創何

以儆官邪而靖海疆至柴大紀身係臺灣總兵

於每次出巡時不但令各營員弁備辦供給且

折收夫價銀兩贓私累累國家設給養廉於大

員特加豐厚原以備伊等因公之用若巡閱營

伍時仍須該管弁丁代辦夫馬飲食一切則內

地之督撫學政提督於出巡按試時_{夫馬}次

等項亦必令地方官代為置辦又安用優給養

廉為耶嗣後督撫提督及學政等凡遇巡查出

考途次所需夫馬等項均著自行備用毋得令

經過各員代辦並令文武互相糾察如有仍前

需要擾累者即各行據實參奏從重治罪如有

徇隱不奏別經發覺朕亦

治罪決不姑貸勿謂朕不識

朕不識此諭

知之是日

駐蹕承德府行宮

三十日辛卯

上駐蹕承德府行宮

乾隆五十三年歲次戊寅六月初一日壬辰

內閣奉

諭旨據永鐸等奏拿獲劫奪由阿克蘇貿易回子物件之發遣為奴在逃賊犯李尚智業經審明立決祁良棟等三犯未經拏獲飭令嚴拏請將拏獲李尚智之犯人魯廷貴為民等語李尚智等均係身犯重罪發遣伊犁為奴之犯胆敢夥同逃竄中途劫奪貿易回子物件以致殺傷人命不法已極情殊可惡永鐸等拏獲李尚智即行立決梟首示衆所辦尚是但此等遣犯原係身犯重罪免死之人自應嚴加約束不使脫逃遇有逃竄即時嚴緝不但不能遠颺亦不致有似此盜刦之案今李尚智等四人一同在逃中途行劫貿易回子物件雖將李尚智一人拏獲

其餘三犯竟致脫逃再另摺內為奴之犯魯佩脫逃亦未經拿獲此皆平日並未嚴行管束事後又不極力緝捕所致飭令所有經過地方及各省並各該犯原籍嚴行查拿另降漢字諭旨外仍飭保寧等將此等逆犯嚴拏務獲其首先拏獲李尚智之魯廷貴及拏獲李四等之李來子劉起龍何廷貴等俱著照例為伊犁民伊等為民之後如再有逃竄復行偷竊等事亦必仍按原遣犯人之例嚴行辦理餘俱著照永鐸等所請行是日戶部議經徵鹽課錢糧未完十分例革職其未完不及十分各員照例分別罰俸停陞降級一疏奉
以上另案降調之福建寧德縣知縣李肇源照

諭旨依議其因經徵鹽課未完十分以上議以革

職之李肇源仍照前旨著該督撫出其考語送

部引見又兵部議署湖廣總督舒常奏湖南靖

州協副將貢缺准以衡州協副將趙玉衡調

補一疏奉

諭旨趙玉衡調補湖南靖州協副將餘依議又議
兩廣總督孫士毅奏廣東黃岡協左營守備
德寧年老患病准其休致查該員曾經出兵

打仗受傷應否給俸一疏奉

諭旨德寧曾經出兵打仗受傷著以原品休致給
與半俸以養餘年又都察院奏補協理京畿道
監察御史員缺擬定正陪恭候

欽點一疏奉

諭旨溫常綬著調補協理京畿道監察御史是日

駐蹕承德府行宮

初二日癸巳

上詣殊像寺廣安寺拈香是日內閣奉

諭旨據德保等奏閱看貢監考職試卷共五百零
八卷擬取八十一卷等語此次考職貢監比上
屆四百七十六卷雖多三十餘人而上屆僅取
六十八卷核計每七卷內取中一卷若照此額
數錄取止應取七十二名何以多取九卷殊屬

有意干譽此皆德保巽懦無能一味沽名市恩
以致較前溢額考職係三年一舉似此遂次加
增其將何所底止耶除現在已取八十一卷免其
裁汰外嗣後不得援以為例德保李綬吉夢熊
並著交部察議又奉

諭旨據長麟奏寧獲縣地方偷竊而政使奇豐
額眷屬船隻之首夥各犯嚴審定擬一錦巴批

交軍機大臣會同行在法司核議速奏矣又據另摺奏嚴訊獲犯李三即李四據供上年六月曾糾約拉擣為生之王振江等在直隸靜海縣行劫學政劉權之眷屬船隻旋據委員等將王振江拿獲解省審訊並分咨查辦等語前因內河地方盜賊等胆敢公然偷竊行旅並官員之船遭其擾累者不少曾降旨令沿河督撫嚴飭

地方文武員弁上緊緝拿以安行旅茲據東省將兩案盜犯盤獲訊據該犯供稱向在運河上拉擣有時在船上順便偷竊等語東省所辦尚屬認真沿河擣夫最易滋事當白晝人多之際致別滋事端更屬不成事體其情有可原之楊五各犯該撫雖屬照例辦理但沿河地方擣夫衆多若將該犯等僅擬外遣轉無以示懲即核其情節不致於死亦應於犯事處所永遠枷號俾往來人等觸目警心共知遵懼方為妥協著

軍機大臣等遵照另行核議達奏至噠縣知縣
沈則文前經革職留緝今既將案犯拏獲並究
出靜海縣盜案尚為奮勉著即予開復仍令該

撫出具考語送部引見其原任天津鎮總兵托
賓泰天津道王成於所屬盜犯日久未能拿獲
即留於該處協緝亦不能得力托賓泰王成均
著革職令其各回本旗當差不與錢糧現任天
津鎮總兵強都天津道慶章雖劉權之眷船被
劫一案非伊二人任內之事但到任接緝已久
不能迅速獲犯被隣省拿獲究屬督緝不力強
都慶章俱著交部議處又奉

諭旨向來南糧餘米俱准在通州變賣以資食用
今年南來全漕餘米必多各省糧艘抵通旗丁
於交足正供之外所有多餘米石情願出售者

仍著加恩准其就近於通州糴賣在旗丁等既
所樂從而近畿地方糧米益充於市價民食均
有裨益該部即遵諭行又奉

諭旨據富綱等奏上年威遠廳解審搶奪滿貫案
內發回絞候人犯那木帕一名乘間脫逃當將
僉差長解官同知書圖添差護解官知縣涂煥
革職留於地方協緝現屆限滿止拏獲夥犯扎

蔽利扎過奴奴三名首犯那木帕尚未弋獲請
將書圖添煥交部治罪等語那木帕係搶奪滿
貫應擬絞候之犯該員等前因僉差不慎以致在
途脫逃及革職留緝已及一年僅拏獲在逃之
夥犯扎蔽利等而於那木帕仍未依限拏獲
若因一年限滿即將書圖添煥交部照例治罪
是正犯尚未弋獲而該員等轉得脫身事外尚

不足以示懲自應仍留該處協緝俟正犯拿獲後再行聲明請旨即著交該部遵照妥議具奏

又奉

諭旨本日長麟奏拿獲盜竊學政劉權之布政司
奇豐額眷屬船隻各犯審訊定擬二摺摺內均
有官船字樣措辭殊為失當各省銅鉛鹽漕等
船及織造採辦送京物件等項載運官物船隻

始可謂之官船其官員暨眷口僱坐之船止應稱為官員之船何得輒稱官船似此任意繕寫設無識之徒見而妄議官船在途竟被盜賊搶竊尚復成何事體此由該撫具奏時未經留心檢點所致已用硃筆代為改正著傳諭各督撫此後凡遇官員乘坐之船槩毋許復稱官船字樣祇可稱官員之船方今承平日久綱紀肅清

百姓尚知畏法從無劫竊官物之事而刑部律
例內於偷竊官物者向未立有專條恐愚民無
知日久罹於法網即官員有管轄民人之責其
船內裝載物件亦必較齊民為優如被盜竊時
僅與平民一例辦理亦不足以示區別嗣後除
盜竊民人之物者仍照舊分別定擬外若盜竊
官員財物者應較民人量加區別至於盜竊官
部另行悉心妥議酌定條款具奏是日

駐蹕承德府行宮

初三日甲午軍機大臣議淮南綱鹽積壓至一百三十六萬一千餘引歷任兩淮鹽政伊齡阿等應按照各任年分著繫之內

閣奉

諭旨淮南綱引積年遞壓至百餘萬之多歷任

鹽政因循貽悞僅按各任年分每年罰繳養廉

則積壓多者所罰轉少不足以昭平允自應按照各任內積壓綱引數目每十萬引以上者罰繳養廉一年庶可以懲既往而警將來伊齡阿在任五年十一個月積壓四十一萬八千餘引

著罰繳養廉四年全德在任二年三個月積壓三十八萬五千餘引著罰繳養廉三年徵瑞在任一年兩個月積壓四十九萬餘引著罰繳養廉四年至各運使護理鹽政雖為日無多但運使本任即有專辦鹽課之責亦應一體示罰所有歷任運使任內積壓綱引著軍機大臣行知全德查明所壓數目俟覆到日亦按照每十萬

駐蹕承德府行宮

初四日乙未內閣奉

引以上者著罰繳養廉一年以示懲儆是日

諭旨據劉義參奏肅寧縣知縣孫炳文採買驛站

應需草束每斤市價大錢肆文僅發大錢壹文分派四隣買交又署內及倉廩應用秫稻每束僅發大錢十文所少價值均係鄉保派令村庄

賠墊請將孫炳文革審等語孫炳文於採買草束秫稻等事竟不按市價短發錢文以致村民受其賠累即與婪索所部財物無異孫炳文著革職拏問交該官員同案內人証嚴審定擬具奏該部知道摺并發是日吏部奏補鴻臚寺少卿

員缺將應陞人員開列請

簡一疏奉

諭旨莫瞻業補授鴻臚寺少卿又奏補順天府府丞

員缺將應陞人員開列請

簡一疏奉

諭旨劉紹錦補授順天府府丞又議直隸總督劉

峩奏交河縣知縣員缺准以候補知縣王作霖補授

一疏奉

諭旨王作霖依議用餘依議又議廣東巡撫圖薩

布奏署茂名縣知縣蘇雲青試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨蘇雲青依議用餘依議又兵部奏廣東黃岡

協左營守備員缺擬以預保千總陳國鳳掣

補一疏奉

諭旨陳國鳳依擬用餘依議又議閩浙總督李侍

堯奏同安營灌口汎都司員缺准以汀州鎮

標中營守備王金章陞補一疏奉

諭旨王金章依議用餘依議是日

駐蹕承德府行宮

初五日丙申

上詣普寧寺普佑寺拈香是日內閣奉

諭旨富綱奏接據順寧府全保等稟四月二十日

有緬甸孟隕遣大頭目葉渺瑞洞細哈覺控委

盧撒亞三名恭賈金葉表文及金塔寶石馴象

等項齊至江邊懇求進貢並稱老官屯一路山

高瘴大象隻難行故從木邦前來等情查孟隕

差遣頭目具表納款雖情詞恭順誠懇但緬性多疑此來虛實不可不詳慎辦理隨差副將定

住馳往察看經該將譯出表文及駁明貢物

錄報前來似屬可信現飛

該司同安營灌口汎都司員缺准以汀州鎮

寧府點驗明白先行帶至頤寧地方安頓富綱即親赴該處料理一切俟奉到諭旨即派大臣伴送進京又據另片奏稱國該頭目等此次未帶楊重英同來向其跟究現經該頭目等遣人回國能否即行送出楊重英尚難遽信等語富綱此奏竟不曉事用心於無用之地已於摺內詳悉批示緬甸僻在荒服我國家帑藏豐盈威
稜遠布朕之所以停止進剿者並非因兵力不足特以該處水土惡劣地多瘴癘派往官兵等往往染病身沒出征將士若臨陣退縮不肯効命自當重治其罪乃因不耐烟瘴染病且有身故者殊堪憫惻朕之罷兵以此又值該國長畏懼懇求朕體

上天好生之德遂諭令撤兵自撤兵後十餘年來邊

境相安且憲駁與伊子齋角牙相繼作孽自外生成俱已身遭夷滅孟隕本在緬寺為僧前此之事與伊無涉今因該國無主衆頭目等推舉掌管國事差遣頭目齋表納欵閱其表文情詞甚為恭順誠懇此係好事將來該頭目等到時朕方欲重加賞賚富綱接據稟報自應一面具奏一面即遴員護送來京乃始則疑其狡詐派員前往察看虛實已屬過慮繼復以無關緊要之楊重英向其根究尤屬糊塗不曉事體楊重英不過監司職分並非大員况伊至緬甸亦係用兵時為其裏去與叛而逃往者不同臨陣對敵彼此裏掠人口事所常有從前征剿緬甸時兵弁被裏者亦復不少豈能一向其跟究索取耶總之督撫等奏尊處優無王見遇事畏

蕙不前而見恭敬可欺負者又復傲睨自大多
方刁蹬設綱夷等因該督向其盤詰心生疑
豈不負其向化之誠試思綱若果崛強不服
以富綱之才具豈能使之畏威懷德遽可平定
安集耶朕前已屢經訓飭富綱何仍不曉事若
此著傳旨嚴行申飭並著傳諭該督接奉此旨
即一面遴派妥員護送該頭目等迅速前來行
在呈進表物如能於萬壽以前趕到熱河固好
若計算日期八月初旬前後不能趕到即於出
哨前趕到熱河祇候維時蒙古諸王公皆扈蹕
山莊俾遠國貢使同入筵宴瞻觀尤為盛事其
所進象隻若沿途累重難行不妨另委妥員接
程護送至京以免遲滯惟須飭令派出之員帶
同大頭目等親賚表文貢物趨緊行走如期趕

赴勿悞為要至跟究楊重英一節富綱所辦實
屬大錯並著該督即傳知該頭目等以此事係
伊辦理錯悞前已具摺奏聞今大皇帝旨到將
蒙大皇帝加恩允准即令該頭目等起身進京
如此旨到時其續派回國之小頭目已經帶同
楊重英到滇即另委妥員解京如此旨到日楊
重英尚無送出之信並著該督傳知該頭目等
令其遣一小頭目速回該國告知該國長以楊
重英職分甚小又係無足重輕之人從前不過
被伊國裏去者此次送出與否均無闇累要况
楊重英在該國居住多年亦無賴再回竟不必
復行送出之語剴切曉諭使之不生疑畏方為
妥善仍一面先送該頭目等速來行在不必等

候此信將此傳諭知之是日

駐蹕承德府行宮

初六日丁酉內閣奉

諭旨福康安等查奏臺灣地方各官平日官聲及

被害情形分別請旨一摺內除孫景燧劉亨基
董啟埏唐鑑程峻等聲名狼藉玩縱廢弛業經
降旨停給卹典其聲名尚好亦無劣蹟之長庚

湯大奎王雋三員亦早經降旨交部議卹外所
有縣丞周大綸陳聖傳教諭葉夢苓訓導陳龍
池巡檢渠永湜張芝馨典史馮啟宗鍾燕超史
謙平時尚皆循分供職及賊匪滋事時又能以
身殉難殊堪憫惻俱著交部照例議獎以示獎
勸又據福康安等另摺奏稱淡水廳幕友壽同
春年已七十餘歲當同知程峻被害時壽同春

招集義民恢復堅城擒獲賊目四名深入賊庄
及被擒後多方勸誘以罵賊不屈為賊支解又
監生李喬基當林爽文倡亂時首先倡義捐貲
招募民番分撥義勇協守海口殺賊甚多迨被
擒迫降不屈磔死又劉亨基之女滿姑當劉亨
基被害時奔投屋後水池痛罵賊匪被遭殺害
等語壽同春李喬基俱著賞給知縣職銜並著
該督撫等查明伊二人子嗣內可以造就者送
部引見候朕酌量加恩劉亨基之女滿姑雖伊
父居官玩縱以致釀成事端而其女抗節捐軀
亦不忍令其淹沒著交該部照例旌表並入該
處烈女祠以昭褒獎忠節不遺微末之意該部
知道摺并發又奉

諭旨福康安等奏清查臺灣積弊酌籌善後事宜

一摺已令大學士九卿議奏矣內稱向來臺灣

各營自總兵至守備衙門皆有兵丁聽候差遣

分為旗牌伴當內丁管班四項各自各有目兵

管領總兵署內多至三百人副將以至守備依

次遞減至少亦有三十餘人請嗣後將四項名

目全行禁革各署內酌留該班兵丁輪流親自

上班等語額設兵丁原以偹差操防守之用乃

臺灣鎮將各署內竟設有旗牌伴當等四項名

目管領額兵總兵署內至有三百餘人之多以

致各該兵丁分班輪值其餘俱在外自謀生理

甚至有掛名在內貼錢包差代班差添等弊寔

屬不成事體不可不嚴加禁革披閱之下殊為

駭異但臺灣既有此等情弊恐別省提鎮將弁

各署亦有似此者着各省督撫即行詳悉嚴查

母許各提鎮將弁設立旗牌等名目私令所轄

兵丁在署差用設或署中需人差遣原不妨酌

留數人聽用如有仍前設立名目任意役使兵

丁至如許之多者即將該提鎮將弁嚴參治罪

務令額兵一體照常添演母許藉端曠伍致滋

他弊至臺灣鎮道各員特有重洋間阻督撫耳

目難周無不通同徇隱尤為惡習前已降旨令將

軍督撫提督大員分年巡察第恐日久因循不

能認真整飭嗣後該將軍等於每年輪往查察

即將鎮將及道府廳縣各員通行查核出具考

語具奏其備弁佐雜各員應行考察咨部者亦

一體留心查核一面報部一面據實具奏務宜

寔力整頓秉公辦理毋得稍有徇袒底情事

倘在臺各員有貪縱殃民類竝別經發覺即將

未經參劾之人從重治罪

臺灣遠在海外如

遇有緊要案件該處道員准現准與總兵會銜

具奏但鎮道本不相統轄若必待會銜易致扶

同瞻徇之弊且海洋風汎靡常往來商辦動稽

時日亦多未便前將萬鍾傑補放臺灣道時特

令加按察使銜原欲令該員遇有應奏事宜得

以自行陳奏嗣後凡遇有補放臺灣道員者俱

著加按察使銜俾得自行奏事該道膺茲重任

倍當激發天良盡心辦理寔力整頓方為不負

任使福康安等摺并發又奉

諭旨臺灣軍營出力人員歷經降旨交福康安查

明交部議叙茲據奏軍營出力之侍衛章京官

員將弁等現經東公查核分別等第造冊咨部

其應行議卹之官弁兵丁等亦一併造冊咨部

等語著該部即照福康安咨到各冊詳加核對

除業經給予議叙卹典者毋庸再行議給外其

餘俱著照福康安冊內所開照例議叙議卹又

據福康安另片奏稱賊匪滋擾嘉義時教諭江

浩巡檢吳元典史李爾和等俱各遇賊守禦身

受重傷等語江浩吳元李爾和亦着該部一體

照例議叙以示獎勵摺併發是日

駐蹕承德府行宮

初七日戊戌吏部議陝西巡撫覺羅巴延三

奏府谷縣知縣員缺准以候補知縣吳瀚補

授一疏內閣奉

諭旨吳瀚依議用餘依議又議巴延三奏甘泉縣

知縣員缺准以候補知縣張望文補授一疏

奉

諭旨張星文依議用餘依議又

戶部議直隸總督

劉峩奏河屯協副將愛豐同服制

先湖南嘉禾縣知縣翟理倫陝西鎮安縣知
縣沈石麟湖南慈利縣知縣吳煥引

授一疏奉

諭旨愛興阿補授直隸河屯協副將餘依議又議
閩浙總督李侍堯奏福建福寧鎮標右營守
備員缺准以福寧鎮標左營千總林國陞陞
補一疏奉

諭旨林國陞依議用餘依議是日吏部帶領五月
分月選官叢掣吏部稽勲司郎中魯蘭枝刑
部督捕司主事郭在達江蘇句容縣知縣吳
汾江西南康縣知縣党兆熊廣西平樂縣知
縣楊懋沂四川汶川縣知縣楊懋學廣東曲
江縣知縣周榮湖北安陸縣知縣關廷牧廣
西武緣縣知縣張翀安徽霍山縣知縣王紹

見奉

諭旨魯蘭枝等依擬用掣得陝西鎮安縣知縣之
沈石麟著調補四川汶川縣知縣所遺鎮安縣
知縣員缺著掣得汶川縣知縣之楊懋學補授
掣得湖北安陸縣知縣之關廷牧著調補廣西

武緣縣知縣所遺安陸縣知縣員缺著掣得武
緣縣知縣之張翀補授餘依議又帶領乾隆五
十二年十二月分叢掣福建邵武府知府石
永福補行引

見奉

諭旨石永福依擬用餘依議又帶領山東巡撫長
麟保舉堪勝道員之現任濟南府知府蔡廷

衡引

見奉

諭旨蔡廷衡著回任又帶領直隸總督劉秉奏請

陞署磁州知州大計卓異之現任長垣縣知

縣徐惇典引

見奉

諭旨徐惇典准其於知縣任內卓異加一級陞署

磁州知州所遺長垣縣知縣員缺准其將蠡縣

知縣孔廣彬調補又帶領山東巡撫長麟等奏

准陞署單縣知縣之現任歷城縣縣丞楊楷

引

見奉

諭旨楊楷准其陞署單縣知縣又帶領乾隆五十

二年大計卓異之山東青州府同知汪元龍

直隸博野縣知縣周學純東光縣知縣姚廷
璣藁城縣知縣王光熙邢臺縣知縣成邦直

引

見奉

諭旨汪元龍周學純姚廷璣王光熙成邦直俱准
其卓異加一級仍註冊回任候陞又兵部奏補

本部職方司滿員外郎員缺帶領擬正之主

事覺羅德坤等引

見奉

諭旨兵部職方司滿員外郎員缺著擬正之德坤

補授又帶領選補四川川北鎮標左營守備程

襄引

見奉

諭旨程襄依擬用又帶領題補貴州上江協副將

書廢廣西龍憑營都司趙光烈准

列引

饋送及得受包差開賭陋規應行治罪一摺

見奉

諭旨書廢准其補授貴州上江協副將趙光烈准

其補授廣西龍憑營都司俱著赴新任又帶領

失察邪教議以降調遵

旨送部之山東安東營都司德楞泰直隸大城營

守備畢文元引

見奉

諭旨德楞泰畢文元俱著照部議降二級調用是

日

駐蹕承德府行宮

初八日己亥

上詣羅漢堂獅子園法林寺拈香是日軍機大臣等議將軍福康安奏查明厯任臺灣各員弁

內閣奉

諭旨柴大紀永福俟解到審明辦理至知府楊廷

理總兵丁朝雄俱得受海口出入船戶陋規銀兩經軍機大臣等議覆發往新疆及軍臺効力

固屬情所應得第念楊廷理所得陋規係同知任內之事為數無多且逆匪滋事之初首先招

集義民守城打仗保護無虞大兵進剿時復帶領義民至軍營隨同打仗始終出力丁朝雄在省聞逆匪滋事即趕回臺灣督兵剿捕復進攻南路收復南港以通運米來郡之路節次打仗禦賊甚為勇往出力楊廷理丁朝雄俱著加恩改為革職從寬留任八年無過方准開復其所得陋規仍著楊廷理照數二十倍罰出丁朝雄照

數十倍罰出以示懲儆至

撫察新疆之逆李
王

隆守備曾紹龍把總吳亮

之子

天植或得受海口船戶陋規或得受兵丁包差

開賭錢文或饋送柴大紀夫價及生日節禮俱

有應得之罪但李隆曾紹龍吳亮等禦賊府城

外營盤復往南路追剿賊匪均屬奮勉王天植

於逆匪攻擾府城時悉力堵禦並令伊子王陽

春招集義民剿捕遇賊陣亡情有可憫李隆曾

紹龍吳亮王天植亦俱著加恩改為革職從寬

留任十年無過方准開復李隆曾紹龍所得陋規

銀兩仍著查明按數追賠至總兵陸廷柱叅將

宋鼎俱屬大員陸廷柱雖在任未久南澳又相

距不遠而於柴大紀種種劣蹟並不據實揭參

宋鼎於所屬千把總得受兵丁包差開賭錢文

毫無覺察咎有應得且未據福康安聲明奏請
可見二員在軍營不過隨衆同行並無奮勉出
力之處陸廷柱宋鼎俱著各照議降級調用朕
於諸臣功罪辦理務酌其平固不能因其功而
宥其罪亦不忍因其罪而沒其功總期斟酌歸
於至當從無畸輕畸重之見也餘依議是日

駐蹕承德府行宮

初九日庚子內閣奉

諭旨福建南澳鎮總兵員缺著廣東黃岡協副將

張朝龍補授是日

駐蹕承德府行宮

初十日辛丑內閣奉

諭旨據毓奇奏豫省起運漕船因衛河水淺起撥

稽遲所有行月糧石交補正供外不能再有餘

米交倉請將豫省十帮到通應交三升八合餘

米緩至下運分作兩年帶交並東省漕船藉遲

亦久請飭交倉場侍郎查明如有疲累之帮將

請交餘米一體緩納以紓丁力等語各省漕船

到通後例有餘米交倉近年以來屢經該督奏

請緩交因其為恤丁起見是以准行但此等旗

丁既屬疲乏即使准其將餘米分年帶運而年

復一年自必更行拮据豈能按限交納除前此

緩交餘米仍令按年帶交外至此次河南漕船

行走遲滯皆因河水淺阻守候耽延而該管各

官於簽丁時既未能慎加遴選及開兑後又不

能督飭催趨以致稽遲時日丁力疲乏不能交

納所有本年兌運豫省米石各帮船應交餘米

竟免其交納著落總漕巡撫報道及府州縣衛

等賠交其東省各帮有無似此疲丁不能交納
餘米應行寬免著賠之處並著倉場侍郎就近

查明照此辦理據實具奏是日吏部議閩浙總

督李侍堯奏漳浦縣知縣員缺准以候補知

縣李聲振補授一疏奉

諭旨李聲振依議用餘依議又議江蘇巡撫閩鷄

元奏常州府知府嵩慶染患脾疾驟難痊愈

照例准解任調理可否准其回旗一疏奉

諭旨依議嵩慶准其回旗調理又議報銷剿捕逆

回官兵車價等項造冊遲延二年以上之前

任直隸清河道今陞浙江布政使顧學潮等

照例降調一疏奉

諭旨顧學潮慶章朱潤俱著降一級從寬留任餘

休議又兵部奏雲南普洱

標中庫遊擊員缺

擬以預保臨元鎮標右營都司管英雄掣補

一疏奉

其休致查該員曾經出兵打仗殺賊得功牌可否給俸一疏奉

諭旨鄧英雄依據用餘依議又奏貴州黔西協左營都司員缺擬以預保朗洞營右軍守備洪

泰鈞掣補一疏奉

諭旨洪泰鈞依據用餘依議又議雲貴總督富綱奏貴州大定協右營守備員缺准以黃平營

品休致給與全俸以養餘年又刑部等衙門議桐身死依律擬絞監候查郭桐係在保辜限署山西巡撫明興奏臨縣民劉明義毆傷郭外身死可否援例減等一疏奉

俸滿千總張永吉陞補一疏奉

諭旨張永吉依議用餘依議又議山東巡撫長麟

奏武定營守備員缺請以寧福營千總苟大

勇陞補查該員係俸滿回任候推之員可否

准其補授一疏奉

諭旨苟大勇准其補授餘依議又議察哈爾都統

奏該處正白旗驍騎校博爾和年老患病准

十一日壬寅內閣奉

諭旨江蘇按察使員缺著王士棻補授又奉

諭旨近年各省漕船丁力多有疲乏自由僉派時

不能慎加選擇所致此項衛正雖俱係總漕及

糧道衙門管轄但總漕統轄六省運務駐劄淮

安辦理僉盤事宜每年不過于尾帮押運北上

上

其所轄各省相離遙遠於一切僉丁等事既鞭

長莫及而各省糧道雖屬總漕兼轄歷年以來

從未見有總漕特叅糧道之事各處運丁竟由
糧道於該州縣衛隨意僉派不能如意遴選以
致各帮丁力多形疲乏殊非慎重漕運之道嗣

後江以南各省運丁竟當專交總漕會同地方
官慎選僉派江以北各省運丁即交該督撫慎
選僉派以專責成不得仍前將疲乏之丁湊數
充補至各省糧道每年押運抵淮後不過於各
糧道中輪派一員押帮前進漕艘為數較多一
人耳目難周照料難期妥協亦宜何省糧船即
令該糧道押送抵通於轉運更為有益其如何

酌定章程着大學士九卿會同該部妥議具奏

又奉

諭旨據永慶奏稱臺灣撤回杭州滿兵瑚圖靈阿

等五人由建寧府私自乘船至青龍灘陡遇颶

風船隻損壞溺水惟瑚圖靈阿強謙古魯納上

岸興貴興裕二人淹斃屍骸無存請將領隊官
員及永慶一併交部議處等語此次杭州滿兵

自到臺灣未曾奮勇打仗有玷滿兵顏面及至
撤回又圖安逸私自乘船殊堪駁異從前杭州
滿兵富昌前往臺灣時沿途逃走拿獲業經正
法現今淹斃之興貴興裕屍骸無存恐係逃走
亦未可定著將此交保麟琅玕查拿務獲瑚圖
靈阿強謙古魯納等並不凜遵法禁希圖安逸
私自乘船甚屬不堪瑚圖靈阿強謙古魯納俱

著發往伊犁協領花沙布凌領五十八駢騎校

德福等均係領隊管轄兵丁之員並不嚴行管

束以致兵丁等私自乘船甚屬非是其罪不止

於交部議處花沙布五十八德福俱著革職永

慶係統轄兵丁之員咎亦難辭永慶亦著交部

嚴加議處仍將此通諭各省滿洲駐防各處一

體嚴行管束兵丁務須以瑚圖靈阿等為戒如

有似此者將該管官員亦照此治罪是日

駐蹕承德府行宮

十二日癸卯

上駐蹕承德府行宮

十三日甲辰內閣奉

諭旨福康安奏此次帶兵巴圖魯侍衛章京內核

其勞績有博斌阿木勒塔等八員打仗殺賊尤

永陵

日太常寺奏七月十五日致祭

所得功牌酌予世職又官兵直抵瑚橋時烏什哈達帶領水師兵丁順風連檣而至四面合圍水陸並進俾莊大田得以即時擒獲亦屬勇往可嘉且前在雲南打仗時甚為奮勉烏什哈達亦著一併文部查照功牌議給世職摺并發是

為出力又特爾敦徹屢經出兵打仗此次帶兵剿賊最為得力於回京途次患病身故均請恩賞給世職等語博斌等隨福康安剿捕逆匪俱能奮勇出力或於北路堵截擒殺匪衆或於南路搜拿首逆各著勞績甚屬可嘉博斌阿木勒塔哲克翁果爾海德楞泰薩克丹布塞凌額西津泰特爾敦徹俱著加恩交該部查核伊等

奏貴州台拱營右軍守備貢缺准以候補守

備黃上達補授一疏奉

諭旨黃上達依議用餘依議是日吏部帶領五月

分滿月選官坐補

盛京工部貢外郎額爾登布擬陞

盛京工部貢外郎文成刑部貢外郎承露戶部

貢外郎岳起刑部主事瑞長工部主事志善

欽點浙江江西湖北三省正副考官一疏奉
昭陵遣哈爾崇阿行禮又禮部奏請
福陵遣福寧額行禮

永陵遣續恒行禮

昭陵一疏奉

諭旨

福陵

諭旨浙江正考官著鄒炳泰去副考官著莫暗蒙

見奉

引

諭旨文成等依擬用餘依議又帶領正月分滿月

選官擬陞

去江西正考官著趙佑去副考官著祥慶去湖
北正考官著余集去副考官著戴均元去又兵
部奏甘肅西寧鎮標後營都司員缺擬以預

保之西寧鎮標中營守備朱洪仁掣補一疏

奏四月分

諭旨朱洪仁依擬用餘依議又議雲貴總督富綱

奉

孝賢皇后陵寢貢外郎德泰補行

見奉

諭旨那嚮等依擬用是日

駐蹕承德府行宮

十四日乙巳

上駐蹕承德府行宮

十五日丙午內閣奉

諭旨書麟奏興武衛快丁彭鶴年因伊兄彭大年

不諳運務又係家貧每年貼費銀兩俱彭鶴年
代為交完另簽李國文頂運旋因李國文疲乏
上元縣知縣張五典移傳彭鶴年出運彭鶴年
因捐納布政司經厯分發浙江現已請咨赴補
抗不投到該縣添差將彭鶴年拿獲解案盛怒
訶斥因彭鶴年剖辯即行杖責以致彭鶴年具
控請將張五典革職彭鶴年交部議處等語所

駐蹕承德府行宮

辨殊屬過當彭鶴年雖捐納經歷究本係衙丁
避運捐官之人若該縣因簽丁出運有藉端勒
索情事則不止於革職尚應按律治罪如無別
項情弊止因該員藉詞赴任抗延不到遂加責
處尚屬因公起見即曰該員任性辦理過當其
咎亦不過應交部察議若即予以革職則將來
各運丁等聞風長智輒轉效尤易啓藉端抗延
之弊亦不可不防其漸張五典著毋庸革職但
交部察議予以罰俸足矣其差傳不到之彭鶴
年却當交部議處該部知道摺併發是日

乾隆五十三年歲次戊申六月十六日丁未

吏部議雲貴總督富綱奏雲南順寧府知府員缺准以候補知府孔繼忻補授二疏內閣奉

諭旨孔繼忻依議用餘依議又議安徽巡撫陳用敷等奏潛山縣知縣員缺准以候補知縣宋

思楷補授一疏奉

諭旨宋思楷依議用餘依議又議江西巡撫何裕城奏南安府知府和精額染患肝症難以供職照例准解任調理可否准其回旗一疏奉諭旨依議和精額准其回旗調理又兵部奏廣東惠來營遊擊員缺擬以直隸磁州營都司英偉籤陞貴州遵義協左營都司員缺擬以湖南長

沙協中軍都司員缺擬以廣西撫標右營守備李廷奉籤陞江西興國營都司員缺擬以江蘇撫標左營守備王來用籤陞江南常州營遊擊中軍守備員缺擬以四川建武營千總王國棟籤陞山東青州營參將中軍守備員缺擬以湖南永州鎮標左營千總黃福籤陞四川達州營遊擊中軍守備員缺擬以山西太原鎮標右營千總王大發籤陞一疏奉

諭旨英偉等依擬用餘依議又奏廣西思恩營遊擊員缺擬以預保之柳州城守營都司于宗範掣補一疏奉

諭旨于宗範依擬用餘依議又奏湖南永州鎮標中營守備員缺擬以預保之永綏協右營千總封曾掣補一疏奉

諭旨封魯依擬用餘依議又議審責總督富綱奏

雲南開化鎮標右營都

司博岳補授一疏奉

司員缺准以候補都
總督富綱奏

日

駐蹕承德府行宮

十七日戊申內閣奉

諭旨本日召見德成據奏

諭旨博岳依議用餘依議又刑部等衙門議山東
巡撫長麟奏夏津縣民婦孫王氏與崔三通
姦致伊夫孫振被崔三毒死崔三依律擬斬
監候孫王氏擬絞監候查該氏於伊夫被毒

者俱列祀典沿海處所勅建

時詢知情由即喊訴鄰佑赴縣喊稟將崔三
拏獲到官尚有不忍致死其夫之心可否援
例減等一疏奉

諭旨崔三依擬應斬著監候秋後處決王氏與崔

三通姦崔三將伊夫孫振毒害王氏詢知情由
即喊訴鄰佑赴縣指名拏獲尚有不忍致死其

夫之心王氏着從寬免死照例發落餘依議是

神麻疊昭

天后神廟屢著靈應而福建湄州係
神原籍現在臺灣大功告成官兵凱旋來往遍行
文發往嗣後該督撫於

安穩仰荷

靈貺允宜特著明禋用彰崇報著翰林院撰擬祭
文發往嗣後該督撫於

天后本籍祠宇春秋二季敬謹謚潔讀文致祭以

隆祀事而答嘉麻仍交該部載入祀典又奉

諭旨據卑沅奏彰德府知府李舟前在潞安府任

內失察通緝要犯一案部議降二級調用例應

送部引見但該員到任以來於地方公事頗能整頓係知府中得力之員請准其照現降之級赴部捐復免其離任等語現在彰德查拏邪教一案該員緝獲多犯審訊辦理且該處雖得透

雨一切平糴出借等事亦需熟手查辦李舟着照所請准其捐復降調之級免其離任該部知道又奉

諭旨據德成奏帶赴臺灣勘估城工之工部員外郎沈濬於事竣渡海後因病身故等語該員係奏派隨往臺灣辦估城工之員事竣回程中途病故事屬因公著加恩賞給銀一百兩以示體

卹是日

駐蹕承德府行宮

十八日己酉內閣奉

諭旨臺灣甫經平定一切撫綏善後事宜正資整

飭普吉保帶兵打仗雖尚為奮勉恐於海疆要缺究屬人地未宜因思奎林前在伊犁所處人犯本係有罪之人其獲咎尚非貪賊玩法難於

原宥者可比且伊曾經委任久歷戎行人亦體面臺灣正當需人鎮撫整飭之際不妨棄瑕錄用所有臺灣鎮總兵員缺着加恩將奎林補授並着即馳驛前往奎林當倍加感激朕恩力圖報效普吉保即着留於福建遇有相當總兵缺出再行補授是日

駐蹕承德府行宮

十九日庚戌太常寺奏

十一月初一月孟秋時

享

太廟一疏內閣奉

諭旨遣永豐恭代

後殿遣永錫行禮東廡遣積拉堪西廡遣善明各分
獻又吏部議雲南巡撫譚尚忠等奏署文山縣

知縣屠述濂試俸期滿准實授一疏奉

諭旨屠述濂依議用餘依議又兵部議山東巡撫
長麟奏臺莊營參將員缺准以兗州鎮標中
營遊擊王文雄陞補一疏奉

諭旨王文雄依議用餘依議又議湖廣總督常
奏湖南鎮草鎮標前營都司員缺准以九谿

營守備陳綸陞補一疏奉

諭旨陳綸依議用餘依議又議兩江總督書麟奏

江南提標後營守備員缺准以候補守備壽
榮祖補授一疏奉

諭旨壽榮祖依議用餘依議又議署陝甘總督勒

保奏乾隆五十二年陝西甘肅二省考察軍

政年老官甘肅沙州營參將毛大鳳西寧鎮
標前營守備張毓秀雙塔堡千總杜恩榮陝
西興漢鎮右營遊擊王勇秦州營千總楊宗

德有疾官甘肅寧夏鎮標後營千總李滋生
才力不及官陝西長武營都司蘇會寅甘肅
鎮海堡守備年紀剛寧夏鎮標後營守備祁
兆吉西安營千總馬明等照例分別休致降
調一疏奉

諭旨這考選軍政官員年老有疾者着休致才力
不及者著降二級調用餘終議是日

駐蹕承德府行宮

二十日辛亥內閣奉

諭旨據戶工二部議覆淮安等關一年期滿徵收

盈餘未便將上三屆均屬短缺之年比較有盈無缺應照四十六年徵收盈餘之數比較各該關尚共短少盈餘銀十萬七千六百四十六兩零着落該監督等各按經徵月日照數賠補等

語固屬照例辦理但念各該關所收盈餘數目比較四十六年雖少收十萬七千六百餘兩而較之上年已多收九萬三千六百餘兩所有此次淮海宿三關比較四十六年盈餘短少應賠銀十萬七千六百餘兩著落該監督等各按月日賠補銀一萬兩餘俱加恩寬免餘依議又奉諭旨前據永慶奏派往臺灣協勦之杭州乍浦駐

防滿兵回至建寧地方內有瑚圖靈阿等五名欲雇轎乘坐恐中途抬夫脫逃不能行走遂私自坐船至青龍灘地方遇風打壞船隻淹斃人口等語滿漢兵丁遇有征調勦捕之事於車輛可通處所尚可准其更替合坐以省足力若遇山路崎嶇車輛不能前進祇應將軍裝行李一切雇人抬送本人即當步行正可藉此習勞其

或一水之便船隻可通亦必須所調之兵普律下船方可准其乘坐若中途私約數人各自下船已屬非是何得復思雇轎乘坐如兵丁可以乘轎坐兜則所調之兵一千即須預備抬夫二千名况駐防兵丁出征向俱帶有跟役設復跟役等亦用轎兜所需抬夫又當再加一倍且滿兵既可用轎兜則綠營及練各兵又安能禁

其不一體乘用兵貴習勞以不能登山之兵尚望其衝險長驅破賊有是理乎此次臺灣勦捕遂亟檄調各省之兵不下萬員不竟須雇夫

十萬以為應付過兵之用有是理乎從前西北兩路以及大小金川用兵時從未聞有此事此必該省地方官違例應付以為將來開銷地步亦未必如數預備不過以備有轄夫一項事後

即可借此多為冒銷之計耳除將永慶另降清字諭旨交部嚴加議處並通諭飭禁外著再傳諭李侍堯琅玕即將該兵丁等過境時作何應付及因何備有兵丁等乘坐之轎是否地方官藉端開銷之處查明據實具奏至內地用兵口糧鹽菜以及運送糧餉火藥等項業定有軍需則例而兵丁沿途行走於水陸地方如何給與

舟車及舟車不通之處除兵丁本身令其行走外其抬運軍裝行李等項每兵幾名准給人夫幾名未經列入項下閩省違例應付未必不因例無明文遂思從中浮冒現在大功雖已告成但兵可百年不用不可一日無備著戶兵二部即詳悉妥議具奏添入行兵事例並着傳諭各省督撫嗣後凡遇有兵差過境毋許預備小轎

及兜子等項倘有仍前預備乘坐者即將該兵丁等從重究懲其應付之地方官及領兵之將弁一併嚴加議處決不寬貸將此通諭知之又

奉

諭旨此次派往臺灣之杭州駐防滿兵打仗不甚奮勇竟未出力即福州廣州之滿兵亦不過隨衆行走而已詢之此次凱旋去留待官員等

僉稱廣東綠營兵丁殊屬奮勇得力竟無一人
言及廣州滿兵如何出力者可見廣州滿兵亦
屬無用殊可痛恨昨杭州滿兵內先有二人逃
亡及撤回本省時瑚圖靈阿等復又偷安私自
坐船以致被水淹溺尤屬不堪夫出征兵丁途
間如遇水路不得已而乘船然亦必須衆皆由
水路行走而後可如衆皆不由水路行走僅約
數人私自坐船則顯係偷安至遇山路不可騎
馬之處正當步行亦可藉此習勞不可擅自乘
轎坐兜也大臣官員等如遇無馬處所或可乘
用轎兜若兵丁人眾每名必須二人抬送且兵
丁步行殊覺捷便而嫻習步趨至臨陣時方得
其力似此偷安需人抬送之兵尚堪用之於軍
前耶此等無用之兵縱派至數千猶不若派遣

擡夫之為愈也於滿洲之名殊屬有玷所有沿
途預備轎兜之地方官員妄行應付咎亦難辭
但念此係初次姑從寬免大抵外省滿兵皆由
各該處晏安日久染於外省積習伊等固不能
及京師健銳火器二營勁旅乃轉不如綠營兵
丁豈不有玷滿洲本色乎除福州將軍恒瑞業
經治罪外其副都統鄂岳廣州將軍存泰副都
統博清額杭州將軍寶琳副都統書楞額原任
乍浦副都統陞任江寧將軍永慶均著交部嚴
加議處並着傳諭滿兵駐防之處將軍大臣等
將各該管兵丁盡心教練務使技藝精熟若仍
因循廢弛不能認真訓練以致兵丁耽於逸樂
怠玩從事必將各該將軍副都統等從重治罪
斷不輕宥將此通諭知之是

駐蹕承德府行宮

二十一日壬子內閣奉

諭旨據姜峩奏秋審發回絞

候人毛傳等各款

川地方乘間脫逃現在通飭各屬選派兵役四路截拏並請將解貟巡檢王紹元外委胡有元

革職拏問署宜都縣知縣王永鎮漢陽縣知縣

何溥革職協緝該撫及臬司一併交部議處等

語秋審解回人犯非尋常案犯可比自應慎派員役沿途小心管押乃該縣等並不選差幹役解護接遞而該巡檢等奉委解犯又不管押同行竟自行渡河以致重犯逃逸實屬疎懈已極未便照疎脫人犯例議處巡檢王紹元外委

胡有元着即革職拏問署知縣王永鎮知縣何

溥俱着革職留於該處協緝姜峩李天培及該

管道府不能飭屬嚴密防範均難辭咎着交部分別嚴加議處並着該撫即行通飭文武員弁多差幹練兵役設法躡緝務將該犯速行捕獲按律辦理並嚴審各解役等有無受賄故縱扶同徇情弊一併從重究擬具奏該部知道摺並發又奉

諭旨據保寧等奏伊犁之察哈爾部落所遺佐領

驍騎校員缺擬定正陪請日補放等語著照保寧等所請庫蘇賴所遺佐領員缺將擬正之驍騎校保達什補授遇便送京帶領引見保達什所遺員缺將擬正之領催津巴補授博和勒岱所遺驍騎校員缺將擬正之空衝藍翎和屯庫本補授是日

駐蹕承德府行宮

二十二日癸丑內閣

諭旨據李侍堯奏署海壇鎮總兵樂清協副將李

長庚於捕盜要務任意懈弛染綠營冒領餉

署事以來並不出洋巡察查海壇所轄洋面共

報盜案十五起經別營及文員拏獲者四起該
鎮弁兵自行拏獲者止有一起現在尚有十起
未獲請將該副將革職等語閩省營務廢弛以

致海洋盜刦頻聞若不將怠玩疎縱之員指名
參處何以飭戒行而緝奸究李侍堯所奏甚是
副將李長庚着即革職仍留該處勒限協緝如
限滿無獲再行治罪該部知道摺併發是日吏

部議署山西巡撫明興奏鳳臺縣知縣員缺
准以汾西縣知縣張植發調補一疏奉

諭旨張植發依議用餘依議

議明興奏署長子

縣知縣何世珩試俸期滿准實授一疏奉
諭旨何世珩依議用餘依議又議江蘇巡撫閔鷁
元奏金山縣知縣員缺准以候補知縣魏翀補授

補授一疏奉

諭旨魏翀依議用餘依議又議烏嚕木齊都統奏

光山縣知縣員缺准以候補知縣魏翀補授

一疏奉

諭旨魏翀依議用餘依議又議烏嚕木齊都統奏
混行收考邪教案內人犯之前任烏嚕木齊
辦事大臣徐績照例降調查該員無級可降
應行革任一疏奉

諭旨徐績着從寬免其革任仍註冊又禮部奏原
任西安將軍常青病故照例給與祭塋銀兩

應否與謚一疏奉

諭旨依議仍着與謚

欽定謚曰莊毅又兵部奏湖南寶慶協中軍都司
貞缺擬以預保永州鎮標右營守備唐光茂
掣補一疏奉

諭旨唐光茂依擬用餘依議又議察哈爾都統奏
該處鑲黃旗護軍校色楞扎布年老患病准
其休致查該貞曾經出兵打仗殺賊捉生得

功牌可否給俸一疏奉

諭旨色楞扎布曾經出兵打仗殺賊捉生得功牌
着以原品休致給與全俸以養餘年是日

駐蹕承德府行宮

二十三日甲寅內閣奉

諭旨本日據大學士九卿核議福康安等奏清查
臺灣酌籌善後事宜一摺前因臺灣地方經柴

大紀等貪縱廢弛之後百弊叢生特諭令福康
安於剿捕完竣後將善後各事宜詳悉妥議具
奏嗣據福康安等議定共十六條立法固已周
密若該處文武貞弁果能實力奉行原可永遠
無弊但有治人無治法恐日久復視為具文或
竟陽奉陰違則雖多立科條仍屬空言無益茲
經大學士九卿照覆施行在臺灣之文武各員
務當敬謹遵循立除積習以飭營伍而靖海疆
至閩省民風刁悍盜刦頻聞是以降首凡遇該
省海洋盜案應候兩年後盜風稍戢再照舊例
分別聲請今據大學士等奏以臺灣械鬪相尋
往往釀成巨案嗣後亦應從嚴定擬與盜案一
體立限兩年俟限滿後人知畏法再請照舊例
等語但閩省盜刦之案不

福建內地以及臺灣械鬪之風尤熾已有旨令
李侍堯當遇案嚴辦是此等慘不畏死之徒恐
尚非一二年即能悛革所有閩省海防營並
械鬪之案俱着照新例嚴辦俟三年之後如果
人知畏法該督撫等再行奏聞照舊辦理以期
辟以止辟餘俱照大學士等所議行昨因臺灣
總兵負缺緊要恐普吉保不能勝任奎林久歷
戎行曾任將軍威名素著人亦體而已降旨將
伊補放朕之所以簡用奎林者原令其前往實
力整頓俾該處營務吏治均有起色奎林行抵
泉州李侍堯可即將應辦諸務及大學士等現
在議覆各條詳細轉傳該總兵令其到後恪遵
委辦毋負委任至前降諭旨令於督撫將軍內
每半輪派一員前往臺灣巡查亦恐該鎮道等

扶同徇隱故智復萌有將軍督撫等前往層層
稽察庶共知儆惕若該處總兵皆如奎林之足
資委用原不必又令督撫等前往多此一番跋
涉但奎林亦不能久在該處設有陞調等事而
接任者一時未能得人難保其不至貽悞自應
仍責成巡查之將軍督撫方為周密乃昨據德
成奏不如但令將軍提督前往督撫似可不必
等語其意必以將軍提督與地方無統轄之責
前往臺灣尚不至有需索供應情事若督撫前
往則各州縣備辦供頓應酬及家人胥役需索
門包所費又復不貲即如從前富勒渾縱容家
人殷士俊李世榮沿途任意勒索是其明証無
怪德成之有此奏朕令該督撫等前往巡查原
為稽察奸弊起見若該督

隨胥吏等藉端需索是未受其益而先受其害更不成事體着傳諭該督撫等嗣後於前往臺灣巡查時務須嚴禁從役等姦得有得受門包沿途需索等事如有明知故縱及漫無覺察者或經科道奏奏或經朕別有訪聞即將該督撫加倍治罪決不寬貸且不特臺灣為然即各省督撫於巡閱營伍查辦災賑時均當自行雇備

夫馬毋得絲毫擾累地方朕聞向來各省督撫內惟李世傑書麟於出巡時輕騎減從尚能不累地方各該督撫俱受朕重恩養廉優厚何不以李世傑書麟為則倣而必踵不肖督撫等之覆轍乎况督撫之責在於察吏安民凡通省之利弊屬員之賢否皆所應知而其出巡時所帶家人長隨為數無多何難隨時稽察管束若樂

宥也將此通諭知之又奉

諭旨據尚安奏烏嚕木齊滿營所遺佐領貞缺擬定正陪請旨補放等語着照尚安所請西靈河所遺佐領貞缺將擬正之防禦靈泰補授遇便送京帶領引見是日閩浙總督李侍堯奏泉州府馬家巷通判貞缺無合例堪以陞調之貞

請

勅部揀選補授一摺奉

諭旨即着此次派出驗看員官之劉墉金簡德保
胡季堂阿揚阿惠齡會同該部於候補候選人
員內秉公揀選帶領引見補授是日

駐蹕承德府行宮

二十四日乙卯內閣奉

諭旨據管幹珍和琳奏臨清閘外運河全賴漳衛

二水會汶北注而浮運通漕尤藉漳水之力向

有漳河神廟建於運河北滸居民等祈雨祈晴
隨禱立應今因閘外水弱度詣廟中祈求水澤
數日霪雨油雲水勢陡長四尺餘寸軍民商賈
無不踴躍歡騰稟請代奏加錫封號等語漳水
來源遠在晉省去運河千有餘里今管幹珍等
虔禱數日水頭立見長發不啻應願而償若非

神靈賜佑曷克臻此允宜增益鴻稱褒崇封號
以隆妥侑而答神庥著於漳河神舊有封號上
加利運二字並御書匾額對聯發去敬謹懸掛

永昭靈貳是日

駐蹕承德府行宮

二十五日丙辰太常寺奏七月初十日

孝懿仁皇后忌辰致祭

景陵一疏內閣奉

諭旨遣弘融行禮又吏部議直隸總督劉秉奏

州知州楊濬文試俸期滿准實授一疏奉

諭旨楊濬文依議用餘依議又議江西巡撫何裕
城奏署星子縣知縣馮封試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨馮封依議用餘依議又

江西巡撫長麟奏

荷澤縣知縣貟缺請以肥城縣知縣安奎文

調署查該員歷俸未滿與例不符既經專摺奏請可否准其調署一疏奉

諭旨安奎文准其調署餘依議又禮部奏請

欽點陝西江南二省正副考官一疏奉

諭旨陝西正考官着吳璥去副考官着張翻去江

南正考官着胡高望去副考官着謝振定去餘

依議又兵部奏湖南衡州協副將貟缺照例將捐復副將馬天麟擬補一疏奉

諭旨馬天麟補授湖南衡州協副將餘依議又奏

甘肅涼州鎮標左營守備貟缺擬以預保濟

木薩營千總王國才掣補一疏奉

諭旨王國才依擬用餘依議又議兩廣總督孫士

毅奏廣東崖州營守備貟缺准以澄海協右

營守備沈德清調補一疏奉

諭旨沈德清依議調補餘依議又議河南巡撫畢

沅奏河南信陽營守備貟缺請以撫標右營

千總李朝鳳陞補查該員係俸滿回任候推

之貟可否准其補授一疏奉

諭旨李朝鳳准其補授餘依議又刑部奏無力完

贓之秦六十兒等照例免其着追一疏奉

諭旨秦六十兒等名下應追銀錢准其豁免是日

駐蹕承德府行宮

二十六日丁巳

上駐蹕承德府行宮

二十七日戊午

上駐蹕承德府行宮

二十八日己未內閣奉

諭旨據李侍堯奏降調知府章銓自割調到閩以
來辦理軍需事件勤慎細心頗知出力可否將
伊從前知府任內所降一級恩准賞還仍留閩
省辦理報銷等語着照所請章銓從前所有降
級之處准其開復仍留該省幫辦報銷等事如
果奮勉自効再着該督給咨送部引見該部知
道摺并發又奉

諭旨據富興等奏賽音諾衍親王徹登扎布旗分
蒙古賽音察克扎木衍圖財殺害民人王木春
一案審明賽音察克扎木衍俱立決斃首示衆
辦理請將徹登扎布交部嚴加議處賞給出首
之本旗丹津布足等語蒙古賽音察克扎木衍
等見民人王木春皮物即起意將王木春誘飲
致醉用棍石亂打以小刀扎死究惡已極富興

等將賽音察克扎木衍審明俱即處斬梟首示
衆所辦尚是但該扎薩克等若並未查出不曾
拏獲凶犯自應交部議處今賽音察克等係徹
登扎布見丹津出首當即拏獲解審若交部議
處將來再遇似此之事伊等自必畏懼巧為遮
飾暗消徹登扎布着從寬免其議處嗣後各扎
薩克等各該屬人如有行竊殺人案件自行查
知轍臣對調一疏奉

諭旨王朝飈等依議調補餘依議又議安徽巡撫
陳用敷等奏貴池縣知縣額缺請以望江縣
知縣李祖謨調補查該真應俸未滿與例不

符既經專摺奏請可否

准其調補一疏奉

諭旨李祖謨准其調補餘依議又議禮部尚書德

保等於奉

命錄取貢監考職試卷並不詳較上次人數輒行

多取九卷實屬有心干譽遵

旨議處照例降調查德保住內有革職留任又革

任註冊無級可降應行革任一疏奉

諭旨德保着從寬免其革任仍註冊李綬吉夢熊

俱着改為降二級從寬留任又兵部議察哈爾

都統咨該處鑲黃旗驍騎校鄂齊爾年老患

病准其休致查該員曾經出兵打仗殺賊得

功牌可否給俸一疏奉

諭旨鄂齊爾曾經出兵打仗殺賊得功牌着以原

品休致給與半俸以養餘年又議黑龍江將軍

咨該處正紅旗食半俸驍騎校圖新保莫克

卓年老患病准其休致查該員等俱曾經出

兵打仗殺賊得功牌可否給俸一疏奉

諭旨圖新保莫克卓俱曾經出兵打仗殺賊得功

牌着以原品休致給與現食半俸以養餘年又

刑部等衙門議浙江巡撫琅玕奏餘杭縣民

俞文宗悞傷幼女陳四姑身死依律擬絞監

候查該犯之母孀婦年逾五十家無次丁可

否援例留養一疏奉

諭旨俞文宗從寬免死照例減等發落准留養親

餘依議是日

駐蹕承德府行宮

二十九日庚申內閣奉

諭旨據伍拉納奏上年辦理軍糧馬用船隻較多

派令巡榆江大復封固鹽

用並奉主薄談

汝霖會同辦理詎江大復得受花錢私將已封之船賣放一百三十餘號經談汝霖稟府查辦並經該督等訪聞將江大復咨部斥革究審茲准刑部咨會令該護撫提犯研訊茲審明江大復得賊屬實依律擬絞請旨即行正法等語江大復雖不過一微末佐雜但維時正值辦理軍務之際兵糧最為緊要乃江大復胆敢以待運各船得賊賣放情罪實為重大李侍堯伍拉納一經究出自當立時奏聞即行按律從重速辦俾眾知儆惕乃僅照尋常案件咨部斥革究擬殊屬失當李侍堯伍拉納俱着飭行刑部於接准該督咨會時亦當將此事一面奏明一面飭交該督等速行究辦乃僅咨行該護撫提犯研

訊辦理亦屬非是至江大復於承辦待運軍需船隻私行賣放實出情理之外着依該護撫所擬江大復即行處絞餘並照所擬完結其主簿談汝霖於江大復私放船隻不但無分肥情事且能據實稟明尚屬體面着該督撫即出具考語給咨送部引見摺并發又奉

諭旨據保寧等奏稱伊犁年滿貟外郎三成貟缺

請派員更換等語着交該部揀派司員帶領引見發往更換又奉

諭旨據保寧等奏伊犁惠寧城所依佐領一缺防禦二缺驍騎校五缺俱各擬定正陪請旨補放等語着照保寧等所請伊本泰所遺佐領貟缺將委署之前鋒參領保成補授新防禦貟缺將擬正之驍騎校李善補授新防禦

貞缺將擬正之驍騎校德

靈阿補授阿爾慶阿

老幼有疾及丁憂守制者准其差人或轉煩

所遺驍騎校貞缺將擬正之委署前鋒校富明

補授壽保所遺驍騎校貞缺將擬正之委署前

鋒校額爾德木圖補授阿精阿所遺驍騎校貞

缺將擬正之委署前鋒校富泰補授普格所遺

驍騎校貞缺將擬正之委署前鋒校烏林布補

授薩木什所遺驍騎校貞缺將擬正之空銜藍

翎巴彥補授所有補授佐領之保成着遇便送

京帶領引見又奉

諭旨保寧等奏伊犁効力贖罪協領銜全鑑已滿

八年並無錯悞奏請坐補德明所遺協領貞缺

等語着照保寧所請德明所遺協領貞缺將全鑑坐補是日戶部奏酌議報捐貢監條款請將

廩增附武生京外現任人員子弟獨子親老

至親赴部報捐一摺奉

諭旨現任官員丁憂者應回籍守制其報捐俊秀

既係服制未滿有何迫不及待而必欲差人報

捐該部一併列入應准條內未為妥協嗣後丁

憂人等俱不准其報捐俟服滿後仍令本人親

身赴部具呈始可准行餘依議又步軍統領衙

門奏據望都縣民韓固本呈控快役張老洪

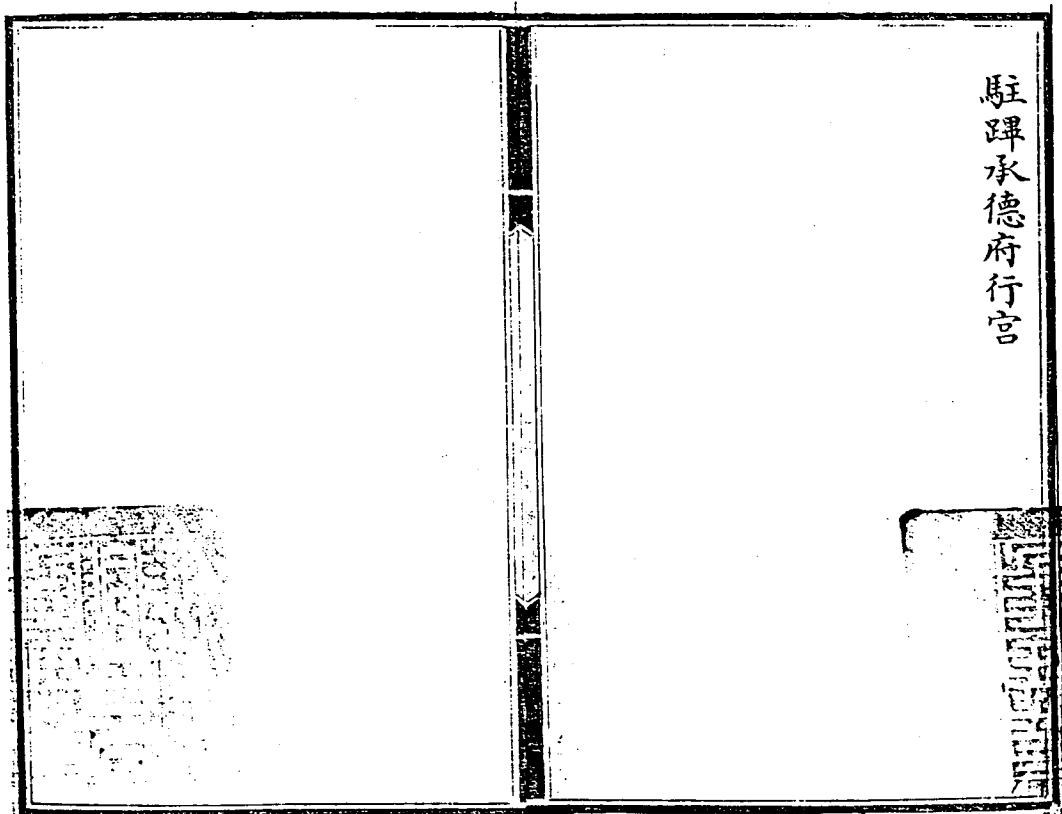
等窩賊搶糧私造假印及窩娼治病惑人各

情節請

欽派大臣會同該督查審一摺奉

諭旨此案着派惠齡馳驛前往秉公查審定擬具奏所有隨帶司員並着一併馳驛前往其具控之韓固本一犯即着帶往候便質訊是日

駐蹕承德府行宮



乾隆五十三年歲次戊午

秋七月初一月辛

西內閣奉

諭旨孫士毅孫永清先後奏

臣接慶大平爵知府

陸有仁稟稱有安南國牧馬鎮夷官阮輝宿帶

同男婦老幼數十人至龍州斗粵隘地方對河

求救詢據該夷官口稱該國被土酋阮姓攻破

黎城嗣孫黎維祁出奔伊與夷官黎侗等保護

王母王子等避兵博山社被寇追殺逃至河邊

無計可設求救入隘經守隘弁兵向其詢問遙

望隔河有百餘人似係前來追趕及見河北現

有兵勇不敢過河隨即退去該夷官等即同男

婦過河查點老幼共六十二名口當即收入隘

內撥房棲止經陸有仁面向夷官阮輝宿等逐

加詳詢因該國土酋阮岳恃強擣兵攻佔黎城

其黎城西南及迤北各府俱不肯從賊嗣孫先已避赴山南等處調兵征討現無消息阮岳一味獵悍該國人心戴舊若嗣孫乘隙而動阮岳即可一舉成擒阮輝宿等護送王母王子避難內投因情願回國找尋嗣孫俟勦平阮岳再迎嗣孫之眷屬歸國等語安南臣服本朝最為恭順該國王黎維瑞病逝長子早故黎維祁例應承襲前因該國遺失印篆僅備文申請補給並未遣官告哀與體制不合經該督撫等奏聞已據例復行檄詢原俟該國再遣使懇請即准其補給勅書今據孫士毅等奏黎城地方竟被阮岳佔據黎維祁赴山南等處調兵尚無消息而伊母及子幾被戕搶劫跟蹤內投自當妥為撫卹加意防護現在該國眷屬以及隨同人等

業經地方官撥房安樓孫士毅孫永清已先後
馳赴龍州着傳諭該督等務宜就近親加照料
優給廩餉俾無失所並傳諭該嗣孫之母以該
國雖被阮岳攻破黎城嗣孫出奔伊等懼被賊
辱沒率衆內投現既來至內地各關隘均有重
兵防守斷無虞賊匪攔入內地傷害伊等督撫
已將此事奏聞大皇帝隨奉旨安南臣事天朝
素為恭順着該督撫妥為安頓保護優給廩餉
該嗣孫之母等可暫在龍州居住不必過於憂
念現在該國境土並未盡歸賊匪且人心戴舊
子黎維祁趣此招集義兵無難滅賊恢復俟其
國內稍寧即可迎伊等回國等語向該嗣孫之
母詳細傳旨告知使其安心居住內地將來護

送歸國以副朕系遠宇小至意至該國眷屬被
追內投時勢在窘迫若地方官辦理拘泥不即
收入隘內必致被賊戕害今該府陸有仁一聞
對河夷官等率衆求救即令移入隘內並派兵
防護俾該國眷屬人等不致為賊劫留戕害又
面向該夷使等詢得詳細情形稟明該督撫等
具奏實為能事可嘉陸有仁已陞擢道員着該
督撫於事竣後給咨該員送部引見仍着先行
交部議叙將此通諭知之又奉
諭旨據興兆奏伊接任後同副都統富楞泰等察
驗八旗綠營官兵技藝軍器馬匹官銀調度辦
理等語外省將軍大臣皆係大員理宜實心任
事若有應行調度之事必須變更者固宜辦理
若一抵新任輒有心將前任所辦事件紛更見

長未幾遂即因循怠忽實屬惡習朕甚惡之如興兆前在荊州將軍任內伊又何曾善為辦理加意訓練以伊辦事而論尚不如常青今乃初至西安即為此奏不過欲顯前任將軍未周之處以見已之留心耳至富楞泰從前與常青相處最久興兆此奏若以為必宜更張富楞泰前此所司何事今又會同商辦具奏殊屬可笑興兆等著申飭並通行曉諭各省將軍副都統嗣後必須遵朕諭旨實心善為辦理不得沽名見長是日

駐蹕承德府行宮
初二日壬戌內閣奉
諭旨向來六部尚書侍郎每年俱給予雙俸雙米而大學士之兼管部務者則照尚書例俸米俱屬雙支其不兼部之大學士每年係雙俸單米大學士領袖班聯職分較大所得俸米比尚書轉少殊未允協嗣後大學士之不兼部務者亦着加恩給予雙俸雙米以符體制是日太常寺奏七月十五日致祭
昭西陵一疏奉
孝陵一疏奉
孝東陵一疏奉
景陵一疏奉
諭旨遣裕豐行禮又奏致祭
泰陵一疏奉
諭旨遣弘謙行禮又奏致祭

諭旨遣永鑒行禮又奏致祭

泰東陵一疏奉

諭旨遣永碩行禮又奏致祭

孝賢皇后陵寢一疏奉

諭旨遣崇尚行禮又奏致祭

端慧皇太子園寢一疏奉

諭旨遣永澤行禮又吏部議前經署陝甘總督勒

保奏阜蘭縣知縣員缺請以武威縣知縣朱

爾漢調補業經部駁在案今該督復請以該

員調補查究係以繁調繁與例不符應毋庸

議一疏奉

諭旨朱爾漢着照該署督所請行又兵部奏陝甘

督標左營參將員缺擬以甘肅涼州鎮標左

營遊擊哈明掣補一疏奉

諭旨哈明阿依擬用餘依議又刑部等衙門議湖

北巡撫姜晟奏宜城縣民郭攀麟等毆傷張

自修等身死依律擬絞監候應將相驗未將

傷痕驗明全報填格之宜城縣知縣倪憲照

例降調一疏奉

諭旨郭攀麟郭翠俱依擬應絞着監候秋後處決

其因未將傷痕驗明填格議以降調之倪憲着

該督撫出具考語送部引見再降諭旨餘依議

是日

駐蹕承德府行宮

初三日癸亥

上駐蹕承德府行宮

初四日甲子內閣奉

諭旨圖桑阿陳淮奏六月二十日湖廣襄

隨督同地方文武員弁將護城各堤塍加築搶修各城門下閘堵閉分段照料詎酉刻堤塍潰決江水直逼城下冲開西北兩門滿漢兩城文武衙署兵民房屋以及倉庫監獄俱被淹沒兵民多赴城上及屋頂樹上逃生其奔走不及者多被淹斃經陳淮令隨身家丁紮筏渡赴沙市招募船隻圖桑阿亦動項催船分救滿漢兩城人口赴城上搭棚棲止現酌動府倉南米散給撫卹其駐防綠營兵丁俱照例借給一月口糧監犯現查獲三十八名其餘五十名是否淹斃或私逃上緊查究又隨陳淮辦事之州同婁業耀被冲無踪至二十三日水勢稍平陳淮現在荊州親身督查俟辦有頭緒方可回省等語荊州因江水泛漲潰決堤塍致滿漢兩城均被淹

浸兵民四散逃避其奔走不及者即被淹斃情狀聞之惕然惻然幸而陳淮因往長陽查災回省適至荊州伊係藩司呼應較靈得以招募船隻分救兩城人口並酌動府倉散給兵民得資接濟該司此時自應在彼親身督查此次荊州被淹情形甚重姜晟一得陳淮稟報自己起身前往舒常調下亦當回往着馳赴該處會同詳細查辦着加意撫卹一面奏聞一面動給勿使兵民失所但該處堤塍興修未久荊州前曾被水其淹浸情形並未聞如此之重此次滿漢兩城均被淹浸雖係大江夏汛泛漲究由堤塍不固被水冲决所致除交軍機大臣詳查具奏外着傳諭舒常等即將所決堤工係何年何人承修因何工程不固以致潰決之處查明據實參

奏至州同婁業耀隨同陳淮辦事派在西門督
夫閑閘致被冲無踪該員係因公淹斃殊堪憫
惻着該督等即咨部照陣亡例議卹其駐防及
地方官各員內如有淹斃者亦屬可憫並着該
督等會同該將軍查明一併咨部量予優卹至
監犯現無下落者固應上緊查明分別核辦其
現已查獲之三十八名如係當時救出另行監
禁者自應仍照本案辦理如係避水得生自行
投到者尚為守法即應照其本罪量予減等仍
着該督等將現在查辦情形各行迅速覆奏以
慰塵念又奉

諭旨據長麟奏查勘膠州壽光二處被水情形摺
內稱膠州被水農民蓋藏漂失迨至未稼登場
尚需時日雖已給與一月口糧恐不足以資接

濟請於存倉穀內再行借給一月口糧壽光無
力農民亦照膠州辦理章程再行加借一月口
糧等語膠州因河水漲發淹浸田廬雖據該撫
查明現在地畝全行涸出每畝借給籽種並已
補種蕎麥可望秋收但該處民人猝被偏災蓋
藏漂失前次所給口糧既不足以接濟自應再
行酌給但於秋成後仍湏徵收歸欵恐被灾貧
民無力清還未免拮据所有此次膠州加借一
月口糧竟着加恩賞給其壽光一處亦經該撫
委令藩司查明即照膠州章程辦理並再行加
借一月口糧所加口糧亦即加恩賞給以示朕
軫卹灾黎有加無已至意該部即遵諭行又奉
諭旨福州將軍魁麟着改名魁倫是日

駐蹕承德府行宮

初五日乙丑吏部議閩浙總督李侍郎奏福

建漳州府石瑪通判員缺准以興化府通判

朱慧昌調補所遺員缺准以候補通判閩思

紀署理一疏內閣奉

諭旨朱慧昌依議調補餘依議是日

駐蹕承德府行宮

初六日丙寅吏部奏據廣西巡撫孫永清奏

恩恩府百色同知員缺請以歸順州知州陳
章陞署原議以該員有罰俸案件不准陞署
今查係該司員遺漏未將陳章完繳之案查
銷請交都察院查議陳章應仍照該撫所請

准其陞署一摺內閣奉

諭旨陳章准其陞署恩恩府百色同知餘依議又

工部奏本年戊申科應修順天貢院工程共

需銀一千九百八十二兩零遵照原奏揀派

員外郎海棟主事樊士鑑查勘核減銀三十

兩零令該府尹撙節妥協辦理一摺奉

諭旨此項工程共需銀一千九百八十餘兩之多

該堂官自應親往查勘乃僅派員外一員主事
一員勘估酌減該司員等經歷未久未必即能

諳悉工程且或將所勘之工略為酌減一二十

兩竟與承辦之員有通同囑托情事亦未可定
所有此項貢院應修各工着派德成前往再行
確實勘估嗣後工程凡在一千兩以上者俱着
奏請特派大員親往查勘是日

駐蹕承德府行宮

初七日丁卯

上駐蹕承德府行宮

初八日戊辰內閣奉

諭旨向來漢大臣官員有射中布範三箭者朕每

格外賞戴花翎以示鼓勵是以前日張若渟曾

中二箭因不合式未賞本日汪承霈前來熱河帶領引見詢及伊從前射範時止中二箭即賞

戴花翎前日張若渟亦中二箭未經賞給江承

霈係協辦大學士尚書汪由敦之子今張若渟奮勉着加恩一體賞戴花翎以示朕眷念舊臣之意又奉

諭旨三德現在病故所有廣西提督員缺着許世

亨調補是日吏部議四川總督李世傑奏署撫

為縣知縣嚴士鋐試俸期滿准實授一疏奉

諭旨嚴士鋐依議用餘依議又議將軍福康安奏

革職知府錢受椿丁憂府經歷施廷良自投赴臺灣軍營効力均能實心實力辦事奮勉仰懇

天恩准令錢受椿照例捐復施廷良准以知縣陞

用恭候

欽定一疏奉

諭旨錢受椿准其捐復知府留於福建差遣委用

施廷良准其發往雲南以知縣用又吏部議失

察皂役私宰馬匹之巡視南城吏科掌印給

事中成德戶科給事中秦清照例罰俸一疏

奉

諭旨秦清着銷去紀錄二次免其罰俸成德着銷

去紀錄二次其從前罰俸三個月之處仍註於

紀錄抵銷餘依議又禮部奏請

欽點河南山東山西正副考官一疏奉

見奉

諭旨河南正考官着甘立敵去副考官着李長森

去山東正考官着茹棻去副考官着吳鼎雯去

山西正考官着周兆基去副考官着方煒去又
兵部議四川總督李世傑奏四川越雋營守
備員缺准以提標右營千總羅廷樞補授一

疏奉

諭旨羅廷樞依議用餘依議又議署陝甘總督勒

保奏陝西波羅協都司王相龍准與甘肅哈

密協都司達蘭圖對調一疏奉

諭旨王相龍等依議調補餘依議又吏部帶領六

月分月選官籤掣刑部直隸司郎中楊如桂

籤陞刑部奉天司郎中田畿刑部浙江司員

外郎石鴻翥籤陞雲南楚雄府知府張謙吉

籤掣江西建昌府同知趙維况籤陞廣西梧

州府同知邱桂山安徽和州直隸州知州李

伯龍山西遼州直隸州知州王棟湖南道州

知州魏超蕃籤掣江蘇江寧府通判王龍圖

山東曹州府通判果興阿山西汾西縣知縣

丁坤雲南永平縣知縣侯定一陝西褒城縣

知縣何燕引

見奉

諭旨楊如桂等依擬用餘依議又帶領六月分滿

月選官工部主事那蘭太戶部堂主事齊音

泰引

見奉

諭旨那蘭泰等依擬用餘依議又奏補南城兵馬

司北城兵馬司吏目二缺帶領六人補選馬司

吏目柳雲培等二員引

山東章邱縣知縣王彬引

見奉

諭旨南城兵馬司吏目員缺着辦事處補授北城
兵馬司吏目員缺着莫玉綏補授又帶領調任

兩江總督李世傑奏請陞署江蘓海州直隸

州知州之現任吳縣知縣李逢春引

見奉

諭旨李逢春准其陞署海州直隸州知州所遺吳
縣知縣員缺准其將候補知縣卽觀坼署理又

帶領陞任河南巡撫畢沅保舉堪勝知府之

現任汝州直隸州知州張采五引

見奉

諭旨張采五着回任又帶領大計卓異之河南河

南府知府劉文徽浙江杭州府通判崔龍見

見奉

諭旨劉文徽崔龍見王彬俱准其卓異加一級仍
註冊回任候陞又帶領大計卓異之山東陵縣
知縣杜安詩引

見奉

諭旨杜安詩准其卓異加一級仍註冊回任候陞

又帶領病痊赴補之原任甘肅西寧道景如
栢四川候補同知鄭濟憲引

見奉

諭旨景如栢着仍發往甘肅以道員用鄭濟憲着
仍發往四川以同知用又帶領承緝盜案四參

未獲二案照例降調病痊赴補之原任四川

崇慶州知州王嘉謨引

見奉

諭旨王嘉謨着發往四川以知縣用其盜案四參

未獲二案降級之處着改為_{滿職}留任八年無

過開復又兵部帶領擬補湖南衡州協副將馬

天麒山西蒲州協副將蔡鵬引

見奉

諭旨馬天麒准其補授湖南衡州協副將蔡鵬准

其補授山西蒲州協副將又帶領選補山東充

州鎮標中軍遊擊何耀太陝西長武營都司

胡教廣西桂林營守備杜蔭棠直隸大城營

守備李昌興引

見奉

諭旨何耀太胡教杜蔭棠李昌興俱依擬用又帶

領論俸推陞之廣東潮州鎮標左營遊擊汪

生吉陝西畧陽營遊擊朱學仁引

見奉

諭旨汪生吉准其陞用廣東潮州鎮標左營遊擊

朱學仁准其陞用陝西畧陽營遊擊俱着赴新

任又帶領題補浙江定海鎮標右營遊擊劉芳

甘肅烏嚕木齊提標左營遊擊李文蔚洪水

營遊擊何守林廣東萬州營遊擊楊桂甘肅

烏嚕木齊城守營都司劉廷引

見奉

諭旨劉芳准其補授浙江定海鎮標右營遊擊李

文蔚准其補授甘肅烏嚕木齊提標左營遊擊

何守林准其補授甘肅洪水營遊擊楊桂准其

補授廣東萬州營遊擊劉廷准其補授甘肅烏

嚕木齊城守營都司俱着赴新任又帶領黑政

卓異之湖南鎮算鎮糧中軍遊擊林大茂引

見奉

諭旨林大茂准其卓異註冊同任候陞又帶領軍政卓異之江西贛州城守營都司石致遠饒州營守備長生引

見奉

諭旨石致遠長生俱准其卓異註冊又帶領邊俸

俸滿之甘肅庫爾喀喇烏鼐營遊擊保太貴

州定廣協守備楊洪新引

見奉

諭旨保泰楊洪新俱着回任候陞又帶領預行保

舉之雲南提標中軍叅將同書開化鎮標中

營遊擊什格鶴麗鎮標中營遊擊格勒爾特

江南南匯營都司馮建功四川督標右營守

備陳起鳳湖南撫標右營守備王正祿引

見奉

諭旨同書什格格勒爾特馮建功陳起鳳王正祿俱准其預保註冊又帶領畿陞陝西高家堡都司王只靜寧協左軍守備閻金補行引

見奉

諭旨王只着赴陝西高家堡都司任閻金着赴陝

西靜寧協左軍守備任是日

駐蹕承德府行宮

初九日已巳內閣奉

諭旨察攀龍著來京引見再降諭旨所有福建水

師提督員缺着哈當阿調補其陝西固原提督

員缺着王彙暫行署理候朕另行簡放又奉

諭旨楊重英之子楊長靈現錄補監禁查明

楊重英並無從順緬甸情事

是張楊重英係屬無

罪之人伊子楊長靈著即行釋放又奉

諭旨本年三四月間因諸臣條奏科場弊竇曾令

大學士九卿議奏並降旨通行飭諭矣彼時據

阿桂奏外間傳有謝墉抽身便討吳玉綸倒口

即吞之語朕即以阿桂若僅奏謝墉聲譽不好

伊二人前在吏部時原有齟齬而吳玉綸則並

無芥蒂則其言似非無據即他臣雖未有明言

其輿論平常而伊二人之在學政任內不孚衆

情之處聞知者亦復不少學政為掄才所闊既

聞有舞弊營私情事安可置之不辨隨降旨令

李侍堯閻鶚元各將謝墉吳玉綸在任聲名究

竟如何之處就近訪查據實具奏旋據閻鶚元

奏謝墉初任江蘇學政聲名實屬平常其復任

時尚知悔過頗為謹飭而李侍堯則稱吳玉綸
在學政任內聲名狼藉至今閩省士子猶懷忿
恨上年因吳玉綸條奏科場該省之人無不傳
為笑柄以吳玉綸即係作弊之人如何亦說防
弊但事隔年久實無憑據等語適吳玉綸在熱
河扈從隨面加詢問據稱因伊曾條奏西監應
行補捐一事是以為衆所怨昨謝墉帶領引見
來至熱河亦面加詢問據奏伊因考試過嚴未
免取怨於人及詰以因何有抽身倒口之語伊
二人則皆奏係寄園寄所寄小說所載陳言想
係怨之者因而附會等語辦理科場本當嚴密
如果恪遵成法自矢潔清士心正當翕服即或
有被遺之人為之散播謠言亦何至憎多口
至吳玉綸條奏捐監係四十一年之事而其簡

放福建學政已在四十八年以後相隔甚久尤
為兩不相涉若云出自寄園寄所寄則古今書
籍所載陳言甚多何以不取而附會他人獨於
謝墉吳玉綸二人曲加附會不謀而合但此事
既經閑鶴元李侍堯就近查奏並非無因即將
伊二人革職交刑部審訊治罪亦不為過姑念
阿桂所奏究係傳聞且無人不知而李侍堯等
亦因事隔年久查無確據朕從來不為已甚何
必遽興大獄但伊二人俱係大員經朕特簡學
政乃聲名致此平常朕甚愧焉謝墉吳玉綸何
以復勝卿貳之任均着降調為內閣學士其職
不過專司批本並無應辦緊要之件伊二人學
問尚可以特予從寬降補此皆係朕格外矜
全伊二人務當痛自愧悔勉為湔濯如再不知

悛改必加倍重治其罪其吏部侍郎員缺着朱
珪調補禮部侍郎員缺着鄒喪孝補授兵部侍
郎員缺着趙鏌補授工部侍郎員缺着管幹珍
補授朱珪現在出差所有吏部侍郎事務並着
管幹珍兼署至各省學政如有闊節賄賣等情
督撫近在同省斷無不知之理前已有旨交該
督等嚴行查訪具奏或有學政舞弊營私本省
督撫知而不舉必係督撫自己廉隅不謹恐為
所計若該督撫等竟敢與學政通同一氣作奸
犯科尚復何事不可為然督撫等俱受朕深恩
特加委任或不肖如王宣望陳輝祖郝碩國泰
者貽私累繢於學政弊端實自不敢舉發而王宣
望等俱已先後敗露立寘重典亦不藉學政之
參奏也但外省官官相護

經降旨通飭各該督撫等務實力查察如學政等有仍前情弊立即嚴究辦備省巡徇隱必將該督撫一併從重治罪決不姑貸至士子等應試時原不能無所去取其取中者自必感激無言而被遺者不免心存觖望悠悠之只固不足憑但考官學政等果能秉公錄取毫無弊竇公論具在斷不至如謝墉等之衆口一詞貽譏謗牘嗣後各該學政亦當益矢冰競公平校閱勿滋物議務拔真才以副朕訓誨成全之至意將此通諭知之又奉

諭旨前據圖桑阿陳淮等奏荆江夏汛泛漲潰決堤塍將府城及滿城淹沒人口朕覽奏為之惕然惻然隨降旨令該督撫等即速馳赴該處詳悉查明如意妥卹嗣據舒常奏得信後即

與撫臣會商預飭附近各縣動穀碾米聽候撥運接濟復取庫局銀錢以備應用伊即由水路起程親往查勘本日復據奏到日夜加緊趕往會同將軍等迅速妥辦等語前因舒常陞見回任後未經奏有回任日期是以諭令姜最即速前往親加履勘妥辦今舒常既已前赴該處省城亦不可無大員彈壓且賑卹需用接濟米穀餅麵錢銀等項俱湏由省城撥運姜最自當在省籌備一切預為布置即可毋庸前往舒常到彼後務宜逐加履勘詳細查明如意妥為撫卹一面奏聞一面即行散給俾資接濟毋致失所不可稍存諱飾至此次荊州被災情形較重附近村庄亦不無淹浸處所而長陽一縣前此亦經被水現在蒲圻漢川蘄水羅田黃梅鵝峯等

州縣復據姜最奏或因山洪陡發或因湖河漫溢低窪田地間有被淹等處若浸被水雖輕重

不等同係灾民自宜一體查明設法疏消妥為撫卹其有應行酌予緩賑之處即據實奏明分

別辦理不可因荊州府城被災較重皆專注意辦理而於別州縣被水處所未免心存忽視以致災民或有失所向隅之歎舒常姜最等務當

一體詳加妥辦以仰體朕軒念灾黎一視同仁至意舒常姜最等奏到各摺着一併發抄是日鑲白旗滿洲都統奏補荊州防禦員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨蘇章阿着補授荊州防禦又鑲藍旗滿洲都

統奏補世管佐領員缺帶領應襲人員引

見奉

諭旨佟明之世管佐領着富明阿承襲又鑲黃旗蒙古都統奏補參領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨定德着補授參領哈爾扣着補授副參領中慶阿里雅着補授印務章京舒勒赫着補授荊州防禦又鑲白旗漢軍都統奏補世管佐領員

缺帶領應襲人員引

見奉

諭旨馬肇功所出世管佐領員缺着馬庭蘭承襲

又鑲紅旗漢軍都統奏補參領等缺帶領正陪承襲人員引

見奉

諭旨侯正樂着補授參領葉潤章著補授副參領

統奏補世管佐領員缺帶領應襲人員引

劉圮着補授印務章京俟國信之世管佐領着

佟國泰補授又鑲藍旗護軍統領奏補委護軍
參領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨興元着補授委護軍參領是日

駐蹕承德府行宮

初十日庚午

上駐蹕承德府行宮

十一日辛未內閣奉

諭旨前據圖桑阿陳淮奏荊州江水泛漲堤塍潰

決以致府城及滿城均被淹浸覽之惕然惻然
已屢有旨諭令舒常等迅速前往詳悉查明妥
加撫卹矣看來荊州被淹情形甚重本日又據

圖桑阿奏該處城垣四十四六年曾兩次被

淹城垣亦不堅固此次被淹更重等語荊州城
垣既兩被水淹此次因沖開西北兩門水直入
城城內水深一丈餘尺雖漸次消落而城垣經
此一番淹浸基址必致鬆動閃挫勢湏另行修
建朕意該處城垣既屢被水淹自因江水頂沖
之故而城內水至丈餘其地勢亦必低下可知
但該處為古來重鎮近乃屢被淹浸殊非捍衛
久安之道或江路有所遷移乎茲既另需修建
何必與水爭地莫若擇一地勢較高及非頂沖
之處酌量移建庶可以一勞永逸若該府民人
安土重遷或難改徙不妨將城垣衙署酌移高
阜處所收小改建亦無不可至該處城工既需
另建而衙署倉廩監獄以及正防官兵房屋一
切亦被水淹均須查明分頭修理建其數字各

尤應亟行撫卹需項浩繁該省藩庫所存銀兩必不敷用着於戶部庫內動撥銀二百萬兩並

一百萬兩並

派戶部司員二人每人管解銀一百萬兩徑送荊州應用並着沿途各該督撫速備人夫車駕直隸着派梁肯堂河南着派景安湖北着派李天培並各派出道府營員一體護送以期迅速

解到至此次荊州城垣可否改建及尚可因舊朕不能懸度一切撫卹事宜所關甚鉅恐舒常姜晟等見識未能周到阿桂歷經委任自能善體朕意德成於工程亦為諳習着派令由驛前往勘辦所有城工應否改建及如何籌辦毋致再被水淹之處着交阿桂會同舒常定議具奏改與不改阿桂定之其料估城垣倉廩及駐防官兵房間等項工程着交德成核實估計具奏

阿桂德成接奉諭旨即迅速起程前往不必前赴行在請訓其詳悉俟朕細思續有指示辦理之處即行由驛陸續寄知阿桂等到彼當詳細籌勘妥協辦理不必泥於遵旨以副朕軫念兵民保障久遠至意其留京事務着綽克托代辦又奉

諭旨荊州官兵被水淹斃多人房屋衣具等物皆被水浸壞殊為可憫朕深為惻然將所借與伊等銀兩俱着施恩賞給免其賠補至於淹斃馬匹着不必彼處買補現有牧放馬匹甚多儘可照數賞給應用但此際彼處城垣房屋始被水浸壞無養馬之所着交烏爾圖納遜等照荊州所用一千二百餘匹馬數將現在牧放馬內擇其肥健者照數給與仍交圖桑阿等於期年秋

涼後出派官兵護送分給兵丁拴養但此次被

灾較重朕雖現在如此賞卹仍恐不能周遍著

交阿桂至彼處查看情形如仍有應賞卹之處
於現在解送二百萬兩銀內分賞即動用二三
萬兩一面奏聞一面酌量賞給以副朕軫卹滿
洲世僕之至意務湏妥協辦理是日太常寺奏

八月十一日

奉

太祖高皇帝忌辰致祭
福陵一疏奉

諭旨遺續恒行禮又奏八月初九日

太宗文皇帝忌辰致祭

昭陵一疏奉

諭旨遣祿興行禮又吏部議山西巡撫明興奏徐

溝縣知縣員缺准以襄垣縣知縣楊廷瑛調

補所遺員缺准以候補知縣任衡葵署理一
疏奉

諭旨楊廷瑛依議調補餘依議又吏部議於工役
閑駁並不慎密陳奏將摺底先送管工大臣
閱看又私喚工頭於私宅問詰之巡視北城
禮科掌印給事中丁雲錦等照例降調一疏

諭旨丁雲錦興安俱着降一級調用丁雲錦再降

一級調用餘依議又兵部議於所屬派往臺灣
撤回兵丁未能督率管束以致私坐船隻之

江寧將軍永慶照例降調一疏奉

諭旨永慶着改為革職從寬留任又兵部議接緝
學政劉權之眷船被劫一案未能實力查拏
以致該犯遠颺轉被鄰道等處之天津鎮總

兵強都等邊

旨議處照例降調一疏奉

諭旨強都著降一級留任餘依議是日

駐蹕承德府行宮

十二日壬申

上駐蹕承德府行宮

十三日癸酉內閣奉

諭旨前據書麟李奉翰奏黃河水勢於五月底陸續增長淮水來源亦復旺盛足以抵禦黃流暢達東注現在時屆伏汛各工平稳等語覽奏深為欣慰續又據蘭第錫畢沅奏南北兩岸各工

於六月底長水自五六尺至八九尺不等皆於

一二日後旋即消落舊有險工俱各搶護平稳

現在伏汛安瀾工程鞏固尤為以手加額目下

雖甫交秋令暑雨漸少而秋汛方長尤應倍加敬慎朕與河工諸臣當共矢此心但本年河流

順軌運道深通自賴

神明佑助之力向來四瀆雖各有專祀而工所

黃淮河神廟每歲春秋未經官為致祭典甚闕焉自宜特重明禋以昭靈貺所有江南及河東等

處工次建立

黃河神廟並江南清黃交匯地方所建

淮河神廟俱着於每年春秋兩季官為致祭交該部載入祀典並着翰林院撰擬祭文發往於致

祭日敬謹宣讀以崇功德而報神庥是日

駐蹕承德府行宮

十四日甲戌內閣奉

諭旨德成現在出差所有查估貢院工程着改派

伊齡阿是日禮部奏八月十三日恭逢

皇上萬壽照例行慶賀禮一疏奉

諭旨依議照例行禮又吏部議山東巡撫長麟奏

署壽張縣知縣王轂試俸期滿准實授一疏奉

諭旨王轂依議用餘依議又議直隸總督劉岱奏

大名縣知縣員缺請以署滿城縣知縣李棠

調署查該員歷俸未滿與例不符既經專摺

奏請可否准其調署一疏奉

諭旨李棠准其調署餘依議又議直隸省辦差各

員遵

旨議准開復加級一疏奉

諭旨劉岱肯堂富尼善罰俸降俸降職降級留

任之案俱准其開復餘依議又兵部議察哈爾

都統咨該處正黃旗駍騎校吹扎木素年老患病應准休致查該員曾經出兵打仗得功牌可否給俸一疏奉

諭旨吹札木素曾經出兵打仗得功牌着以原品休致給與半俸以養餘年又刑部等衙門議山西民王三毆傷王士明身死依律擬絞監候

查王士明係在保辜限外身死可否援例減

等發落一疏奉

諭旨王三毆傷王士明至保辜限外身死者從寬免死照例減等發落餘依議是日

駐蹕承德府行宮

十五日乙亥禮部奏本年戊申科順天鄉試

請

欽點滿漢監臨各一員一摺內閣奉

諭旨着派伊齡阿汪承霈又國子監奏本月十一
日貢監考到盤獲皂役佟天祿與副貢生陳
珠樹傳遞給朱景輅文稿請交部審擬一摺
奉

諭旨着交刑部嚴審定擬具奏是日

駐蹕承德府行宮

乾隆五十三年歲次戊申七月十六日丙子

上駐蹕承德府行宮

十七日丁丑

上御卷阿勝境

賜平定臺灣凱旋將軍福康安參贊海蘭察等並隨

駕王公大臣

御前乾清門侍衛等宴是日內閣奉

諭旨張芝元著調補四川松潘鎮總兵其建昌鎮

總兵員缺即著穆克登阿調補又奉

諭旨李侍堯自調任閩浙總督辦理軍需諸皆妥

協本欲俟大功告竣後仍將伊原襲伯爵賞還

嗣因其於柴大紀種種營私舞弊不據實參奏

咎實難辭是以未經給與第念該督係在事後

赴任於柴大紀未經覺察尚屬可原且駐劄泉

州廈門承辦軍需及調度一切始終無誤李侍

堯著加恩仍賞還原襲伯爵至李奉堯自承襲

以來並無過失今既將伯爵給還伊兄李奉堯

並著賞給提督銜此係朕宥過賞功恩施格外

李侍堯等當倍加感激奮勉以副委任是日吏

部奏江西南安府知府員缺擬以山東青州

府同知汪元龍籤陞浙江金華府通判員缺

擬以浙江慈谿縣知縣李光時籤陞雲南雲

南府經歷員缺擬以甘肅玉門縣訓導樊若

時籤陞一疏奉

諭旨汪元龍等依擬用餘依議又議直隸總督劉

寗奏署棗強縣知縣崩祖炳試俸期滿准實

授一疏奉

諭旨勦祖炳依議用餘依議又議劉義奏署平鄉縣知縣韓濤試俸期滿准實授一疏奉

諭旨韓濤依議用餘依議又議於所屬漢川縣監

生羅正榜控告縣書張志忠侵蝕災賑銀兩

不即查究審辦以致羅正榜赴京控告之湖北按察使李天培等照例降級罰俸一疏奉

諭旨李天培陳淮俱著降一級留任李封姜晨舒常俱著罰俸一年其因控告書吏侵蝕災賑不

即查究審辦議以降調之楊芳春著該督撫出

具考語送部引見再降諭旨餘依議又兵部奏

閩浙督標右營參將員缺擬以湖北襄陽鎮標右營遊擊劉魁龍籤陞貴州撫標右營遊擊員缺擬以直隸新雄營都司綽奇籤陞廣

西郴州城守營都司員缺擬以河南河北鎮

標左營守備朱永茂籤陞貴州黃平營都司員缺擬以四川漳臘營守備王重品籤陞一

疏奉

諭旨劉魁龍等依擬用餘依議又議署陝甘總督

勒保奏甘肅肅州鎮標右營遊擊員缺准以

陝西嚮水堡都司馬訓陞補一疏奉

諭旨馬訓依議用餘依議又議雲貴總督富綱奏

雲南昭通鎮標左營守備員缺准以提標右

營守備海明調補一疏奉

諭旨海明依議調補餘依議又議漕運總督毓奇

奏江南興武衛守備員缺准以淮安衛守備

華友鵬調補浙江嘉湖衛守備員缺准以紹

興衛守備龐彌嫻調補所遺淮安衛守備應

歸部選紹興衛守備員缺准以候補守備丁

銑光補授一疏奉

諭旨華友鵬等依議調補餘依議是日
駐蹕承德府行宮

十八日戊寅內閣奉

諭旨據舒常奏馳抵荊州查明被水情形一摺並

據繪圖呈覽詳聞圖內沿江堤工漫潰至二十
餘處各寬十餘丈至數十丈不等是此次荊州

被淹較重竟由堤塍不固所致該處堤工四十
四十六兩年被水後均曾借項興修如果工
程鞏固何致屢被漫決外官習氣不堪官工尚
且思肥已况此項工程例係民修向無保固承
辦之員並不認真妥辦草率從事甚或侵漁入
己均屬事所必有屢經降旨交阿桂等查明嚴
參著阿桂到彼後即會同舒常等詳細查明以

十年為限所有現決之堤工如在十年以內興
修者承修之員俱當從重治罪仍著落賠補其
監修之該管道府及藩司督撫等亦著一併查
參分別議罪著賠嗣後並著定限保固十年如
在限內冲潰者即照此嚴行參處以示懲儆此
次荊州被淹既因堤工不固之故則該處城垣
自以不移為是著德成到彼後詳細察看堅實
重修以垂久遠其衙署倉監等項並著阿桂德
成等會同確勘分別動借以次興修至該處堤
塍為全郡保障所關甚重從前因係民修以致
地方官辦理不善任意冠減屢被冲淹況該處
人民現在被災較重朕心方為惻然亦不忍再
令其自行修理所有此次應修各堤工竟著動
項興修官為辦理並著阿桂德成妥為估計務

期加高培厚認真修築俾崇墉屹立永資抵禦
其將來每歲修理需費無多再照例辦理以示
體卹又據舒常圖桑阿等奏坍塌兵房請借銀
修復分年扣還一摺此次被淹尤重所有該兵
丁修復房屋各費朕亦不忍復令其扣還前已
有旨竟全行賞給並著阿桂等到彼即遵前旨
會同查明妥辦仍酌量撫卹俾無失所至城廂

有損傷著舒常等即先行詳悉查明加意撫卹
似此重灾祇當期於無遺不必復言無濫該督
等宜善體朕意妥協辦理也又據姜晟奏接准
督臣咨會續調銀二萬兩錢四千串解赴荊州
應用已飭照數解往等語荊州現有修建堤塍
城垣各工及撫卹兵民之用需費浩繁應該省
藩庫所有不敷動用早發戶部銀二百萬兩派
員迅速解往並著阿桂到彼通盤酌算如尚不
敷用即據實奏聞以便再行撥解應用至楚省
今年被淹處所較多前據姜晟奏長陽蒲圻等
處皆被水淹已有諭旨令一體查明妥辦本日
又據該撫奏漢陽武昌兩城俱因江水過高城
中積水無從流瀉低窪之處間致淹溢省城貢
院尤為低下湖水潰入號舍等語現屆霖興大

典所有淹潰號舍著該撫即上緊設法疏消其
被淹各處雖有輕重不等但同係灾民皆當一
律撫卹不可因荊州府城被水較重皆注意在
彼而於被水之別州縣未免心存岐視致有失
所向隅之處姜晟現在省城籌辦一切並著該
撫一體詳加妥辦以副朕軫念灾黎一視同仁
有加無已之至意又奉

諭旨金士松著轉補吏部左侍郎劉躍雲著轉補
禮部左侍郎韓鐸著轉補工部左侍郎其所遺
右侍郎各員缺即著朱珪鄒奕孝管幹珍補授

又奉

諭旨據雅朗阿等奏稱此次監視文鄉試人等馬
步箭正紅旗滿洲等三旗章京將考試之人亂
行排列以致參差不齊請將該三旗章京交兵

部內務府嚴加議處等語已照所奏交部矣都
統等平日管理旗務宜將各該旗章京等善為
訓導一切均宜辦理整齊今監視文鄉試人等
馬步箭時正紅旗滿洲等三旗章京將考試之
人亂行排列以致參差不齊顯係該三旗都統
等平日並未將該章京等善為訓導一切因循
不以為事且此內正紅旗滿洲都統事務現係
雅朗阿署理伊亦難辭其咎理合自行請罪乃
會同列名只將章京等參奏甚屬可笑著將雅
朗阿嚴行申飭外仍令該旗都統內務府大臣
明白回奏是日鑲白旗蒙古都統奏補察哈爾
世管佐領一摺奉

諭旨策凌朋楚克之世管佐領翁瑪尼巴達爾管
理是日

駐蹕承德府行宮

十九日己卯內閣奉

諭旨據舒常奏荊州沿江堤工漫潰至二十餘處各寬十餘丈至數十丈不等並繪圖呈覽是此次該處城內被淹竟由堤塍不固所致已降旨令阿桂等將十年以內承修該管各員查明分別嚴參治罪著賠矣此事前據圖桑阿陳淮奏
堤工潰決後江水冲開西北兩門而入朕意該處西北二門被冲大江自應在府城之北及查閱輿圖及一統志圖大江則皆繪在府城之南昨據舒常所進之圖又與輿圖所繪南北方向相同江既在南則城內被淹時水勢自應由南門而入何以此次又繞至北門殊不可解此必從前承修堤塍各員見該工例應民修任意草

率偷減侵肥入己該管上司復不以事爲事以致工程不固一經江水漲發不足抵禦在在潰決江水建瓴而下將並非頂冲處所亦被冲淹況閱圖內堤工潰決共有二十餘處自係迤西之堤先行潰決是以水勢由西南繞至西北遂致冲開北門入城以致成大灾無疑昨福建臺灣文武員弁因循玩愒肆意貪婪竟致釀成逆案不得不徹底究辦湖北吏治亦屬廢弛已極活埋冒賑之案相繼敗露其辦理鹽務輒敢私立匣費名目大小官員染指肥橐累商滯課今於承修堤工又復一任劣員肥已悞公屢被冲潰而此次江水竟至淹入城內被灾甚重前據圖桑阿查奏滿城淹斃者共四百餘名昨又據舒常查奏府城大小男婦淹斃者一千三百餘

名外省官員於災傷向有諱飾茲報出者已有
一千三百餘名之多則其諱匿不報者必尚不
止此數想來不下萬餘此等灾戶流離顛沛傷
斃多口可憫可憐皆由堤工不固以致罹此重
灾若不將承辦及該管之員從重治罪又復何
以示懲儆而慰輿情除交軍機大臣將十年以
內歷任湖北督撫藩司及荊州道府詳細查明
具奏外並著阿桂到彼後即將十年以內之承
修堤工官員暨該管各上司一體詳查嚴參分
別從重治罪仍著賠補用昭懲創至沿江堤塍
為百姓保護因慮而設固應動用民力此次因
被淹較重朕不忍仍令被灾之民按例修理業
降旨動用帑項官為堅實修築永資保障俟將
來每歲修理需費無多再照例辦理但該處民

人甚衆若竟歸民修不復官為經理則百姓等
誰肯首先出資踴躍從事即如井田之制宜古
者未必宜今若此時而沿襲井田即雨我公田
遂及我私之句亦徒成虛語是將來修理堤塍
各費派之於民而仍當官為經理第不肖官吏
於官工尚思侵剋肥已矧此項工程例歸民修
並無保固官員等不特於需費之外可以藉端
加倍酒派入其囊橐而且草率從事偷減侵漁
均屬事所必有其該管上司又因係民修之工
遂爾漫無查察殊非慎重堤防保護民命之道
自應立定章程於應修時派委大員確加勘估
借項興修俟報部核准後再接畝攤徵歸欵并
定以保固年限如在限內有潰決之事即嚴參
治罪著賠庶工程可期永固而官員亦不敢有

侵蝕情事方為妥善除此次應修之堤交阿桂德成妥為估計動項官辦外其將來民修堤工

作何稽察保固之處著阿桂到彼即會同舒常

到彼即會同舒常

悉心妥議具奏再舒常所進之圖未甚明晰閱之不能了然著該督撫即將此項堤塍先由何處沖決江水又因何繞至北門其被淹各處所係何地方另行展寬圖幅詳細繪畫貼說呈覽

又奉

諭旨向來各省副將人員該督撫等於年終出具考語祇係照例辦理其名列一等者不過供職勤慎未必皆實係人材出衆堪勝總兵之員現在記名應用總兵人員不敷簡用著各總督及兼提督銜之巡撫即於節次保列一等之副將內詳悉秉公察核其材具優長訓練有方實勝

專閭之任者各行保舉數人出具考語具奏候朕酌量簡用又奉

諭旨據尚安奏烏魯木齊鎮廸道舊有勅書一道逮輸圖到任後因無勅書遽行含混請領並不上緊查究遺失根由及鳳翔到任後始查出係

巴彥岱緣事時被婦女無知燒燬除將歷任道員送部議處外請將輸圖交部嚴加議處等語

翰圖在鎮廸道任內三年有餘較歷任道員為時最久乃於勅書因何遺失之故並不詳查於前及經藩司駁查仍不實力跟究其遲悞疏慢實難辭咎翰圖著交部嚴加議處其歷任道員並著文部議處該部知道摺併發又奉

諭旨據福康安奏袁國璜現在患病沉疴請回籍調理等語袁國璜著回籍調理其子袁國璽

山鎮總兵自應有人署理此缺著察鑒龍暫行降補俟來京引見後再赴新任又奉員缺著觀成補授其陝西河州鎮總兵員缺著路超吉補授其江南壽春鎮總兵著王柄調補又奉

諭旨浙江黃巖鎮總兵員缺著劉文敏補授又奉

諭旨據尚安等奏吐魯番滿營所出佐領一缺擬定正陪人員補放等語著照尚安等所奏官保所出佐領員缺將擬正之防禦胡松額補授遇便來京補行引見是日

駐蹕承德府行宮

二十日庚辰內閣奉

諭旨昨據舒常奏查勘荊州被水情形一摺並繪

圖呈覽披閱圖內沿江堤工漫潰至二十餘處各寬十餘丈至數十丈不等是此次該處城內被淹竟由堤塍不固所致已降旨令阿桂等將十年以內承修該管各員查明分別嚴參治罪著賠矣近來湖北吏治廢弛已極活埋冒賑之案相繼敗露其辦理鹽務輒敢私立匣費名目大小官員染指分肥累商滯課今於承修堤工

因係民修向無保固又復一任劣員尅減侵漁以致工程不固一經江水漲發不足抵禦在在潰決從來河工偶有頂冲漫溢總不過一二處乃該處沿江堤塍沖決至二十餘處之多成此大灾前據圖桑阿查奏滿城被淹者共四百餘名昨又據舒常奏府城大小男婦淹斃者一千三百餘名外省官員於灾場有諱飾滋報出

者已有一千三百餘名則其諱匿不報者必尚不止此數想不下萬餘此等灾戶流離顛沛傷斃多口皆由堤工不固以致罹此重灾昨福建臺灣文武員弁因循玩愒肆意貪婪釀成逆案不得不徹底究辦因富勒渾雅德久任該處督撫皆係伊二人之罪即令拏交刑部治罪茲湖北官員雖無釀變情事而其廢弛貽悞竟與相等此而不行嚴辦其何以懲貪玩而慰輿情特成額欽用湖廣總督在任三年之久首尾廢弛所有活埋冒賑各案俱係伊任內之事乃於該管堤工又復毫無覺察其罪竟不減於富勒渾雅德似此負恩溺職豈可復令駐劄回疆仍帶翎頂管束人衆特成額著革職拏交刑部治罪所有烏什事務著侍郎明興前往接管此旨即

著明興帶往俟其行抵烏什親向特成額宣諭後將伊拏問著派委妥員迅速解京交刑部治罪務於冬至前趕到勒保現署陝甘總督回任尚需時日所有山西巡撫事務著梁肯堂暫行前往署理梁肯堂現派令護送戶部解往荊州銀兩所有頭起之一百萬兩已於十九日起程本日據畢沅奏請於河南徵存地丁銀內撥出一百萬兩就近解往俾速資接濟等語已准其就近撥解其戶部二起銀兩尚未起程即無庸解往以省運費梁肯堂俟頭起銀兩解送出境後即由彼速赴山西署事梁肯堂未到之前山西巡撫印務暫交鄭源璣護理直隸布政使印務著富尼善署理其按察使印務著該督撫委協道員奏明署理朕本欲令歸來等議因

其曾任湖廣總督上年李侍亮調任閩浙時
乏人以舒常人尚小心是以差往署理續行實
授今該省似此種種廢弛貽失舒常並未據實

陳奏咎無可辭豈可膺封疆之任舒常即著解
任留於荊州工次効力自贖李封曾任該省巡
撫並不能實力整頓相沿玩悞伊亦無顏在京
供職並著前往荊州管工効力自贖其行在刑

部印鑰著福康安帶管現在荊州堤塍城垣各
工已命阿桂德成前往勘辦阿桂等將大局勘
定估明後即交與舒常李封在彼監修並令激
發天良自行議罰以備工賬之用俟各工及灾
賬等務完竣另降諭旨其十年以內之承修官
員並該管各上司仍著阿桂等遵照前旨詳細
查明分別嚴參從重治罪並著賠補用昭懲創

所有湖廣總督員缺著畢沅補授目下河南並
無緊要應辦之事畢沅接奉此旨不必來行在
請訓即速往荊州辦理撫卹各事宜其河南巡
撫員缺著伍拉納補授徐嗣曾現在臺灣承辦
城工諸事其巡撫事務係伍拉納護理伍拉納
俟徐嗣曾回至內地後再赴河南新任伍拉納
未到之前河南巡撫事務著惠齡速行前往署理
惠齡現在出差距豫省不遠伊係朕素知之人
不必再來請訓即著就近馳往河南署事李侍
堯雖到湖廣正署將及一年履任未久亦難辭
咎但念伊到湖廣任後即將活理人命一案據
實查參隨即調任閩浙於地方諸事不及整頓
未暇查出且伊到福建後即在泉州廈門辦理
軍需一切始終無悞功過績相抵著加恩免

其治罪姜景到任未久將來查明亦可從寬此
係朕格外矜原李侍亮姜景當倍加感激奮勉

自効毋負委任朕臨御五十餘年敬天勤民孜
孜不倦於臣下功過輕重惟視其人之自取固
不肯為已甚亦必去其太甚貪玩從不稍寬而
權衡務歸至當所有臺灣及荊州兩事地方官
懈弛玩愒悞公殃民至於此極朕不能早行查
察弭於未然朕方引以為愧今相踵敗露安可
再事姑息不為從嚴辦理以儆將來為此明白
宣諭大小臣工嗣後務當益加敬凜倍矢清勤
以副朕整飭官方諄諄教誡之意將此通諭知
之是日吏部議四川總督李世傑奏會理州知
州員缺准以候補知州保明補授一疏奉
諭旨保明依議用餘依議又議江西巡撫何裕城

奏九江府同知員缺准以候補同知邢璵補
授一疏奉

諭旨邢璵依議用餘依議又議廣西省大計才力

不及官蒼梧縣知縣羅甡新寧州知州周于

德不謹官陽朔縣教諭李殿樞罷軟官遷江

縣典史唐應龍有疾官永福縣知縣黃鶴雯

懷集縣知縣趙介年老官鬱林州吏目喻學

曾賀縣教諭秦士模恩府教授王用賢等

照例分別降調革職休致一疏奉

諭旨這考察各官才力不及者著降二級調用不
謹罷軟者著革職年老有疾者著休致餘依議

又兵部議署陝甘總督勒保奏甘肅永固協

副將員缺准以陝西循化營參將連音泰陞

補所遺循化營參將員缺准以陝西循化營參將連音泰陞

昌補授一疏奉

諭旨達音奏補授甘肅永固協副將德昌依議用

餘依議又刑部等衙門議雲南巡撫譚尚忠奏

會澤縣民楊小恕之妻小羅氏與潘小元通姦致潘小元將楊小恕砍死潘小元依律擬斬監候小羅氏依律擬絞監候查小羅氏並不知情聞知伊夫被殺即向夫叔哭訴首告

拏獲尚有不忍致死其夫之心可否援例減等發落一疏奉

諭旨潘小元依擬應斬著監候秋後處決小羅氏與潘小元通姦潘小元將伊夫楊小恕砍死小羅氏聞知向夫叔哭訴首告拏獲尚有不忍致死其夫之心小羅氏著從寬免死照例減等發落是日

駐蹕承德府行宮

二十一日辛巳內閣奉

諭旨昨因近年湖北吏治廢弛已極荊州現復有潰決堤塍淹斃多命之事不可不嚴行辦理已明降諭旨將特成額革職拿問舒常李封管工自贖其承修及該管各官員交阿桂查明嚴參分別從重治罪著賠因念姜晟到任未久俟查

明後尚可從寬但姜晟擢用湖北巡撫已將年餘於該省官員似此種種玩誤並未據實陳奏即如匣費一事昨舒常前來行在陛見朕面加詢問亦據奏實有其事兩淮鹽引在楚省行銷地方各官其職專在緝私督銷乃竟敢藉端向商人勒索層層剥削以致商力疲乏配運不前積壓課引姜晟若無染指情事何不據實查參

乃到任一年並未奏及茲於該管堤工復有漫淹之事雖因履任未久從寬免治其罪宣可復膺封疆之任享豐厚養廉乎姜晟著即來京舒常與李封同係該省督撫舒常業經解任李封亦著解任前往荊州管工自効其刑部左侍郎員缺即著姜晟補授姜晟接奉此旨即速起程來京供職務於朝審以前趕到其湖北巡撫員缺著惠齡補授惠齡接奉此旨即著速赴湖北任事所有湖北巡撫印篆著姜晟親帶於途次迎交惠齡接收畢沅昨已補放湖廣總督其未到之先湖廣總督印務仍著舒常暫行署理俟畢沅到後再行交代朕因該省地方官員因循玩愒悞公殃民至於已極不得不嚴加懲創畢沅惠齡受朕深恩擢用督撫伊二人到彼後堤

工及撫卹各事宜皆有阿桂等在彼經理惟地方一切事務必須實力整頓一洗從前積習俾吏治日有起色如嗣後該省尚有仍前玩愒及再有染指匣費等項情弊則是伊二人不能承受朕恩自蹈咎戾勉之慎之至河南巡撫員缺昨本令惠齡前往署理今惠齡已補放湖北巡撫應即速赴新任所有河南巡撫印務即著梁肯堂前徃署理梁肯堂現護送戶部解往荊州銀兩俟頭起銀兩出境後梁肯堂即由彼速往河南署事其未到之先景安前已有旨諭令速回豫省即著景安暫行護理河南巡撫印務以便畢沅速赴湖廣新任勒保現署陝甘總督回任尚需時日所有山西巡撫印務著海寧前徃署理海寧未到以前仍著

諭旨前因黃仕簡於剿捕臺灣賊匪時因循畏葸以致賊勢蔓延本當按例正法念其年老多病已從寬免死應罰令繳銀三十萬兩抵補軍需之用以示懲儆後又因臺灣營伍廢弛黃仕簡久任水師提督是其專轄且屢經前往臺灣辦理械鬪之案並未就近參辦其罪尤重前罰之數尚不足蔽辜復令李侍堯向其切實詢問並再令議罰其奏茲據李侍堯奏臺灣營伍廢弛一節黃仕簡供實因病廢糊塗未經參辦現令於二十萬之外再繳銀二十萬兩又據供尚有產業可以售變恐一時驟難繳楚懇求賞限一年察其衰病情真所供尚非狡飾等語閱該督此奏是黃仕簡病廢屬實即此數言想彼亦不能說明但以病廢之黃仕簡朕不能早爲查察

更換以致貽悞地方朕方引以為過是以前次部議上時從寬免其一死若使伊並非老病殘廢則其種種玩悞宣不立置於法即任承恩於賊匪起事時自行奏請前往乃並不帶兵追捕安坐鹿港與黃仕簡彼此觀望失機亦應按律正法因念伊父任舉在金川陣亡伊兄又因救火傷斃任承恩並無子息朕不忍令捐軀效命之臣竟至絕嗣是以一併加恩貸其一死此皆朕於法外施仁曲為矜宥黃仕簡受此重恩即罰繳銀四十萬兩實所應得第念黃仕簡既經免其死罪自當酌留家產俾資養贍若應繳之項過多設伊家屬餬口無資朕心又有所不忍黃仕簡著加恩於所罰四十萬兩減免其十萬兩其餘三十萬兩即照所開各款開列于後

完繳以示朕終始矜全恩加無已至意又奉
諭旨據李侍堯奏福寧鎮總兵何俊呈稱據護理

連江營遊擊守備柴必魁稟報巡查東岱堡砲

臺原安大砲六位現存五位又浦口寨地方原

安大砲四位現存三位俱各遺失一位請將護

理連江營遊擊事守備柴必魁革職嚴訊福寧

鎮總兵何俊交部嚴加議處等語此事大奇海

口地方安設砲位原為防禦要隘而設關係極

為緊要乃該處將弁等並未留心管守以致遺

失且此等大砲又非海洋盜賊所能竊取使用

乃於何時失去之處詢之該弁兵等俱稱不知

是該處汎地平時竟無弁兵看守營伍廢弛至

此尚可問耶此案必須徹底究訊從嚴辦理以

肅營政而重海疆守備柴必魁雖經自行報出

但護理遊擊已及半載失砲汎地距伊駐劄之所僅數十里豈無見聞自係派委兼管東岱堡

守備後勢難隱諱始行據實呈報著即將該守

備革職拿問提同該管汎地已革之署守備千

總許明陞並署千總林為邦及看守砲位兵丁

嚴行審訊定擬具奏總兵何俊於該管地方兩

處遺失砲位如果平日管轄嚴肅何至疎玩若

此僅予嚴議不足蔽辜福寧鎮總兵何俊著革

去總兵降補守備仍留閩省効力至該二汎既

有遺失砲位之事其通省各標營應貯砲位是

否照數無缺並著李侍堯通飭嚴查再行據實

具奏該部知道摺併發又奉

諭旨柴大紀在臺灣總兵任內任憲廢弛營伍縱

容兵丁等在外貿易并婪索供價與海關船隻

陋規生日節禮得銀拔補外委等款賄私累萬盈千迫賊匪竊發並不即時帶兵親往撲滅復托詞回城調兵遷延時日以致釀成賊勢及收復嘉義縣城時又不併力追剿與賊以暇致賊人復得佔據斗六門大里杙等處修築抵禦種種貽誤軍機經福康安等定擬斬決解京辦理朕以柴大紀情罪重大本應立正典刑其在嘉義奏稱不忍以數十萬生靈委之賊手情願固守之處雖係義民不肯放出皆屬謠詞朕究念其尚有守城微勞欲俟解到覆訊後加恩從寬未減改為監候茲據福建委員將柴大紀解到命軍機大臣會同大學士九卿覆訊柴大紀復思狡展翻供抵賴並供稱德成前在臺灣連日審訊義民誘令如將柴大紀賊罪指出必有重

賞如不實說即行治罪等語朕命將節次申飭福康安諭旨令其開看並經朕親行廷訊始俯首無辭而於認罪之下仍思狡飾柴大紀一案朕專交福康安徐嗣曾審辦德成不過係派往勘估該處城工並無審事之責與伊何涉妄行攀指柴大紀之意不過因此事係由德成前往浙江省有所風聞到京因朕問據實奏明所聞後始行查辦遂心懷忿恨欲乘機將德成扳陷伊或可希冀脫罪奸巧之極甚屬可惡柴大紀竟係天奪其魄自行取死豈可復從寬典柴大紀著照所擬即行處斬以為辜恩昧良狡詐退縮者戒又奉
諭旨福建按察使員缺著萬鍾傑補數萬鍾傑現
在臺灣該處甫經平定一切萬鍾傑補數萬鍾傑現

料理著仍留臺灣道員之任將地方諸務興奎
林實力整頓其按察使印務著李侍堯等揀選
妥協道員奏請署理俟二三年後萬鍾傑在彼
辦理諸務大有起色該督等再行酌量請旨候
朕簡放臺灣道有人再令萬鍾傑赴臬司之任

又奉

諭旨瑪興阿著轉補吏部左侍郎其右侍郎員缺

著保成補授又奉

諭旨福建布政使員缺著伊轍布補授又奉

諭旨湖北漢陽府知府員缺著劉永銓補授又奉

諭旨正藍旗滿洲奏請將原任奇臺縣知縣揚

桑阿名下應追核減車價修理倉廩銀二千四

百餘兩於伊子孫錢糧內減半坐扣等語此項

銀兩尚非揚桑阿侵蝕入己之項均係由部核

減且揚桑阿已經正法抄沒家產其揚桑阿子
孫錢糧內坐扣之處著加恩寬免仍著落該上
司分賠再嗣後凡官員名下應追銀兩內如係
侵蝕入己或已抄沒家產治罪或非此等核減分
賠之項止令伊子賠補無庸令伊孫及兄弟賠
補仍均著落各該上司分賠即為例交八旗一

體遵照辦理又奉

諭旨現在海寧派往署理山西巡撫事務其鑲黃

旗蒙古副都統事務著吉慶署理是日戶部奏

滸墅關徵收商稅銀兩議將再上屆按數比較

四十九年短少盈餘銀二萬二千五百餘兩

請著落該監督四德賠補一摺奉

諭旨此次滸墅關短少盈餘銀二萬二千五百餘

兩著寬免銀一萬兩餘著賠補又都察院奏請欽點巡視北城將科道各員開列請

簡一疏奉

硃筆圈出玉麟曹錫寶是日

駐蹕承德府行宮

二十二日壬午內閣奉

諭旨兵部印務著綽克托兼署又奉

諭旨福建福寧鎮總兵員缺著希當阿補授是日

駐蹕承德府行宮

二十三日癸未內閣奉

諭旨據保寧等奏稱布魯特畢班璧特伊母今年

一百六歲尚屬壯健感激天恩誠心恭祝萬壽

令伊稟知等語布魯特畢班璧特伊母現年一

百六歲精神矍鑠西域遠徼共沐昇平上瑞朕

心深為欣慰著施恩賞給大綬二疋貂皮六張伊子前來具稟禮儀恭順亦屬可嘉並著賞給藍翎以示朕優獎高年無間內外至意又奉

諭旨從前車臣汗徹布登扎卜因給付私遣人拏烏拉執照勒索本部人供給廩餼案內罰本汗俸已施恩減半豁免矣今徹布登扎卜已故伊

子齊旺多爾濟襲爵所有徹布登扎卜罰俸未

扣完者俱著加恩寬免不必由伊子俸內坐扣

圖謝圖汗徹布登多爾濟亦因此案罰俸今報布

登扎卜所罰俸既經寬免亦著加恩將徹布

爾濟未扣完之俸一併寬免以示朕惠愛蒙古

世僕之恩又奉

諭旨據保寧等奏駐劄伊犁辦理回子事務敦福

年已七十兼又有病頗覺瘦憊查有牘使歸鄉

統國星阿自到伊犁以來所交差務竭力奮勉
敦福所管回子事務即交國星阿管理等語著
照所請敦福所管回子事務即著國星阿管理

外敦福令其自備資斧回京又奉

諭旨據保寧等奏管理塔爾奇城內倉務主事職
銜紹漢病故查有原任刑部郎中慶興自到伊犁
以來所交差務皆實心勉力委派審事亦皆妥

協辦理懇賞給慶興主事職銜管理塔爾奇城
內倉務等語著照所請慶興著賞給主事職銜
管理塔爾奇城內倉務是日太常寺奏八月十
九日致祭

社稷壇一疏奉

諭旨遣雅朗阿恭代又奏八月初八日致祭

先師孔子一疏奉

諭旨遣劉墉行禮兩廡遣翰林官二員各分獻崇

聖祠遣吉善行禮又吏部議直隸總督劉義奏

署南和縣知縣梅于嵩試俸期滿准實授一

疏奉

諭旨梅于嵩依議用餘依議又議查議奉恩將軍
阿爾吉圖齊戒三次不到互相推諉將承辦
遲延之宗人府兵部堂司各官照例降調罰

俸一疏奉

諭旨雅朗阿著罰尚書俸一年斌寧著銷去侍郎
紀錄一次其罰俸六個月之處仍註於公分紀
錄抵銷崇尚著銷去尚書紀錄一次仍罰侍郎
俸六個月福長安海寧俱著罰俸三個月吳玉
綸著銷去紀錄一次免其罰俸彭元瑞罰俸四
個月之處阿桂伊齡阿罰俸三個月

註於紀錄抵銷餘依議又議於改發新疆年滿遣犯並求詳查應配地方安插遽准回籍將承辦錯悞之刑部堂司各官照例罰俸一疏奉

諭旨喀寧阿胡季堂穆精阿俱著罰俸三個月周

元良著銷去紀錄二次免其罰俸餘依議又議於所屬縣民挾嫌控告之案不上緊審辦以致

釀成命案之湖北恩施縣知縣范道立照例

降調一疏奉

諭旨依議其因控告准理未即審辦議以降調之范道立著該督撫出具考語送部引見再降諭旨又議賠修泇河廳屬崞縣汎微山湖堤石工

不行修築任意遲延之山東文登縣知縣趙文照照例降調一疏奉

諭旨依議其因湖堤石工賠修遲延議以降調之趙文照著該撫出具考語送部引見再降諭旨又兵部議雲貴總督富綱奏雲南臨元鎮標右營守備員缺准以俸滿千總程文韜陞補一疏奉

諭旨程文韜依議用餘依議又議黑龍江將軍奏

該處協領阿爾璽公中佐領恩德保車普敦

俱年老有病應准休致查該員等俱曾經出

兵打仗殺賊得功牌可否給俸一疏奉

諭旨阿爾璽等曾經出兵打仗殺賊得功牌俱著以原品休致阿爾璽給與半俸恩德保車普敦俱給與全俸以養餘年是日

駐蹕承德府行宮

二十四日甲申內閣奉

諭旨昨據浦霖奏審擬私造

書之未陽縣

賀世盛一犯照大逆律凌遲處死

家屬緣坐並

將搜獲之駕國策抄本呈閱一摺隨批交大學

士九卿會同法司核擬速奏本日據大學士等

照擬具奏請旨閱摺內有指出該犯所稱捐路

終為財動有妨正途及拒諫等語朕臨御五十

三年普免天下地丁三次蠲免漕糧兩次一遇

水旱偏灾無不立予蠲賑兼之浙省建築海塘
及豫省豁免攤徵銀兩凡所以藏富於民為捍
禦間間計者總計不下億萬萬從不稍存靳惜
前此豫工暨川運兩次開捐原因維時河務工
程緊要軍需用度浩繁府庫所存不敷撥給且
康熙雍正年間曾因公准捐有案廷臣有以是
為請者是以照例暫開為一時權宜之計然不

久而即行停止亦因納貲授官本非善政並恐
雜流因此並進仕路壅塞捐例祇可行之於暫
而不可行之於久特命停止自停止以來已十
有餘年之久五十一年督臣李世傑書麟李奉
翰等以江南黃運兩河漫決多處撫卹堵築諸
務需費較多合詞奏懇開捐朕當以此事斷不
可行明降諭旨訓飭天下人共知者甘肅捐監

之例亦因地方官等包攬折收藉端滋弊永行
停止朕如果為聚財起見則兩次所捐不敵一
次普免之數亦人所共知者安有陳奏停捐拒
而不納之事賀世盛身列膠庠據供嘗閱邸報
宣五十一年朕訓飭李世傑等之旨伊獨未之
見耶乃輒敢因科名未遂心懷忿懣遂私自著
書怨望大學士等擬以凌遲緣坐實屬按律辦

理此等狂悖之人若竟從寬典俾安坐因勢
必更肆狂吠又如曾靜之罪大惡極寸磔不足
蔽辜反足以累及伊家屬第念該犯究因失志

場屋貧苦無聊撫拾傳聞私自抄寫借以抒其
柳鬱與顯肆悖逆者尚屬有間賀世盛著從寬
改為斬決至伊子賀家瑞見伊父所抄之書中
多違礙屢次跪勸燒燬尚為知理守法乃該犯

執意不從終至敗露似此等無知妄作之徒不
但自蹈法網且不顧伊子弟因其緣坐俱蹈大
辟而在朕心轉覺不忍且其餘子姪孫子據該
撫查明俱在鄉務農不通文理其未經舉首亦
屬可原所有賀世盛名下應行緣坐之犯俱著
加恩竟免其緣坐概予省釋並著該撫即將此
旨給與該犯閱看後再行正法俾知孽由自作

而朕於法外施仁不因該犯語涉違悖罪及其
子若孫該犯亦當俯首就戮死而無怨也餘依
議又奉

諭旨據舒常奏荊州府城猝被水淹監犯不帶刑
具遂皆隨水漂散查係各犯日間開放扭錠以
致被水後是逃是斃無從稽考現在先後查獲四
四十四名又有自行投到者四名尚有未獲四

十名請將署江陵縣典史徐桐革職拿問署江
陵縣知縣屈振甲革職該管知府俞大猷荆宜
施道沈世熹交部嚴加議處並請與巡撫姜晟
臬司李天培一併交部分別議處等語各省府
州縣設立監獄在監人犯均應照例日夜加上
杻鎖方免踈虞乃該處應管各員平日擅將獄
囚刑具鬆放以致被水漂散無從稽查非尋常

疎縱者可比舒常等身任督撫疎漫降旨將伊等離任實不為屈足見天理昭彰難逃朕之洞鑒所有署江陵縣典史徐桐著革職拿問署江陵縣知縣屈振甲著革職交與阿桂提同該員及刑禁人等嚴審有無賄縱別情另行定擬具奏荊州府知府俞大猷荆宜施道沈世熹交部嚴加議處臬司李天培及舒常姜晟俱著交部分別議處其自行投到之絞犯黃悅林譚青虎楊廣墀軍犯彭添明等四犯尚知守法著照直隸段文經案內之權增寧好等犯減等發落又奉

諭旨據孫士毅奏稱廣西提標後營遊擊署新太協副將王檀赴任違限混稱在部告假應照例降一級調用查該員於邊境情形頗為熟悉現

在分布巡防急須熟手懇將王檀暫留閩隘督同稽查以收實用等語王檀著加恩改為降一級仍留遊擊之任令其實力巡防如果始終奮勉該督於事竣之日再行據實具奏是日大學士伯和坤等議福建巡撫徐嗣曾奏澎湖協兵丁王攀龍等糾衆逞兇搶犯辱官一案將首犯王攀龍二名業經正法其康飛俸二名擬斬立決林瑞生等六名擬絞立決該管副將潘韜等請交部分別議處斥革一摺奉

諭旨康飛俸蘇光彩俱著即處斬林瑞生楊凜生詹得生葉天助陳必顯黃提生俱著即處絞此案該犯等狹嫌起釁糾衆毀屋又復貌法鬧堂搶犯種種不法實皆出於該兵丁等同惡相濟自應從嚴辦理至千總吳得生陳元成遊擊陳

大鵬署守備蔡子愛許廷瑞

副將潘韜等固難

難

辭約束不嚴之咎但念該兵丁等俱係新派換班非其素所管轄且一經得信即會同速往查

拿據實票報尚無回獲掩飾如將伊等斥革一併治罪則將弁等遇事規避轉啟捏報諱飾之

弊副將潘韜遊擊陳大鵬署守備蔡子愛許廷瑞俱著從寬免其議處于總吳得生陳元成亦

諭旨據長麟奏恩縣民周經現年一百三歲孫曾繞膝體履康強應請旨旌表等語周經年越期頤精神豐饒洵為昇平人瑞所有應行旌表及賞給緞疋銀兩之處著該部照例具題以示優獎高年至意摺併發是日

駐蹕承德府行宮

二十六日丙戌

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等充食是

日內閣奉

諭旨李侍堯奏雲霄營分防外委許奕忻因向兵

丁等閑談以張媽求案內逸犯現奉飭拿若籍查

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等充食是

賜隨

上御卷阿勝境

駐蹕承德府行宮

二十五日乙酉

著免其斥革餘依議是日

日內閣奉

素知村民林潭家道尚殷，
委即帶同張淋并兵丁林楚等前赴林潭家內。
喝查逸犯並進屋搜拿輒指桃稻鐵入稱係應
禁器械須連人解究張淋遂從中說合林潭許
送洋錢四圓許奕炘嫌少即令鎖拿林潭跑出
喊救當有村民林井等聞聲趨勸各自散回林
潭被詐不甘聲言要赴上司衙門控告許奕炘
心懷畏懼遂以林潭私藏逸犯查拿拒捕等情
捏稟經該管遊擊查出該外委索詐擾累緣由
通票解審屬實將許奕炘照誣告人死罪未決
律擬流再從重發往伊犁充當苦差兵丁張淋
林楚改發伊犁給官兵為奴等語李侍堯辦理
此案失之寬縱漳州府屬民情刁悍上年因匪
徒械鬪聚衆滋事甫經大加創懲之後百姓稍

知斂跡畏法許奕炘身當外委乃輒敢以查訪
逸犯為名擅赴村民家內搜拏訛索錢文殊屬
目無法紀設因此而別滋事端成何事體李侍
堯僅將該弁擬發伊犁不足蔽辜自應即行定
擬絞罪立予繯首方足以整營伍而靖地方著
傳諭李侍堯接奉此旨即派員將該外委許奕
炘綁赴犯事處所傳齊民人看視正法並諭以
弁兵等藉端索詐擾累閭閻今已奉旨將該弁
正法若民人等不知安分守法聚衆逞兇即照
此嚴辦如此詳細曉諭庶弁兵百姓等皆知有
犯必懲羣懷畏懼不致滋生事端其兵丁張淋
林楚胆敢迎合汎官隨同索擾自應從重定擬
除將該二犯即發往伊犁給官兵為奴外至林
潭因被許奕炘帶兵赴伊家搜索復聲言鎖拏

跑出喊救經該村民林井

等處勸散回弁兵等

憑空訛索該村民等如果心懷不順亦當就近

赴府縣呈控若該府縣有袒庇情事亦准其赴

督撫衙門控告何得私相聚勸安知非見許奕

忻入室搜人遂思乘機搶犯毆差李侍堯並不

將此種情節嚴切跟究詳晰聲叙亦屬疎漏李

侍堯著傳旨申飭並著該督復加提訊如林井

等止於勸解尚可免議若有拒捕奪犯情事自

當治以應得之罪即或未經別有滋事情弊究

非妄分亦當予以杖責俾知懲儆李侍堯摺併

發又奉

諭旨現在荊州被水甚重皆由堤工不固所致因該處堤工向係民修并不報部核銷是以一面諭令阿桂等查明辦理一面令軍機大臣查各

省凡係民修各工向俱是否報部茲據查奏各

省修浚堤河等工有借項里民自行經理並不

造冊送部者有借項官為經理工竣造冊送部

備案者亦有借項造冊具題核銷者是各省民

修之工並非全行報部核銷章程本不盡一立

法未為妥善修竣堤河等工原為保護田廬疏

消積水起見向係民間修理者原不便遽動官

項且各處堤工甚多豈能一一官為修理但因係民修之工竟不立定章程報部核估僅令官為經理則外省官員於官工尚思侵耗肥已矧工程例歸民修者並無保固查銷不肖官吏等不特於需費之外可以藉端加倍酒派入其囊索而且草率從事偷減侵漁均屬事所必有該管上司又因向例民修遂爾漫無覺察工程豈

能永資鞏固幸而各處堤

高安德無事是以

從未覺察現在荊州護城堤潰決至二十餘處

之多即其明証宣可不嚴定章程令其一併報

銷保固嗣後民修各工除些小之工無關緊要

者仍任民間自行辦理外如係緊要處所工程

在五百兩以上者俱著一體報部查核予以保

固限期興修後再行酌令百姓出資歸款各工

既有查核承修各員自必有所顧忌不敢任意

從中侵冠且有保固限期亦自不敢草率辦理

庶工程可期久固而間間不致有被淹受害情

事此正係朕為保護民生節省民費起見各督

撫務宜仰體朕意遇有民修之工妥為辦理嚴

加查核報部如有仍前任令屬員從中尅扣草

率從事之處經朕訪聞或經科道參奏百姓告

發不特將承辦各員從嚴辦理必將該督撫一併從重治罪著為令是日太常寺奏八月十三日

萬壽聖節致祭

太廟後殿一疏奉

諭旨遣永琅行禮又吏部議山東巡撫長麟奏新

泰縣知縣員缺准以候補知縣張晉補授一

疏奉

諭旨張晉依議用餘依議又議直隸總督劉秉奏

署獲鹿縣知縣鍾式試俸期滿准實授一疏

奉

諭旨鍾式依議用餘依議又議江西巡撫何裕城

奏新建縣知縣員缺准以奉新縣知縣剛柱

調補所遺員缺准以候補知縣邵鳳鳴署理

一疏奉

諭旨剛柱依議調補餘依議又議於秋審發回敍

犯未能飭屬嚴密稽查防範以致該犯乘間

脫逃之湖北巡撫姜晟按察使李天培照例

降調一疏奉

諭旨姜晟李天培現於失察江陵縣監犯不帶鎖

杻一案其咎更重已交部議矣俟具題時一併

營都司員缺准以候補都司五達色補授一

疏奉

諭旨五達色依議用餘依議又議察哈爾總管扎

拉桑遵

旨原品休致查扎拉桑曾經出兵打仗殺賊得功

牌可否給俸一疏奉

諭旨孔拉桑曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原品

休致給與全俸以養餘年又議派往臺灣剿捕

逆匪之乍浦等處滿兵未能奮勇出力事竣

撤回復私圖妄逸乘船坐兜應將平日不能

管束訓勵任其懈弛之原任乍浦副都統陞

任江寧將軍永慶等遵

旨議處照例降調一疏奉

諭旨此案永慶平日既不能管束兵丁任其懈弛

及凱旋時領兵撤回又任令私圖妄逸違例坐

船其咎較重永慶著暫行從寬留任仍註冊並

罰將軍養廉一年以示懲儆鄂岳存泰博清額

寶琳書楞額俱著改為革職留任餘依議是日

駐蹕承德府行宮

二十七日丁亥

上御卷阿勝境

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等充食是

會同書麟畢沅何裕城惠齡全德秉公籌辦妥
議具奏是日駐蹕承德府行宮

二十八日戊子

上御卷阿勝境

賜隨

欽定一摺內閣奉

諭旨畢沅伍拉納惠齡俱著准其兼銜又戶部議

兩淮鹽政全德奏湖廣江西兩省銷賣商鹽
請照舊例停止定價但定價既經停止嗣後
隨時憑何定價不致任意增減之處請交兩
江總督等會同籌辦委議具奏一摺奉

諭旨阿桂現在派往湖北辦理堤工撫卹事宜所

有酌定鹽價是否可以停止之處著阿桂就近

諭旨這所參濫差圖索押斃無辜之署福鼎縣事

內閣奉

莆田縣知縣李其沛著革職交與該督撫提同案內應訊人犯嚴審定擬具奏該部知道摺併發是日

諭旨潘炳依議用餘依議又議辦理軍報往來驛站馳遞無悞及押解逆匪沿途護送迅速之山東巡撫長麟等遵

駐蹕承德府行宮

二十九日己丑

上詣普寧寺拈香

閱步踏是日太常寺奏八月二十三日秋分致祭

夕月壇一疏內閣奉

諭旨永琅行禮又吏部議署陝甘總督勒保奏

甘肅華亭縣知縣員缺准以候補知縣張世

法補授一疏奉

諭旨張世法依議用餘依議又議陝西巡撫巴延三奏署懷遠縣知縣潘炳試俸期滿准實授

一疏奉

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨長麟著加二級隨帶繆其吉馮光熊俱著將加二級隨帶抵銷前降二級餘依議又兵部奏

雲南臨元鎮標右營都司員缺擬以撫標守

備八十四掣補一疏奉

諭旨八十四依擬用餘依議又刑部等衙門議江

西巡撫何裕城奏龍南縣民黃二妹殴傷廖

庭海身死依律擬絞監候查黃二妹年僅十

四可否援例減等收贖一疏奉

諭旨黃二妹從寬免死照例減等收贖餘依議是

日湖南巡撫浦霖奏慈利縣知縣何燧於縣

後陳制祥私雕假印擅騙銀兩不能即時查拿及至控發後又規避處分匿不具詳追獲犯審明又將該縣役作為民人實屬有心故出請將該員革職嚴審一摺奉

諭旨這所參庇役擅詳故出人罪之慈利縣知縣何燧著革職交與該撫提同案內應訊人犯嚴審定擬具奏該部知道摺併發是日

駐蹕承德府行宮

乾隆五十三年歲次戊申八月初一日庚寅

內閣奉

諭旨四川現有辦理軍需事務著派戶部郎中良

柱刑部郎中阿精阿兵部員外郎色穆懇工部

員外郎玉保吏部主事文需並丁憂回旗知府
扎克桑阿遇昌麟喜俱迅速馳驛前往四川交
興該督李世傑等差遣委用又奉

諭旨山東曹州府知府員缺著蔣繼煥補授又吏
部議戶部內庫該班庫使富森泰曠悞直宿
治罪該管之銀庫郎中德敏員外郎宜經額
穆克登泰司庫諾敏均降一級調用一摺奉
諭旨德敏宜經額穆克登泰諾敏身為銀庫司員
廉俸優厚乃於該管內庫重地不能先事稽查

致庫使富森泰曠班遲悞非尋常失察可比僅

予降調不足蔽辜德敏宜經額穆克登泰諾敏
均著照部議降調再各令罰繖養廉一年以示
懲儆又總管內務府大臣金簡伊齡阿舒文奏
乾清宮等處滲漏分別賠修一摺奉

諭旨此項工程其在上年粘修本年即行滲漏者
固應著落營造之員賠補但承辦工程如果妥
為經理何至逾年遠有滲漏之處即兩三年亦

可無須修補此次滲漏處所至一百十八處之
多自係辦理不善所致著總管工程大臣即行
查明應修各工程其在三年以上者始准文中
一路修理其三年以內者俱著賠修嗣後俱照
此辦理是日

駐蹕承德府行宮

初二日辛卯

上御卷阿勝境

賜隨從王公大臣及蒙古王公貝勒額駙台吉等

茶果是日

駐蹕承德府行宮

初三日壬辰

上御卷阿勝境

賜隨從王公大臣及蒙古王公貝勒額駙台吉等

茶果是日內閣奉

諭旨東三省副都統內有即由本處人補放者應

彼此互調吉林副都統烏什哈達著興齊齊哈

爾副都統巴林達互調熊岳副都統索善著與

黑龍江副都統額爾登布互調白都訥副都統

烏雅爾達著與墨爾根城副都統僧保互調又

吏部議江西巡撫何裕城奏署興國縣知縣

程玉樹試俸期滿准實授一疏奉

諭旨程玉樹依議用餘依議又兵部議正白旗察

哈爾護軍校瑪達病廢告休應准原品休致

曾經出征呼爾滿葉爾羌等處屢得功牌一

疏奉

諭旨瑪達曾經出兵打仗得功牌著以原品休致

給與半俸之半以養餘年是日

駐蹕承德府行宮

初四日癸巳

上御卷阿勝境

賜隨從王公大臣及蒙古王公貝勒額駙台吉等

茶果是日步軍統領衙門奏河南陝州戶書

王吉祥呈控本州存倉穀石賤買賣責短發

驛站草蓋價值每交納糧銀一兩加平二錢

二分各款一摺奉

諭旨此案著文梁肯堂提齊犯證確加查審其來京控告之王吉祥著照例解往是日

駐蹕承德府行宮

初五日甲午

上御卷阿勝境

賜隨從王公大臣及蒙古王公貝勒額駙台吉等

茶果是日

駐蹕承德府行宮

初六日乙未

上御卷阿勝境

賜隨從王公大臣及蒙古王公貝勒額駙台吉等

茶果是日內閣奉

諭旨援琅玕奏平陽縣耆民鄭士洪現年一百三

歲孫曾四代孝友一家請旨旌表等語鄭士洪

壽逾百齡精神強健實為昇平人瑞所有應行旌表及賞給銀兩綏足之處著該部照例具題

摺併發又禮部奏請

欽點順天鄉試正副考官一疏奉

諭旨順天正考官著德保去副考官著鄒奕孝管幹珍去又奏請

欽點順天鄉試同考官一疏奉

諭旨這同考官著曹錫寶陳嗣龍陳萬青吳廷選

張虎拜徐如澍裴謙秦潮曠楚賢范來宗王錫奎王坦修莊通敏費振勲毛鳳儀丁雲錦潘廷筠許兆椿去又奏請

欽點內場監試內簾監試官一疏奉

諭旨內場監試著書隆阿百慶沈孫璉范衷去內

簾監試著音登額李陽極去又奏請

欽點收掌試卷等執事官一疏奉

諭旨這收掌試卷等所官著有圈者去

硃筆圈出李采陳煜任澍南岳起巴什楊維翮興

泰吳煦趙午彤章錦石鴻翥慶承鄭宗彝談

中經周鎔葉恩綸山德沈維坤馮桂芬又兵

部奏請

欽點入場督理稽察官一疏奉

諭旨這場內督理稽察左翼著副都統吉慶諾穆

親佐領西蘭泰右翼著副都統瑪興阿趙鎮叢

領韋陀保去又兵部議兩廣總督孫士毅奏廣

西撫標中軍參將員缺准以提標前營遊擊

王宣陞補一疏奉

諭旨王宣依議用餘依議又議閩浙總督李侍堯

奏浙江鎮海營守備員缺准以改用水師守

備葉燭補授一疏奉

諭旨葉燭依議用餘依議又議李侍堯奏浙江黃

巖鎮標右營守備員缺准以溫州鎮標千總

葉起發陞補一疏奉

諭旨葉起發依議用餘依議又議山東巡撫長麟

奏德州營守備員缺准以德州營候推守備

千總段逢春陞補一疏奉

諭旨段逢春准其補授餘依議又刑部等衙門議

浙江巡撫琅玕奏樂清縣民秦巧居吳奶奶

潘元法之妻孫氏先後通姦秦巧居起意

與吳奶奶將潘元法勒死依律擬斬監候吳

奶奶孫氏俱擬絞監候查孫氏見伊夫被害

潛自投明地保將秦巧居等指拿官尚有

不忍致死其夫之心照例夾叢一疏奉

茶果是日內閣奉

二一六

諭旨秦巧居依擬應斬吳奶奶孫依擬應絞俱著監候秋後處決孫氏與秦巧居等通姦秦巧居商同吳奶奶勒斃伊夫潘元法該氏驚見將被害情由投明地保指拿倒官尚有不忍致死其夫之心孫氏著從寬免死照例減等發落又都察院奏請

欽派滿洲科道稽查左翼營務一疏奉

諭旨著賡音布稽查左翼前鋒統領護軍統領事務是日

駐蹕承德府行宮
初七日丙申
上御卷阿勝境
賜隨從王公大臣及蒙古王公貝勒額駙台吉等

諭旨據浦霖奏查勘澧州安鄉武陵華容等州縣被水情形摺內稱澧州武陵龍陽三州縣被水尚輕惟華容安鄉二縣情形較重現在查明並無淹斃人口冲坍房屋且民間先將家資搬移高阜日用有資可毋庸動項撫卹其被水尚未涸出之田現在設法疏消並查明無力貧民酌借籽種工本等語華容安鄉二縣被水田畝現未全行涸出著浦霖即飛飭該地方官相度形勢設法疏消並著查明實在無力貧民借給籽種口糧以資工作前因漑浦等縣有被水淹浸田畝之事曾降旨將該縣應徵本年下半錢糧暫行緩徵令華容安鄉事同一例並著加恩將該二縣被水各境本年應徵下半錢糧一體緩

至次年秋後徵收以紓民力至澧州地處安鄉

上游離湖稍遠武陵龍陽二縣隕身並未沖潰

雖俱被灾較輕並著該撫詳悉查明如有成災

處所亦即妥為賑卹不可稍有諱飾以副朕軒

念災黎有加無已至意摺併發又兵部議將軍

公福康安查奏臺灣勦捕賊匪勞績茂著之

二等侍衛塞凌額署前鋒侍衛西津泰等及

凱旋病故之黑龍江副都統索倫總管特爾

敦徹照例併算功牌分別議敘一摺奉

諭旨塞凌額西津泰特爾敦徹均著給與雲騎尉

世職其功牌不敷議給者均不必給予是日

駐蹕承德府行宮

初八日丁酉吏部奏補內閣中書員缺帶領

候補人員引

見奉

諭旨內閣中書員缺著汪人憲補授又吏部帶領

本年七月分鑄掣刑部督捕司郎中李杭四

川資州直隸州州判李鍾岳廣西懷集縣知

縣蕭瀟湖北恩施縣知縣湯誥廣西蒼梧縣

知縣韋佩金山東文登縣知縣韋琦珍廣西

永福縣知縣李德遠湖北宜城縣知縣卜其

明山西天鎮縣知縣謝汝佩四川樂至縣知

縣涂如燿引

見奉

諭旨李杭等依擬用掣得四川樂至縣知縣之涂

如燿著調補廣西永福縣知縣所遺樂至縣知

縣員缺著掣得永福縣知縣之李德遠補授餘

依議又帶領五十三年四月分鑄掣江蘇蘇州

府同知方鶴臯五十二年十二月分籤掣貴

州麻哈州知州愛山五十二年四月分籤掣

祁英引

直隸保安州知州史廷檀五十二年四月分

籤掣江西南康府通判劉楠五十二年十月
分籤掣湖北荊州府通判任邦基五十三年
二月分籤掣浙江桐廬縣知縣馬暉補行引

見奉

諭旨方鶴臯等依擬用餘依議又帶領

見奉

大計卓異之江蘇蘇松糧道訥清額甘肅鞏秦
州府東塘同知張力行等三員引

階道李殿圖安徽安慶府知府喬人傑潁州
府知府武調元河南懷慶府知府布顏山東
登州府知府聞嘉言聊城縣知縣官懋弼博
平縣知縣王遇亨江西撫州府通判李壇浙

同知張方理引

江仁和縣知縣曾維道山西解州直隸州知
府張方理著回任又帶領河南巡撫畢沅保舉

見奉

諭旨張力行方受疇赫爾謹俱著回任又帶領山
東巡撫長麟保舉堪勝知府之現署兗州府

州楊長桂交城縣知縣湯維新臨汾縣知縣

堪勝知府之現任陝州直隸州知州馮鼎高
等二員引

見奉

諭旨馮鼎高李大霆俱著回任又帶領拿獲隣省

年久越獄逃犯四川試用知縣葉世倬引

見奉

諭旨葉世倬著回原省又帶領直隸總督劉峩奏

請陞署正定府知府之現任遵化州直隸州

知州蔡封引

見奉

諭旨蔡封准其陞署正定府知府又帶領劉峩奏

請陞署灤州知州之現任東安縣知縣黃開

性引

見奉

諭旨黃開性准其陞署灤州知州所遺東安縣員
缺准其將沙河縣知縣楊名馨調補又帶領調

任兩江總督李世傑等奏請陞署亳州知州

之現任蒙城縣知縣裴振引

見奉

諭旨裴振准其陞署亳州知州所遺蒙城縣知縣

員缺准其將試用知縣劉士煌署理又帶領江

蘇巡撫閔鶚元等題請實授之署丹徒縣知
縣請調元和縣知縣蔣梗引

見奉

諭旨蔣梗准其實授調補元和縣知縣又帶領前

署兩江總督江蘇巡撫閔鶚元奏請陞署江

寧縣知縣之現任崇明縣縣丞魏右曾引

見奉

諭旨魏右曾准其陞署江寧縣知縣又帶領陝甘

總督福康安奏請補授甘肅龍西縣知縣之

原任烏魯木齊通判革職奏准留省以知縣

委用之廣玉引

見奉

諭旨廣玉准其補授龍西縣知縣又帶領病痊赴

補之原任四川崇慶府知府王嘉猷引

見奉

諭旨廣玉准其補授龍西縣知縣又帶領病痊赴

徵地丁錢糧未完議以降調之原任甘肅涇

州直隸州知州富寧阿引

見奉

諭旨富寧阿著留部以直隸州知州用其降級各

案俱帶於新任又帶領經徵驛站錢糧未完九

分以上議以革職續報全完咨請開復之湖

北署武昌縣事嘉魚縣知縣嚴廷燦引

見奉

諭旨嚴廷燦照例准其開復又帶領失察典史王

鑿短價勒買料貢致釀人命及失察邪教議

以降調之原任山東招遠縣知縣傅蕙引

見奉

諭旨傅蕙著仍發往山東以知縣用其因失察釀

命降級之案帶於新任失察邪教降級之案改
為革職留任八年無過開復又帶領拿獲聚衆

拒捕傷官要犯南玉二名遵

旨送部嗣因前在單縣知縣任內失察逆匪段文

經聚衆復行邪教致釀不法議以革職之原

任山東淄川縣知縣王棟引

見奉

諭旨王棟著仍發往山東以知縣用其革職之案八年無過開復又帶領失察蓬匪段文經等聚衆復行邪教致釀不法議以革職之山東冠

縣知縣汪斌引

見奉

諭旨汪斌著照部議革職又帶領經徵河銀未完九分以上議以補官日降級之署河東儀封廳撫民通判事候補知縣費德忻引

見奉

諭旨費德忻著仍發往河南以知縣用其降級之案帶于新任又帶領辦書錯悞降調遵

旨准捐中書仍在辦書處行走之原任翰林院編修許娘引

見奉

諭旨許娘著照例用又帶領捐復原官之原任山東德州知州周潛修原任廣東南海縣知縣

李瑞麟引

見奉

諭旨周潛修李瑞麟俱著照例用又帶領

大計有疾勒令休致之原任安徽含山縣知縣

周拱引

見奉

諭旨周拱著照部議休致又兵部帶領選補河南河北鎮標左營守備劉天錫引

見奉

諭旨劉天錫依擬用又帶領推陞山東濟南城守營參將高亮貴州平遠協左營都司湯相引

見奉

諭旨高亮准其陞用山東濟南城守營參將湯相
准其陞用貴州平遠協左營都司俱著赴新任
又帶領題補廣西右江鎮總兵之廣西梧州
協副將王林引

見奉

諭旨廣西右江鎮總兵員缺著王林補授又帶領
題補湖北衛昌營遊擊王凱甘肅大馬營遊
擊鍾和梨園營都司李昌引

見奉

諭旨王凱著賞戴花翎准其補授湖北衛昌營遊
擊鍾和准其補授甘肅大馬營遊擊李昌准其
補授甘肅梨園營都司俱著赴新任又帶領越

次題補福建水師提標左營遊擊楊森引

見奉

諭旨楊森准其補授福建水師提標左營遊擊著
赴新任又帶領預行保舉之貴州鎮遠鎮標左

營遊擊劉文忠思南營遊擊鄒寬安龍鎮標
右營都司敦多克引

見奉

諭旨劉文忠鄒寬敦多克俱准其預保註冊又帶
領軍政卓異之山西偏關營參將八一大
同鎮標中營遊擊廣陵太原營守備劉天柱
引

見奉

諭旨八十一廣陵劉天柱俱准其卓異註冊是日
駐蹕承德府行宮

初九日戊戌內閣奉

諭旨據巴延三奏鄂縣著民萬世澤

年一百歲

請旨旌表等語萬世澤壽屆期頤精神豐饒實

為昇平人瑞所有應行旌表各事宜著該部照
例具題摺併發是日吏部議失察海船興販私

鹽之前署江蘇泰興縣事試用知縣梁生杞
照例於補官日降級一疏奉

諭旨依議其因失察海船給照後在外興販私鹽、

議以降級用之梁生杞著該督撫出具考語送

部引見又禮部議山東巡撫長麟奏齊東縣壽

民王雲漢現年一百一歲照例給銀建坊一

疏奉

諭旨依議王雲漢著加恩賞給上用綬一疋銀十

兩又鑲黃旗漢軍都統奏盧溝橋演礮五日請

派都統副都統監演一摺奉

諭旨著派崔承玉范宜恒又正黃旗滿洲都統奏

補

盛京佐領扎爾泰遺缺帶領正陪人員引

見奉

盛京內務府佐領張贊遺缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨德隆額著補授佐領又正紅旗滿洲都統奏

補

盛京佐領窩興額遺缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨官德著補授佐領又正黃旗漢軍都統奏補

盛京佐領楊天寵遺缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨張鈞著補授佐領是日

駐蹕承德府行宮

初十日己亥內閣奉

駐蹕承德府行宮

十一日庚子內閣奉

照例辦給是日

世職留京在三等侍衛上行走應得款項該旗

諭旨據譚尚忠奏雲南石屏州舉人賽興係雍正

己酉科鄉試中式曾任四川知縣現年九十二

歲本年又屆己酉科鄉試之期請重赴鹿鳴筵

宴等語賽興係前己酉科中式舉人今重赴己

酉科鹿鳴筵宴洵屬儒林盛事允宜特沛殊恩

用彰昇平人瑞賽興著加恩賞給進士並著俟
年屆百歲時該省督撫再行奏聞候朕另降恩
旨以示壽世作人加惠者齡至意該部知道摺

併發又奉

諭旨特爾敦徹之子垂札朴著加恩承襲雲騎尉

徵其節年帶徵未完錢糧正襍銀六萬五千餘
兩仍于各灘戶名下分作六年徵還歸欵等語
此次新灘地畝因被河水淹浸積成淤泥難以
耕種自係實在情形既經查明各該處有地無
收不能交納糧銀何必徒事催科有名無實况
灘地應納糧銀與他處無涉今議於通省攤徵
不足以示公允我朝賦役均平正供惟則從前

康熙雍正年間蠲賑頻聞從無加賦之事朕臨御以來三次普免天下錢糧間有水旱偏災尤必加意撫綏不使一夫失所且豫省額徵糧銀三百三十餘萬其灘地應徵糧銀僅一萬九千餘兩為數無多更不值鰥鶩過計所有豫省臨河之蘭陽儀封睢州寧陵商邱五廳州縣並考城改歸睢州灘地應完糧銀俱著即行寬免其節

年未完銀六萬五千餘兩亦概予豁免以示格外軫卹朕辦理庶政從不肯違道干譽而於關係閭閻生計之事必曲加體卹損上益下以惠黎元小民等諒所共知共見今灘地糧銀既免其輸納將來灘地加高耕作可施之時各該地方官自應查明照例徵收無任私墾小民等具有天良經朕此次加恩亦必踴躍輸將自不致

有心隱匿也將此通諭知之畢沅摺併發又奉諭旨據尚安等奏烏嚕木齊所出防禦一缺擬定正陪人員請補等語著照所奏將擬正之賞戴藍翎駙騎校富寧補授又河道總督蘭第錫河南巡撫畢沅奏儀睢通判呂昌會陞署蘭儀同知寧陵縣知縣王嘉訓陞署儀睢通判一摺奉

上御卷阿勝境

十二日辛丑

賜隨從王公大臣及蒙古王公貝勒額附旨吉等茶果是日吏部奏補內閣學士員缺開列開

列一疏奉

奏江南蘇松鎮標奇營遊擊員缺准以劉河

營遊擊侯振調補一疏奉

諭旨吉慶補授內閣學士兼禮部侍郎又議雲南

巡撫譚尚忠奏署劍州知州張鳴鐸試俸期

滿准實授一疏奉

諭旨張鳴鐸依議用餘依議又議禮部題請江南

省正副考官本內未將編修周兆基祖籍江

蘇字樣填註堂司各官照例罰俸一疏奉

調補一疏奉

諭旨明善依議調補餘依議又都察院奏請

欽派科道稽察正白旗漢軍旗務一疏奉

諭旨德保著罰俸六個月達椿著銷去紀錄一次

免其罰俸紀昀劉躍雲著各銷去紀錄一次其

從前罰俸三個月之處俱仍註于紀錄抵銷餘

十三日壬寅

皇上萬壽聖節是日卯刻

駐蹕承德府行宮

調一疏奉

諭旨慶成依議調補餘依議又議兩江總督書麟

上御卷阿勝境

賜隨從王公大臣及蒙古王

公貝勒額駙台吉等

茶果是日內閣奉

諭旨據伊齡阿等奏去年新定科場條例內有填

寫添註塗改字數一條此次查收頭場試卷填

寫多不合式應貼者幾及過半等語科場條例

填寫添註塗改字數原以防謄錄對讀代改文

字之典上年經大學士九卿等議定後即已頒

行直省今歲鄉試屆期該監臨等又復豫行曉

諭各士子自無不周知入場時理應恪遵新例

照式填寫乃錯誤者紛紛幾及過半本應概與

貼出姑念定例之初或遠鄉僻壤士子未能遍

行知悉又或因風簷寸晷精神恍惚以致錯悞
此等寒畯祇以未諳新例尚無大獎且應貼之

卷未免過多此次除別項違式試卷仍照例貼

出外所有添註塗改填寫錯悞之卷著加恩免
其貼出仍准發謄此係朕軫念士子格外從寬

若明春會試及下屆鄉場則此例頒行已久倘
仍有似此錯悞者必當按例概行貼出不能再
為寬免也將此通諭知之又吏部奏內閣學士

札郎阿已補正白旗蒙古副都統應否仍兼

內閣學士一摺奉

諭旨札郎阿仍著兼內閣學士是日

駐蹕承德府行宮

十四日癸卯

上御卷阿勝境

賜隨從王公大臣及蒙古王公貝勒額駙台吉等

駐蹕承德府行宮

十五日甲辰

上御卷阿勝境

賜隨從王公大臣及蒙古王
寶勒額駙台吉等

茶果是日吏部議陝西巡撫巴延三奏洛川

縣知縣李筠試俸期滿准實授一疏奉

諭旨李筠依議用餘依議又議山東臨朐縣竊匪

桓捕該縣南國械誚匿釋放其不行查出揭

分別降留降調一疏奉

諭旨依議其因並不即行查出揭報議以降調之

汪元龍著該督撫出具考語送部引見再降諭

旨又兵部奏補四川維州協副將員缺擬以預

保綏遠營叅將王承勲掣補一疏奉

諭旨王承勲補授四川維州協副將員缺議又奏

鴈掣補一疏奉

湖北襄陽鎮標右營遊擊員缺擬以直隸獨石口協中軍都司張永陞補山東登州鎮

標中軍遊擊員缺擬以山西樺林營都司董昇峩陞補陝西興漢鎮標右營遊擊員缺擬以江南漕標中軍都司何明崇陞補直隸新

雄營都司員缺擬以貴州定廣協右營守備楊洪新陞補兩江督標中營都司員缺擬以

直隸雲州堡守備金超陞補陝西漢中城守

營中軍都司員缺擬以湖北鄖陽協右營守備馬伯良陞補江南淮西衛守備員缺擬以

江南長淮衛三幫千總符枚卜陞補一疏奉

諭旨張永正等依擬用餘依議又奏貴州湖洞營

右軍守備員缺擬以預錄貴州營千總熊起

諭旨熊起鵬依擬用餘依議又議雲貴總督富綱

奏署貴州定廣協左營都司烏雲珠試俸期

滿准實授一疏奉

諭旨烏雲珠依議用餘依議是日

駐蹕永德府行宮

乾隆五十三年歲次戊申八月十六日乙巳

內閣奉

諭旨御史和琳本年在臨清德州一帶催趨漕船並籌辦疏濬起撥諸事尚為妥協東省運河現據毓奇奏回空後須勘估挑挖和琳熟悉該處情形所有明年巡視東漕事務仍著和琳去又

奉

諭旨據琅玕參奏東陽縣知縣謝昕因縣屬糧冊殘缺民間賣買田產每多與混具詳藩司請設局推收經藩司飭駁批府嚴禁該府張思振復照縣詳轉稟又經藩司嚴行批駁該縣謝昕輒擅行私立戶管田冊令各糧戶填明田數送縣用印每畝索錢二三十文不等現據生員胡含英等控告查起已用印冊七十八本無印白

冊二千七百四十七本計收過錢七十餘千請將東陽縣知縣謝昕革職嚴審金華府知府張思振解任究審等語謝昕著革職張思振著解任交與該撫提同案內人証一併嚴審定擬具奏至此案經該縣詳請藩司辦理該司批駁後復經該府照縣詳轉稟該司顧學潮明知事屬紛擾即應將該府縣據實糾參或詳請該撫嚴行參辦乃僅以批駁了事殊屬非是各省藩司原有奏事之責乃外省習氣遇事多有模稜各藩司所陳奏事件大率不過雨水情形及銀號無弊照常交代之摺而於關係地方要務不肯專摺入奏近日藩司中惟梁肯堂辦事尚屬認真是以加恩令其署理河南巡撫顧學潮係由道員特用藩司何以於此等劣員擾累地方之

事竟不詳請該撫辦理又不據實參奏殊負委任顧學潮著文部嚴加議處至各省藩臬大員即遇督撫骯法營私亦得專摺入告非欲伊等掣督撫之肘蓋國家設立兩司大員令其具摺奏事原欲兼聽並觀以期民隱上達若遇事輒緘默不言又安用藩臬大員並令伊等奏事為耶嗣後各省藩臬等惟當交矢精白勿仍蹈隨

同附和積習致干咎戾也將此通諭知之摺併

發又奉

諭旨據圖桑阿等奏正藍旗滿洲協領秋靈所適

員缺請將佐領賡音祿坐補併代奏官兵謝恩

等語賡音祿著照圖桑阿等所奏坐補正藍旗

滿洲協領此事不過數語可畢何至連篇累牘至荊州江水泛濫朕不惟至今軫念滿洲官兵

即該處小民亦深屬屢念屢經施恩拯濟今圖

桑阿等代奏謝恩摺內應將該處水勢曾否消

落旗人及民人曾否得所現在情形一併奏聞乃摺內毫未提及何至糊塗如此朕素以圖桑阿尚屬可用是以特恩簡授將軍看來竟屬不曉事體圖桑阿等著申飭外仍令伊等將此時荊州兵民曾否得所現在情形如何之處據實

具奏又江西巡撫何裕城奏贑縣知縣張昉派

委桂源司巡檢傅殿颺會同把總王勇督解

閩省搶鹽問發伊犁遣犯盧卑在境脫逃一

摺奉

諭旨這所參疏脫遣犯之解員巡檢傅殿颺犯總

王勇俱著革職拿問交該撫嚴審定擬具奏僉

差不慎之知縣張昉著革職留于地方協緝知

府趙其璿著交部嚴加議處其吉南贛寧道齊

克慎署臬司鹽法道陳蘭森俱著交部分別議

駐蹕承德府行宮
十七日丙午

上幸木蘭自惠迪吉門啟鑾是日內閣奉

諭旨湖北荊宜施道員缺著布顏補授又奉

諭旨湖北荊州府知府員缺著張方理補授是日

駐蹕中關行宮

十八日丁未吏部議湖北江陵縣監禁人犯

不帶刑具被水漂散平日漫無稽察之督撫

司道知府等分別降革一疏奉

諭旨舒常業經解任著暫留翎頂俟監修各工完

竣回京再降諭旨李天培係該省臬司監獄是

其專管平時不能督飭稽察固有應得之咎但

念該司駐劄省城距荊州較遠李天培著從寬

改為革職留任姜晟已補授刑部侍郎亦著從

諭旨這所叅挾嫌妄稟之宜城縣教諭李大特著革職其買補倉穀辦理不善致教諭李大特挾嫌妄稟一摺奉

處摺併發又湖北巡撫姜晟奏宜城縣知縣倪

憲買補倉穀辦理不善致教諭李大特挾嫌

妄稟一摺奉

發是日

寬改為革職留任至荆宜施道沈世熹荊州府

知府俞大猷近在同城於所屬監犯不能先事管束任聽屬員擅鬆刑具非尋常失察可比且該處堤工潰決亦由該道府于每歲修理時並不親加查驗一任承辦官員草率侵漁所致沈世熹著照部議降三級調用俞大猷著革職皆留工所効力贖罪以示懲儆又吏部議湖北監利縣民婦李陳氏呈控盜掘坟地一案歷任承審遲延各官及拘解犯証不上緊查拿之現任知縣史易照例分別降調革任一疏奉諭旨依議其因拘解犯証並不上緊查拿議以革任之史易著該督撫出具考語送部引見再降諭旨又議湖南邵陽縣知縣袁珥承審命案逾違二參分限照例革職署寶慶府知府長沙

府同知朱敬修降一級留任一疏奉

諭旨依議其因承審逾違二參分限議以革職之

袁珥著該督撫出具考語送部引見再降諭旨

又兵部議河南巡撫畢沅奏河南撫標中軍叅將員缺准以河南營叅將靈椿調補一疏奉

奉

諭旨靈椿依議調補餘依議又議兩廣總督孫士

毅奏廣西右江鎮標左營都司員缺准以南

寧城守營都司楊奎猷調補一疏奉

諭旨楊奎猷依議調補餘依議又議雲貴總督富

綱奏雲南昭通鎮標左營守備員缺准以提標右營守備海明調補一疏奉

諭旨海明依議調補餘依議是日

駐蹕波羅河屯行宮

十九日戊申內閣奉

諭旨據和琳奏山東運河定例一年小挑一年大

挑小挑准銷銀二千八百餘兩大挑准銷銀一

萬七千二百餘兩但挑工之多寡似當視受淤

之厚薄情形以為準其大挑之年若淤沙本薄

乃准用銀一萬七千餘兩是徒滋官員浮冒地

步其小挑之年若受淤本厚乃限定用銀二千

八百餘兩勢不免遷就草率請不必拘定大小

挑工原案總以二年用銀不得出一萬六千兩

之數比較舊例原定大小挑工共用銀二萬兩

實減去銀四千餘兩似于慎重錢糧利導漕運

兩有裨益等語東省運河募夫興挑原為該河

承受山水不免淤墊恐阻漕運而設如果水勢

充裕沖刷深通並無停淤又何必拘按年大小

修之例動項興挑徒滋浮冒如果山泉匯注停

淤甚厚自當實力挑挖免致漕運耽延從前所

定間年大小挑之例本未允協該御史奏請視

受淤之厚薄分挑工之多寡所見亦是惟比較

原定銀二萬兩酌減以一萬六千兩為率之處

斤斤計較尚未為周到嗣後東省運河竟不必

拘大小修之例惟當責成河東總河山東巡撫

巡漕御史于每年回空將次過竣時確加履勘

若河道並無停淤即毋庸挑挖以節糜費若河

道果有受淤或積淤甚厚即當確切估計據實

奏聞認真辦理亦不必拘于銀數或該督撫因

地方河道官員是其所屬意存瞻徇任令從中

浮估偷減以為侵漁地步抑或因循玩悞于應

挑之工而不奏明挑濬巡漕御史係特派之員

俱無所用其迴護自當據實叅奏倘該御史知而不舉隨同隱飾或悞漕運或任冒銷一經查出將該御史一併從嚴議處如此核實辦理互相稽察自可杜浮冒而利運行所有本年東省運河應挑各工前已准毓奇所請于回空後勘明興挑和琳現留巡視東漕之任其應行挑濬事務即著該御史會同確勘具奏督飭認真挑辦嗣後並以為例又奉

諭旨前因臺灣賊匪勦捕完竣但該處民情剽悍雖經此一番懲創或事過即忘不足令其休目儼心常思安分特令于臺灣建立福康安海蘭察等生祠俾民人望而生惕昨據徐嗣曾奏臺灣應建生祠擬于御碑亭後附連建蓋因思福康安海蘭察等帶兵渡臺勦賊固屬有功而李

侍堯在泉州廈門一帶辦理軍需始終無悞徐嗣曾前赴臺灣帮辦善後一切亦為妥協且督撫為守土大員若不得與帶兵之將軍叅贊等同沐褒功之典亦恐該處民人意存輕視李侍堯徐嗣曾著准其一體列入侯生祠建竣後所有設立木牌福康安自當居中其左則海蘭察右則李侍堯左次普爾普右次鄂輝左再次徐嗣曾右再次舒亮並將御製功臣生祠誌事詩一首繕寫清漢字發往一併刊泐碑旁以示朕優獎勤勞至意又奉

諭旨據保定城守尉武寧阿奏本年二月內有駐防馬甲伊里布呈控閑散霍純武同馬甲富爾津布乘伊里布該班時潛赴伊家圖姦其妻其妻不從霍純武持刀恐嚇伊里布之妻奪刀被

傷右手被喊而逸未經成姦當將該二犯交理

事廳會同清苑縣辦理詎七月二十二日霍純

武之妹登牆詈罵該管官員因何袒護伊里布

之妻將伊兄圈禁不放旋差該旗防禦寶寧往

拿寶寧以係女流未便拘拿回覆武寧阿復差

兵丁前往將霍純武之妹拿到交旗看守請將

防禦寶寧交部察議霍純武之妹從重治罪等

語霍純武富爾津布俱係滿洲乃敢乘伊里布

該班之時勾約同往圖姦其妻其妻不從霍純

武復用刀恐嚇致傷伊里布之妻右手被喊而

逸殊屬淫光藐法已令劉義將案內應訊各犯

解交刑部嚴審定擬具奏矣此案城守尉于二

月內將人犯移交清苑縣會同理事同知審辦

自應迅速審明定擬乃遲至七月始行詳解以

致霍純武之妹有登牆詈罵該管官員之事雖

據劉義稱轉據該縣稟報扣展公出及霍純武

患病日期按例尚未逾限但此係旗人圖姦又

傷本婦之案豈得藉詞展限任意稽延竟遲至

數月之久殊屬玩悞所有理事同知永清清苑

縣知縣會汾並本管道府著交部嚴加議處其

不行查催之總督按察使俱著交部分別議處

防禦寶寧亦著交部察議武寧阿摺併發又直

隸總督劉義奏安肅縣知縣徐曰言僉派快

役同營兵遞解刑部咨發貴州省遣犯王二

中途脫逃一摺奉

諭旨這所參疎脫遣犯之安肅縣知縣徐曰言著

革職留于地方協緝並著該督提齊兵役人等

嚴審究擬具奏該部知道摺併發是日

駐蹕張三營行宮

二十日己酉

駐蹕阿威圖大營

二十一日庚戌

駕迴張三營行宮

二十二日辛亥內閣奉

諭旨據劉岱奏直隸大名道龍舜琴現在患病請

解任回籍調理等語龍舜琴著准其回籍調理

所遺員缺著鄭製錦調補是日吏部議署陝甘

總督勒保奏金縣知縣員缺請以會寧縣知

縣石德麟調署該員歷俸未滿與例不符

既經專摺奏請可否准其調署一疏奉

諭旨石德麟准其調署餘依議又議勒保奏張掖

縣知縣員缺請以徽縣知縣馮秉璽調署查

該員歷俸未滿兼有戴罪徵收之案與例不
符應毋庸議一疏奉

諭旨馮秉璽著照該署督所請行又議失察西洋

人過境傳教之前任安徽無為州知州嚴道

洪貴池縣知縣孫今敬等照例降調一疏奉

諭旨依議其因失察西洋人過境議以降級用之

孫今敬俟補官引見之日該部將此案降級之

處一併奏聞請旨又禮部議廣西巡撫圖薩布

奏高要縣壽民朱鶴年現年一百二歲准照

例給銀建坊一疏奉

諭旨依議朱鶴年著加恩賞給上用緞一疋銀十

兩又兵部奏廣東廣州城守協都司員缺擬以

預保守備李清棟陞補一疏奉

諭旨李清棟依擬用餘依議又兵部議署湖廣總

督湖北巡撫姜晟奏湖南綏遠營遊擊員缺

准以候補守備吳開泰陞補一疏奉

諭旨吳開泰依議用餘依議

富綱

奏雲南永壯營右軍守備員缺准以開化鎮

標左營千總林樞陞補一疏奉

諭旨林樞依議用餘依議又議乾隆五十二年軍

政直隸省年老官宣化鎮獨石口協中軍都

司張永正有疾官正定鎮杜勝營都司尹倉

泰獨石口協馬營千總王禮才力不及官河

屯協中軍都司永福提標前營石塘路千總

王森等照例分別休致降調一疏奉

諭旨這考選軍政官員年老有疾者著休致才力

不及者著降二級調用餘依議又刑部等衙門

議直隸總督劉裁奏開州民李太選毆傷王

元身死依律擬絞監候查王元係在保辜限

外身死可否援例減等發落一疏奉

諭旨李太選扎傷王元至保辜限外身死著從寬

免死照例減等發落餘依議是日

駐蹕張三營行宮

二十三日壬子內閣奉

諭旨成德現帶兵赴西藏協勦所有四川提督印

務著觀成馳驛速行前往署理又奉

諭旨甘肅蘭州道員缺緊要著該署督於通省道

員內揀選一員調補所遺員缺著蔡廷衡補授

又奉

諭旨據伊桑阿等奏偷盜哈密回子牧放馬匹之

喀爾喀集雅布等現令該哈吉濟科們識認分

別治罪等語此事前據富興等奏到時即交

該部議行矣今伊桑阿等

富興等咨文既

發示台吉識認治罪著照所奏

辦理又該理福

建巡撫伍拉納奏建陽縣收禁竊犯

吳老滿

榔傷絞犯吳相致死經該府提審守禁歐寧

縣監病故請將知縣革職典史革職拿問一

摺奉

諭旨這所參玩視監獄致竊犯在監毆斃同禁命

犯之署建陽縣事光澤縣知縣任誼著革職署

建陽縣典史甌寧縣營頭司巡檢周明革職拿

問其因該府提審寄禁縣監復行病斃不加防

範之署甌寧縣知縣侯官縣丞錢復並兼理

典史甌寧縣縣丞岳守恬一併革職交該督提

同刑禁人等嚴審定擬具奏該部知道摺併發

是日

駐蹕張三營行宮

二十四日癸丑內閣奉

諭旨山東濟南府知府員缺緊要著該撫於通省
知府內揀選一員調補所遺員缺著白啟奉補

授又奉

諭旨李侍堯奏同安縣商民黃炳美自備資本運

米糶濟數在一千五百石以上請給予議叙等

項帶以示鼓勵該部知道摺併發又奉

語黃炳美著照該督所請准其議叙給予九品

實用實銷並無浮冒仍請照冊開銷等語川省

城垣年久傾圮前經福康安保寧等前後奏明
動項興修自必切實勘估驗收且磚塊堅細尺
寸較大工價不無加增自屬實在情形所有該

省城工物料價値俱著准其照原估開銷該部
知道摺併發是日

駐蹕張三營行宮

二十五日甲寅內閣奉

諭旨陝西提督學政著邱庭溗去現在該省文闈
將次揭曉尚有錄送武闈等事著即速赴任不

必前來行在請訓是日吏部奏鴻臚寺少卿員

缺將應陞人員開列一疏奉

諭旨秦清補授鴻臚寺少卿又議署陝甘總督勒

保奏成縣知縣員缺准以候補知縣汪鳴補

授一疏奉

諭旨汪鳴依議用餘依議又議廣東巡撫圖薩布

奏西寧縣知縣員缺准以候補知縣張映衡

補授一疏奉

諭旨張映衡依議用餘依議又兵部奏浙江昌石
營都司員缺擬以預保定海鎮右營守備吳

德陞陞補一疏奉

諭旨吳德陞依擬用餘依議又奏江南蘇松鎮標
中營守備員缺擬以預保千總程攀桂陞補
一疏奉

諭旨程攀桂依擬用餘依議是日

駐蹕張三營行宮

二十六日乙卯內閣奉

諭旨本日由張三營啟蹕回至波羅和屯繞道山
梁適遇陰雨所有平墊山道兵夫著每名賞銀

一兩以示體卹是日

駐蹕波羅河屯行宮

二十七日丙辰內閣奉

諭旨湖北荊州府現有辦理

五賑事直隸知府員

缺著照畢沅所請將候補

知府楊恪曾補授前

此簡放之張方理即著留于該省遇有知府缺

出再行補用又奉

諭旨據孫士毅奏督標中軍副將劉于琯病故所

遺員缺請將雷州營參將慶成陞補等語慶成

著照該督所請准其陞補督標中軍副將該部

知道摺併發又奉

諭旨此次進哨雨水過大恒山保理宜據實具奏

伊若不敢擔承另請派人往看果屬難行朕即

自張三營回鑾有何不可恒山保並不奏明實

情只就眼前另尋渡津請朕將就過去道路甚

險竟不管衆人行裝且自朕出哨以後搭橋修

道未見奮勉本應從重治罪但念其前任密雲

副都統數年尚無大過現任密雲縣副都統富

昌較屬曉事恒山保著從寬只將黃褂花翎撤

回加恩調補密雲副都統罰俸三年富昌已戴

花翎著賞黃褂調補恒山保遺缺將印務暫交

協領護理作速前來換恒山保去是日

駐蹕波羅河屯行宮

二十八日丁巳

駕至安禪寺拈香是日內閣奉

諭旨據長麟奏鄉試三場完竣一摺內稱于點進

賸錄時逐加搜檢搜出書手一名張訪攜帶類

書刻本一冊顯係勾通士子買囑作弊現飭交

臬司嚴審務得確情另行辦理並于三場搜獲

夾帶策畧士子二名按例斥革枷號示衆等語

所辦好鄉試為賓興大典理宜肅清獎罰以期

選拔真才科場條例節年新增防弊各條至為詳備乃近日監臨等辦理閈務未能實力稽查及至三場事竣率以並無弊竇循例具奏最為外省結習此次東省鄉試長麟子入闈時即將

春寧瑪瑪達哩常林興長均屬奮勉出力著施恩將札克達爾會倫挑在御前春寧瑪瑪達哩賞給黃褂常林補二等侍衛興長補三等侍衛以示鼓勵入奉

謄錄書手搜出攜帶書籍飭交臬司究辦並于三場搜獲夾帶策畧士子按例懲治辦理甚屬認真著通諭各省巡撫嗣後監臨場務于一切

獎端務宜悉心釐別以副顧俊掄才至意不得視為具文空言塞責致干咎戾又奉

諭旨據孫士毅等奏香山縣巡檢郎珍拿獲隣境洋盜曾文進等三名請將巡檢郎珍送部引見等語郎珍著准其送部引見該部知道摺併發

又奉

諭旨此次哨內搭橋帮轎過嶺之扎克達爾會倫

阿保吉爾德楚九人及黑龍江雲騎尉伯赫木保烏拉哈尼阿岱等三人雖未經哨內打圍而搭橋修道各屬奮勉著交御前大臣不必揀選將此十二人俱准住京暫交該總管帶回本處搬移家口其住京應得分例交該將軍由彼處庫內先支給一半整理行裝俟到京後由各該

旗再行補給一半又奉

諭旨據保寧奏伊犁滿營協領拉住佐領額爾德尼所出各缺擬定正陪人員請補等語著照所奏將擬正之林住補授協領馬加保補授佐領馬加保所出防禦一缺將擬正之驍騎校赫成額補授俟遇便來京補行引見又奉

諭旨據保寧等奏發遣伊犁罪犯王大沈四陳國顯三人逃走陸續拿獲即行正法等語此等罪犯甫經逃走即嚴行查拿自必拿獲不致越境遠颺朕屢經降旨諒諭今保寧等於王大等逃走時即嚴行查拿現已全行拿獲是其明驗也他處或於罪犯初逃時不上緊查拿惟移咨各處藉彼代拿每致遠颺嗣後務時時留心遇有逃走者即上緊查拿斷不可以移咨各處遂爾急忽著交各處將軍大臣一體遵行是日吏部

議承辦臺灣軍報驛站並護送違犯妥協之直隸總督司道府州縣各加級隨帶其任內有降級留任者將此次加級准其抵銷一疏奉

諭旨富尼善著加二級隨帶劉峩梁肯堂俱著將

加一級隨帶抵前降一級餘依議又議兵部檢

舉本年四月內題銷直隸省驛站錢糧本內

將給發之臬司訛寫藩司所有堂司各官照

例罰俸一疏奉

諭旨福長安海寧汪承霈俱著罰俸三個月阿桂伊齡阿俱著銷去尋常紀錄一次免其罰俸彭元瑞著銷去紀錄一次其罰俸一個月之處仍註於紀錄抵銷吳玉綸罰俸三個月之處著註於紀錄抵銷餘依議又禮部議陝甘總督勒保

奏伏羌縣生員李文榮之母謝氏現年一百

二歲准照例給銀建坊一疏奉

諭旨依議謝氏著加恩賞給上用綵一疋銀十兩

又議山東巡撫長麟奏汶上縣壽婦胡張氏

現年一百五歲准照例給銀建坊一疏奉

諭旨依議張氏著加恩賞給上用綵一疋銀十兩

又兵部議署理

盛京將軍慶桂等奏

昭陵管千丁四品官員缺准以軍政卓異之

盛京鑲藍旗漢軍佐領李根正補授一疏奉

諭旨李根正依議用餘依議又刑部等衙門奏本

年秋審雲南省可矜人犯龍在珍一名照例

減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜人犯龍在珍依議免死減等發

落餘依議又欽天監奏本年八月二十三日壬子酉正初刻六分秋分候得其時風從正西

兌方來按占書為五穀大收之徵一疏奉

諭旨知道了是日

駐蹕中關行宮

二十九日戊午內閣奉

諭旨湖南常德府知府員缺著李大靈補授所遺

員缺著巴星阿補授是日

駐蹕承德府行宮

乾隆五十三年歲次戊申九月初一日己未

內閣奉

諭旨據阿桂等奏查勘荊州被水情形一摺內稱

荊州水患詢之該處官員兵民人等咸以害金洲侵佔江面漲沙逼溜為言且言之不自今日始經阿桂等親往履勘屬實並查有本地蕭姓民人於雍正年間至乾隆二十七年陸續契買

洲地種植蘆葦每年納課因貪得利息逐漸培植每遇洲沙漲出蘆葦即環洲而生阻遏江流洲面漸澗江流即愈就窄狹是以上游壅高所在潰決等語害金洲漲沙逐年增長侵佔江面逼溜北趨以致郡城屢有潰決之事其受病之源實由於此該處官員兵民人等衆口一詞且其說相傳已久該督撫等經四十四四十六年

兩次被水之後仍不留心查察置若罔聞直同聲曠所司何事又蕭姓置買洲地種植蘆葦牟利肥家已非一日此項洲地原因沙漲而成何得謂之產業必係爾時蕭姓賄求地方官薄認輕租所得耳現在荊州被水數萬生靈咸受其害情節甚屬可惡現飭令阿桂等將蕭姓家產查抄並交刑部按律治罪至該督撫等平日於此等關係民生之事何以竟置不問除特成額諸事聞算廢弛業經查抄家產現已降旨將伊革職拏問外至舒常才具本屬中平因其小心謹慎且係大學士舒赫德之子是以屢加拔擢用至總督乃伊兩任楚省並不實心任事感激國報於荊州害金洲漲沙逼溜共見共聞之事尚不加意體訪隨時籌辦致郡城被水成災為

數十年所未睹實屬辜負任使舒常著革去銅

項留工所効力贖罪李封係曾經獲罪之人經

朕棄瑕錄用簡擢巡撫乃存任時並不加倍感

奮於地方要務視同膜外其咎甚重李封前經

降旨將伊解任亦著革去項戴留工効力贖罪

至姜峩到楚已及一年於地方利病豈得諉為

不知亦著革去項戴姑念其平日辦理刑名尚

為熟習仍著加恩署理刑部侍郎所有此次荆

州堤工加高培厚各土方及府縣漂失倉米並

著阿桂等查明厯任督撫藩司及該管道府等

分別著落賠補以示懲儆至荊州害金洲漲沙

逼滬由來已久該處蕭姓民人種植蘆葦起自

雍正年間不特彼時在任督撫難以查考即乾

隆四十年以前歷任各督撫事隔多年亦難悉

行查辦前經降旨令阿桂查明以十年為限非
於十年以來督撫等有所偏重即如楚省匣費
日漸加增而近年督撫所得尤厚前舒常來京
陛見經朕面加詢問伊亦不敢不據實承認舒
常係小心拘謹之人是以經朕詢問不敢欺飾
但伊尚不能不從中染指則此外各督撫不問
可知是此案即將近年之督撫等從重懲儆於
伊等亦無所委屈朕辦理庶務一秉至公固不
肯以事經年久令後人獨任其咎而於輕重權
衡務求平允即令伊等捫心自問亦當無可置
喙也將此通諭知之又奉

諭旨德保現在入場達椿在熱河危從德明又帶
緬甸貢使前來行在瞻覲禮部滿侍郎之人著
瑪興阿暫行兼署又奉

諭旨阿桂等奏荊州郡城屢被水患因郡治下游江內有害金洲一道侵佔江面漲沙逼溜而本地蕭姓民人於雍正年間至乾隆二十七年陸續契買洲地種植蘆葦每年納課蕭姓貪得利息逐漸培植每遇洲沙漲出蘆葦即環洲而生阻遏江流以致上游壅高所在潰決等語已令阿桂等將蕭姓家產查抄並交刑部按律治罪矣各省民田廬舍百姓等守其世業或一姓相傳先騎是服或甲姓之業售於乙姓皆在所不禁今害金洲因沙漲而成何得謂蕭家之祖業此必係奸民見江中漲出洲地墾種可以獲利藉陞科為名納租認種其交官者不過數十分之一而地方官吏亦必得其利賄其餘盡飽奸民之慾壑一經具呈地方官因受其賄求遂罔

顧利害代為朦混具詳而督撫等亦漫不加察率准題達任令據為已業牟利肥家而奸民因報官有案又貪利不已逐漸培植以致蘆葦環洲而生阻遏江流沖決堤塍城郭以致數萬生靈咸受其害造孽甚深情節實為可惡現將蕭姓查抄治罪實不為枉但小民惟利是圖止期益已不顧損人亦不特蕭姓為然即如黃河之外灘以及西湖淀河山東江南湖陂等處百姓私佔耕種者甚多屢經曉諭飭禁而奸民貪圖利息地方官又思從中分肥並不寶力查禁任令開墾居住與水爭地或藉口陞科輸納少許一經潰決不特附近居民咸遭淹浸而修築撫綏糜帑倍蓰於國計民生均無利有害者傳諭各督撫嗣後凡瀕臨江海湖濱處所沙銀地稅

除實在無閑利病者毋庸查辦外如有微害金洲之阻遏水道致為堤工地方之害者斷不准其任意開墾妄報陞科如該處民人冒請認種以致釀成水患即照蕭姓之例嚴治其罪並將代為詳題之地方官等一併從重治罪决不姑貸是日

駐蹕承德府行宮

初二日庚申內閣奉

諭旨湖北荊州窖金洲地方漲沙逼滬蕭姓民人

貪圖洲地利息種植蘆葦壅遏江流致郡城被災甚重該督撫平日於此等關係民生要務置若罔聞視同膜外業經降旨將該督撫等分別拿問罷斥示儆至陳淮係現任藩司於地方利病並不留心體訪預行籌辦咎無可辭本應同

舒常等一併革任第念該藩司前因馳赴長陽查勘水勢及回至荊州適值該郡被水該藩司即督同文武各員上繫扎筏雇覓船隻分救被淹人口並辦理一切撫卹事宜尚屬認真不辭勞瘁除該郡堤工應賠銀兩俟阿桂等查奏著落分賠外陳淮著仍留藩司之任免其革去頂戴從寬改為革職留任八年無遇方准開復是

日吏部議河東河道總督蘭第錫奏署開封

府上南河同知程國榮試俸期滿准實授一

疏奉

諭旨程國榮依議用餘依議又戶部奏請五城給

散煮賑銀米一疏奉

諭旨依議這煮賑銀米著五城御史親身散給務使貧民得霑實惠勿致胥役侵蝕中飽仍著都

察院堂官不時察看又刑部等衙門奏秋審四

川省可矜人犯趙連芳劉萬祥余固遠向老

五等四名照例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜各犯趙連芳等依議免死減等

發落餘依議是日

駐蹕承德府行宮

初三日辛酉

上駐蹕承德府行宮

初四日壬戌

上御卷阿勝境是日緬甸國正使細哈覺控副使

委盧撒牙並小頭目便機位素等四人入

覲

召見

賜茶

命同隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉

賜克食是日太常寺奏九月二十七日

孝慈高皇后忌辰致祭

福陵一疏內閣奉

諭旨遣福寧額行禮又吏部議廣東巡撫圖薩布

奏署保昌縣知縣姚秉哲試俸期滿准實授一

疏奉

諭旨姚秉哲依議用餘依議又議徵收南新關額

稅銀兩短少三分以上之杭州織造額爾登

布照律降調一疏奉

諭旨額爾登布著從寬改為革職留任又禮部奏

請

欽點磨勘試卷官一疏奉

諭旨這磨勘試卷著點者去餘依議

餘依議是日

硃筆點出李臺戈源黃壽齡陸伯焜法式善集蘭

駐蹕承德府行宮

陳崇本德昌伯麟李潢薩敏曹城李堯棟黃

初五日癸亥

瀛元蕭九成朱攸秦泉吳敬興錢樾羅修源

上御卷阿勝境

周瓊五泰羅國俊周興岱李光雲邵晉涵胡

賜隨

榮俞廷掄蔡善述馬啓泰劉人麝鄧文泮劉

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及緬甸
國正使細哈覺控副使委盧撒牙並小頭目

渭喻升階施朝幹陳化龍周元良劉坤王念

便機位素等四人克食是日內閣奉

孫王友亮又兵部議雲貴總督富綱奏貴州

諭旨據保寧等奏降級留任之副將蘇靈阿遊擊
世貴守備羌簡博可否復用之處請旨等語蘇

授一疏奉

諭旨文光依議用餘依議又刑部等衙門奏秋審

福建省可矜人犯黃蕙一名照例減等發落

一疏奉

諭旨這情有可矜人犯黃蕙依議免死減等發落

諭旨據保寧等奏伊犁綠旗所出守備資缺擬定

人貞補放等語著照所請薛良福所出守備貞

缺著千總孟加勇補授是日

駐蹕承德府行宮

初六日甲子內閣奉

諭旨本年奉天省秋審人犯原擬緩決經刑部改為情實各起朕詳加批閱內除劉小胖一犯刑部因其指姦無據又係謀殺是以改擬情實但劉小胖年僅十五小於死者十七歲楊振設計留宿且威嚇成姦該犯氣忿殺死是榮柱定劉小胖緩決尚屬有因至李萬一起係金丹疊扎一死一傷又黑龍江黃柱兒一起係犯在逃復夥竊牲畜此等逞兇戕命怙惡不悛之犯將該二犯定以緩決殊屬輕縱恒秀於刑名素

未諳習而榮柱之父德福久任刑部榮柱又由刑部司員出身非不諳律例者可比數年以來總未見其實心任事秋獄大典定擬錯悞若此榮柱著交部察議恒秀著傳旨申飭又奉

諭旨新陞福建延建邵道梧州府知府陸有仁前因承辦安南夷眷避入內地一案尚屬能事業經降旨俟事竣後再行送部引見今據孫士毅奏請將該員暫留粵西隨同帮辦一切等語自應仍留該處辦理邊防事務所有福建延建邵道貞缺著李侍堯委員暫行署理是日

駐蹕承德府行宮

初七日乙丑內閣奉

諭旨據和琳奏直隸運河向多淤淺新鋪在德州一帶催趨豫東船隻時增厚墳境開濶該處

運河淤淺之處甚多若不亟加認真勘辦恐來歲漕運一入直境不免稽遲仍不能依限抵場

等語直省運河天津以北向多淤淺處所其天

津以南不當有淤淺之處此必係地方官不實

力挑挖任令淤墊所致本年春間豫東漕艘在

衛遲阻未將該地方官等從嚴議處迺屬格外

施恩六月以後幸賴透雨頻霑河水充裕得藉

浮送令回空陸續南下自應趁此挑挖一律深通若該地方官仍漫不經心草率從事明歲重運經由直境再有耽延則惟劇峩是問除就近傳知該督認真辦理及時挑濬外天津巡漕現有稽查挑工之責亟需派員前往所有巡視漕差著該衙門於回鑾次日即行帶領引見以便簡派迅速前往至目下回空南下毓奇一人恐

不及照料即著和琳馳赴沿河一帶會同分投

催趨俾及早歸次以符冬兌冬開定制是日太

常寺奏九月二十九日

孝敬憲皇后忌辰致祭

泰陵一疏奉

諭旨遣弘閏行禮又奏九月二十四日致祭

歷代帝王廟一疏奉

諭旨遣永浩行禮兩廡遣扎勒翰瑪興阿諾穆親穆精阿各分獻又吏部議直隸總督劉峩奏理事通判晉朝陽縣知縣員缺准以永平府理事同知善和調補所遺員缺准以試用理事同知毓通補授一疏奉

諭旨善和等依議調補餘依議又議山東巡撫長麟奏曹縣知縣員缺請人瑞補授一疏奉

濤調補查該員歷俸未滿與例不符既經該

撫奏請可否准其調補一疏奉

諭旨謝文濤准其調補餘依議又議湖南巡撫浦

霖奏善化縣知縣員缺請以臨湘縣知縣徐

元辰調署查該員歷俸未滿與例不符既經

專摺奏請可否准其調署一疏奉

諭旨徐元辰准其調署餘依議又議將未經考試

之人違例具題承襲五經博士之衍聖公孔

憲培照例罰俸一疏奉

諭旨孔憲培著罰俸九個月又兵部議雲貴總督

富綱奏雲南楚雄協都司員缺准以候補都

司成文補授一疏奉

諭旨成文依議用餘依議又議富綱奏雲南順雲

營右軍守備員缺准以楚雄協千總劉綱補

授一疏奉

諭旨劉綱依議用餘依議又刑部等衙門奏秋審

陝西省可矜人犯李紹基王酉酉吳瑾等三

名照例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜各犯李紹基等依議免死減等

發落餘依議又奏秋審湖廣省可矜人犯李作

貴李倫鄒世青潘之榮王周冕伍貴等六名

照例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜各犯李作貴等依議免死減等

發落餘依議又議巡視東城刑科給事中蘓楞

額等移送蔚三兇毆傷胡千章身死依律擬

絞監候查胡千章係在保辜限外身死蔚三

兇可否援例減等發落一疏奉

諭旨蔚三兇毆傷胡千章至保辜限外身死著從

寬免死照例減等發落餘依議是日

駐蹕承德府行宮

初八日丙寅辰刻

上御行殿大學士伯和珅大學士王杰戶部尚書

董誥兵部尚書福長安刑部右侍郎虔禮寶
內閣學士扎朗阿張若渟以刑科覆奏九卿
詹事科道秋審各省官犯服制雲南貴州二

省情實罪犯應勾決者共一百二十五名請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閏至官犯內舊列情實之絞犯王鳌一名服制內

舊列情實之斬犯何文照等十七名絞犯陸

世昌一名雲南省舊列情實之絞犯鄭起等

八名貴州省舊列情實之絞犯蕭應甲等七

上命俱仍著停決

名

閏至官犯內新列情實之絞犯林長長賄拔弁缺
兵柴大紀貌法萎駁所致情稍可原著停決
閏至服制內新列情實之斬犯李正爵截傷胞兄
一案

身死一案

上曰李正爵因胞兄李正綱欲強分伊父養老祖

米未遂嗣即私行竊米經伊父撞獲向奪被其
推跌倒地該犯見而奔救亦被拳毆並取刀向
伊父趕截該犯護父將刀奪獲因被推跌騎壓
求饒不放氣塞難忍順用奪獲小刀嚇截適傷
其右後脣殞命兄本逆倫罪犯應死該犯情急

救父稍有可原著停決

閔至斬犯鄧體珍毆傷服兄身死一案

上曰鄧體珍因大功服兄鄧體玉見伊聽從伊母

李氏搶割田禾即被用担毆傷伊母胞肘該犯

見母受傷亦用担致傷其左額角顴門殞命毆

由救母情切死係犯尊服兄情尚可原著停決

閔至斬犯謝治倫毆傷胞叔身死一案

上曰謝治倫因胞叔謝登級以伊邀飲稍遲即向

嗔罵該犯畏懼閉門被其持刀撬門進內打碎

什物該犯潛出躲避又被趕上刀砍迨經將刀

格落彼此同跌倒地謝登級又將伊髮辮揪住

擎按該犯情急在地摸獲尖刀嚇毆適傷其右

腿殞命情急致傷尚非逞兇干犯情稍可原著

停決

閔至斬犯何文英毆傷胞兄身死一案

上曰何文英因胞兄何文元與馬陞文爭毆同跌

倒地被馬陞文撲壓身上該犯恐兄受虧進屋

帮護何文元滾轉該犯黑夜認為馬陞文在上

用耙向毆誤傷何文元脊背殞命情因救護傷

由誤中並非有心干犯情稍可原著停決

閔至斬犯黃石柱毆傷服叔身死一案

上曰黃石柱因小功服叔黃慶賢與伊祖爭買良

田未遂輒挾恨割毀田禾經伊祖往向理斤即

被揪衣欲毆該犯經見恐祖受傷上前解勸黃

慶賢仍扭緊不放情急拔棍嚇打適傷其額顱

殞命釁起死者挾恨犯尊該犯情切救護稍有

可原著停決

閔至斬犯謝有俊毆傷胞兄身死一案

上曰謝有俊因胞兄謝顯俊經使性經伊父謝

廷複訓斥輒被持刀向砍迨經跑避又被追趕

該犯聞鬧出視恐父受傷情切救護奪住刃柄

推扯不期刀尖向裏以致戳傷其心坎殞命兄

本逆倫罪犯應死該犯情因救父稍有可原著

停決

閔至斬犯傅萬金毆傷服兄身死一案

上曰傅萬金因小功服兄傅萬康牛隻踐食伊地

粟苗該犯不知喊罵傅萬康出而承認並向斤

責該犯當向服禮傅萬康不容分辯輒用木叉

向伊毆傷迨經跑避又被拾石擲傷倒地騎壓

掐住咽喉該犯情急用脚向上一蹬不期致傷

腎囊殞命死者理曲先毆傷由被指情急尚非

逞亮干犯情稍可原著停決

閔至斬犯陳倫現殺傷胞兄身死一案

上曰陳倫現因胞兄陳倫周與伊妻郭氏通姦當

場撞獲該犯忿激取斧打進房內將陳倫周郭

氏先後殺傷斃命死者淫惡滅倫罪犯應死該

犯殺由義忿情尚可原著停決

閔至斬犯吳有元毆傷服兄身死一案

上曰吳有元因大功服兄吳有容向伊索欠求緩

被罵經伊母羅氏斥責被其拾石打傷倒地該

犯將母扶起聲稱投族理論即被吳有容用鋤

柄毆傷顛門隨順手按住鋤柄往前一抵致傷

其脣脰殞命死係犯尊堂兄該犯情因救母稍

有可原著停決

閔至斬犯艾同文毆傷胞叔身死一案

上曰艾同文因胞叔艾玉富代伊塾完根銀向索

無償將牛牽去作抵伊母鄭氏帶伊同弟艾宗

錫前往牽牛回走艾玉富攜取鐵尺追趕將伊

母推跌倒地復用鐵尺向毆該犯奪獲鐵尺艾
玉富又用腳向踢鄭氏該犯恐母受傷順用鐵
尺毆傷其左臘股越二十五日殞命情由救母
尚非無故逞克干犯情稍可原著停決

閑至斬犯楊甲申砍傷胞兄身死一案

上曰楊甲申因胞兄楊老發犯竊被事主王氏邀

同戶族楊尊伯楊秀甸等理論楊老發反用担將

楊尊伯毆傷倒地該犯亦用担將楊秀甸毆傷

楊老發畏懼起意做傷抵賴先自用刀砍傷頂

心等處復因傷輕又令楊甲申動手該犯始猶

未允因被逼勒隨接刀砍傷其偏左倒地越二

十六日殞命因伊兄逼令裝傷死由自取尚非

自行逞克干犯情稍可原著停決

閑至斬犯李明求誤傷服婦身死一案

上曰李明求因小功服婦李張氏之子李明倉家

被竊鐵鍋見伊鍋相似疑為竊賊攜走向奪跌

碎致相爭閑該犯趕至李明倉門首舉棒向打

不期李張氏黑暗中出勸以致誤傷李張氏左

肋殞命釁起被誣傷由誤中尚非有心干犯情

稍可原著停決

閑至斬犯董誠恩毆傷服兄身死一案

上曰董誠恩因小功服兄董端仁與人爭扭經伊

母馮氏拉勸即將伊母推跌並趕搥欲毆馮氏

喊救該犯聞聲趨救見而情急順拾柴棒毆傷

其右臘股越十三日因風殞命情激救母死係

因風情稍可原著停決

閑至斬犯丁汝明毆傷胞兄身死一案

上曰丁汝明因胞兄丁六揚逃蕩屢犯姦案經伊

父囑令身後勿列其名丁六揚肆行辱罵並用

棍將繼母趙氏疊毆受傷復推倒拏地趙氏喊
救該犯聞聲趕護拉勸丁六揚擎住不放隨拾
木梢毆其右後脇殞命兄本逆倫罪犯應死該
犯情切救母稍有可原著停決

閑至斬犯洪道明毆傷服兄身死一案

上曰洪道明因小功服兄洪道立以伊不邀同飲

斥責喊罵并用鐵爬毆傷該犯接爬理講洪道
立不依持爬用力一抽以致爬柄戳入懷內適
傷左脇殞命傷由自戳並非該犯逞兇干犯情
尚可原著停決

閑至斬犯黃夢懷毆傷胞兄身死一案

上曰黃夢懷因胞兄黃紡戴繼娶醮婦袁氏為妻

攜帶前夫幼女心存偏愛責打前妻幼子適黃

夢懷手攜裁帝小刀路過袁氏房門責其後母
心狠黃紡戴聽聞趕出趕毆經伊父斥令黃夢
懷速走隨順勢用手一推不期該犯向前撲跌
黃紡戴趕來勢猛一同跌倒以致手中所執小
刀戳傷其肚腹殞命傷由被推失誤尚非逞兇

干犯情稍可原著停決

閑至斬犯陶利仔毆傷服叔身死一案

上曰陶利仔因小功服叔陶漢僑之母向伊母徐
氏索討押借錢文互相扭結陶漢僑將伊母掌
毆倒地該犯因被奪去手執小刀恐其戳傷伊
母隨拾竹損格毆致傷其左脇殞命情切救母
尚非逞兇干犯情稍可原著停決

閔至斬犯楊連孫戳傷胞兄身死一案
上曰楊連孫因胞兄楊先也將粥吃盡伊十歲幼弟飢餓啼哭楊先也即行掌毆並向該犯奪刀割嘴該犯不肯給刀身往右扭跌地楊先也撲空隨順勢跌倒以致手內小刀戳傷其心坎殞命死由自跌致傷尚非逞兇干犯情稍可原著

停決

閔至斬犯劉寧子戳傷服叔身死一案

上曰劉寧子因小功服叔劉椿四在祭田割禾糧借穀石致被詈罵該犯告以祭田均可耕種劉椿四持刀趕砍自行滑跌被田邊鋤柄戳傷右乳殞命死由自跌戳傷尚非逞兇干犯情稍可

原著停決

閔至斬犯呂在坤毆傷服兄身死一案

上曰呂在坤因大功服兄呂松林同父向伊父呂德元硬欲多分房價被呂松林辱罵扭住欲毆

該犯恐父年老受虧上前救護即被舉拳撲毆隨用手抵格以致手中切菜之刀適傷其左乳殞命死者理曲犯尊該犯情殷救父情有可原著停決

閔至斬犯金雙林毆傷胞兄身死一案

上曰金雙林因胞兄金立誠不能養贍伊母王氏伊母斥罵反逞兇將伊母推跌碰傷王氏氣忿即令金雙林責打該犯遂用拳腳毆踢致傷其胸膛左脇殞命兄本逆倫罪犯應死毆由母命情稍可原著停決

閔至斬犯潘正體砍傷服兄身死一案

上曰潘正體因小功服兄潘正禮始則調毒伊女

潘氏未成嗣復按炕強砍行奸該犯氣忿順取
鐵斧砍傷其左太陽殞命兄本淫惡無倫砍由
義忿情尚可原著停決

閔至斬犯馮安世割傷服兄身死一案

上曰馮安世因小功服兄馮二安以伊故祖將祖
遺磚石換糧食用向伊索分該犯用言推諉致
被用刀先後砍傷右耳根胸膛該犯情急用刀

情急尚非有心干犯情稍可原著停決

閔至斬犯張正隴殴傷服兄身死一案

上曰張世隴因小功服兄張世寶不允伊父張文

架格劃傷其額顱越十一日自行擦落傷痂進
風殞命傷由劃格死係因風情稍可原著停決
閔至斬犯劉成濟扎傷胞兄身死一案

上曰劉成濟因胞兄劉成兆逆父滅倫伊父走出

禦究輒被趕上將父按地拔刀欲扎該犯趨至

伊父令其救護隨奪刀嚇扎致傷其左腿殞命

情切救父死係逆倫胞兄稍有可原著停決

刺向詢即被揪辯毆傷肩部

色重痛

上曰王永純因疑大功服兄王永寧酒後言語譏

刺向詢即被揪辯毆傷肩部

色重痛

閔至斬犯張二小子打傷服兄身死一案

首咬傷其左手小指越二十一日潰爛殞命咬
由被毆情急死在保辜限外情稍可原著停決

閑至斬犯張芳打傷服兄身死

上曰張芳因大功服兄張灼自恃力大挺身戲言
孰能將伊打倒該犯年輕好勝即上前戲用左手
橫打適傷其心坎殞命傷由於戲尚非逞兇
干犯情稍可原著停決

閑至雲南省新列情實之絞犯陳瑾語言調戲致
本婦羞忿自盡一案

上曰陳瑾因語言調戲致本婦羞忿自盡尚無手
足勾引情稍可原著停決

閑至貴州省新列情實之斬犯宋潮倫毆傷母舅
身死一案

上曰宋潮倫因伊父被母舅汪全推跌倒地該犯

嘗見順取鐵釘鉗毆傷其偏左殞命毆由護父
尚非逞兇干犯情稍可原著停決

閑至絞犯梅廷忠毆傷服弟身死一案

上曰梅廷忠因總麻服弟犯竊欲逃逼借盤費錢
文該犯畏其到官誣扳忿激致斃死係憊賴為
匪卑幼情稍可原著停決其官犯內新列情實
之絞犯吳登等二名服制內新列情實之斬

犯梁純一等二名雲南省新列情實之斬犯
田甫正等九名絞犯陳光大等七名貴州省
新列情實之斬犯熊有才等十四名絞犯龍
在雲等二十五名俱情罪重大萬無可生者
上研勘再四始

命予勾是日內閣奉

諭旨據徐嗣曾奏懲治臺地提

命匪犯及設館殃民之蠹役挾嫌捏害之義民割用印冊冒支錢糧之征兵分別從嚴定擬各摺已交軍機大臣會同行在核拏速奏矣臺灣為五方雜處之區民情刁悍從前地方文武因循廢弛遇事姑息以致奸民無所忌憚釀成逆案今當賊匪甫經蕩平之後正當趁此兵威隨時嚴辦使匪徒斂迹盡絕根株徐嗣曾於拏獲棍徒凡犯該死罪者俱立置典刑所有陳光候潘波二犯不復拘泥成例分別謀故概從立決其殃民之蠹役舞弊之征兵恃符貌法之義民俱分別嚴行定擬辦理不謂徐嗣曾竟能為此明敏決斷實屬可嘉之至徐嗣曾前於柴大紀骯法營私不行叅奏一案咎無可辭是以將伊革職從寬留任該撫自抵臺灣後帮辦善

後事務尚為妥協今於地方棍徒蠹役等復能力加整頓俾海疆刁悍之風漸知悛改殊為不负任使徐嗣曾著交部議叙以示朕賞功罰罪各不相掩至意至府縣差役胆敢私設班館擅置刑杖拶指等件勾黨盤踞肆惡殃民其情節甚屬可惡徐嗣曾將為首各犯定擬斬決所辦甚是但此等蠹役自因地方官倚為耳目不肖者縱其貪婪昏憤者受其蒙敝以致該役等有恃無恐擾害良善於吏治民生大有關係臺灣既查有此弊恐各省亦在所不免著傳諭各督撫務嚴飭問刑衙門將班房等項名目永行禁止以除奸蠹而絕弊端如有任令差役等設立班館私置刑具各情事一經察覺不特將縱容之地方官從重治罪並將失察之人照舊

加議處決不姑貸仍著年終奏聞有無此弊又

義民等因帮同守城勦賊特予獎賞伊等身邀
頂帶正應倍知安分乃挾嫌圖譖多人是
義民又為蠹民矣豈可因其前有微勞稍從末
減徐嗣曾將誣告之義民謝恭即行正法其不
行阻止之黃武等概行責懲辦理實屬允當又
據會同普吉保奏兵丁鄭振宿娼怙惡連斃二
命審明後已恭請王命將該犯即行正法一摺
所辦甚是其請將遊擊陳大恩等交部議處並
自請交部議處之處兵丁係屬營員管束茲鄭
振有宿娼斃命情事該管員弁平日不能約束
查察自應分別議處斥革至文職於失察土娼
固有應得處分而戍兵非其所轄且徐嗣曾一
經稟報即審明嚴辦其所請交部之處並著寬

免又奉

諭旨據徐嗣曾奏已革主事仍留舉人不准應試
之周嘉猷向在幕中辦事一切軍務皆伊經理
頗知急公有志向上等語周嘉猷著加恩准其
一體會試以示鼓勵又奉

諭旨雲南迤南道賀長庚前經降調嗣據該省督
撫奏請陞補迤南道之龔敬身業已丁憂現在
吏部奏請

尚未揀員題補賀長庚著加恩改為降二級從
寬留任迤南道之任該部無庸帶領引見是日
欽派揀選廣東欽州州判大臣一摺奉

諭旨即著前此派出驗看八月分月官之綽克托
劉墉彭元瑞金簡李綬韓鋐_{候補}人_選奏請
照例揀選俟回鑾後帶領引見發往各部奏

據發往軍臺効力原任安徽宿州知州張繼

曷之嫂張姚氏呈請代為捐贖可否准其贖

罪一摺奉

諭旨張繼曷著准其贖罪是日

駐蹕承德府行宮

初九日丁卯

上御萬樹園大幄次

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及緬甸

國正使細哈覺控副使委盧撒牙並小頭目

便機位素等四人茶果是日內閣奉

上御萬樹園大幄次觀火戲並

賜隨

駕王公大臣蒙古王公貝勒額駙台吉等及緬甸

國正使細哈覺控副使委盧撒牙並小頭目
便機位素等四人茶果是日內閣奉
諭旨巴忠帶領扎薩克喇嘛格勒科那木喀馳驛
前往藏地著各賞銀二百兩帶往之筆帖式慶

德永福各賞銀五十兩一體馳驛前往是日兩
廣總督孫士毅等奏廣東右翼鎮標左營守

備黃定邦前因藉辦腰刀科派屬員參革在

案今訊據該員供稱係署中營守備黃文琳

右營守備邱岱承辦號衣旗幟原領價銀不

敷面稟署遊擊王作亮令三營各員公同捐
派並無私派情事請將黃文琳邱岱一併革

職審擬一摺奉

諭旨這所參籍辦腰刀派累屬員之廣東右翼鎮

左營守備黃定邦著革職拏問其署右翼鎮中

營守備事右哨千總黃文

琳
內犯詐嚴審定

併革職拏問交該督等提

同案內犯詐嚴審定

擬具奏該部知道摺併發是日

駐蹕承德府行宮

初十日戊辰內閣奉

諭旨據保泰奏請厄魯特恭格病故所有達爾罕

例應承襲將恭格之子車登扎卜等擬定正陪

請襲等語恭格之達爾罕著擬正之車登扎卜

承襲又奉

諭旨據恒秀等奏打牲處下五旗索倫等田禾經

河水泛溢淹浸其無力不能糊口之人請資借

糧穀等語本年鴉兒河等處水溢打牲處索倫

等田禾被浸其無力之人自需接濟口糧著照

恒秀等所奏即將齊齊哈爾墨爾根兩處倉貯

穀石發給一萬石以資借給俟明年于伊等所

得錢糧內分展月限減半坐扣買穀抵補又奉

諭旨據觀成覆奏接奉署理四川提督印務諭旨

馳驛具奏甚屬錯誤此不過覆奏接奉令伊署

理印務諭旨耳何關緊要驛馬用處甚多似此

無甚緊要之事何得擾累驛站觀成竟不曉事

體輕重著將觀成申飭是日太常寺奏十月初

一日孟冬時享

太廟一疏奉

諭旨朕親詣行禮

後殿遣亮煥行禮東廡遣積拉堪西廡遣嵩齡各分

獻又吏部議陝西巡撫巴延三奏署神木縣知

縣王文奎試俸期滿准予授一疏奉

諭旨王文奎依議用餘依議

致議湖廣巡撫浦霖

奏署新寧縣知縣黃德基

一疏奉

諭旨黃德基依議用餘依議又議河南虞城縣監

犯脫逃應將不能預為督率稽查之按察使

陳奉茲等照例降級一疏奉

諭旨陳奉茲著降一級留任畢沅著銷去軍功加

一級仍給還軍功紀錄二次歸朝照係本管知

府不能預行督率稽查以致所屬監犯越獄脫

逃固有應得之咎第念其係尚書歸宣光之子

且聞其在知府任內帮辦河工事務尚屬奮勉

歸朝照著加恩免其降調改為革職留任又禮

部議廣東巡撫圖薩布奏新安縣監生廖定邦之妻李氏現年一百二歲准照例給銀建

坊一疏奉

諭旨依議李氏著加恩賞給上用綬一疋銀十兩

又兵部議署陝甘總督勒保奏甘肅涼州鎮

標前營守備員缺准以俸滿千總余長春補

授一疏奉

諭旨余長春依議用餘依議又議勒保奏涼州鎮

標前營守備員缺准以俸滿千總李吉補授

一疏奉

諭旨李吉依議用餘依議又刑部等衙門奏秋審

安徽省可矜人犯許斌一名照例減等發落

一疏奉

諭旨這情有可矜人犯許斌依議免死減等發落

餘依議又奏浙江省可矜人犯吳七觀一名照

例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜人犯吳七觀依議免死減等發

落餘依議又奏江西省可

臨廖四仔陽恒文等四

名照例減等發落

疏奉

諭旨這情有可矜各犯劉炳生等依議免死減等

發落餘依議又議江蘇巡撫閩鄂元奏海州民

李保子劃傷張連生身死依律擬絞監候查

李保子年僅十四可否援例減等收贖一疏

奉

諭旨李保子從寬免死照例減等收贖餘依議又

議湖南巡撫浦霖奏湘潭縣役胡迪毆傷賊

犯吳吉祥身死依律擬絞監候所有未將致
命傷痕驗出之前任告病瀏陽縣知縣趙嘉
程照例降調一疏奉

諭旨胡迪依擬應絞著監候秋後處決其因未將

傷痕驗出議以降級用之趙嘉程俟病痊之日

該旗查照原咨考語送部引見餘依議是日

駐蹕承德府行宮

十一日乙巳卯刻

上御行殿大學士伯和珅大學士王杰戶部尚書

董誥兵部尚書福長安刑部右侍郎慶禮寶

內閣學士扎郎阿張若渟以刑科覆奏九卿

詹事科道秋審四川省情實罪犯應勾決者

一百三名請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定
閱至舊列情實之斬犯馬伸等十二名絞犯史在

高等十二名

上命俱仍著停決

閱至新列情實之絞婦艾氏

因失身死

一案

上曰艾氏因已正法之陳書萬國森謀殺伊夫該婦本不知情且當經哭喊其事後同逃究由嚇逼所致情稍可原著停決

閱至絞犯卿沅瑢殴傷胞兄身死一案

上曰卿沅瑢殴死雖係胞兄但該犯黑夜捕賊倉猝向毆適覽實屬不知誤犯情尚可原著停決閱至絞犯羅國榮砍傷伊妻身死一案

上曰羅國榮因妻將伊飯碗奪下不許食飯并取斧趕砍忿激奪斧砍傷致斃死係悍妻情稍可

原著停決

閱至新列情實之斬犯陳志沅等三十七名絞犯

許貴等三十九名俱情罪重大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日內閣奉

諭旨御史祝德麟奏國子監考試惟劉墉鄒炳泰二人諸生不敢向其餽送營求此外各堂官則來者不拒去者不追雖不能一無沾染尚不至駭人聽聞獨司業黃壽齡猥鄙性成外間竟傳有非錢不取之說本年考到時包苴滿戶甚至

寒畯空囊慮其擯抑率皆典質稱貸士怨沸騰等語覽之不勝駭異本年辦理科場因諸臣紛紛條奏屢經降旨通行嚴飭並頒發科條以期諸弊肅清國子監考到錄科分別去取正所以杜絕入場僥倖之端即與科場無異該堂官自應公慎遴選倍矢潔清乃祝德麟添奏黃壽齡竟有非錢不取士怨沸騰之事殊出情理之外

如所參屬實黃壽齡所得賊銀請論斂與否
均當立置典刑黃壽齡著即先行摘去頂戴解

任交刑部看守並派福康安董誥即日起程回京秉公審辦但祝德麟所奏係屬傳聞並未經

奏出黃壽齡得賄實在証據事關科場舞弊罪名出入甚重亦未便以風聞入告之言坐人死罪致啟將來告許之端並著福康安等即傳該

御史到案面加詢問令其將黃壽齡考到時曾向何人婪索銀兩所聞非錢不取之說係何人面向該御史告知再拘齊犯証逐一確切嚴審定擬具奏以成信讞如該御史不能指出証據即當律以誣告反坐之罪至其餘國子監堂官除鄒炳泰納麟寶出差外尚有劉墉吉善在京何以將考到之事專交黃壽齡辦理任令從中

肆意婪索劉墉吉善竟同聾瞞並著福康安等於審明後一併查辦又奉

諭旨惠齡奏湖北沔陽黃岡二州縣被水地畝涸出無幾節候已遲不能補種等語荊州上游各屬被水貧民前經降旨分別撫卹其下游漢陽等縣亦經借給口糧小民口食有資自可無虞失所今沔陽黃岡二州縣因積水未消田畝未
經涸出難以補種著借給一月口糧以資接濟該督撫務須督飭該地方官查明實在被水戶口按名給發無任假手胥役稍滋尅扣其餘成災處所應行給賑者並著該督撫照例具題實力撫恤以副朕軫念災黎有加無已至意又奉諭旨據劉紹錦奏本年各省鄉試以詩經命題次年會試例應輪用書經第如禹貢洪範周誥殷

盤或義蘊闊深或聾牙詰

虛擗不時不能熟讀

通暢勢必勦襲雷同草率

事明春已酉會場

請仍以詩經出題又新例廢止空白試卷被貼者多請嗣後此項空白試卷仍照舊預備等語

科場條例上年經大學士九卿等議定章程五
經分年輪試今歲鄉試屆期本應用易經出題
朕因周易理蘊深奧恐邊省士子未必人人誦

習特命今歲鄉試先用詩經出題次年會試用

書經出題已屬體恤備至今劉紹錦復恐士子
等中式後未能即通曉書經義旨請明歲會試
仍用詩經出題所奏實屬沽名釣譽書經乃士
子等束髮時即應誦讀之經豈有業經應試猶
未曾誦習之理若云詰曲聾牙難於成誦則朕
至今年屆八旬尚不至遺忘豈士子等讀書應

試冀取功名既經中式於書經理解轉不能記憶乎至空白試卷停止預備原為防閑弊竄起見且士子應試原應諳習條規何至干犯貼例需用空白試卷更換若伊等不知小心致有污損錯悞即係自悞功名被貼亦不為枉乃劉紹錦意存邀譽率為此奏殊屬非是國家甫經定例奉行伊始即紛紛妄議更張尤為明季惡習

斷無此政體劉紹錦何易視朕為諸事不理之庸主乎著革職交刑部議罪原摺擲還又奉
諭旨今日蘭第錫四百里報至朕以為或係河工
有緊要事件及加披閱乃係奏報沿河地方得
雨情形且閻摺內有聖德感召甘霖應時之語
殊屬不誠本年巡幸木蘭園蓮值陰雨以致秋
獮大典不能舉行朕方引以為愧即或豫省沿

河一帶近日雨澤稍短現獲雨亦止須照常

奏報何得輒用驛遞並以膚淺不誠之語漫為頌揚是該督此奏非以為頌乃徒增朕愧耳各省雨暘無刻不關朕懷但天下至大安能悉臻時若即偶有旱澇不齊之處亦止飭令地方官妥協辦理從不因偏災而遽加守土者之罪其有雨水調勦成豐稔者亦惟倍加敬感並不因此將地方大吏輒予褒嘉即如此次荊州被淹較重朕亦因該省吏治廢弛日久于民生利病平日漠不關心以荊州堤工乃全郡保障僅令佐雜微員董率民修道府等近在同城並不親加查勘任令草率偷減工程不固而害金洲漲沙逼溜為共見共聞之事又皆置之不問是以不得不從嚴懲處以肅官方而儆將來原非

因荊州被有水災遂歸咎於該督撫等而加之譴責也蓋以雨暘嘉地方官或申飭則地方官必致諱災朕不為也督撫等俱受朕深恩簡擢重任豈尚不知朕懷然如蘭第錫之似此虛詞稱頌者殊亦不少並著通諭各督撫嗣後凡遇奏報雨水地方事件務期以實不得輒用頌揚虛詞填砌入告以副朕崇實黜華至意將此通

諭知之是日

駐蹕承德府行宮

十二日庚午內閣奉

諭旨前據伊齡阿等奏本年順天鄉試諸生中年屆八十以上者康士雍張洪振二名三場俱已完卷等語現在榜發俱未中式但念該生等年臻耄耋猶能踴躍觀光精神不懈允為藝林盛

事康士雍張洪振俱著加恩賞給舉人准其一

體會試俾償讀書夙志用昭壽世作人至意又

奉

諭旨前據綿恩奏清豐縣應試生員趙瑛呈明五
世同堂伊祖生員趙峯現年八十四歲等語趙
峯身列膠庠年臻耄耋其子孫五世同居允為
昇平盛瑞趙峯著加恩賞給舉人准其一體會

試以示嘉惠者齡至意又奉

諭旨此次哨內兵丁等淹斃被沖十三人殊堪憫
惻著加恩賞給銀兩並查明伊等子嗣驍騎校
之子賞給領催筆帖式之子賞給拜唐阿其餘
皆照伊父錢糧不計年歲各賞護軍馬甲如有
被沖後得回者仍著減半賞給銀兩以示體恤
是日

駐蹕承德府行宮

十三日辛未卯刻

上御行殿大學士伯和坤大學士王杰兵部尚書

福長安刑部右侍郎虔禮寶內閣學士扎郎
阿張若渟以刑科覆奏九卿詹事科道秋審
廣西廣東二省情實罪犯應勾決者共一百

六名請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至廣西省舊列情實之斬犯何福等二名絞犯
陳茂等二名廣東省舊列情實之斬犯周維
發等七名絞犯楊氏等九名

上命俱仍著停決

閏至廣西省新列情實之絞犯陳濟現疑竊致斃

一案

上曰陳濟現疑竊有因死由自行跳河溺斃情尚

可原著停決

閱至廣東省新列情實之絞婦王氏因姦致本夫

被殺一案

上曰王氏因姦致本夫被殺該氏當時並不知情事後亦無戀姦情事姦夫業已正法該氏稍有

可原著停決

閱至斬犯黃世檉傷死服婦一案

上曰黃世檉雖傷死服婦究由服婦拉斷腰帶自跌致斃該犯並未毆打且起釁理亦不曲情稍可原著停決其廣西省新列情實之斬犯揭亞

滿等十名絞犯張玉庭等七名廣東省新列

情實之斬犯和尚等二十二名絞犯溫習

德等四十一名俱情罪重大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日吏部議閩浙總督李侍堯奏福建惠

安縣知縣員缺准以屏南縣知縣袁珖調補

一疏奉

諭旨袁珖依議調補餘依議又議李侍堯奏福建

南平縣知縣員缺請以署漳平縣知縣王兆

和調署查該員歷俸未滿與例不符既經專

摺奏請可否准其調署一疏奉

諭旨王兆和准其調署餘依議又議於通緝要犯

潛逃在境未能覺察查拏之前任山西冀寧道陞任浙江按察使歸景照等照例分別革

任降調一疏奉

諭旨歸景照虔禮寶俱著從寬免其違任仍註冊

鄭源璿著銷去加職一級其降調畢沅著銷

去軍功加一級仍給還軍功紀錄二次福崧降
一級調用之處俟班滿之司兵部再行請旨餘
依議又議於楚省匣費並不據實查叅之兩淮

鹽政全德照例降級一疏奉

諭旨此案全德於楚省匣費名目並不據實查叅

實有應得之咎著照部議降去職銜三級仍著
從寬留兩淮鹽政之任又刑部等衙門奏秋審
江蘇省可矜人犯包五一名照例減等發落

一疏奉

諭旨這情有可矜人犯包五依議免死減等發落

餘依議是日

駐蹕喀喇河屯行宮

十四日壬申卯刻

上御行殿大學士伯和珅大學士王杰兵部尚書

福長安刑部右侍郎虞禮寶內閣學士扎郎

阿張若渟以刑科覆奏九卿詹事科道秋審

福建省奉天等處情實罪犯應勾決者共一

百五名請

肯定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閩至福建省舊列情實之斬犯蘇秩等八名絞犯
鄧恩老等十四名奉天等處舊列情實之斬
犯張成功等二名絞犯張進英等八名

上命俱仍著停決

閩至福建省新列情實之絞犯王恥斬死平人一

案

上曰王恥雖斬死平人但卽伊肇齋由救父情

尚可原著停決

閱至奉天等處新列情實之斬犯劉小胖因姦致

斃一案

上曰劉小胖年僅十五小於死者十七歲因被死者設計留宿威逼成姦因而忿激致斃情尚可原著停決其福建省新列情實之斬犯廖寧等十八名絞犯郭椿等十七名奉天等處新列上研勘再四始

命予勾是日內閣奉

諭旨據梁肯堂奏衛輝懷慶二府屬本年雨澤稍愆收成未免歉薄等語豫省本年衛輝懷慶二府屬地方因雨澤短少收成歉薄現屆開徵之

期若令新舊錢糧同時並徵民力未免拮据著將衛輝府屬之淇縣滑縣延津濬縣封邱考城六縣並懷慶府屬之原武修武陽武三縣帶徵舊欠漕糧遞展一年所有緩徵舊欠錢糧並民欠倉穀籽種等項均緩至五十四年麥熟後徵收至衛輝府屬之汲縣新鄉輝縣獲嘉四縣著將本年地丁併緩徵帶徵舊欠錢糧倉穀等項均緩至五十四年麥熟後徵收其本年漕糧著自五十四年起分作兩年帶徵舊欠漕糧亦著加恩遞展一年徵解以示朕軫念民艱有加無已至意該部即遵諭行又奉

名借給銀四兩仍於應得餉銀內分三年扣還

歸欵等語此次荊州府城被水較重所有該處

滿洲駐防兵丁業經降旨加恩酌賞銀兩以資

接濟今阿桂等既查明綠營兵丁房屋多有淹

浸自應一體加恩賞恤所有此項被水之綠營

兵丁三百二十六名俱著每名賞給銀四兩無

庸扣還歸欵俾各安戰寧居用示朕一視同仁

至意是日

駐蹕常山峪行宮

十五日癸酉內閣奉

諭旨福康安等奏御史祝德麟叅奏司業黃壽齡

於考到時非錢不取以致士怨沸騰一案當傳

祝德麟到案傳旨詢問該御史始猶含糊其詞

惟言得自風聞及反覆開導始據稱有伊裏舅舅

監生李翻李廷瑚考到時各送黃壽齡贊儀四

兩又編修祝堃說有同鄉貢監生陳承曾楊朝佐資斧缺乏現在考到尚須設措贊儀之語及

詰以原叅內因何有非錢不取之說該御史惟

自認措詞過當核其所言情節游移必有不實

不盡之處現既據祝德麟指有餽送之人並訊

據黃壽齡供於考後得受監生徐子嘉贊儀顯

因人証未齊藉詞抵賴請旨將黃壽齡革職拏

問一面傳詢祝德麟並提監生楊朝佐等三面

質對務使盡情供吐從重定擬等語黃壽齡著

革職至祝德麟身為言官既聞有考試營求之

弊即當列欵叅奏且此事業經朕特派大臣審

擬并傳旨向其詢問該御史更應和盤托出毫

無徇隱乃既叅劾于前又復游移于後其意不

過以據實說出致黃壽齡_所_重_罪必_加_恨該
御史是以僅舉出楊朝佐等四人希圖將就完
結黃壽齡量從末減可圖見好於黃壽齡不知
黃壽齡既被其參劾即使祝德麟此時為之徇
隱尚能望其不怨恨該御史而轉心懷感激乎
方今綱紀肅清朕乾綱獨攬政刑必折衷至當
從不肯稍事顙預若祝德麟所奏黃壽齡劣蹟
果能據實指出朕必嘉其公正若謂得自風聞
試思朕何如主焉有因御史捕風捉影之談而
遽肯入人以死罪之理設該御史告人謀為不
軌亦即將所告之人寘諸重典乎明季臺諫挾
私攻訐最為劣習而其中尚有一二始終不撓
之人若如祝德麟之進退無據又為明季劣習
中之尤者此即如從前彭啟豐受史奕昂署罵

顧唾面自甘不肯食言欲以長者自居其見識
實屬可鄙況祝德麟前奏黃壽齡考到非錢不
取苞苴滿戶物議讐起言之鑿鑿必非無據今
乃稱止知有楊朝佐等四人先後已屬自相矛
盾本日舒文前來行在接駕朕於召見時無意
之中向其面加詢問據奏伊家延有舉人訓課
亦稱黃壽齡聲名狼籍等語考到與舉人無涉
所言自屬公論而舒文於祝德麟黃壽齡俱不
認識經朕面加詢問即奏及此事尤非無因事
關科場舞弊豈可不徹底根究乃祝德麟於傳
旨詢問時尚復游移不吐殊為可惡祝德麟亦
著解任交與福康安等傳集祝塈並提齊人証
覆加嚴鞫務得實情秉公定擬具奏又奉
諭旨山東濟東泰武臨道員_缺著甘廷進補授又

奉

諭旨據李世傑奏新授雅州府知府李憲宜尚未到任現在該處因西藏調兵出口有辦理軍需事務請以直隸松潘同知沈璉陞署雅州府於要缺有裨等語此次辦理軍需緊要著照該督所請沈璉准其陞署雅州府知府其李憲宜一員著留於川省俟有相當缺出再行補用該部知道摺併發又奉

諭旨昨禮部奏緬甸貢使到京時在西城會同四譯館居住應照例咨取章京二員驍騎校四員兵丁二十名以資彈壓巡防等語從前定例咨取官兵在該館看守自因外藩陪臣來京朝貢未習天朝體制其跟隨人衆或恐外出滋事是以派令官員兵丁於該館為之照應稽查然實

奉

有名無實之事今緬甸貢使來京本有道員遊擊等官護送即其在館居住時儘可令護送之員妥為照料何必多派官員兵丁住宿該館巡查彈壓徒為沿習具文耶此外如安南琉球暹羅南掌蘇祿等國按期入貢俱有伴送之員亦不藉官兵等查察若朝鮮奉朔朝正每歲使臣來京者絡繹不絕竟與世臣無異該國入貢向

不由盛京派員護送其使臣人等頻至京師亦久習朝廷體制更無須另派官兵為之守視嗣後會同四譯館咨取官兵虛應故事之處著永行停止以示朕綏輯懷柔遐邇一體至意是日吏部議閩浙總督李侍堯奏福建同安縣知縣員缺准以連城縣知縣仇賦革調補上疏

諭旨仇賦革依議調補餘依議又議失察逆犯張

君德過境不行查拏之山東省厯任各員照例分別降調革任一疏奉

諭旨繆其吉著從寬改為降三級留任明興著從

寬免其革任仍留該處辦事興安亦著從寬免

其革任仍註冊餘依議又議於所屬東陽縣知縣謝昕詳請設局推收擾累地方並不據實

糾參僅以批飭了事之浙江布政使顧學潮照例降調一疏奉

諭旨顧學潮僅以一批了事本應如部議但平日

尚屬謹慎辦事著從寬改為革職留任又戶部

議湖北省經徵驛站錢糧未完九分以上之

署嘉魚縣知縣王大復照例降調一疏奉

諭旨依議其因經徵驛站錢糧未完九分以上議

以降調之王大復著該督撫出具考語送部引

見再降諭旨又兵部奏四川漳臘營守備員缺

擬以預保千總李容掣補一疏奉

諭旨李容依擬用餘依議又議臺灣軍營出力之

八旗官員兵丁等照例議叙一疏奉

諭旨博清額等著給與一等功牌二個博賓等著

給與頭等功牌一個加給三等功牌一個餘依

議單併發又議臺灣軍營出力之綠營官員兵

丁等照例議叙一疏奉

諭旨普吉保等著功加四等再各功加一等紀錄

五次再每案著功加一等紀錄二次鄭國卿等

著功加三等餘依議單併發又刑部等衙門奏

秋審山東省可矜人犯劉柱子徐淵等二名

照例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜各犯劉柱子等依議免死減等發落餘依議又奏秋審山西省可矜人犯張祿劉振基馬夢奇和又三子薛珍體等五名照例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜各犯張祿等依議免死減等發落餘依議又奏秋審直隸省可矜人犯李文張大青王毛兒等三名照例減等發落一疏奉

諭旨這情有可矜各犯李文等依議免死減等發落餘依議是日

駐蹕兩間房行宮

乾隆五十三年歲次戊申九月十一日甲戌

內閣奉

諭旨前因諸臣條奏科場弊竇者

分分特降旨嚴

定覆試之例其時軍機大臣擬寫諭旨鄉會試榜後當特派親信大臣嚴行覆試措語本未明

晰朕亦未經看出今歲順天鄉試榜發屆期應

照新例舉行覆試第思各省鄉試中式人數衆

多順天取中各生尚不難調集嚴試若各直省

道里殷遠省分甚多安能簡派如許大員於榜

發後遍行覆試嗣後鄉試榜發後覆試一節著

不必行至明歲會試各省士子雲集京師除未

經中式者聽其各回本籍外其中式士子著於會榜揭曉之後未經殿試之前該部奏請簡派

大臣將中式舉子嚴行覆試屆期實有事故者

預行報明該部外倘有心懷規避託故不到者即將該舉子立行斥革如覆試之卷較取中原

卷懸殊必即從嚴究辦一惟該主考房官是問明歲舉行覆試後亦不必著為常例著該部每屆會試榜發將應否覆試之處奏請定奪候朕臨時降旨士子等尚其勉務實學凜遵功令以副朕剔獎掄才至意是日

駐蹕要亭行宮

十七日乙亥卯刻

上御行殿大學士伯和珅大學士王杰兵部尚書

福長安刑部右侍郎庚禮寶內閣學士孔郎

阿張若渟以刑科覆奏凡鄉詹事科道秋審

陝西浙江二省情實罪犯應均決者共一百

十五名請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至陝西省舊列情實之斬犯郭喜兒等五名絞

犯雷法等十一名浙江省舊列情實之絞犯

徐獻南等五名

上命俱仍著停決

閱至陝西省新列情實之絞犯王良才語言調戲

致本婦羞忿自盡一案

上曰王良才因本婦面裏卧炕搖手禁聲即近前

戲問致令羞忿自盡尚無蓄意調姦手足勾引

情事稍有可原著停決

閱至絞犯馬儒標毆死平人一案

上曰馬儒標因死者將猪油抹嘴回教所忌奪柴

回毆致斃傷係他物情尚可原著停決

閱至斬犯雷正李有李積李聚逆教緣坐一案

上曰雷正係已正法逆犯雷得本之子李有等係

逆犯李德沛之子該犯等於伊父倡立邪教傳

習經卷究無知情傳播情事稍有可原著停決

其新列情實之斬犯范登朝等二十四名絞

犯安振青等三十六名浙江省新列情實之

斬犯陳友等八名絞犯陳有興等二十名俱

情罪重大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日內閣奉

諭旨福康安等奏覆訊祝德麟據稱在署內聞御

史曹錫寶論及黃壽齡聲名不好因無實據難

以辦理彼時王念孫亦聞此言隨傳曹錫寶王

念孫隔別詢問俱稱係祝德麟在署內先付說

起並非曹錫寶告知彼此各執一詞又調取本

年黃壽齡考到各卷詳加閱看有監生沈維賓

沅等二卷字畫生疎文理荒率轉學錄取而監

生田文洛王凌二卷稍勝於彼反致擅棄將原

卷封固進呈請將曹錫寶王念孫解任並飛掣

沈維賓沅到業質審等語國子監考到並非錄

科可比錄科不取即不能入闈而考到一次不

取下次仍得再考本係重複具文無關緊要之

事將來審明後原可將此例停止即生監等於

考到後托名師生餽送贅儀土物亦屬相沿陋

習鄙瑣不成事體但祝德麟既經奏劾則傳旨

詢問時即應列欵指出即或所奏未能盡實亦

當一人獨任其咎又何必紛紛牽引況國家設

立臺諫許其奏事體制已優自應各顧顏面今

祝德麟始則以一奏見其風厲繼復援引同官

以却其所言之不實而曹錫寶王念孫又惟恐

株累曉曉剖辨言官習氣至此朕聞之徒增煩

惱轉鄙薄伊等之爲人矣現據福康安等奏請

將祝德麟曹錫寶王念孫一併解任質審但祝

德麟因係原奉之人已經傳旨詢問並不將黃

壽齡婪索之處確切指出轉一味游移含混是

以降旨將伊解任質審至曹錫寶王念孫平日

既私相議論及傳至公所又不敢承認此等進

退失據之流毫無主見轉不值將伊等解任辦

理且此案不過相沿陋規亦不值牽引多人更

興大獄也至閱所進卷內已取之二卷較不取

之二卷字畫轉劣文內疵類亦多顧去取倒置

是外間所傳黃壽齡非錢不取之說竟有因

現經福康安等查拿沈維賞沅江人到案一經質審自無難得實著福康安等即取確供嚴審定擬具奏又奉

諭旨福康安現已回京署吏部尚書綽克托著仍回戶部辦事俟福康安起程前赴陝甘總督之任綽克托再行署理吏部尚書事務是日

駐蹕雲縣行宮

十八日丙子內閣奉

諭旨福康安等奏審明御史祝德麟恭奏草職司

業黃壽齡考到得受銀兩一筆請將黃壽齡祝

德麟分別治罪草職一摺此事若果關係科場

朕必徹底根究按律嚴辨斷不肯稍事姑容今

國子監考到非錄科可比錄科不取即不能入

聞應試至於考到此次不取下次仍准其再考

況考取之後仍由欽派大臣及祭酒等覆行錄科始准入闈文理荒劣者亦無從冒濫是考到一事係重複具文於士子本無闊輕重其考後餽送贅儀亦屬托名師生相沿陋習與用財營求者不同在潔清自愛者顧惜體面自不肯收受其見小猥鄙之流即來者不拒而黃壽齡卑鄙尤甚以致輿論不協此事若果於科場去取

有涉必將黃壽齡立寘重典今據福康安等審明考到一事既無闖入場去取而所得贅儀自一兩至四兩不等聚少成多纔共得銀六十餘兩實係相沿陋規於錄取後餽送收受雖其猥瑣醜覬有玷官箴固難留司業之任尚不至於治罪黃壽齡業經草職其所擬杖責之處著加恩寬免至祝德麟身爲御史既經真摺參劾當

福康安等傳旨詢問時自當列數指出乃始則以一奏博建白之名冀圖轉科維則游移含混

並牽引多人以卸其言之不實似此進退無據

豈可復膺臺諫之職本應照議草職弟念祝德麟本有言責而黃壽齡收受贊儀致被奉勅尚不爲無因祝德麟著從寬降三級以部員補用

曹錫寶王念孫皆係言官既聞黃壽齡聲名不

好即應自行具摺奏劾乃於署內私相談論及傳至公所詢問又復曉曉剖辨不顧顏面互相推諉本應照議交部第念其究得自傳聞未有確據曹錫寶王念孫俱著從寬降二級留任劉墉係總理國子監事務吉善身係祭酒於考到一事自應公同辦理何以專交黃壽齡一人考校致滋物議咎實難辭劉墉吉善俱著交部議

處其生監人等所送贊儀爲數甚微訊無營求情弊且於揭曉之後多已出京並著加恩免其提究餘著照所議行朕辦理庶務凡關係獎賞者無不加意釐剔而沿習陋例並非作奸犯科者亦不肯稍事苛求此即不爲已甚去已甚之意也將此通諭知之又奉

諭旨福康安上年往臺灣督辦軍務其應得陝甘

總督養廉曾諭令在福建就近支領今據稱在福建時僅支過一半等語福康安現在京供職未即回陝甘總督之任所有未經支領一半養廉著即在庫內照數支給以資費用又奉

諭旨前因直隸山東河南等省緝拏段文經日久未獲曾降旨將直隸山東二省督撫藩臬應得養廉俱不准支給畢沅因督派員楫獲徐克展

准其支給養廉一半第念段文經一紀各省承

緝已閱二年之久除明興項派往各處辦事外

劉義係本省總督於首犯高遠開獲雖不能辭

咎但伊每歲應得養廉俱經停支未免辦公竭

廢至畢沅陞任湖廣總督已離豫省此後劉義

畢沅所有應得養廉俱著加恩准其支給其藩

臬內除江蘭業經丁憂穆克登業經病故外直

隸布政使梁肯堂山東布政使繆其吉前任按

察使熟河道托倫嗣後亦著一體全行支給養

廉俾資辦公之用該督等尚其益矢恪勤實心

任事以副朕格外體卹至意是日兵部奏福建

福寧鎮標左營遊擊員缺擬以江西贛州城

守營都司石致遠鐵陞湖北道士洑營都司

員缺擬以江西饒州營守備長生鐵陞浙江

嚴州協中軍都司員缺擬以四川青雲營守備曹文通鐵陞陝西白土路營都司員缺擬

以河南歸德營守備趙禧鐵陞廣東化石營

都司員缺擬以山東臺莊營守備周士魁鐵

陞廣西南寧城守營都司員缺擬以河東河

標濟寧城守營守備邵鳴九鐵陞直隸獨石

口協中軍都司員缺擬以湖廣督標右營守

備楊逢凱鐵陞浙江衢州鎮標左營守備員

缺擬以四川黔彭營千總馬林鐵陞山東兗

州鎮標右營守備員缺擬以山西大同鎮標

千總王惠增鐵陞一疏奉

諭旨石致遠等依擬用餘依議又奏四川綏寧營

參將員缺擬以四川提標遊擊王楷鐵陞一

疏奉

諭旨王楷依擬用餘依議又議閩浙總督李侍堯

駕還圓明園

奏福建臺灣嘉義縣都司員缺准以邵武城

守營都司定柱調補一疏奉

諭旨定柱依議調補餘依議又議李侍堯奏福建

臺灣南路水底寮守備員缺准以福寧鎮標

守備顧憲調補一疏奉

諭旨顧憲依議調補餘依議又議李侍堯奏福建

臺灣北路右營守備員缺准以建寧鎮標守

備薛國棟調補一疏奉

諭旨薛國棟依議調補餘依議是日

駐蹕南石槽行宮

十九日丁丑

上詣

安佑宮行禮

自五月十九日起至是日止扈從

起居注官嵩貴玉保鐵保

二十日戊寅內閣奉

諭旨科場條例上年經大學士九卿議定奏准五
經分年輪試今歲鄉試先用詩經出題次年會
試用書經出題又空白試卷停止預備均爲防

開獎實起見今劉紹錦於甫定章程即妄逞臆
見輒議更張益書以道政事士子等有志讀書
童年即已成誦豈有業經應試轉未熟習之理
況會試與鄉試不同且明經即所以從政斷無
中式舉人尚不能講解經義又非若周易之義
蘊深奧春秋經旨間有冷僻禮記文詞繁富者
可比何須仍以詩經出題又停止預備空白試

卷原以杜換卷中另生情弊若如劉紹錦所奏

照舊准其更換則違式諸生均毋庸貼出又何必多設條規耶邊署沽名莫此爲甚劉紹錦即

照刑部所擬發往伊犁本不爲枉但此等冒昧無識之徒亦不值深究劉紹錦已經革職著勒令回籍不准出境並著交與該省督撫留心查察如劉紹錦尚不知安分守法即據實嚴參必

當從重治罪決不寬貸摺併發又奉

諭旨前據王公大臣及直省將軍督撫大吏等以乾隆五十五年朕八旬萬壽額請舉行慶典已

俞所請其應備儀文典禮恐不免踵事增華致

滋繁費因專派大臣董理其事現經阿桂等酌

籌經費奏定章程王公大臣及將軍督撫等分

別銀數於廉俸內坐扣備辦業已准行以遂其

効誠抒悃之心第念各督撫等獻忱祝嘏既將

五十五年分養廉扣辦其餘剩俸廉尚須留爲辦公之用若是年該督撫等仍照每年之例備

進萬壽貢物未免稍形竭屢況所進物件內如寶座屏風各宮殿皆有陳設不便更換即佛像亦屬過多無處供奉亦無另建廟宇之理其五十五年萬壽貢品不但各督撫等俱不准其呈

進即王公大臣等亦毋庸備進至各該省是年

應進土貢內除橘子荔枝石花魚哈密瓜等物仍照舊呈進以備薦新之用其餘土物槩行停止以示朕體恤臣工至意又奉

諭旨閔鶚元奏覆江蘇各屬收成分數摺內稱徐

州府屬蕭縣碭山豐縣沛縣淮安府屬安東清

河桃源海州江寧府屬江寧府元均各一庫六

合等十三州縣被水田地退涸較遲請將新舊

錢糧漕米緩至明年秋成後徵收其山陽鹽城

阜寧等三縣舊欠錢糧亦請緩至明年秋成後

徵收等語江蘇淮北一帶瀕臨河湖及江寧府

屬沿江地方因本年雨水較多間被淹浸小民

完納官糧未免竭蹶所有蕭縣碭山豐縣沛縣

安東清河桃源海州江寧上元句容江浦六合

等州縣新舊錢糧漕米俱著緩至明年秋成後

徵收其山陽鹽城阜寧等縣舊欠錢糧亦著緩

至明年秋成後徵收以紓民力該部即遵諭行

又奉

諭旨喀寧阿現在患病予假所有刑部尚書事務

著阿揚阿署理是日吏部帶領前任福建福州

將軍常青奏隨營辦理要件奮勉遵

旨送部之福建建寧府同知楊世綸引

見奉

諭旨楊世綸著回任以應陞之缺陞用又都察院

奏請

欽點巡視漕務帶領科道各員引

見奉

諭旨巡視淮安漕務著項家達去巡視天津漕務

著劉渭去巡視通州漕務著蘇楞額去

是日

起居注官陸伯焜德昌

二十一日己卯內閣奉

諭旨據長麟奏本年東省鄉試諸生中年屆耄耋

著阿揚阿署理是日吏部帶領前任福建福州

將軍常青奏隨營辦理要件奮勉遵

式就中擇其年屆八十以上之選并分較早者

李發枝李可士李承宗王兆隆王克昌五名文

理俱無疵謬等語該生等或齒近期頗或游庠

年久猶能踴躍棘闈爭先恐後

高一歲

世端徵

藝林盛事李發枝李可士李承宗王兆隆王克

昌俱著加恩賞給舉人准其一體會試俾備陪

首窮經夙願用昭壽世作人至意又奉

諭旨據鄂輝奏行抵贐城有枷號參草都司李景

善參草把總張正林在道旁口稟現在枷期將

滿懇請自備資斧前赴西藏効力贖罪察其情

色頗知愧悔人材亦堪驅策等語李景善張正

林俱著加恩准其開釋前赴西藏効力贖罪是

日吏部帶領八月分月選官鐵掣刑部廣西

司員外郎章鈺雲南大理府知府楊長桂安

徽池州府同知滿祿湖北黃州府通判龔士

紳四川寧遠府通判李世榮湖北鄖西縣知

縣楊桑阿安徽太平縣知縣張如翥湖北建

始縣知縣劉爾芊四川雙流縣知縣倪達行

山東新泰縣知縣崔映辰甘肅大通縣知縣

周映紫直隸沙河縣知縣汪應樞直隸元城

縣知縣王鎧湖南邵陽縣知縣盧焯福建莆

田縣知縣耿符賁湖南益陽縣知縣趙源生

直隸唐縣知縣王佐雲引

見奉

諭旨章鈺等依擬用掣得湖北建始縣知縣之劉

爾芊著調補湖南益陽縣知縣所遺建始縣知

縣員缺著掣得益陽縣知縣之趙源生補授掣

得湖北鄖西縣知縣之楊桑阿著調補福建莆

田縣知縣所遺鄖西縣知縣員缺著掣得莆田

縣知縣之耿符貴補授餘依議又帶領五十二

年六月分鑄陞禮部主客司郎中方維甸十

月分鑄陞雲南鶴慶州知州王景緒補行引

見奉

諭旨方維甸等依擬用餘依議

是日

起居注官王保陳萬青

二十二日庚辰內閣奉

諭旨據阿桂等奏查抄荊州府蕭姓民人家產請

將勒休都司蕭夢鼎一併革職解部治罪一摺

內稱訊據蕭逢盛供窖金洲是伊祖父於雍正

七年起至乾隆二十七年止陸續買自石首縣

民人王齊葉張楊五姓的等語各省民田廬舍

俱有管業之人始准其輾轉售買今江心漲出

沙洲自係官地無論何姓皆不得據爲己業若云蕭姓所墾洲地買自王齊葉張楊五姓則此五姓民人又因何敢私佔官地必係奸民見江中漲有沙洲認種可以獲利遂藉詞陞科呈請開墾而地方官受其賄賂因而准行既據蕭逢盛供係伊祖父於雍正七年起至乾隆二十七年止陸續買自王齊葉張楊五姓雖雍正年間閱時已久而契冊可以調查窖金洲乃係官地該五姓民人因何准其私相出售抑係此五姓從前又向何姓轉買實在起自何時亦無難逐一清查著阿桂畢沅務將此項洲地係何姓始行私佔開墾何時地方官得其賄賂准令私佔之處再行詳細確查據實具奏至前令阿桂等將蕭姓家產查抄者原因

東溜勢而蕭姓一味漁利於洲上多種蘆葦以致滋蔓環生沙洲不能刷動日漲日寬逼溜北趨沖決堤塍淹斃數萬生靈皆伊一家貪利貽此鉅害而尚令坐擁富厚何以示懲儆而慰輿情現據阿桂等將伊家產查封具奏但此項查

出財產不可照例入官著阿桂等即分別估變留於該處以抵工賑之用使爲富不仁者知所儆戒又奉

本應朱隆阿承襲已著朱隆阿承襲矣但年至十三非核提可比已可帶領引見嗣後凡遇襲官自十二歲以上幼官俱著帶領引見著爲例是日吏部議

盛京戶部侍郎兼管奉天府府尹事務宜興奏署鐵嶺縣知縣砥柱試俸期滿准實授一疏

奉

諭旨廣東潮州鎮總兵員缺緊要著孫士毅於廣東廣西兩省總兵內揀選一員調補所遺員缺著李侍堯於福建量揀中平缺分總兵內奏調一員其所遺員缺即著普吉保補授又奉

例分別降調一疏奉

諭旨何裕城著銷去加一級免其降級趙其璫前在知縣任內拏獲匿名揭帖案內逆犯是以游陞知府今所屬贛縣張昉僉差不慎疎脫遣犯該府因審案在省不能預爲稽查防範部議降

隆阿因年止十三歲照例進呈綠頭籤此佐領

二級調用固屬照例辦理但該員前曾經獲犯

且此案究係因公趙其璿著改爲草職從寬留

任餘依議又兵部議直隸省辦差式職各員照

例加級降級之案准開復一疏奉

諭旨強都著加一級閻正祥准其開復餘依議又

吏部帶領八月分滿月選官

景陵禮部郎中色布星額刑部員外郎慶治

盛京工部員外郎色布星額工部主事玉麟九

月分戶部員外郎興安等引

見奉

諭旨色布星額等依擬用又帶領正月分滿月選

官

盛京刑部員外郎芳桂二月分

盛京工部主事伊星阿五月分禮部員外郎明

善六月分

盛京刑部郎中凌雲

景陵禮部員外郎德興戶部堂主事景文七月分

盛京刑部員外郎麟欽

東陵承辦事務衙門主事德敏等補行引

見奉

諭旨芳桂等依擬用又帶領浙江巡撫琅玕保舉

堪勝道員之現任紹興府知府姜開陽引

見奉

諭旨姜開陽著回任又帶領陝甘總督勒保奏請

陞署涇州直隸州知州之現任高臺縣知縣

慶延引

見奉

諭旨慶延准其陞署甘肅涇州直隸州知州所遺

高臺縣知縣員缺准其將委用知縣和齡署理

又帶領湖南巡撫浦霖奏請理署澧州直隸

州知州之現任湘潭縣知縣葛維祺引

見奉

諭旨方維祺准其陞署湖南澧州直隸州知州又

正黃旗滿洲都統奏補世管佐領員缺帶領

應襲人員引

見奉

諭旨方維祺准其陞署湖南澧州直隸州知州又

正黃旗滿洲都統奏補世管佐領員缺帶領

員引

見奉

諭旨段如彬著補授印務章京二達色著補授公

中佐領

是日

起居注官塘五珠曹城

二十三日辛巳

上詣永寧寺萬壽山大報恩延壽寺拈香是日吏

部議直隸總督劉峩奏署完縣知縣朱腹松

試俸期滿准實授一疏內閣奉

諭旨朱腹松依議用餘依議又刑部等衙門議河

南巡撫畢沅奏西華縣民候創因戲推傷胡

五身死依律擬絞監候查候創年僅十四可

否援例減等收贖一疏奉

諭旨候創從寬免死照例減等收贖餘依議

是日

起居注官吳璥德昌

二十四日壬午內閣奉

諭旨據恒秀奏發往默爾根城為奴人犯王三禿

將伊家長月士保之妻及妻母用斧砍斃審明

將王三禿凌遲處死等語凡內地家奴倘將家

長害死尚且凌遲而王三禿係盜案內免其死罪發往爲奴之重犯因伊家長以伊懶惰曾經打罵微嫌即贍敢將伊家長之妻及妻母一併用斧砍死凶惡已極殊屬可恨若只將王三禿

一身處治無以示儆著交恒秀查明王三禿在發遣之處若無子嗣則已倘經配給伊妻生有子嗣亦著治罪以昭炯戒是日吏部議辦理臺灣驛站妥協並解送逆犯沿途迅速之浙江巡撫琅玕等遵

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨琅玕著加一級隨帶歸景照著將隨帶加一

級抵前降一級留任餘依議又兵部奏雲南提

標右營守備員缺擬以預保千總謝斌掣補

一疏奉

諭旨謝斌依據用餘依議又議閩浙總督李侍堯奏福建臺灣北路中營都司員缺准以泉州城守營都司佟鏐調補一疏奉

諭旨佟鏐依議調補餘依議

起居注官嵩貴葉觀國
是日

二十五日癸未內閣奉

諭旨據慶林奏巴勒布賊人由脅噶爾地方復又退去一站駐於底哩喇古地方前此辦出四千餘石糧食外又辦牛一千一百頭羊一萬隻就近收放備用達賴喇嘛不肯領官價情願充

給軍食懇祈轉奏等語已勒布賊垂不遇公脣

小醜設起事之初聶拉木等處稍有警防

必不敢侵犯邊界肆行搶擄因唐古特人等

庸懦無能且平素未嫻武備以致聶拉木等三

處被其侵奪若滋事之初慶林等稍能曉事微

有才情斷不至如此錯謬乃並未預籌軍糧先

圖站腳地步惟聽噶布倫等一面之辭信以爲

實經朕降旨示以達賴喇嘛班禪額爾德尼商

上及各村庄收貯麪石糌粑及牛羊等物俱可

作爲軍食原因賊匪尚未退散預備添兵之用

今賊人既由脅噶爾地方漸次潰散則現在預備之糧足資四月之用況歲功在邇即可撤兵

此時要務不過在嚴定邊界而已乃慶林一味

拘泥尚措辦如許牛羊而又不給與成德帶去

官兵轉乃欲發給餉銀令其自行置食竟將此

項牲畜留備大兵進剿之用等語此等妄談竟

同喪心病狂縱極糊塗亦不至此殊屬可笑可

恨此事辦理完竣仍將伊從重治罪外著先行

降旨嚴加詈斥著傳諭慶林現在四千餘石之

糧無庸全行買貯現由內地派往之兵各有裹

帶到彼時或有不足再於此項內給與需用若

干石即照數折給糧價方合機宜方爲妥善慶

林何不計及於此尚須朕爲指示耶至成德帶

往之兵本屬不多既有四千餘石兵糧已爲敷

用所有辦出牛羊全行給還再此項糧石牲畜

據達賴喇嘛不肯領價情願充給軍食言辭總

切頗合情理前此仲巴呼圖克圖懇免派兵及

噶布倫等不能辦糧之語實屬無謂朕披覽之

下殊負朕憐念伊等之心今覽達賴喇嘛具懇

忱想伊等追悔前非轉念及此朕嘉達賴喇

嘛之誠諭令官兵所用之糧仍官爲給價所有

調集之唐古特兵即由此項糧石內酌量賞給

俱著作爲朕旨與達賴喇嘛之意而行看來達

賴喇嘛人甚明白益見汝二人之罪甚屬不曉

事體再前曾降旨令慶林將班禪遷移前藏原

恐賊衆漸近恐至扎什倫布地方班禪年幼或致驚悸乃預爲籌畫之計慶林只宜揆度賊勢

酌量辦理乃賊匪並未過脅噶爾地方慶林遽

將班禪遷移前藏實屬過於張皇況班禪尚在

幼齡不免驚悸即該處人衆見班禪業經移住

必生疑懼之心慶林豈念不及此耶今賊匪已

漸次逃散即日即可完事巴忠到彼慰勞達賴

喇嘛班禪額爾德尼後仍著慶林護送班禪回

至扎什倫布以資安禪再慶林摺內指示噶布

倫之語亦甚不當賊衆今又退散一站地方乃

慶林仍復行知噶布倫等令其奮力剿賊不可

稍懈之語益見慶林怯懦已極著傳諭巴忠到

彼時於達賴喇嘛班禪前傳集噶布倫等將慶

林種種錯謬面加詈斥至唐古特兵丁應如何

操演訓練及派撥防守所有一切善後事宜著

巴忠即遵照節次諭旨會同鄂輝等妥立章程

悉心定議具奏本日又據普福奏於西寧所屬

稽查卡倫嚴爲防守一摺此時巴勒布賊匪業

經逃散不日即可嚴事普福此奏如係青海照

例卡倫則已若爲堵禦巴勒布賊匪而設則斷

不必紛紛調遣徒滋擾累所有本日慶林奏到

之摺及所降諭旨抄寄普福閱看遵照辦理普福著即傳知青海蒙古王公俾各放心將此由六百里加緊各傳諭知之雅滿泰此時想已抵後藏現在賊勢情形如何並著迅速覆奏又奉勅諭達賴喇嘛班禪額爾德尼知悉據慶林奏達賴喇嘛等前曾捐辦炒麵等物四千六百餘石今復捐出牛一千一百頭羊一萬隻不肯支領官價以備接濟征兵之用等語達賴喇嘛所請甚是實屬曉事可嘉此次派內地官兵進剿巴勒布賊匪實因達賴喇嘛如朕股肱心膂而唐古特之黃教黑人即視同赤子是以巴勒布賊擾後藏邊界朕心甚為懼念特派將軍大臣帶領勁旅數千前往剿捕朕晝夜憂勤多方籌畫原為安輯黃教及衛藏人衆永遠寧謐之計但

內地距西藏迢迢數千餘里糧餉一切運送維艱況西藏地方素有積蓄征兵所需糧石自應於彼處採辦乃慶林雅滿泰不曉事體並未籌辦先事張皇預為推卸地步今達賴喇嘛捐辦糧石牛羊不肯領價具見誠悃實屬可嘉此皆達賴喇嘛仰體朕心捐助糧石等物其感激愛戴出於至誠第商上所貯糧石原係養贍衆喇嘛之用若以之接濟征兵不給價值朕心實有不忍著將給過官兵米糧牛羊若干即照數官為給價續即買補還商俾衆喇嘛等藉資養贍至唐古特兵丁亦必需用口糧著即作為朕旨與達賴喇嘛之意於此項糧石內量加賞給至達賴喇嘛於此一事盡心籌畫倍極賢勞班禪年齒尚幼恐致驚博朕心深為懼注早經特遣

侍郎巴忠扎薩克喇嘛葛勒克

那烏齊爾德

上詣弘仁寺仁壽寺極樂世界大西天

英華殿拈香是日內閣奉

視並賚賜珍珠念珠哈達等物想此時誠匪俱
經逃竄巴忠到彼仍著慶林照料班禪額爾德
尼回至後藏安禪以副朕體恤至意

是日

起居注官陳崇本塘五珠

二十六日甲申

上詣清淨化城

大高玄殿拈香

壽皇殿行禮

駕還宮

是日

起居注官鐵保王懿修

二十七日乙酉

諭旨據何裕城伍拉納浦霖奏此次應試年老各
生江西省年屆八十以上者一人福建省年屆
八十五以上者三人湖南省年屆九十以上者一
人俱三場完竣未經中式等語該注等年臻耄

產踴躍觀光精神矍鑠允為

林盛事所濟江

西生員鄧岳福建生員王奕年陳友仁李紹灝

湖南生員李洪福俱著加恩賞給舉人准其一

體會試以示朕壽考作人嘉惠耆齡至意又奉

諭旨何裕城奏南昌等八縣被水地畝秋成失望

本年應徵漕糧不能依期完納等語南昌等縣

被水成災業經降旨撫賑兼施農民自可不致

失所但本年尚有應徵漕糧若令依期完納民

力仍未免拮据所有南昌新建進賢鄱陽餘干

德興建昌都昌八縣被灾各戶本年應徵漕糧

著加恩緩至來年秋熟後一併徵收以示朕軫

念災區有加無已至意該部即遵諭行是日吏

部議浙江巡撫琅玕奏東陽縣知縣員缺准

以候補知縣徐傳一補授一疏奉

一疏奉

諭旨許定國依擬用餘依議又議雲貴總督富綱

奏貴州清江協右營守備員缺准以威寧鎮

標千總余文章陞補一疏奉

諭旨余文章依議用餘依議

是日

起居注官王保陳嗣龍

二十八日丙戌內閣奉

諭旨勒保奏滿員知縣乏人差委請旨揀發四員

分發來甘以資委用等語著派出驗看月官之

福康安彭元瑞胡季堂管幹珍阿彌達會同該

部於滿洲候補候選知縣大員內照例揀選到

見發往又奉

諭旨本年江南豫省河工自夏秋以來黃運湖河

守璞引

水勢盛漲各工搶護平穩現在霜降已過秋汛

安瀾該督等督率在工人員防汛護工均屬奮

勉書麟李奉翰陞任巡撫畢沅蘭第錫俱著交

部議叙其在工出力文武各員並著該督等查

明咨部照例議叙是日兵部議雲貴總督富綱

見奉

諭旨郭守璞准其陞署定州直隸州知州又帶領

前署山西巡撫明興奏請陞署汾州府同知

之現任大同縣知縣程沅引

見奉

諭旨程沅准其陞署汾州府同知所遺大同縣知

縣員缺准其將左雲縣知縣孫捷三調補又帶

領大計卓興甘肅廸化州知州孝順阿安徽

寧國府同知王湖山西大同府豐鎮同知明

昆河南鄧州知州張文炯江蘇高淳縣知縣

李維梅浙江烏程縣知縣李坦引

見奉

諭旨鄭文泰著回任又帶領直隸總督劉峩奏請

諭旨孝順阿王湖明昆張文炳李維梅李坦俱准

其卓異加一級仍註冊回任候陞又正藍旗滿

洲都統奏補包衣參領員缺帶領正陪人員

引

見奉

諭旨永寧著補授包衣參領又廂藍旗滿洲都統

奏補世管佐領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨富興之世管佐領著納英承管和彌額之世

管佐領著特通額承管又廂藍旗蒙古都統奏

補西安佐領員缺帶領保送人員引

見奉

諭旨德成著補授西安佐領自是日始

上以孟冬時享

太廟致齋三日

是日

起居注官嵩貴陳萬青

二十九日丁亥內閣奉

諭旨步軍統領衙門奏據原任員外郎楊樞中書

李瀚呈稱山東鹽運使指伊等故父之名令其
承辦南路鹽引無力承充求免認辦等語此案

前經長麟穆騰額具奏山東行運南引每多竭

蹶請將當商李岱源楊伯儒接辦原係就該處

情形通融籌辦是以部覆上時暫予准行並非

令紛紛派累致啟僉商弊端今既據楊樞李瀚

呈稱伊等之父物故後家道零落不能承充事

闕運課行銷是否係實在情形必須徹底查辦

如楊樞李瀚家道豐盈有心推諉自應仍令充

當治以捏飾之罪倘楊樞等實無力行銷亦

未便令其領運致悞引課而滋姦商流弊著派

伊齡阿帶同楊樞由驛前往山東就近傳集李

瀚會同長麟穆騰額秉公查辦具奏是日兵部

議雲貴總督富綱奏貴州威寧鎮標右營都

司員缺准以候補都司宋延清補授一疏奉

諭旨宋延清依議用餘依議又議兩廣總督孫士

毅奏廣西義寧協中軍都司員缺准以提標

守備郭大資陞補一疏奉

諭旨郭大資依議用餘依議

是日

起居注官鐵保方焯

三十日戊子卯刻

上御中和殿視時享

太廟祝版是日內閣奉

諭旨海寧奏山西大同朔平二府屬上年被旱成

災收成歉薄今歲雖獲有收若將新舊錢糧兼

出借穀石一併徵收民力恐有未逮等語大同

朔平二府上年被旱成灾收成歉薄屢加賑恤

蠲緩兼施並酌借口糧籽種以資耕作本年秋

未成熟本應一律徵收但念該處甫當灾歉之

後新舊錢糧及所借穀石爲數較多若同時輸

將民力恐不免拮据所有大同朔平二府屬豐

鎮左雲右玉等十一廳州縣新舊應徵並出借

籽種共銀十九萬三千四百七十餘兩穀豆二

十一萬二千二百餘石俱著加恩分作兩年徵

收以紓民力又各廳州縣尚有應行買補平糴

穀六萬六千七百四十餘石亦著分作兩年買

補俾民間易於完納蓋藏益資寬裕該部遵諭
即行是日左翼前鋒統領奏補正白旗前鋒參

領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨額爾景額著補授前鋒參領又正白旗護軍
統領奏補護軍參領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨峴泰廣泰俱著補授護軍參領安福著補授
副護軍參領又正藍旗護軍統領奏補委署護
軍參領員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨瑞慶著補放委署護軍參領

是日

起居注官葉觀國王保陳崇本德昌

乾隆五十三年歲次戊寅冬十月丙子二日己

丑寅刻

上詣



太廟行時享禮畢是日內閣奉

諭旨劉裁奏宣化府屬蔚州北門子等九十九村

西寧縣石寶莊四十村懷安縣西陽河等十五

村于八月初旬雨中帶電田禾間有折損未能

種俾資接濟該部遵諭即行又奉

諭旨贊禮郎恒傑著加恩以戶部員外郎用

是日

起居注官錢保陸伯焜塘五珠曹城

初二日庚寅卯刻

上御乾清門聽政部院各衙門官員面奏併帶領

侍班司員引

見畢大學士嵇璜大學士伯和珅大學士王杰協

辦大學士吏部尚書劉墉內閣學士扎郎阿

依蘭太張若渟胡高望以折本請

旨覆請吏部奏補光祿寺御員缺將應陞人員開

列請

簡一疏

上曰蔣曰綸補授光祿寺卿入覆請吏部奏補順

應征新舊錢糧倉穀俱著緩至次年麥熟後征
收以紓民力仍著該督酌量情形借給口糧籽

天府府丞員缺將應陞

員開列請

簡一疏

上曰王爾烈補授順天府府丞又覆請吏部議兩江總督書麟奏銅山縣知縣員缺請以阜寧

縣知縣福慶調補查該員歷俸未滿與例不符既經該督專摺奏請可否准其調補一疏

上曰福慶准其調補餘依議又覆請戶部議索倫等處進貢貂皮不及等第毋庸賞賜一疏

上曰依議今年進到貂皮雖不及等第但既已足數著減半賞給又覆請兵部議吉林將軍咨該

處騎校江保年老患病准以休致查該員曾經出兵打仗殺賊得功牌可否給俸一疏上曰江保曾經出兵打仗殺賊得功牌著以原品

休致給與全俸以養餘年又覆請兵部議察哈爾都統咨該處護軍校伊什札布捕盜六品官索諾木車靈俱年老患病應准休致查伊什札布曾經出兵打仗殺賊得功牌可否給

俸一疏

上曰伊什札布等著以原品休致伊什札布曾經出兵打仗殺賊得功牌給與半俸以養餘年又

覆請刑部奏李六等應追入官銀錢無力完繳照例准其豁免一疏

上曰李六等應追銀錢准其豁免又覆請刑部等

衙門議

盛京戶部侍郎兼管奉天府府尹事務宜興奏曹煥章毆傷李瑞至保辜限外身死依律擬綏監候查李瑞係在保辜限外身死依律擬否減

等發落一疏

上曰曹煥章毆傷李瑞至保寧限外身死著從寬免死照例減等發落餘依議是日內閣奉

諭旨畢沅奏安襄鄖道蕭應植現患風疾病症未能即就痊愈請解任調理等語蕭應植著准其解任回籍調理所遺湖北安襄鄖道員缺著由鳳儀補授是日吏部帶領九月分月選官錄掣

戶部江西司主事王中汎直隸肅縣知縣莫
墓山西定襄縣知縣丁發瑜廣東從化縣知
縣趙驥福建福安縣知縣阮曙福建永安縣
知縣饒文漪湖北遠安縣知縣孫存禮直隸
柏鄉縣知縣陳堯光福建光澤縣知縣沈沆
雲南恩安縣知縣李登瀛廣東曲江縣知縣
熊聖清直隸新安縣知縣王濤引

見奉

諭旨王中汎等依擬用掣得湖北遠安縣知縣之

孫存禮著調補福建永安縣知縣所遺遠安縣

知縣員缺著掣得永安縣知縣之饒文漪補授

餘依議又帶領本年六月分錄陞內閣典籍甄

松年二月分錄陞通政司經歷宋本敬五十

二年十二月分錄陞四川潼川府知府蘇文

輔十月分錄陞廣西柳州府知府順楊保八

月分錄陞湖南茶陵州知州王潤十二月分

錄陞貴州廣順縣知縣戴洪恩補行

見奉

諭旨甄松年等依擬用餘依議又廂藍旗滿洲都統奏補杭州協領佐領員缺帶領正陪人員

見奉

諭旨常德著補授協領西拉布著補授佐領又廂

黃旗蒙古都統奏補參領等缺帶領正陪人

員引

見奉

諭旨多海著補授參領承續著補授副參領明福

著補授印務章京策巴著補授公中佐領

是日

起居注官玉保德昌陳嗣龍陳萬青

初三日辛卯吏部議山東巡撫長麟奏青州
府海防同知員缺准以候補同知李載陽補

授一疏內閣奉

諭旨李載陽依議用餘依議

是日

起居注官陸伯焜塘五珠

初四日壬辰辰刻

上御懋勤殿大學士嵇璜大學士伯和坤大學士

王杰協辦大學士吏部尚書公福康安協辦大

學士吏部尚書劉墉刑部尚書喀寧阿胡高

堂侍郎穆精阿阮葵生內閣學士阿肅胡高
望以刑科覆奏九卿詹事科道秋審湖廣省

情實罪犯應勾決者共一百一十名請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至舊列情實之斬犯曹受魏加功致斃二案

章等十三名

上命俱仍著停決

閱至新列情實之斬犯曹受魏加功致斃二案

上曰曹受兇年甫十一雖屬幼劣究係畏懼聽從首犯主使且首犯業已正法情稍可原著停決其新列情實之斬犯張鈞等二十九名絞犯周大雄等五十三名俱情罪重大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日内閣奉

諭旨據慶桂等奏奉天所屬等處自六月至七月

霑雨屢降廣寧等七城被水成災五六分不等應行賑濟豁免之處容另行查明辦理等語本

年雨水過多奉天所屬廣寧等七城地方被災殊堪憫恤自應妥為接濟無致失所著文慶桂等查明被災人數應行酌借口糧蠲賑各事宜照例即行辦理但黑龍江偶被水災早經具奏

實授一疏奉

諭旨馮亨依議用餘依議又禮部議前任四川總督保寧奏成都縣壽民劉萬迎現年一百一

歲准照例給銀建坊一疏奉

諭旨依議劉萬迎著加恩賞給上用緞一匹銀十

兩又奉

諭旨據福崧奏稱烏什印務處辦事之員外郎富爾松阿所遺員缺請另派員前往等語著吏部照例于各部院司員內揀選帶領引見發往又兵部奏雲南撫標右營守備員缺擬以預

何以慶桂等遲延至今始行查明具奏其應行賑濟之事尚未即辦理仍稱另行請旨更屬拘泥慶桂等著飭行是日吏部議陝西巡撫巴延三奏署雄南縣知縣馮亨試俸期滿准

保千總趙興掣補一疏奉

諭旨趙興依據用餘依議又帶領棟補河南城守

營參將漢軍副參領恭鴻輕車都尉得麟引

見奉

諭旨河南城守營參將員缺著恭鼎補授又帶領

推陞廣東惠來營遊擊英偉引

見奉

諭旨英偉准其陞用廣東惠來營遊擊著赴新任

又帶領題補湖南長安營遊擊綽爾渾甘肅

西寧鎮標右營遊擊馬榮湖南辰州協中軍

都司尹尚榮浙江紹興協右營都司陳文瑞

山東文登營都司羅文鑑引

見奉

諭旨綽爾渾准其補授湖南長安營遊擊馬榮准

其補授甘肅西寧鎮標右營遊擊尹尚榮准其

補授湖南辰州協中軍都司陳文瑞准其補授

浙江紹興協右營都司羅文鑑准其補授山東

文登營都司俱著赴新任又帶領預行保舉之

陝西延綏鎮標中營守備楊潭引

見奉

諭旨楊潭准其額保註冊更正白旗滿洲都統奏

補世管佐領員缺帶領承襲人員引

見奉

諭旨富旺之世管佐領著富寧承襲蒼策之世管

佐領著景和承襲又奏補互管佐領帶領承襲

人員引

見奉

諭旨伊江阿著承襲互管佐

是日

起居注官嵩貴鐵保陳崇本陳嗣龍

初五日癸巳

上御太和殿視朝王公大臣及文武陞轉各官行

謝

恩禮畢是日內閣奉

諭旨據全德奏兩淮商人呈稱本年楚省荊州被

水堤崩沖漫該處為行銷淮鹽綱地轉運所資

情關休戚情願公捐銀一百萬兩稍助公賑之

需請於運庫解部項下先行借支自來年己酉

綱起分五年帶納歸款等語荊州護城堤潰決
被淹早經發帑賑卹修築堤工城垣以資保障

茲據該商等具呈懇請捐輸情詞懇切著照所

請准其於運庫借支分年帶完歸款並著加恩

交該鹽政查明捐輸各商送部照例議叙湖北

為淮商銷鹽之地向有匣費陋例為數不貲今

已清查嚴禁地方官吏不敢復行擾累商人等

鹽引暢銷永免需索每年所省浮費較之此次

公捐之數不啻倍蓰是以俯如所請至長蘆山

東河東廣東浙江等處非兩淮可比若因淮商

現有捐輸之舉紛紛籲請轉非朕體恤各商之

意著傳知各該鹽政俱無庸代為陳奏是日吏

部議四川總督李世傑奏署石泉縣知縣郭

榮試俸期滿准實授一疏奉

諭旨郭榮依議用餘依議又議湖南巡撫浦霖奏

衡陽縣知縣員缺請以署麻陽縣知縣黃允

洙調署查該員歷俸未滿與例不符就經該

撫專摺奏請可否准其

諭旨黃允洙准其陞署餘依議又帶領棟發甘肅

候補知縣達洪阿等八人

見奉

諭旨達洪阿豐延泰慶齡齊默特俱著發往甘肅

交與該督差遣委用又帶領擎獲行刑外洋盜

犯楊應瓏等之浙江平湖縣知縣王恒引

見奉

諭旨王恒著回任以同知用又帶領擎獲隣境行

刺盜犯池山等之安徽署盱眙縣知縣事壽

州州同周承章引

見奉

諭旨周承章著仍回原省以知縣用又帶領直隸

總督劉峩奏請陞署東路同知之現任蔚州

知州汪大鏞引

見奉

諭旨江大鏞准其陞署東路同知又帶領劉峩奏

請陞補密雲縣知縣之現任以州同借補開

州州判徐士俊引

見奉

諭旨徐士俊准其陞補密雲縣知縣又帶領山東

巡撫長麟奏請陞補維縣知縣之現任章邱

縣縣丞徐國才引

見奉

諭旨徐國才准其陞補維縣知縣又帶領雲南巡

撫譚尚忠奏請陞補元江州直隸州知州之

現任廣通縣知縣歐陽金引

見奉

諭旨歐陽金准其陞補元江州直隸州知州所遺

帶領正陪人員引

廣通縣知縣員缺准其將委用知縣董樞署
理又帶領大計卓異之浙江杭州府知府善

泰引

見奉

諭旨善泰准其卓異加一級仍註冊回任候陞又

帶領辦硝遲延五月以上照例革職之江南

碭山縣知縣朱續攷引

見奉

諭旨朱續攷著以簡缺知縣用革職之案帶於新

任又帶領于應徵徒罪人犯患病取保脫逃照

例降調之安徽鳳陽縣知縣謝承遠引

見奉

諭旨謝承遠著仍發往原省以知縣用降級之案

帶于新任又正紅旗滿洲都統奏補世管佐領

諭旨倭興額之世管佐領著穆克登額承管又正

紅旗蒙古都統奏補察哈爾副叅領京城佐

領杭州佐領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨得勒格楞桂著補授察哈爾副叅領烏魯圖

著補授公中佐領陳奎著補授杭州佐領

是日

起居注官玉保陳萬青塘五珠方煒

初六日甲午

上詣永安寺拈香是日兵部議署陝甘總督勒保

奏甘肅大通協副將員缺准以陝西撫標中

軍參將素爾善補授所遺缺准以陝西撫標前

見奉

營遊擊富成補授一疏內閣奉

諭旨素爾善補授甘肅大通協副將富成依議用
餘依議又議兩廣總督孫士毅奏廣東澄海協
中軍都司員缺准以達濠營守備周應朝補
授一疏奉

諭旨周應朝依議用餘依議又議多羅定郡王薰

理步軍統領事務綿恩咨署巡捕南營東河
沿汎守備王永功服制已滿准實授一疏奉
諭旨王永功依議用餘依議

是日

起居注官陸伯焜瑭五珠

初七日乙未吏部議烏嚕木齊都統咨回民
蒲金朝扎傷姚世友吳大用均經平復遺漏
行文失于查察之刑部堂司各官照例罰俸

見奉

一疏內閣奉

諭旨喀寧阿胡季堂俱著罰俸六個月阮葵生著
銷去紀錄一次其從前罰俸四個月之處仍注
于紀錄抵銷餘依議又廂紅旗滿洲都統奏補
荊州佐領吉林防禦員缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨伊吉哈著補授佐領扎爾非善著補授佐領
又廂紅旗蒙古都統奏補察哈爾參領公中
佐領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨巴圖章嘉著補授參領阿爾噶拉器著補授

公中佐領又廂紅旗漢軍都統奏補世管佐領
等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨趙永常之世管佐領著趙永恒承襲柳國樸

著補授公中佐領

是日

起居注官鐵保王懿修

初八日丙申辰刻

上御懋勤殿大學士松璜大學士伯和珅大學士

王杰協辦大學士吏部尚書公福康安協辦

大學士吏部尚書劉墉刑部尚書喀寧阿胡

季堂侍郎穆精阿姜歲內閣學士阿肅胡高

望以刑科覆奏九卿詹事科道秋審江西安

徽二省情實罪犯應勾決者共八十八名請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閥至江西省舊列情實之斬犯祝涓等十一名敍

犯楊宣俚等七名安徽舊列情實之斬犯程煥等八名絞犯關升等七名

上命俱仍著停決

閥至江西省新列情實之絞犯傅體舒因姦致斃

姦婦一案

上曰傅體舒本非犯姦之人釁起死者持刀向砍

該犯拾石回毆致斃死係無恥姦婦情稍可原

著停決

閥至絞犯康厥振語言調戲致婦羞忿自盡一案

上曰康厥振因語言調戲致本婦羞忿自盡尚無

手足勾引情尚可原著停決

閥至安徽省新列情實之絞犯朱吉私拷竊匪斃

命一案

上曰朱吉雖係私拷斃命但_{犯奉旨拘拿死者}

本係竊匪又無索詐別情稍有可原著停決其
江西省新列情實之斬犯羅有洪等六名絞

犯蔡姜發等十名安徽省新列情實之斬犯

徐章等十名絞犯尚朝等二十六名俱情罪
重大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日吏部議於臺灣地方棍徒蠹役實力

整頓之福建巡撫徐嗣曾遵

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨徐嗣曾著將加一級抵前降一級餘依議

是日

起居注官王保德昌陳萬青方焯

初九日丁酉內閣奉

諭旨京城廣寧門外普濟堂冬間施捨貧民經費

米石恐不敷用著加恩將京倉內之小米賞給
三百石以資接濟又奉

諭旨貴州鎮遠鎮總兵員缺著哈芬布補授是日

工部議于應解乾隆五十二年分河庫銀兩

照數全完之直隸布政使梁肯堂等照例紀

錄一疏奉

諭旨梁肯堂著紀錄一次餘依議又吏部奏補湖

廣道福建道江南道監察御史等缺帶領原

任掌江南道監察御史尹文麒並記名以御

史用之翰林院編修吳敬輿等引

見奉

諭旨湖廣道監察御史員缺著李榮補授福建道

監察御史員缺著尹文麒補授江南道監察御

史員缺著丘泰補授又帶等授行刑部員外郎省盜

犯劉剛等收緝獲各案預匪田玉堂之山東

泰安縣主簿陳籍引

見奉

諭旨陳籍著回任以知縣用又帶領兩江總督書
麟奏請陞署邳州知州並大計卓異之現任
南匯縣知縣任兆炯引

見奉

諭旨任兆炯准其于知縣任內卓異加一級陞署
邳州知州又帶領浙江巡撫琅玕奏請陞署平
陽縣知縣之現任平陽縣縣丞朱泰曾引

見奉

諭旨朱泰曾准其陞署平陽縣知縣又帶領大計
卓異之

判李亨特陝西耀州知州袁名器浙江上虞

縣知縣鄒宏贊引

見奉

諭旨克什訥李亨特袁名器鄒宏贊俱准其卓異
加一級仍註冊回任候陞又帶領失察軍犯安
振青札傷薛綏邦身死約束不嚴照例降調

之陝西安定縣知縣邵前徽引

見奉

諭旨邵前徽著仍發往原省以知縣用降級之案
帶于新任

是日

起居注官王保方煥

初十日戊戌刑部等衙門

三奏定邊縣民梁伏桐

律擬絞監候查米姬氏係在保寧限外身死

可否援例減等發落一函內附奉

諭旨梁伏桐札傷米姬氏至保寧限外身死

寬免死照例減等發落餘依議又廂紅旗護軍

統領奏補委署護軍叅領員缺帶領正陪人

見奉

員引

諭旨永安著補授委署護軍叅領

是日

起居注官嵩貴陳崇本

十一日己亥

上詣正覺寺拈香

駕幸圓明園是日內閣奉

諭旨昨頒賞直省督撫御筆仿李迪難離待飼圖

墨刻各一分蓋因朕軫念民依勤求撫字即雖
哺之微寓牧民之旨是以特加摹勒普行頒賜
非徒以幾餘游藝留情于繪事詩章僅令各督
撫珍藏寶玩已也實欲督撫等體朕惠愛黎元
之心時時以保赤為念遇有灾賑事務實心經
理勿忘小民嗷嗷待哺之情庶幾視民如子克
稱父母斯民之責凡身膺民牧者並宜咸喻斯

旨承宣德意方為仰體朕懷著各督撫于接奉
後觸目警心勿僅視為尋常詩畫並照式多為
摹刻遍及藩臬道府各州縣等俾咸知留心民
瘼勉奏循良以期無負朕教誨勤拳至意將此
通諭知之又奉

諭旨據慶林奏照料班禪額爾德尼回藏前藏接

奉申飭諭旨稱伊已與雅

噶爾丹

乃赴

倫布地方後又接奉著雅滿泰前往後藏之旨
雅滿泰即前往扎什倫布地方去訖令成德到

彼令雅滿泰來至前藏慶林連注扎什倫布地

方去等語慶林竟屬病狂從前伊託辭照料班
禪額爾德尼來至前藏竟將後藏棄擲于一庸
懦之仲巴胡圖克圖矣扎什倫布地方何可無

大臣在彼倘若班禪額爾德尼去後衆心散亂

扎什倫布地方被賊佔據更屬不成事體曾經
申飭慶林慶林並不認罪胆敢在朕前詐稱伊曾言
定仍欲前往扎什倫布地方等語竟不成話似
此糊塗尚敢在朕前取巧具奏豈能逃朕洞鑒
慶林著革去公爵賞給頭等侍衛仍留在彼協
同雅滿泰辦事効力贖罪慶林之世襲公爵著
交該旗或揀選班第子嗣或巴祿之別子承襲

慶林之子不必承襲是日吏部議于所屬霍邱
縣隱漏地畝不行查出催辦之前任安徽巡
撫李質穎等照例降級一疏奉

諭旨李質穎閔鶚元俱著降一級留任其因隱漏
地畝不行查出議以降調之張家琰著該督撫
出具考語送部引見再降諭旨餘依議

是日

起居注官王保曹城

十二日庚子內閣奉

諭旨徐嗣曾據護臺灣道楊廷理稟報在嘉義平
埔山邊將黃天養拏獲發交局員錢受椿審訊
該員再四盤詰根出莊天畏蹤跡即親帶丁役
馳赴內山將莊天畏拏獲供緣莊明內逃入內
山復經莊潭蕭然二犯引~~帶~~送至~~署~~大議

山寮內藏匿被獲請將窩留之莊潭蕭然擬斬立決莊天畏黃天養解京審辦等語莊天畏係莊大田之子被大兵勦散逃亡據福康安具奏訊問拏獲匪犯等雖供稱業被生番殺死所供究不足信仍應交該地方文武通行嚴緝以淨根株其黃天養一犯係為莊大田管種田畝之犯亦應一併飭拏務獲今徐嗣曾督飭

歲三場完竣未經中式等語袁旻年逾八旬精神矍鑠踴躍觀光實為儒林嘉瑞袁旻著加恩賞給舉人准其一體會試以示朕壽世作人嘉惠者齡至意又奉

各屬嚴密查拏楊廷理錢受椿俱能認真緝捕根究踪跡將要犯按名拿獲實屬可嘉徐嗣曾楊廷理錢受椿均著文部從優議叙其莊天畏黃天養二犯即著該撫派委妥員小心解京審辦莊潭蕭然胆敢容留逆屬即與惡黨無異應如該撫所擬即行處斬以示懲創又奉

諭旨據譚尚忠奏琅鹽井學歲貢袁旻年八十四

數具奏在先逼迫該縣通報以符奏案茲因清查叛產犯屬查出許懷等至今尚在隨將許懷等復加研訊委無從賊情事質之原保人等亦俱供証相符除已故之賴天足等十一名外已將許懷等二十四名概行省釋前任知縣陳良翼扶同柴大紀混行通報依律擬斬繩縛等語

柴大紀自到諸羅後恆怯畏壞每欲奏報禁賊

情形妄稱俘馘多名以掩其株守不前之罪即
義民兵丁緝獲匪犯亦俱稱臨陣生擒飾詞入
告種種詐妄不實賣官婪索已出情理之外茲
復查出許懷等三十五名被兵民悞拿尚在羈
禁候訊柴大紀先已開單具奏混開正法七名
戮屍七名及該縣陳良翼訊明實係良民柴大
紀必欲迴護原奏按名正法爭執再三復令該
縣扶同裡報始准釋放是柴大紀妄奏冒功勝
混迴護幾令無辜良民數十人陷於重辟情節
尤為可惡柴大紀已於前案正法核其所犯貪
詐之罪必須將伊子一併懲治方蔽厥辜從前
甘省冒賑案內因王亶望賊私狼藉施累多人
釀成巨案罪浮於法是以查明伊等之子發往
伊犁今柴大紀貽悞軍機失陷地方又復挾詐

欺罔拖陷無辜尤非王亶望等止於貪婪玩法
者可比著將柴大紀之子查明發往伊犁給與
兵丁為奴以示懲儆餘著該部核擬具奏又奉
諭旨古州鎮總兵馬詔蛟昨奏到秋收分數本日
又奏請陞見兩日之內連遞二摺馬詔蛟自係
專差一人齎遞故令差弁分日呈進殊屬有心
取巧前柴大紀曾有兩摺分日呈遞之事朕以
其居心狡詐曾經降諭旨由臺灣調回內地
嗣緣剿捕生番仍令回任該鎮豈未閱過邸抄
乃復蹈柴大紀之故轍耶馬詔蛟著交該部議
處並嚴行申飭本年亦不准陞見著于明年十
月內來京瞻親是日兵部議兩江總督書麟奏
江南青村營都司員缺准以提標前管寧備

李長柱補授一疏奉

諭旨李長柱依議用餘依議

入刑部等衙門錄存

任護理福建巡撫伍拉納

奏平和縣民李

截傷李滿身死依律擬

監候審辦滿格在

保辜限外身死可否援例減等發落一疏奉
諭旨李嚴截傷李滿至保辜限外身死著從寬免

死照例減等發落餘依議是日步軍統領衙門

奏據江西廬陵縣監生湯鼎呈控伊叔祖湯

師文前在湖南因私販銅觔問擬徒罪今有
歐陽和昌等亦在湖南販運私銅經湘潭縣
拿獲不為辦理等情請交湖廣總督審辦一

摺奉

諭旨此案著交畢沅提集案犯東公查審定擬具

奏原告湯鼎著照例遞解備質

是日

起居注官錢保方煒

十三日辛丑內閣奉

諭旨據琅玕奏本年浙省鄉試諸生中年逾八十

以上之貢生徐愛蓮陳兆鳴附生劉方振王震
安鄆宗望宋佳玉等六名俱三場完竣未經中

式等語徐愛蓮等年逾八旬精神豐饒踴躍觀

光洵為藝林嘉瑞徐愛蓮陳兆鳴劉方振王震

安鄆宗望宋佳玉俱著加恩賞給舉人一體會

試俾皓首窮經得償夙願用昭壽世作人至意

是日兵部議兩江總督書麟奏江南提標中
軍參將員缺准以提標後營遊擊曾攀桂補

授一疏奉

諭旨曾攀桂依議用餘依議

入正藍旗火器營總

管奏補委署烏鎗護軍參領員缺帶領正陪

人員引

見奉

諭旨湛福著補授委署烏鵲護軍叅領

是日

起居注官陸伯焜德昌

十四日壬寅內閣奉

諭旨孫士毅奏廣西右江鎮總兵蒼保烟瘴僕滿

例應撤回內地該鎮現在辦理邊防請俟軍務
完竣再行撤回等語蒼保著照該督等所請留
辦邊防俟軍務完竣再行撤回該部知道摺并
發是日吏部議署河南巡撫梁肯堂奏懷慶府
知府員缺准以候補知府杜琮補授一疏奉
諭旨杜琮依議用餘依議

是日

起居注官王懿修塘五珠

十五日癸卯內閣奉

諭旨文淵文源等閣藏弆四庫全書上年派六阿
哥八阿哥劉墉彭元瑞督同詳校官重加校正
惟留空未補各函或因繕寫未竟或因纂辦未
完尚未歸函揷架亟應予限嚴催毋任延緩所
有武英殿國史館方畧館三通館繕書房承辦
各種書籍著派八阿哥彭元瑞金簡會同該館
總裁督飭纂修謄錄等上緊赶辦其四庫館應
辦各書現在該館已撤即交武英殿辦理應用
繕寫之費在于議叙謄錄等罰交項下按數支
用惟各館分投趕辦稽察為難並著軍機大臣
定立限期隨時查核以期迅速完竣又奉

諭旨舒濂現今調減所遺伊犁叅贊員缺理宜另

放但此際不得人恒瑞先在臺灣獲罪雖冒奏添兵而究竟為公事起見尚可寬宥著加恩賞給恒瑞副都統職銜作為伊犁叅贊幫同保寧

辦事又奉

諭旨永鐸目疾不能痊愈盛京將軍員缺緊要都爾嘉著調補盛京將軍都爾嘉所遺員缺著恒秀調補吉林烏拉將軍麟寧著補授黑龍江將

軍麟寧所遺員缺著海祿補授山海關副都統又奉

諭旨西安將軍職任緊要嵩椿年久練達著調補西安將軍興兆著調補綏遠城將軍是日吏部議承辦江南河營朋扣銀兩舛錯之工部堂司各官照例罰俸一疏奉

諭旨福長安金簡俱著罰俸三個月趙瑛阿彌達

罰俸三個月之處著註于紀錄抵銷韓鑄著銷去紀錄一次免其罰俸餘依議又兵部議雲貴總督富綱奏署雲南龍陵協副將蘇爾相歷俸期滿准實授一疏奉

諭旨蘇爾相補授雲南龍陵協副將餘依議又議于所屬兵丁接遞同安縣減流人犯呂辰賄囑郭大頂替臺無覺察之福建沿途武職各

員照例分別降調一疏奉

諭旨依議其因接遞頂替流犯未能查出議以降調之侯世臣吳國麟俱著該督撫出具考語送部引見

是日

起居注官嵩貴陳崇本

乾隆五十三年歲次戊申十一月初一日已未內閣奉

諭旨本日吏部帶領押運抵通之江西同知衛謀
通判周載蘭引見已著回任矣此等押運之員
自應於漕運抵通兌收完竣即行送部引見以
便仍令該員押送回空今漕船業已回空南下
始令運員赴部該員等引見後再行起程則回

空漕船早出東境即迅速起身已不及趕赴雖
該幫尚有運弁押送但伊等押運是其專責似
此給咨遲延豈不耽誤嗣後凡有押運官員應
送部引見者倉場侍郎等務於該員兌運事竣
即行給咨送部毋得延緩蘇凌阿劉秉恬辦理
遲悞著飭行又奉

諭旨據浦霖奏湖南華容岳州衡武陵龍陽澧州

等屬因六月下旬荆水下注又值湖水倒漾被
淹田畝水退稍遲收成止五分有餘等語該省
武陵龍陽澧州三州縣被水雖較華容安鄉為
輕但收成止五分有餘若照例徵收民力恐不
能寬裕華容安鄉二縣前已降旨緩徵著加恩
將武陵龍陽澧州三州縣下半年錢糧照例一
併緩徵其華容岳州衡武陵龍陽四屬帶徵五
十年被旱緩徵錢糧及借給籽種口糧未完銀
穀又武陵縣五十二年被水緩徵未完錢糧
俱緩至次年秋成後再行徵收以紓民力該部
即遵諭行又奉

諭旨福康安現令前往福建署理閩浙總督所有
吏部尚書仍著綽克托署理不必兼辦戶部事
務又奉

諭旨昨由兵部帶領引見直隸大名副將福瑞乃
兆德之子世家子弟久歷外任恐染綠營習氣
加恩將伊留京署理鑲紅旗蒙古副都統德勒

克楞貴之缺又奉

諭旨據保寧等奏索倫部落所遺佐領等缺擬定
正陪請旨補放等語著照保寧等所奏碩布柰
所遣佐領一缺著擬正之驍騎校西普屯補授

都爾圖瑪所出防禦一缺著擬正以防禦用之
主事職銜伊精阿補授所遣驍騎校一缺著空
銜藍翎貝勒圖補授其補授佐領人員遇便來

京補行帶領引見是日吏部帶領棟發湖北候
補通判木特布等四員候補知縣李印川等
十員引

見奉

諭旨木特布寶善著以通判用李印川吳希灝史
之煜明良仲詒果王霈霖著以知縣用俱發往
湖北交與該督等差遣委用又帶領拿獲盜首

王馬成等遵

見奉

旨送部之廣東署海豐縣事候補通判何鍾引
見奉

道總督蘭第錫等題請實授儀睢通判並奏
准陞署蘭儀同知呂昌會引

見奉

諭旨呂昌會准其實授儀睢通判陞署蘭儀同知
又帶領大計卓異之貴州貴西道張繼辛江
南徐州府宿虹同知孫步雲等十員引

見奉

諭旨張繼辛孫步雲俱准其卓異加一級仍註冊

回任候陞又帶領病痊赴補之原任山東昌樂

縣知縣劉丹書引

見奉

諭旨劉丹書著照例用又帶領病痊赴補並聲明親老改發近省之原任貴州署修文縣知縣

潘本智引

見奉

諭旨潘本智著發往江南以知縣用又帶領修建廸化州等處倉廩並不詳核時價草率驗報應行革任之甘肅候補知府永盛引

見奉

諭旨永盛著留京以主事用革職之案帶於新任又帶領失察西洋人私赴內地傳教照例降

調之前署山西曲沃縣事沁源縣知縣現任

廣東瓊山縣知縣吳政達引

見奉

諭旨吳政達著仍發往廣東以知縣用降級之案帶於新任又帶領失察私鑄錢文照例降二級

調用復經捐復原官之前任漢陽府知府德泰引

見奉

諭旨德泰著准其開復發往福建以知府用又正紅旗滿洲都統奏補副參領印務章京世管佐領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨永慶著補授副參領永安著補授印務章京世管佐領著慶昌等引

是日

起居注官平恕塘五珠

初二日庚申吏部議廣東巡撫圖薩布奏署
南海縣知縣嚴守田試俸期滿准實授一疏
內閣奉

諭旨嚴守田依議用餘依議又兵部議署陝甘總
督勒保奏甘肅涼州鎮標後營都司員缺准
以大靖營守備楊龍補授一疏奉

諭旨楊龍依議用餘依議又議勒保奏甘肅烏魯
木齊提標左營守備員缺准以西寧鎮標千
總馬元補授一疏奉

諭旨馬元依議用餘依議又議分日呈遞

奏摺有心取巧之貴州古州鎮總兵馬詔蛟遵
旨議處照例降級一疏奉

見奉

燈引

江太平縣知縣謝祖錫四川德陽縣知縣范

嘉瑄叢陞河南河南府通判陳治國叢陞浙

江紹興府同知方應達四川成都府通判藍
府徐大榕叢掣湖南常德府同知張德洽浙

工部虞衡司主事周庠刑部湖廣司主事趙
溶國子監監丞王士毅叢陞山東萊州府知

諭旨馬詔蛟著降二級留任是日吏部帶領十月
分月選官叢陞兵部職方司郎中永慶叢掣

見奉

諭旨謝泰宸等依擬用餘依議又鑲白旗滿洲都

統奏補世管佐領員缺帶領正陪人員引

麟等遵

見奉

諭旨明山之世管佐領著國爾明阿承管

是日

起居注官陸伯焜薩敏

初三日辛酉太常寺奏本月二十四日冬至

大祀

天子

園丘一疏內閣奉

諭旨朕親詣行禮四從壇遣積拉堪德陞善保鄂

爾弼圖各分獻又吏部議浙江巡撫琅玕奏署

雲和縣知縣楊基試俸期滿准實授一疏奉

旨議敘照例加級一疏奉

諭旨書麟畢沅蘭第錫俱著加一級李奉翰著將
加一級抵前降一級餘依議又兵部議陝甘總
督勒保奏陝西定邊協中軍都司員缺准以

甘肅水泉堡守備胡美陞補一疏奉

諭旨胡美依議用餘依議

是日

起居注官嵩貴陳嗣龍

初四日壬戌辰刻

上御懋勤殿大學士公阿桂大學士嵇璜大學士

伯和珅大學士王杰協辦大學事

劉墉刑部尚書喀寧阿胡季堂侍郎穆精阿

阮葵生內閣學士阿肅胡高望以刑科覆奏

九卿詹事科道秋審山

西清續譜犯應勾

決者共九十一名口請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閔至舊列情實之斬犯段宗海等九名絞犯孟克

勉等十三名

上命俱仍著停決

閔至新列情實之絞犯邢士章致死服姪身死一

案

上曰邢士章致死服姪雖係幼孩究屬為匪服姪

情稍可原著停決

閔至斬犯馬先儒致死服姪身死一案

上曰馬先儒致死雖係服姪但因行竊頂撞伊姑本屬潑悍婦女情稍可原著停決

閔至絞犯王不論語言調戲致本婦羞忿自盡一

案

上曰王不論因語言調戲致本婦羞忿自盡尚無手足勾引情稍可原著停決

閔至絞犯栗清明子帮殴致斃一案

上曰栗清明子因釁起索欠理直且係聽從帮殴

情稍可原著停決其新列情實之斬犯郭趕年等九名絞犯張幅等五十六名俱情罪重大

萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日内閣奉

諭旨軍機大臣議駁奎倫等具奏裁馬兵十送所

空草料折銀又裁汰馬甲四千缺所空錢糧以
養贍孤寡其餘作為公項事存泰等具奏抵
補所出馬甲六十八缺外餘三十六缺暫行停
止不挑以養贍錢糧短少家口者撤出養育兵
缺以養贍空缺家口一事所奏甚是昨福州廣
州杭州滿洲兵丁內有出兵臺灣陣亡者實屬
可憫伊等戶口孤寡恐失生計特加恩臺灣兵
陣亡馬甲缺與其挑在家逆居之人補缺不如
分馬甲一缺作養育兵二缺令贍養伊等孤寡
此皆朕念滿洲世僕微有勞績即加憫恤之意
並非裁汰兵缺馬匹以省錢糧也方今承平日
久生齒日繁雖不能無故增加滿洲等錢糧豈
有裁汰兵缺之理况今歲荊州被災一切賑濟
朕即動用二百萬兩且從前二三次蠲免普天

下錢糧不啻數千餘萬兩於彼皆不曾稍有愛
惜況此數兩兵丁錢糧朕豈肯復為節省乎奎
倫存泰等如此辦理錯謬實未曉朕意著傳旨
申飭外養贍荊州被水災淹斃兵丁之孤寡亦
如是降旨矣恐圖桑阿等誤會朕旨亦未可定
交圖桑阿等但體朕憫恤旗僕俾事有益酌量
辦理將此仍曉諭滿兵駐防各處知之

是日

起居注官陳崇本陳萬青塘五珠薩敏

初五日癸亥

上詣普度寺凝和廟宣仁廟拈香是日內閣奉

諭旨據惠齡奏辦理武闈事宜摺內稱連場較閱
將各武生照例考試馬箭地氈及步箭弓刀石
等技勇將弓馬熟嫻技勇可觀年力強壯者挑

取記註其餘生疎軟弱者一槩汰去仍出示曉諭將該生等或因騎射或因技勇未能入選之處於各生名下詳悉註明使該生等各知汰去之故等語所辦可嘉已於摺內批示向來武闈較閱率多循例辦理未能實心甄別是以順天武鄉試及武會試特派皇子大臣監同閱看以昭慎重至各省舉行武闈係巡撫專司其事往往於技勇弓馬並不認真考校無所激勸今患齡將各生技藝可觀者密為挑記仍將未能入選之人于各名下註明出示使被汰之故曉然共知令各生等咸知愧勉思奮所辦殊為妥善各省巡撫俱當照此辦理認真較閱不得草率從事以副掄才至意摺併發又奉

諭旨據閔鶚元奏本年應試諸生內江蘇省湯振

王長駕吳霖王日冕畢文琳等五名安徽省王聖際胡先桂翟承眷等三名均年在八十以上三場完竣未經中式又據惠齡奏湖北省應試諸生吳梅舒繼芬年皆八十以上三場完竣榜發無名各等語該生等年逾八旬精神矍鑠踴躍觀光實為儒林嘉瑞湯振王長駕吳霖王日冕畢文琳王聖際胡先桂翟承眷吳梅舒繼芬

均著加恩賞給舉人准其一體會試以示朕壽世作人嘉惠者齡至意又奉

諭旨閩浙總督李侍堯老成歷練宣力有年屢任封圻實心能事昨歲因臺灣逆匪滋事特將伊調任閩浙該督抵福建後即駐劄廈門一帶辦理軍需調度一切無虞缺乏諸凡妥協而于地方事務亦能認真整飭節經降旨著加晉銜復

還伯爵以示優獎昨據該督奏染患瘡疾又復下痢即遣伊子由驛前往看視並諭令安心調養以冀速痊用資委任茲聞溘逝深為軫惜所

有應得卹典著該部察例具奏又奉

諭旨閩浙總督員缺著福康安調補福康安未到

之前其總督印務前已有旨著魁倫署理陝甘

總督員缺著勒保補授山西巡撫員缺著海寧

補授其兵部侍郎員缺著吉慶補授仍兼副都統又奉

諭旨據舒楞額奏發遣杭州為奴之甘肅回匪馬

奴黑子於本年十月十四日逃走業經行文各處查拿請將該管官及舒楞額一併交部議處

等語馬奴黑子原係甘肅回匪免死發遣為奴

之犯胆敢脫逃甚屬可惡當嚴行緝拿即行正

法以示懲警著交馬奴黑子之原籍暨所有經

過各省督撫即于拿獲處所即行正法之處已

降漢字諭旨外其該管協領等官及舒楞額俱

著交部分別議處

是日

起居注官鐵保吳璥

初六日甲子內閣奉

諭旨內務府奏請員外郎廷標等循例開復一摺又議處副閩防董濬照向例將降調處分改為罰俸一摺此例因國初年間內務府人數本少職事較多是以定例遇有降調處分俱係改加罰俸免其調用今內務府生齒日繁堪以當差者本不乏人其議處各員除奉特旨留任外自應照部院衙門之例按其情節輕重分別賞降

抵銷以示公允嗣後議處內務府官員著查照

吏部處分則例辦理其從前降調改為罰俸之

例即行停止除郎廷標等五員降調之案業已

四年期滿仍准開復外所有董濬一員即照此

例辦理又奉

諭旨海寧所遺鑲黃旗蒙古副都統員缺著伊齡

阿調補幫同鄂爾錐特模爾尼爾克巴拜妥協

辦事伊齡阿所遺員缺著岱森保補授正黃旗

蒙古副都統是日吏部議江蘇巡撫閻鴻元奏

江浦縣知縣員缺准以候補知縣劉永標補

授一疏奉

諭旨劉永標依議用餘依議又議浙江巡撫琅玕

奏慈谿縣知縣員缺准以候補知縣鍾德溥

補授一疏奉

諭旨鍾德溥依議用餘依議

是日

起居注官圖敏茅元銘

初七日乙丑內閣奉

諭旨孫永清奏廣西省全州歲貢生唐熙現年八

十三歲三場完卷未經中式等語唐熙年逾八

旬精神矍鑠猶能踴躍觀光洵為士林嘉瑞著

賞給舉人准其一體會試以示朕壽世作人加

惠者儒至意又奉

諭旨湖北近年以來吏治闌草地方法大吏於鹽務

匣費任意染指濫觴已極福建吏治亦復廢弛

營伍毫無整頓以致海洋劫盜頻聞釀成林棄

文等滋事巨案朕詢訪輿論僉以為湖北之積

弊起於陳輝祖福建則起於楊景素伊等不愛

朕厚恩用至總督乃不思潔已奉公實心任事致通省官吏貪贊懈弛相習成風日甚一日現

經朕力為整頓其歷任督撫如舒常李封已經

革職特成額富勒渾雅德俱先後拿交刑部治

罪而該二省吏治之壞實作俑於陳輝祖楊景

素二人使其身尚在必當與特成額等一體治

罪今伊二人俱已物故而其在任婪索所得貲

財伊子等又得捐納官職以爲進身之階此等

昧良負恩之人豈可任其子復登仕版若不從

嚴示懲何以警貪玩而飭紀綱所有陳輝祖之

子陳山崑楊景素之子楊炤俱係捐納主事均

著革職發往伊犁効力贖罪其餘子如有職銜

者俱查明斥革一槩不許出仕以爲大臣貽悞

地方者戒是日吏部議署山西巡撫海寧奏永

濟縣知縣員缺准以交城縣知縣湯維新調補所遺員缺准以試用知縣于復懲署理一疏奉

諭旨湯維新依議調補餘依議又議拿獲臺灣逆犯莊大田親屬莊天畏之福建巡撫徐嗣曾

等遵

旨議叙照例加級一疏奉

諭旨徐嗣曾著將加一級抵前降一級餘依議又

戶部議浙江省督催乾隆五十二年分緩征地丁銀兩照數全完之巡撫琅玕等戴罪督

催之案照例准開復一疏奉

諭旨琅玕顧學潮俱准其開復餘依議又兵部議

吉林將軍咨該處驍騎校富明阿年老患病

應准休致查該員曾經

山西巡撫海寧奏永

否給俸一疏奉

諭旨富明阿曾經出兵打仗得功牌著以原品休

致給與半俸以養餘年是時雲南巡撫譚尚忠

奏羅平州絞候人犯嚴戒越獄脫逃請將署

吏目顧錫圭草職拿問署知州王慶鑒草職

留於地方協緝一摺奉

諭旨這所叅疎防絞候人犯越獄脫逃之署羅平

州吏目顧錫圭著草職拿問交與該督提刑

禁人等嚴審定擬具奏署羅平州知州王慶鑒

著革職留於該地方協緝該部知道摺併發又

吏部帶領十一月分滿月選官禮部員外郎

伊克精阿戶部主事五靈阿引

見奉

諭旨伊克精阿等依擬用又帶領四月分滿月選

官

月選官

泰陵工部郎中瑚圖禮禮部司務武興阿五月分滿
泰東陵工部員外郎舒敏補行引

見奉

諭旨瑚圖禮等依擬用又帶領兩江總督書麟奏

請陞署江蘇松江府川沙同知並漕運總督

毓奇奏明押運四次無悞之現任常州府督

糧通判柳在夏引

見奉

諭旨柳在夏准其陞署江蘇松江府川沙同知所

遣常州府督糧通判員缺准其將試用通判呂

培績署理

是日

起居注官陸伯焜德昌

初八日丙寅辰刻

上御懋勤殿大學士公阿桂大學士嵇璜大學士
伯和珅大學士王杰協辦大學士吏部尚書

劉墉刑部尚書喀寧阿胡季堂侍郎穆精阿
姜峴內閣學士阿肅胡高望以刑科覆奏九

卿詹事科道秋審直隸省情實罪犯應勾決
者共九十七名請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定
閔至舊列情實之斬犯柳二等二名絞犯張士仁

等十一名

上命俱仍著停決

閔至新列情實之絞犯周士賢斬死平人身死一

案

上曰周士賢因死者黑夜走入猪棚不知爲瘋認
係竊賊毆打致斃情尚可原著停決其新列情
實之斬犯韓來成等三十六名絞犯張成子
等四十七名俱情罪重大萬無可生者

上研勘再四始

命予勾是日太常寺奏本月二十四日冬至大祀
天於

圜丘前期視牲看牲一疏奉

諭旨遣裕豐視牲達椿看牲又吏部奏本年十月
分刑部督捕司主事員缺擬以河南武陟縣
知縣盧又紳署陞刑部四川司主事員缺擬
以四川慶符縣知縣張心至署陞通政司知
事員缺擬以廣東新興縣知縣胡昌陽署陞

湖南岳州府同知員缺擬以廣西鎮安府通判王昌言籤陞雲南阿迷州知州員缺擬以

直隸山海關通判恒齡籤陞山西大同府通

判員缺擬以廣西江州同劉書籤陞浙江金華府通判員缺擬以廣西全州同鄖正

燕冀陞一疏奉

諭旨盧又紳等依擬用餘依議又議原任閩浙總

督李侍堯奏福建延平府知府員缺准以候

補知府鄧廷輯補授一疏奉

諭旨鄧廷輯依議用餘依議又議失察捕役賄縱

盜犯之湖北署嘉魚縣事另案降調知縣王

大復照例補官日降調一疏奉

諭旨依議其因失察捕役拿獲盜犯不即送究議

以降級用之王大復仍照前旨著該督撫出具

考語送部引見又刑部等部議失察已革祿勸
縣口縣檀萃虛報銅數之雲南按察使王懿
德等照例分別降級罰俸一疏奉

諭旨王懿德著降一級留任譚尚忠富綱俱著罰
俸一年王昶著銷去軍功加一級仍給還軍功
紀錄二次餘依議

是日

起居注官王保圖敏陳嗣龍曹城

初九日丁卯內閣奉

諭旨潮州鎮總兵員缺前經降旨令孫士毅於廣

東廣西兩省總兵內揀員調補茲據該督奏右
江鎮總兵蒼保現在帶兵進剿其才具強幹堪

以調補等語著照所請蒼保住其調補潮州鎮
總兵正可帶廣東兵隨同該督撫所有若

鎮總兵員缺業經補放有人福建無庸選員請

補又奉

諭旨烏什哈達著調補熊岳副都統索喜著調補

吉林烏喇副都統巴禮木達著仍留齊齊噶爾

副都統額爾發布著仍留黑龍江副都統其世管

佐領即著伊本身兼管是日吏部議著山西巡

撫海寧奏壽陽縣知縣員缺准以廣靈縣知

營守備楊潭掣補一疏奉
諭旨楊潭依擬用餘依議又議于代奏軍民謝
恩摺內未將該處被水後情形備細陳奏之荊州
將軍圖桑阿等遵

旨議處照例降級一疏奉

諭旨圖桑阿著降二級留任隆興著銷去加二級

雅爾泰著銷去紀錄八次俱免其降級是日步

縣蘇雲昇調補所遺員缺准以試用知縣楊
元興署理一疏奉

諭旨蘇雲昇依議調補餘依議又議失察稿案被

竊之禮部尚書紀昀等照例罰俸一疏奉

諭旨紀昀著銷去紀錄一次其從前罰俸三個月
之處仍註於紀錄抵銷餘依議又兵部奏甘肅

三眼井營都司員缺擬以陝西延綏鎮標中

諭旨此案著派侍郎穆精阿

欽定一摺奉

派大員前往審辦候

軍統領衙門奏據湘潭縣民張滄江呈控張
盡美等因爭水塘鬪毆係庚老九將齊世舜
殴傷身死該縣方維祺勒令伊弟張少五認
免歷控不結請

欽定一摺奉

諭旨此案著派侍郎穆精阿

欽定一摺奉

定擬具奏所有隨帶司員亦著一併馳驛其原

告張滄江著照例解往質審

是日

起居注官陳萬青薩敏

初十日戊辰內閣奉

諭旨舒常前因荊州堤工潰決一案業經革職所

襲雲騎尉世職至舒常襲次已完據該旗將原

領勅書奏繳但念伊父舒赫德宣力有年辦事
尚屬勤慎不忍將伊父所得世職遽行停襲著
加恩仍留於舒常本身俟荊州堤工完竣後再
行來京至李封年已衰老留於該處工次亦屬
無用並著加恩即令回籍又奉

諭旨兵部奏職方司郎中邵自昌經該部咨送堪
勝繁缺知府據該員呈請仍留本部供職等語

各部司員大率多樂於外任今邵自昌在部有

年截取知府經該部堂官保送繁缺該員總請

留部効用尚為體面謹飭之人若僅照常留部

不足示勸邵自昌著加一級以昭鼓勵是日吏

部議浙江巡撫琅玕奏署會稽縣知縣余名

陞試俸期滿准實授一疏奉

諭旨余名陞依議用餘依議又總督倉場侍郎蘇

凌阿等奏坐糧廳蘇保李蓮自十月以後起
米遲滯致奉天省豆石抵壩後河水冰凝不
能由裏河轉運應責令陸運到橋其較水運
多用價值罰令賠繳一摺奉

諭旨如所議行坐糧廳蘇保李蓮仍著交部議處

又兵部帶領揀補陝西涇州管鹽同鑲紅
旗滿洲委署護軍參領四庫二等侍衛韋駕

保二員引

見奉

諭旨陝西涇州營都司員缺著四德補授又正白

旗滿洲都統奏補印務章京

盛京佐領等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨富安泰著補授印務章京依楞泰著補授佐

領又正白旗蒙古都統奏補

盛京佐領世管佐領各缺帶領正陪承襲人員

引

見奉

諭旨巴楞泰著補放盛京佐領福保之世管佐領

著羅普藏多爾濟補授

是日

起居注官嵩貴方煒

十一日己巳辰刻

上御懋勤殿大學士公阿桂大學士嵇璜大學士

伯和珅大學士王杰協辦大學士吏部尚書

劉墉刑部尚書喀寧阿胡季堂侍郎穆精阿

姜歲內閣學士阿肅胡高望以刑科覆奏九

卿詹事科道朝審情實罪犯應勾決者共三

十九名口請

旨定奪

上命大學士王杰秉筆將刑部招冊詳勘審定

閱至官犯內舊列情實之絞犯格通額等二名常

犯內舊列情實之斬犯陳二等三名絞婦劉氏等四名

上命俱仍著停決

閱至官犯內新列情實之絞犯

富勒渾雅德於總

兵柴大紀骯法營私並不據實參奏一案

上曰富勒渾雅德俱係封疆太員於臺灣總兵柴

大紀骯法營私並不據實嚴參於法本無可寬

但念遠隔重洋查察未周尚無得受賄賂情事
且曾飭令永福查辦被其朦混稍有可原著停

決

閱至絞婦烏蘇氏烙死幼婢身死一案

上曰烏蘇氏毆烙幼婢多傷致斃固屬情慘但死
係不聽管教婢女又曾偷竊錢文該氏究無忿
姤別情且有主僕名分情稍可原著停決

閱至斬犯賴箋逆犯緣坐一案

上曰賴箋係已正法逆犯賴應之父雖律應緣坐
但賴應從逆不法該犯實不知情稍可原著停

決其官犯內新列情實之斬犯鄭俊業一名絞
犯常闡等五名常犯內新列情實之斬犯張

文章等四名絞犯張福等十四名俱情罪重

大萬無可生者

上研勘再四始

上曰李二雖係毆死平人但因死者理曲尋衅且
傷係木器並非金刃殺人情尚可原著停決

閱至絞犯韓五毆死郎三一案

上曰韓五雖係滿洲殺死滿洲但彼此互毆傷係
手足並非金刃殺人情尚可原著停決

命予勾是日山西巡撫海寧奏祁縣知縣葉中鯉
因王村社長王興彪阻留戲箱任性杖責致

斃二命復賄和匿報請革職嚴審一摺奉

諭旨這所叅濫刑致斃二命復賄和匿報之祁縣

知縣葉中鯉著革職交該撫提同案內犯証一

併嚴審定擬具奏該部知道摺併發是日正紅

旗滿洲都統奏補印務參領員缺帶領正陪

人員引

見奉

諭旨海秀著補授印務參領

是日

起居注官吳璥德昌塘五珠方煒

十二日庚午內閣奉

諭旨畢沅奏本年監利縣地方因江湖漲漫將東

鄉之孫張王公月堤二處普漫該縣堤工本係

民辦但今年被災較重請借帑興修事竣按糧

攤派分三年征完等語本年荊州被水各堤工

應行加高培厚之處俱係動項修築不惜多費

帑金以期便民經久至監利縣堤工固係例應

民辦之事第念該處甫遭淹浸雖已優加撫卹

民力究不免拮据所有該縣孫張王公月堤需

用土方現據該督估計需銀三萬兩以上此次

著加恩照荊州堤工一體動用官項以示朕軫

念災區格外體卹至意又奉

諭旨巴延三奏陝省附生張夢熊蔣遇辛年俱八

十以上三場完畢未經中式等語張夢熊蔣遇

辛年逾大耋踴躍觀光洵為昇平盛事著俱賞

給舉人一體會試以示嘉惠者齡至意是日兵

部奏雲南臨元鎮標左營都司員缺擬候補

標中營守備羅榮陞掣補一疏奉

諭旨羅榮陞依擬用餘依議又并奏草職贊禮

郎那興阿因章京克蒙額索討贖當錢文被

揪落髮辮一縕用刀將克蒙額扎傷應從重

發往烏嚕木齊効力贖罪克蒙額請草職文

旗管束一摺奉

諭旨那興阿著改發伊犁効力贖罪克蒙額因細

故爭角首先斥罵究係理曲起釁僅予革職文

該旗管束不足啟革著發往烏嚕木齊効力贖
罪餘依議又鑲白旗漢軍都統奏補印務章京
等缺帶領正陪人員引

見奉

諭旨王毅著補授印務章京高瑞著補授公中佐

領

是日

起居注官陸伯焜德昌

十三日辛未

上詣

奉先殿

壽皇殿行禮是日吏部議廣西巡撫孫永清奏融縣

知縣員缺准以候補知縣胡豫棠補授一疏

內閣奉

諭旨胡豫棠依議用餘依議又議直隸總督劉秉

奏署西寧縣知縣姚廷儀試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨姚廷儀依議用餘依議又議陝西巡撫巴延

三奏署鳳翔縣知縣龔景山試俸期滿准實授

一疏奉

諭旨龔景山依議用餘依議又兵部議山東巡撫

長麟奏安東營都司員缺准以武定營守備

婁嵩年陞補一疏奉

諭旨婁嵩年依議用餘依議

是日

起居注官玉保王懿修

十四日壬申內閣奉

諭旨據保寧等奏綠營兵王監承戮傷巡街兵王

佐臣身死一案將王監承擬斬監候秋後處決

等語王監承身係兵丁戮傷兵丁致死殊屬可

惡且此案又係勾到以前之事王監承著入於

今年勾到案內即行絞決餘依議是日兵部議

陝甘總督勒保奏甘肅涼州鎮標左營遊擊

員缺准以候補遊擊富森泰補授一疏奉

諭旨富森泰依議用餘依議

是日

起居注官鐵保陳崇本

十五日癸酉內閣奉

諭旨官兵進剿安南賊匪所有一切軍需兵餉需

用較繁自應寬為籌備以資接濟現在粵西庫

貯銀兩恐不敷用著戶部於附近省分酌撥銀

五十萬兩解赴廣西備用是日戶部議江西省

經徵乾隆五十二年分地丁雜項錢糧照數

全完之調任布政使李承鄴等照例加級一

疏奉

諭旨李承鄴著加職一級餘依議又兵部奏江南

佃湖營水師都司員缺擬以京口營水師守

備王士傑掣補一疏奉

諭旨王士傑依擬用餘依議又奏江南鹽城營水

師守備員缺擬以預保京口營千總嚴鰲掣

補一疏奉

諭旨嚴鰲依擬用餘依議是日吏部帶領山東巡撫長麟奏請陞補膠萊分司運判之現任棲霞縣知縣鍾鳳騰引

見奉

諭旨鍾鳳騰准其陞補膠萊分司運判又帶領張

麟奏請陞補嶧縣知縣之現任高唐州州判

王旭載引

見奉

諭旨王旭載准其陞補嶧縣知縣又帶領大計卓

異之江西寧州知州李維謙山西臨晉縣知

縣楊開泰陝西榆林縣知縣彭思忠四川巴

縣知縣袁以壇資陽縣知縣劉印全引

見奉

諭旨李維謙楊開泰彭思忠袁以壇劉印全俱准其卓異加一級仍註冊回任候陞又帶領病痊赴補之原任四川潼川府知府張松孫引

見奉

諭旨張松孫著仍發往四川以知府用又鑲藍旗

滿洲都統奏補荊州佐領帶領保送正陪人

員引

見奉

諭旨祿清著補授佐領

是日

起居注官平恕圖敏

見奉

是日

起居注官平恕圖敏